

年報 26 平成 25 年度 (2013. 4. 1-2014. 3. 31)

千葉県立中央博物館

目次

平成 25 年度の活動実績	iii
平成 25 年度 1 年間のあゆみ	iv
1 資料収集・整理保存	
A 本館	
資料の登録	1
// 収集	2
// 借用	3
// 利用	6
// 保存・管理	10
B 大利根分館	
資料の登録	11
// 収集	11
// 借用	12
// 利用	13
// 保存・管理	13
C 大多喜城分館	
資料の登録	14
// 収集	14
// 借用	16
// 利用	17
// 保存・管理	
D 分館海の博物館	
資料の登録	18
// 収集	18
// 借用	18
// 利用	19
// 保存・管理	
2 調査研究	
2.1 調査研究の実施（研究課題）	
館企画の研究	20
重点研究	20
地域研究	21
普遍研究	24
分館海の博物館	28
助成研究・共同研究	29
2.2 研究成果の公表	
シンポジウム・セミナー	31
研究紹介展示	32
研究報告の発行	32
職員の執筆・研究発表	32
2.3 研究交流	
海外調査・海外研究員の受入	33
館友、共同研究員、市民研究員、研究生の受入	33
客員研究員・学会委員等の受託	34
3 展示	
A 本館	
1 常設展示の更新	35
2 企画展示の実施	36
3 出前展示の実施	40
B 大利根分館	
1 企画展示の実施	42
2 出前展示の実施	43
C 大多喜城分館	
1 常設展示の更新	44
2 企画展示の実施	44
D 分館海の博物館	
1 常設展示の更新	46
2 企画展示の実施	46
4 教育普及	
A 本館	
1 展示観覧支援（ミュージアム・トーク、展示解説、音声ガイド利用、調査隊）	48
2 講座・観察会・イベントの実施	52
3 学習キットの貸出・製作	57
4 房総の山のフィールド・ミュージアム事業	59
5 学校教育支援	60
6 団体・機関等への支援	64
7 友の会活動支援	68
中央博サークルの結成	68
8 専門分野における相談対応	70
9 ボランティアの受入	71
B 大利根分館	
1 講座等の実施	72
2 展示解説	72
3 川のフィールドミュージアム事業	73
4 学校教育支援	73
5 団体・機関等への支援	74
6 学習キットの貸出・製作	74
7 委員の受託	74
C 大多喜城分館	
1 行事の実施（主催企画・協働企画）	75
2 展示解説	75
3 学校教育支援	76
4 団体・機関等への支援	77
5 学習キットの貸出	78
6 ボランティアの受入	79
D 分館海の博物館	
1 講座・観察会等の主催	80
2 展示解説	82
3 海のフィールドミュージアム事業	82
4 学校教育支援（職場体験・教員研修）	83
6 団体・機関等への支援	84
4 学習キットの貸出	84
7 委員受託	85
8 ボランティアの受入	86

5	情報発信	
5.1	出版物・印刷物の作成	87
5.2	インターネットによる情報発信	
	ウェブサイトの更新	89
	メールマガジンの配信回数	89
	ツイッターによる情報発信	89
	デジタルミュージアムの公開	89
	ウェブサイトのアクセス件数	89
5.3	マスコミを通じての発信	
	記者発表・行事情報の発信	90
	取材対応	90
	メディア掲載	90
6	県立博物館ネットワーク	
6.1	県立博物館情報システム	91
6.2	千葉県美術館・博物館職員等研修会	92
6.3	千葉学講座	92
7	入館者状況	
7.1	月別入館者数	93
7.2	団体入館状況	94
8	予算・決算	
8.1	歳入決算額	95
8.2	歳出決算額	95
8.3	外部資金(予算額)	95
9	組織・運営	
9.1	博物館協議会	96
9.2	館組織・職員	97
9.3	運営推進チーム	98
10	千葉県立中央博物館友の会	
10.1	会員数	99
10.2	役員	99
10.3	事業	99
10.4	解散および沿革	101
	<データ編>	
1	職員の執筆活動・研究発表	103
2	委員等の受託	113
3	メルマガコラム	116
4	デジタルミュージアム公開コンテンツ	117
5	取材対応一覧	118
6	新聞雑誌掲載記事一覧	121
7	団体入館状況(種類・地域内訳)	124
	開館日・入場料	128
	所在地	129

本文に、☞データ編とある事業は、データ編で詳細を参照ください。

平成 25 年度の活動実績の概要

4 館（本館、大利根分館、大多喜城分館、分館海の博物館）全体の活動実績は、以下のとおりです。

1 資料の収集・整理保存

総登録点数	834,038 点
年間登録点数	18,924 点
年間収集点数	29,446 点

資料の利用 324 件、190,963 点

閲覧・撮影	38 件、1,656 点
貸出	79 件、1,991 点
デジタル提供	115 件、186,713 点
その他	8 件、53 点
図書の利用	84 件、550 点

2 調査研究

調査研究の実施	131 件
研究成果の公表 ※	400 件

※シンポジウム開催、成果展示、執筆・発表

3 展示

常設展示の更新	52 回
企画展示の開催	37 回
出前展示の実施	43 回

観覧者数

企画展示観覧者数	343,948 人
出前展示観覧者数	67,184 人

4 教育普及

主催行事の実施	500 件、17,670 人
展示解説等	129 件、11,533 人
学校・団体支援	636 件、25,070 人
学習キット利用	336 件、26,214 人
相談対応	3,146 人
計	1,601 件、83,633 人

5 情報の発信

出版物・印刷物発行	47 点
-----------	------

Web 利用総数 310,373 件

アクセス件数	268,790 件
メルマガ配信数	41,039 件
ツイッターフォロワー	544 人

マスコミ経由の発信

行事情報の発信	843 件
取材対応	120 件
メディア掲載 ※	106 件

※新聞・雑誌への掲載。行事情報を除く

6 市民参画

館友、共同研究員、市民研究員	62 人
ボランティア	144 人
友の会会員（うち幹事 31 人）	407 人
計	613 人

総利用者数

入館者数

展示観覧者数（館内・出前）	
行事参加者数（館内外）	
施設利用者数	
相談対応者数	367,020 人

学習キット貸出利用者数 5,551 人

計 372,571 人

平成 25 年度 1 年間のあゆみ

平成 25 年

- | | | |
|------|------|---|
| 4 月 | 2 日 | 写真展「私が撮った水郷 2013」開始（5 月 12 日まで：大利根） |
| | 18 日 | ツイッター開始（海） |
| | 21 日 | 定期総会および講演会の開催（友の会） |
| 6 月 | 1 日 | 企画展「利根川と文学-寺田憲とその周辺-」開始（6 月 30 日まで：大利根） |
| | 15 日 | 県民の日施設無料開放 |
| 7 月 | 9 日 | 生態園トピックス展「生態園のトンボ」開始（8 月 18 日まで：本館） |
| | 11 日 | 収蔵資料展「大多喜藩の弓術」開始（10 月 20 日まで：大多喜城） |
| | 13 日 | 夏の展示「写真展 海の宝石 ウミウシの世界」開始（9 月 8 日まで：本館） |
| | 13 日 | 収蔵資料展「夏休みスペシャル ウニと愉快的仲間たち」開始（9 月 1 日まで：海） |
| | 20 日 | 地域連携展「世界の音を聴こう！」開始（9 月 1 日まで：本館） |
| | 20 日 | 収蔵資料展「深海の生きものたち」開始（9 月 1 日まで：大利根） |
| | 24 日 | 第 1 回千葉県博物館協議会開催 |
| 8 月 | 1 日 | 博物館実習開始（8 月 9 日まで：本館） |
| | 27 日 | 生態園トピックス展「あなたが聞いた秋の音を教えてください」開始（12 月 8 日まで：本館） |
| 9 月 | 3 日 | 地域連携「久能山東照宮：家康公の時計」開始（9 月 29 日まで：大多喜城） |
| 10 月 | 1 日 | 大利根分館季節休館（3 月 31 日まで） |
| | 3 日 | 収蔵資料展「古い道具とむかしの暮らし」開始（3 月 20 日まで：大利根） |
| | 4 日 | 生態園舟田池ライブモニタリング（ライブ音）をインターネットで公開開始（本館。サイト名：CyberForest for Environmental Education (CF4EE)） |
| | 5 日 | 企画展「音の風景-うつりゆく自然と環境を未来に伝える-」開始（12 月 1 日まで：本館） |
| | 9 日 | 舟田池ライブ映像のインターネット公開開始（本館） |
| | 25 日 | 企画展「上総の仏教美術Ⅱ-長生・山武-」開始（12 月 8 日まで：大多喜城分館） |
| | 27 日 | 自然誌シンポジウム「音の風景遺産-ふるさとの音をつたえよう-」開催（本館） |
| 11 月 | 3 日 | 文化の日施設無料開放 |
| | 23 日 | お絵かき展「チーバくと学ぶ深い海に暮らす生きものたちより」（2 月 2 日まで：海の分館） |
| 12 月 | 1 日 | 臨時総会にて千葉県立中央博物館友の会の解散を議決（友の会） |
| | 4 日 | 第 2 回千葉県博物館協議会開催 |
| | 19 日 | 「クジラ化石、ネギ畑から発見！」記者会見（現地） |

平成 26 年

- | | | |
|----|-----|--|
| 2月 | 15日 | マリンサイエンスギャラリー「海藻いろいろ」開始（5月6日まで：海） |
| | 22日 | 生態園木塀改修工事再開
第37回千葉県移動美術館開始（3月9日まで：大多喜城分館） |
| | 28日 | 千葉県美術館・博物館職員等研修会開催 |
| 3月 | 8日 | 春の展示「水辺の記憶-写真家 林辰雄のまなざし-」開始（5月25日まで：本館） |
| | 10日 | 中央博サークルの設置・運用要綱の施行 |
| | 12日 | 第3回千葉県博物館協議会開催 |
| | 20日 | 中央博サークル結成 |
| | 31日 | 千葉県立中央博物館友の会の全活動を停止・解散（友の会） |

1A 資料収集・整理保存 <本館>

資料の登録、収集、借用、利用提供、保存管理を行った。

1A.1 資料の登録

平成 26 年 3 月末現在

分野	年間登録点数	総登録点数	情報システム登録点数
全資料合計 () 内は 24 年度末数値	18,924 (15,737)	834,038 (815,114)	180,326 (156,374)
動物資料	5,022	254,747	78,396
哺乳類	22	5,249	685
鳥類	0	1,666	0
魚類	345	14,568	14,533
両棲・は虫類	0	2,050	0
昆虫	2,868	145,813	50,720
甲殻類	877	12,475	9,802
カブトガニ・ウミグモ・多足類	0	593	571
クモ類	1	787	238
軟体動物	866	70,373	1,847
多毛類	43	1,097	0
その他無脊椎動物	0	76	0
植物・菌類資料	12,699	390,314	68,414
維管束植物	10,284	305,896	47,418
蘚苔類	2,415	37,179	4,956
藻類	0	5,920	3,377
地衣類	0	14,652	6,206
担子菌類	0	23,412	6,265
子囊菌類他	0	3,079	190
変形菌類	0	176	2
地学資料	835	33,256	31,464
岩石・鉱物	739	16,188	16,197
地層 (はぎとりなど)	0	26	22
植物化石	0	115	50
脊椎動物化石	5	7,625	7,625
軟体動物化石	58	5,423	5,421
その他無脊椎動物化石	33	2,843	1,932
地学景観画像	0	217	217
その他	0	819	0
自然誌合計	18,556	678,317	178,274
歴史資料	347	7,533	780
古文書・古典籍	347	1,752	211
美術工芸品	0	1,020	480
埋蔵文化財	0	3,285	50
その他 (工業・科学技術)	0	1,476	39
特殊資料・貴重書	0	5,447	-
リンネ関係レンスコークコレクション	0	5,397	-
その他稀観本	0	50	-
生態・環境資料	-4,012	17,391	-
生態・環境にかかわる生物音響資料	328	1,848	-
生態・環境にかかわる映像資料	1,219	15,428	-
生態・環境にかかわる文献資料 ※1	-5,477	81	-
環境教育資料 ※2	-46	8	-
地域の生態系に関する資料 ※3	-36	26	-
図書資料	4,033	125,350	1,272
図書 (冊数)	824	48,011	1,272
雑誌 (冊数)	3,209	77,339	
(雑誌 (誌数) ※4)	66	5,080	

※1 石造文化財調査カードの数え方の変更による減少

※2 環境教育行事パンフレット類の登録解除による減少

※3 河川地図などの登録解除による減少

※4 登録点数に含まない

1A.2 資料の収集

購入、寄贈、寄託、交換、館員による収集（採集等）のうち、本年度は以下の資料収集を行った。

収集方法	資料系	件数	点数
寄贈	動物資料	2	1,879
	貴重書	1	153
	歴史資料	1	347
	小計	4	2,379
寄託	歴史資料	5	105
仮保管	歴史資料	1	10
採集（館員による収集）	動物資料		5,023
	植物・菌類資料		12,699
	地学資料		835
	生態・環境資料		1,547
	小計		20,104
合計			22,598

■ 寄贈寄託資料

	種別	資料系	資料名	点数	寄贈者
1	寄贈	動物資料	石井正氏蝶類コレクション	925	個人
2	"	"	三井一郎貝類コレクション	954	個人
3	"	歴史資料	関家旧蔵和漢書及び医書	347	個人
4	"	貴重書	森啓蔵書	153	個人
5	寄託	歴史資料	銅唐草文釣燈籠ほか	3	(宗) 笠森寺
6	"	"	板絵馬著色武者絵（弁慶）ほか	2	縣神社
7	"	"	大絵馬（会津藩土遊泳）ほか	2	三柱神社
8	"	"	地引網絵馬（天保14年）ほか	5	玉前神社
9	"	"	伊能忠敬書簡ほか	93	九十九里町
10	仮保管	"	千葉寺経塚出土遺物	10	千葉県立千葉高等学校

1A.3 資料の借用

借用資料	展示室・展示名	件数	点数
常設展示資料	地学展示室	7	134
	生物展示室	1	33
	歴史展示室	22	819
	小計	30	986
企画展示資料	企画展「音の風景～うつりゆく自然と環境を未来に伝える～」	8	28
	地域連携展「世界の音を聴こう！」	1	1
	春の展示「水辺の記憶—写真家 林辰雄のまなざし—」	12	68
	トピックス展「千葉県のレア・アース鉱物」	1	7
	トピックス展「房総ゆかりの富士山」	2	7
	トピックス展「北川隆司鉱物コレクション展」	1	216
	特集展示「水郷を旅した人々」	2	16
小計	27	343	
調査研究資料	地学資料・歴史史料・民俗資料	4	1,935
合計		61	3,264

■常設展示資料の借用

①地学展示室

	資料系	資料名	点数	借用先
1	地学	サンゴ岩体化石	1	とみうら元気倶楽部
2	〃	ニホンジカ角化石	1	木更津市立中郷小学校
3	〃	馬蹄石	1	個人
4	〃	銚子産化石・岩石	105	個人
5	〃	ナウマンゾウ臼歯化石ほか	23	個人
6	〃	ナウマンゾウ臼歯化石	1	個人
7	〃	石筍ほか	2	個人

②生物展示室

	資料系	資料名	点数	借用先
1	動物	海岸漂着物	16	個人
2	植物	海岸漂着物	17	個人

③歴史展示室

	資料系	資料名	点数	借用先
1	歴史	中山新田 I 遺跡出土石器ほか	474	千葉県教育委員会
2	〃	鳥浜貝塚出土クルミほか	11	福井県立若狭歴史民俗資料館
3	〃	下ヶ戸宮前貝塚出土骨角製刺突具	7	我孫子市教育委員会
4	〃	姥山貝塚出土縄文土器	9	慶應義塾大学
5	〃	林跡遺跡出土木葉形尖頭器ほか	8	鎌ヶ谷市教育委員会
6	〃	城の腰遺跡出土石器ほか	105	千葉県立房総のむら指定管理者 (財)千葉県教育振興財団
7	〃	下向山遺跡出土土器ほか	4	袖ヶ浦市郷土博物館
8	〃	本名輪遺跡出土炭化米	一式	君津市教育委員会
9	〃	西広貝塚出土石剣ほか	17	市原市教育委員会
10	〃	三田遺跡出土赤彩土器ほか	8	芝山町教育委員会
11	〃	山田水呑遺跡出土墨書土器ほか	24	東金市教育委員会
12	〃	四留作第 1 号墳出土鋤先ほか	35	木更津市教育委員会
13	〃	新坂 1 号墳出土円頭大刀ほか	60	山武市教育委員会
14	〃	宮内井戸作遺跡出土深鉢	13	佐倉市教育委員会
15	〃	鉄帽ほか	18	印西市立印旛歴史民俗資料館
16	〃	有吉北貝塚貝層剥ぎ取り断面ほか	8	(公財)千葉県教育振興財団
17	〃	草木撰種録ほか	3	個人
18	〃	村明細帳・年貢割付状	2	個人

19	〃	地租改正の丈量器具	一式	富津市文化協会
20	〃	職工人夫心得ほか	4	個人
21	〃	内野第1遺跡出土土偶	2	千葉市教育委員会
22	〃	飯山満東遺跡出土浅鉢	5	国立歴史民俗博物館

■企画展示資料の借用

①特別展「音の風景～うつりゆく自然と環境を未来に伝える～」

	資料系	資料名	点数	借用先
1	写真	市川市丸浜養魚場	2	市川市映像文化センター
2	図書	源氏物語絵巻第三十八帖「鈴虫一」	1	千葉県立中央図書館
3	工芸品	雲雀籠	1	個人
4	〃	目白籠	1	〃
5	美術	石井柏亭「晩春行楽図」	1	千葉県立美術館
6	〃	石井柏亭「真間の入江」(下図)	1	〃
7	〃	川端龍子「松」	1	〃
8	〃	ヘレン・ハイド「東京の元旦」	1	〃
9	〃	鳥居清長 風流四季の月詣で 風待月	1	東京国立博物館資料館
10	〃	山口蓬春「山路」	1	山口蓬春記念館
11	〃	山口蓬春「土女遊楽図」	1	〃
12	〃	山口蓬春「初夏の頃(佐保村の夏)」	1	〃
13	音響	蝸管蓄音機	1	千葉市郷土博物館
14	〃	蝸管	3	〃
15	〃	蒲谷鶴彦氏肖像写真	1	KABAYA-Wildlife Sound Archive
16	〃	録音機材 M-4	1	〃
17	〃	録音機材 EM-1	1	〃
18	〃	録音機材 UHER	1	〃
19	〃	録音機材 STELLAVOX	1	〃
20	〃	録音機材 BETAMAX	1	〃
21	〃	録音機材 PCM	1	〃
22	〃	録音機材 BATTERY	2	〃
23	〃	超指向性マイク	1	〃
24	〃	集音器	1	〃

②地域連携展「世界の音を聴こう！」

	資料系	資料名	点数	借用先
1	音響	サウンドインсталレーションに係わるスピーカー等	一式	千葉市科学館

③春の展示「水辺の記憶－写真家 林辰雄のまなざし－」

	資料系	資料名	点数	借用先
1	動物	アオギス(デジタル画像)	1	個人
2	民俗資料	イケロウほか	4	印西市立印旛歴史民俗資料館
3	〃	行商籠	1	個人
4	〃	ドウコ	1	個人
5	〃	網船(焼き玉エンジン船)模型ほか	4	九十九里町教育委員会
6	〃	オオノミほか	4	館山市立博物館
7	〃	浮き樽	1	鴨川市郷土資料館
8	〃	飯岡メンパほか	2	旭市教育委員会
9	〃	ノリヒビ模型ほか	33	浦安市郷土博物館
10	〃	打瀬船模型ほか	4	千葉市立検見川小学校
11	〃	鑑札ほか	10	千葉市黒砂公民館
12	その他	カメラほか	3	個人

④トピックス展「千葉県のレア・アース鉱物」

	資料系	資料名	点数	借用先
1	地学	チェフキン石を含む緑色凝灰岩	2	国立科学博物館
2	〃	チェフキン石プレパラート標本	1	〃
3	〃	チェフキン石拡大写真	4	〃

⑤トピックス展「房総ゆかりの富士山」

	資料系	資料名	点数	借用先
1	歴史	歌川広重「富士三十六景 上総黒土の浦」	1	木更津市郷土博物館金のすず
2	〃	歌川広重「富士三十六景 房州保田海岸」	1	〃
3	〃	歌川広重「不二三十六景 上総木更津海上」	1	〃
4	〃	歌川広重「不二三十六景 上総天神山海岸」	1	〃
5	〃	葛飾北斎「富嶽三十六景 上総ノ海路」(複製)	1	〃
6	〃	歌川広重「富士三十六景 下総小金原」	1	千葉県立関宿城博物館
7	〃	小林清親「武蔵百景之内 下総鴻ノ台市川の遠景」	1	〃

④トピックス展「北川隆司鉱物コレクション展」

	資料系	資料名	点数	借用先
1	〃	鉱物・岩石標本	216	個人

⑥特集展示「水郷を旅した人々」

	資料系	資料名	点数	借用先
1	歴史	桂月全集 第2巻	1	千葉県立中央図書館
2	〃	若山牧水「海の声」	1	〃
3	〃	若山牧水全集 第6巻	1	〃
4	〃	若山牧水全集 第7巻	1	〃
5	〃	田山花袋「水郷めぐり」	1	〃
6	〃	花袋全集 第16巻	1	〃
7	〃	白秋全集 第5巻	1	〃
8	〃	白秋全集 第12巻	1	〃
9	〃	定本与謝野晶子全集 第2巻	1	〃
10	〃	定本与謝野晶子全集 第4巻	1	〃
11	〃	定本与謝野晶子全集 第6巻	1	〃
12	〃	徳富蘆花「青山白雲」	1	〃
13	〃	房総観光協会「文壇人の観たる房総」	1	〃
14	〃	蘆花全集 第3巻	1	〃
15	〃	通運丸模型	1	千葉県立関宿城博物館
16	〃	広重「富士三十六景 下総小金原」	1	〃

■調査研究資料等の借用

	資料系	資料名	点数	借用先
1	民俗資料	「上総掘り～伝統的井戸掘り理工法～」VHS	1	木更津市郷土博物館金のすず
2	歴史資料	人骨	1	茂原市教育委員会
3	〃	石毛嘉左衛門家文書	1525	個人
4	地学	山岳鳥瞰図	408	個人

1A.4 資料の利用

1A.4.1 利用件数 130件 181,620点

利用方法	件数	点数
館内閲覧	3	113
館内撮影	17	1,531
貸出	32	1,640
研究用貸出	25	316
デジタル情報の複製	43	177,965
デジタルミュージアム転載	2	2
その他	8	53

①館内閲覧

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	歴史	一般	浅間山古墳出土品	39	大阪府立近つ飛鳥博物館
2	"	一般	浅間山古墳出土品	67	個人
3	"	一般	新坂1号墳出土馬具	7	個人

②館内撮影

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	動物	一般	イノシシ剥製、キョン剥製	2	千葉テレビ
2	"	一般	千葉県産ニホンジカ頭骨	600	滋賀県立琵琶湖博物館
3	"	一般	魚類全身骨格標本（サンマ、フナ、コイ、アジ、クロマダロ、マダイ、カツオ）	7	(株)少年写真新聞社
4	"	一般	東京都島嶼部の希少陸産貝類6種	6	(株)地域環境計画
5	"	一般	スナメリ骨格標本	1	夢鯨工業部
6	"	一般	ヤママユガの標本	1	宮内庁
7	地学	一般	伊豆・小笠原海溝-相模トラフ周辺の海底地形	1	長野原町営浅間園浅間火山博物館
8	歴史	一般	地券	1	個人
9	"	一般	上総国分寺復元模型写真	1	個人
10	"	一般	上総国絵図ほか	2	茨城大学図書館
11	"	一般	大絵馬「会津藩士遊泳」	1	個人
12	"	一般	常陸国絵図ほか	7	個人
13	"	一般	利根川図志ほか	2	城西国際大学水田美術館
14	"	一般	境遺跡 縄文犬の骨	1	個人
15	貴重書	著作物	リンネ関係レンスコークコレクション（書簡他）	852	個人
16	貴重書	著作物	「ポーレットの菌類図譜」、「植物の新しい属」ほか	37	飛鳥新社
17	生態環境	著作物	故・林辰雄氏撮影写真のうち、印旛沼漁撈風景写真	9	(公財)千葉県教育振興財団 千葉県立房総のむら

③貸出

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	動物	一般	哺乳類骨格標本（ニホンジカ、タヌキ、ツキノワグマ、イノシシ、ニホンザル、ニホンリス、ニホンノウサギ）	17	浦安市立堀江中学校
2	"	一般	哺乳類骨格標本（ニホンジカ、タヌキ、ニホンザル、ニホンカモシカ、ニホンノウサギ、イノシシ、ツキノワグマ、ネコ、アカギツネ）	19	大網白里市立増穂中学校
3	"	一般	哺乳類骨格標本（ニホンジカ、タヌキ、ニホンザル）	14	千葉市立打瀬中学校
4	"	一般	哺乳類骨格標本（ニホンノウサギ、ネコ、ニホンジカ、タヌキ、アブラコウモリ）、哺乳類剥製（アブラコウモリ、タヌキ）	24	千葉市立星久喜中学校
5	"	一般	哺乳類骨格標本（ニホンザル、ニホンジカ、タヌキ、ニホンザル、ニホンノウサギ、イノシシ、アカギツネ）	22	千葉大学教育学部附属中学校
6	"	一般	キョン剥製	1	(株)フラジャイル
7	"	一般	淡水魚剥製	16	朝霞市博物館
8	"	一般	魚類標本（バケダラ）	1	国立科学博物館
9	"	一般	ニホンノウサギ骨格標本	2	習志野市立鷺沼小学校
10	"	一般	ムカシウナギ	1	ミュージアムパーク茨城県自然博物館
11	"	一般	ナミアゲハ、カブトムシ他	48	千葉市立北貝塚小学校

12	"	一般	昆虫標本作製キット 国語編	1	八千代市立大和田中学校
13	"	一般	昆虫標本、解説パネル、標本展示スタンド	437	八千代市立郷土博物館
14	"	一般	陸産貝類標本	50	滋賀県立琵琶湖博物館
15	"	一般	貝類標本	81	萩博物館
16	"	一般	貝類標本(ニホンミズシタダミ、オキナワヤマタニシ、オウミガイ、マルドブガイ、ミヤリイガイ、ヒロクチカノコガイ)	6	個人
17	"	一般	ナメクジ類スライド	11	個人
18	植物	一般	岐阜県産維管束植物標本	829	岐阜大学教育学部
19	"	一般	マクロキスチス・ピリフェラの乾燥標本2・液浸標本1、ネレオキスチス・レウツケアナの液浸標本1	4	群馬県立自然史博物館
20	地学	一般	生命と大地の歴史を体感する化石キット	1	勝浦市立興津中学校
21	"	一般	ネパールのアンモナイト、バレムナイト	4	(株)アズマックス
22	"	一般	哺乳類化石標本(ザトウクジラ類鼓室胞他)	10	群馬県立自然史博物館
23	"	一般	トロゴンテリゾウ下顎骨、アジアゾウ小白歯	2	読売新聞社
24	"	一般	生命と大地の歴史を体感する化石キット	7	佐倉市立佐倉中学校
25	"	一般	生命と大地の歴史を体感する化石キット	6	酒々井町立酒々井中学校
26	"	一般	生命と大地の歴史を体感する化石キット	8	千葉市立幕張西中学校
27	歴史	一般	「菱川師宣「江戸風俗図屏風」(デジタル複製)	1	特定非営利活動法人京都文化協会
28	"	一般	「菱川師宣「江戸風俗図屏風」(デジタル複製)	1	特定非営利活動法人京都文化協会
29	"	一般	木更津市菅生遺跡出土木製鋤(複製品)	1	八千代市立郷土資料館
30	"	著作物	御物本更級日記(復刻本)ほか	2	八千代市立大和田西小学校
31	貴重書	著作物	バンクス植物図譜	10	(公財)千葉県文化振興財団
32	"	著作物	植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画の画像 No.49「四季花くらべ内 秋」、No.78「初日の出」	2	瀬戸蔵ミュージアム
33	生態環境	一般	上総掘り模型(旧貸出用水学習キット)、同模型説明パネル・ラベル	3	千葉県立中央図書館

④研究用貸出

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	動物		魚類	35	国立科学博物館
2	"		昆虫	10	個人
3	"		昆虫	12	個人
4	"		昆虫	11	個人
5	"		昆虫	15	個人
6	"		昆虫	10	個人
7	"		昆虫	16	個人
8	"		甲殻類	26	Seoul National University
9	"		甲殻類	6	Seoul National University
10	"		甲殻類	6	University of Sao Paulo
11	"		甲殻類	1	個人
12	"		軟体動物	3	熊本大学
13	"		軟体動物	5	熊本大学
14	"		軟体動物	51	熊本大学
15	"		軟体動物	4	個人
16	"		多毛類	1	Naturmuseum Senckenberg
17	植物		維管束植物	58	岐阜大学
18	"		蘚苔類	8	広島大学
19	菌類		地衣類	10	秋田大学
20	"		地衣類	2	秋田大学
21	地学		脊椎動物化石	3	高知大学
22	"		脊椎動物化石	11	早稲田大学
23	"		脊椎動物化石	2	滋賀県立琵琶湖博物館
24	"		脊椎動物化石	3	滋賀県立琵琶湖博物館
25	"		軟体動物化石	7	国立科学博物館

⑤デジタル情報の複製

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	動物	著作物	クリタマバチ標本写真	2	企画室トリトン
2	動物・植物	一般	標本データ	177,680	千葉県環境生活部自然保護課

3	"	著作物	陸前高田市立博物館被災標本の修復に関する写真	8	八千代市立郷土博物館
4	地学	著作物	トロゴソテリゾウ下顎骨画像、アジアゾウ小臼歯画像	2	読売新聞
5	"	著作物	トロゴソテリゾウ下顎骨画像、アジアゾウ小臼歯画像	2	読売新聞
6	"	著作物	ノウマンゾウ復元骨格写真	1	(株) ベネッセコーポレーション
7	"	著作物	ノウマンゾウ復元骨格写真	1	(株) ベネッセコーポレーション
8	"	著作物	小櫃川河口三角州 航空斜め写真	1	(株) 民衆社
9	歴史	一般	「日本博覧図千葉県之部初編」の内「海水浴場加納屋支店海気館」	1	「スーモ新築マンション」編集部
10	"	一般	上総国分寺復元模型写真	1	(有) オフィス・イデオム
11	"	一般	真忠組一件絵巻 新開徒党の図	1	東金市教育委員会
12	"	一般	「日本博覧図千葉県之部初編」の内「海水浴場加納屋支店海気館」	1	(株) 新生・エージェンシー
13	"	一般	浅間山古墳出土品ほか	8	佐倉市
14	"	一般	浅間山古墳出土品ほか	51	大阪府立近つ飛鳥博物館
15	"	一般	「干鯛」写真	1	(株) ユニフォトプレスインターナショナル
16	"	一般	「ズ粕」写真	1	(株) ユニフォトプレスインターナショナル
17	"	一般	干鯛写真ほか	2	(公財) 常陽藝文センター
18		著作物	職人尺絵貼りませ屏風(錫師)の画像	1	(株) ハッシン
19	"	一般	干鯛(復元)ほか	3	館山市立博物館
20	"	一般	大絵馬「会津藩士遊泳」	1	個人
21	"	一般	浅間山古墳出土品ほか	3	(株) KADOKAWA 中経出版
22	"	一般	イラスト「鍛冶工房の様子」	1	鎌ヶ谷市郷土資料館
23	"	一般	職人尺絵貼りませ屏風(蒔絵師部分)	1	IVS テレビ
24	"	一般	「成田香取鹿島息栖細見絵図」、「総州真景図彙」の中の「香取神宮」	2	(株) G.B
25	貴重書	著作物	カーチス植物学雑誌の画像 (No. 4, 86, 88, 91, 123, 762, 1390)	7	個人
26	"	著作物	菌類貴重書「イタリア産普通種食用きのこ、および間違えやすい毒キノコ図譜」の中の「アマギサタケ」の図	1	(一財) 日本きのこマイスター協会
27	"	著作物	菌類貴重書「イタリア産普通種食用きのこ、および間違えやすい毒キノコ図譜」の中の「ヒラタケ」の図、「ポーレットの菌類図譜」の中の「エリンギ」の図	2	(一財) 日本きのこマイスター協会
28	"	著作物	菌類貴重書「ポーレットの菌類図譜」	20	PIE International
29	"	著作物	菌類貴重書「怡顔齋菌品」の「ハツタケなど」の図ほか	4	(株) 朝倉書店
30	"	著作物	菌類貴重書バイエルン/バラティネート・レーゲンスブルク地方の菌類原色彩色図譜「アンズタケ」の図、フランス植物誌「ナガエノスギタケ」の図	2	(一財) 日本きのこマイスター協会
31	"	著作物	植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画の画像 No.49 「四季花くらべ内 秋」	1	(株) アチュー・ワークス
32	"	著作物	植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画の画像 No.57 「江戸名勝図會 染井」	1	(株) アッシュ
33	"	著作物	植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画の画像 No.78 「初日の出」	1	(株) 紫紅社
34	"	著作物	植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画の画像「江戸名所図會」「風俗東之錦 植木福寿草売り」	2	(株) アッシュ
35	"	著作物	二口善雄植物画集より『ばら花譜』原画 31「日光」	1	(NPO) バラ文化研究所
36	生態環境	著作物	故・林辰雄氏撮影写真のうち、印旛沼を撮影した写真	1	千葉県総合企画部報道広報課
37	"	著作物	故・林辰雄氏撮影写真のうち、印旛沼周辺の写真	6	(株) NEXTEP
38	"	著作物	故・林辰雄氏撮影写真のうち、佐倉の祭礼に関する写真	63	佐倉山車人形保存会
39	"	著作物	故・林辰雄氏撮影写真のうち、成田山新勝寺に関する写真	5	編集プロダクション コギト
40	"	著作物	故・林辰雄氏撮影写真のうち、市原市に関する写真	8	(株) いき出版
41	"	著作物	「エンマコオロギ(本鳴き)」「エンマコオロギ(誘い鳴き)」ほか	7	NHK エデュケーショナル
42	"	著作物	音声ファイル: コオロギの仲間、セミの仲間、カエルの仲間	54	(株) ベネッセコーポレーション
43	"	著作物	千葉県大巖寺(昔)録音、ほか	3	NHK ラジオセンター

⑥ デジタルミュージアム転載

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	歴史	著作物	デジタルミュージアム「日本博覧図」所収 海水浴場加納屋支店海気館	1	(公財) 千葉市みどりの会
2	生態環境	著作物	デジタルミュージアム「故・林辰雄氏撮影写真集」所収 『千葉(黒砂付近) - 貝をとる -』写真番号 tibk011	1	埼玉県環境科学国際センター

⑦その他 (印刷物からの転載など)

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	動物	一般	哺乳類骨格標本 (ニホンジカ、キョン)	40	帝京科学大学生命環境学部
2	生態環境	著作物	故・林辰雄氏撮影写真のうち、中央博デジタルミュージアム「故・林辰雄氏撮影写真集 千葉 (黒砂付近) 一具をとる」での写真番号 tibk011	1	埼玉県環境科学国際センター
3	貴重書	著作物	植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画の画像 No.57 「江戸名勝図會 染井」	1	(株) NHK エデュケーショナル
4	"	著作物	二口善雄植物画集より「ばら花譜」原画 31 「日光」	1	神代植物公園サービスセンター
5	"	著作物	二口善雄植物画集より「ばら花譜」原画 31 「日光」	1	"
6	"	著作物	キャプテン・クック 世界一周航海記	5	(株) 東急文化村
7	歴史	一般	成田香取鹿島息栖細見絵図	1	個人
8	"	一般	成田香取鹿島息栖細見絵図	1	千葉県立房総のむら

1A.4.2 S-net・GBIF への標本データの提供※

資料系	分野	年間提供点数
動物資料	哺乳類	
	魚類	100
	昆虫	4,000
	甲殻類	
	カブトガニ・ウミグモ・多足類	
	クモ類	
	軟体動物	
	小計	4,100
植物・菌類資料	維管束植物	4,000
	蘚苔類	500
	藻類	
	地衣類	
	担子菌類	
	微小菌類	
	変形菌類	
	小計	4,500
合計		8,600

※ S-net = 国立科学博物館サイエンスミュージアムネット、GBIF = Global Biodiversity Information Facility

1A.4.3 図書の利用 1,080 冊

利用方法	冊数
職員貸出 (館職員)	1,056 冊
書庫図書の閲覧 (来館者)	11 件 24 冊
図書コピー (来館者)	73 件 526 枚

1A.5 資料の保存・管理

1A.5.1 IPM（総合的有害生物防除）・燻蒸の実施

収蔵環境の調査・保全、および資料の燻蒸を行った。

実施項目	内容
環境調査	生物生息調査（トラップ調査） 1回 ・粘着トラップ（176個）を設置し、捕獲した生物の同定・個体数を集計し、資料に影響を及ぼす生物を発見した場合は、発生源を特定し排除した。 ・調査区域：収蔵庫・展示室・1階（講堂・研修室・学習情報センター等）
	温湿度測定 常時 ・自記温湿度計（設置場所：各収蔵庫・歴史展示室）
収蔵庫清掃	定期清掃 各収蔵庫2回実施
燻蒸・殺虫・殺菌	燻蒸釜の運転（殺虫・殺菌） 13回 ・使用薬剤：酸化エチレン（商品名：エキヒュームS）
	低温処理（冷凍庫）による殺虫 ・1回実施
	高温処理（乾燥機）による殺虫 ・常時運転
施設・設備の改善	特になし

1A.5.2 資料の修理

■図書資料の館内修理 11冊

配架場所	内訳
開架（閲覧コーナー・体験学習室）	5
書庫	6

1B 資料収集・整理保存 <大利根分館>

1B.1 資料の登録点数

平成 26 年 3 月末現在

分野		年間登録点数	総登録点数	情報システム登録点数
全資料合計 ()内は 24 年度末数値		1 (57)	4,746 (4,745)	2,048 (2,048)
地学資料	古生物	0	1	1
動物資料	動物資料 (鳥類)	0	262	262
歴史・民俗資料	民俗資料	0	569	569
	埋蔵文化財	0	253	253
その他	絵葉書	0	258	258
	古文書	1	706	705
小計		1	2,049	2,048
図書資料	図書 (冊数)	0	1,293	0
	雑誌 (冊数)	0	1,404	0
	雑誌 (誌数)	0	316	0

1B.2 資料の収集

収集方法	資料系	件数	点数
寄贈	古文書・民俗資料	1	1
寄託	古文書	13	5,112
	民俗資料	1	73
	地学資料	1	2
	小計	15	5,187

■ 寄贈・寄託資料

	種別	資料系	資料名	点数	申込者
1	寄贈	古文書・民俗資料	古文書・造船関係用具他	1	個人
1	寄託	古文書	柴田家蔵書	119	個人
2	"	"	寺田家文学資料	448	個人
3	"	"	鈴木家文書	167	個人
4	"	"	船板図	20	個人
5	"	"	山来家文書	2,127	個人
6	"	"	十六島図	1	香北土地改良区
7	"	"	神崎神社文書	91	神崎神社
8	"	"	三区用水関係文書	20	三区
9	"	"	下小野区有文書	5	下小野区
10	"	"	神宮寺文書	540	神宮寺
11	"	"	寺内区有文書	15	寺内区
12	"	"	鵜崎区有文書	34	鵜崎区
13	"	民俗資料	船大工道具・船模型	73	九十九里町
14	"	地学資料	ナウマンゾウ・クジラの化石	2	成田市教育委員会

1B.3 資料の借用

借用資料	資料系	件数	点数
常設展示資料	古文書	1	8
	民俗資料	3	4
	美術資料	1	1
	埋蔵文化財	3	133
	地学資料	1	3
	小計	9	149
企画展示資料	利根川と文学	3	20
	深海のいきものたち	1	12
	小計	4	32
合計		13	181

■借用資料 (常設展示)

	資料系	資料名	点数	借用先
1	古文書	黒田家文書	8	個人
2	民俗資料	板碑	2	惣持院
3	"	板碑	1	個人
4	美術資料	木造阿弥陀如来坐像	1	西福寺
5	埋蔵文化財	丸木舟	1	匝瑳市教育委員会
6	"	阿玉台北遺跡出土土器・炭化米・石製浮子・石錘・土器片錘	17	千葉県立房総のむら
7	"	馬場遺跡・東野遺跡・多田遺跡・鵜崎貝塚・取香和田戸遺跡出土遺物	74	千葉県教育委員会
8	"	城山第5号前方後円墳出土人物埴輪・大六天遺跡・織幡ササノ倉遺跡出土土器・プロペラ・河童図	42	香取市教育委員会
9	地学資料	翼竜復元模型	3	航空科学博物館

■借用資料 (企画展示)

①企画展「利根川と文学」

	資料系	資料名	点数	借用先
1	民俗資料	寺田憲愛用机	1	個人
2	金工品	しきょうゆう	1	"
3	古文書	寺田憲記念碑・碑文軸装	1	"
4	書籍	歌集利根川	1	個人
5	古文書	寺田憲書簡(10916)	1	山武市歴史民俗資料館
6	古文書	茶室唯真閣扁額	1	"
7	古写真	左千夫・憲写真(S1066)	1	"
8	民俗資料	伊藤左千夫愛用机	1	"
9	"	伊藤左千夫愛用陶製文鎮	2	"
10	"	伊藤左千夫愛用木製文鎮	1	"
11	"	伊藤左千夫愛用硯	1	"
12	"	伊藤左千夫使用そろばん	1	"
13	"	伊藤左千夫愛用筆	4	"
14	"	伊藤左千夫愛用ペン立て	1	"
15	"	伊藤左千夫使用机下敷き	1	"
16	"	伊藤左千夫愛用陶製落款	1	"

②収蔵資料展「深海のいきものたち」

	資料系	資料名	点数	借用先
1		深海生物画像	12	(独) 海洋研究開発機構

1B.4 資料の利用

利用方法	件数	点数
閲覧	1	5
館内撮影	2	8
貸出	5	13
デジタル情報の利用	3	22
合計	11	48

■ 閲覧

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	古文書	一般	下小野区有文書	5	房総史料調査会

■ 貸出

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	民俗資料	一般	十六島洪水模型	1	八千代市郷土博物館
2	〃	一般	印旛沼の漁具	8	千葉県立房総のむら
3	〃	一般	土摺臼	1	神栖市歴史民俗資料館
4	〃	一般	土摺臼	1	稲敷市歴史民俗資料館
5	埋蔵文化財	一般	石枕	2	芝山町教育委員会

■ 館内撮影

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	古文書	一般	奈良屋関係の資料	1	個人
2	〃	一般	青柳家文書	7	個人

■ デジタル情報の利用

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	民俗資料	一般	民俗資料 (むかしの道具)	9	家の光協会
2	〃	一般	民俗資料 (むかしの道具)	8	地人館
3	歴史	一般	赤羽刀	5	宮帯出版

1B.5 資料の保存・管理

実施項目	内容
燻蒸・殺虫・殺菌	塵除菌処理 1回 ・収蔵庫内でカビの発生の認められた資料の除塵除菌及び床・棚の除塵を行った

1C 資料収集・整理保存 <大多喜城分館>

資料の収集・整理・利用提供・保存管理を行った。

1C.1 資料の登録点数

平成 26 年 3 月末現在

分野		年間登録点数	総登録点数	情報システム登録点数
全資料合計 ()内は 24 年度末数値		-12 (101)	3,500 (3,512)	1,025(1,025)
歴史・民俗資料	歴史 ※1	-11	729 (740)	664
	生活	0	385	0
	芸術	0	1	0
	宗教	0	54	0
	文学	0	18	0
	古文書 ※2	-1	296 (297)	361
	考古	0	9	0
	その他 ※1	0	424	0
	小計	-12	1,916	1,025
図書資料	図書 (冊数)	0	833	
	雑誌 (冊数)	0	751	
	雑誌 (誌数) ※3	0	232	

※1 寄贈資料 1 点受入、受託資料 12 点返却による減。

※2 受託資料 1 点を返却したことによる減。

※3 登録点数合計には含まない。

1C.2 資料の収集

収集方法	資料系	件数	点数
寄贈	歴史	1	1
寄託	歴史・古文書・宗教・生活	66	809

■ 寄贈

	資料系	資料名	点数	寄贈者
1	歴史	井上家系図	1	個人

■ 寄託

	資料系	資料名	点数	寄贈者
1	歴史、古文書	遠山景元肖像画	2	個人
2	歴史	刀剣ほか	3	個人
3	歴史、生活	陶磁器ほか	6	個人
4	歴史	絵馬、刀剣	3	個人
5	古文書	古文書	3	個人
6	古文書、生活	古文書	20	個人
7	歴史	刀剣	2	個人
8	古文書、歴史	古文書、三つ扇紋鬼瓦	3	個人
9	歴史	三つ葉葵紋軒瓦	1	個人
10	宗教	白磁製マリア観音像	1	個人
11	歴史	四季豊年図	1	個人
12	歴史	刀剣	1	個人
13	古文書	古文書	7	個人
14	歴史、古文書	刀剣、津軽照子書簡	9	個人
15	歴史	陣笠	1	個人
16	宗教	熊野観心十界図	1	個人
17	歴史	短刀	1	個人
18	宗教	木造薬師如来坐像ほか	2	個人
19	歴史	甲冑ほか	5	個人
20	歴史、生活	万祝ほか	34	九十九里町
21	歴史、古文書	刀剣、樋口一葉書簡ほか	14	個人
22	歴史、生活	刀剣、袴ほか	23	個人
23	歴史	刀剣	1	個人
24	歴史、生活	葉簞笥、はかりほか	8	個人
25	歴史	勝海舟扁額	1	上瀑小学校
26	歴史	大河内正質寄贈掛時計	1	大多喜小学校

27	歴史	甲冑、打掛	2	個人
28	古文書	古文書ほか	10	個人
29	歴史	刀筒ほか	5	個人
30	歴史	甲冑ほか	2	個人
31	歴史、宗教	勝浦市東光寺旧蔵資料	48	個人
32	歴史、宗教	松平家紋所付御膳ほか	20	個人
33	歴史、古文書	蒋介石扁額船方往来	2	個人
34	歴史	刀剣	2	個人
35	歴史	刀剣	10	個人
36	宗教	日妙曼荼羅	1	個人
37	歴史	具足	1	個人
38	歴史、宗教	仏像ほか	5	個人
39	歴史	松平正和書	1	個人
40	歴史	袴	2	個人
41	歴史、古文書	刀剣、古文書	12	個人
42	宗教	仏像ほか	9	個人
43	歴史	刀剣	2	個人
44	古文書、歴史	古書籍	2	個人
45	古文書、歴史	古文書ほか	20	個人
46	古文書	古文書ほか	2	個人
47	歴史	槍ほか	2	個人
48	歴史	刀剣	2	個人
49	古文書、歴史	古文書ほか	6	個人
50	歴史	刀剣	1	個人
51	宗教	百万遍講中道具ほか	2	個人
52	歴史、古文書	甲冑、刀剣、鏡ほか	38	個人
53	歴史	刀剣	1	個人
54	考古	中瀧城跡出土遺物	1	立教大学考古学研究会
55	歴史	奉納額ほか	3	個人
56	古文書	古文書	91	個人
57	古文書	古文書(区有文書、一括)	1	個人
58	歴史	額	1	個人
59	歴史	刀剣	3	個人
60	歴史、宗教	長持、小袖ほか	4	個人
61	歴史、古文書	刀剣、絵図ほか	13	個人
62	古文書、歴史	古文書ほか	4	個人
63	歴史	甲冑ほか	5	個人
64	歴史、古文書	大多喜町資料	316	大多喜町
65	歴史	吳道子像	1	個人
66	歴史	刀、脇差	2	個人

1C.3 資料の借用

借用資料	資料系・展示名	件数	点数
常設展示資料・調査研究資料	歴史・古文書・宗教・生活	16	62
企画展示資料	企画展「上総の仏教美術Ⅱ ～長生・山武～」	20	41
特別公開資料	久能山東照宮「家康公の時計」特別公開	1	1
合計		37	104

■借用（常設展示・調査研究）

	資料系	資料名	点数	借用先
1	歴史、生活	笈箒筥、鷲図	2	個人
2	歴史、古文書	紙本着色本多忠勝像ほか	3	個人
3	歴史、生活	屏風、乱箱ほか	6	個人
4	歴史	キリシタン禁制ほか	2	個人
5	歴史	甲冑	1	個人
6	歴史	甲冑、太刀、袖搦	3	個人
7	古文書	新田掟書	2	個人
8	宗教	鰐口	1	個人
9	歴史	火縄銃、兜	2	個人
10	古文書、生活	鉄砲改帳、髪飾一式ほか	3	個人
11	歴史	甲冑	1	個人
12	歴史、古文書	甲冑、刀剣ほか	19	個人
13	歴史、古文書、宗教	茶湯器、武田系譜、袈裟ほか	10	個人
14	歴史	火縄銃ほか	2	個人
15	生活	鍛冶治道具	1	個人
16	歴史	大多喜水道水路大絵図ほか	4	個人

■借用（企画展示）

①企画展「上総の仏教美術Ⅱ ～長生・山武～」

	資料系	資料名	点数	借用先
1	宗教	絹本着色童子経曼荼羅図	1	勝覚寺
2	〃	木造阿難・迦葉立像	2	〃
3	〃	絹本着色真言八祖像のうち竜猛像	1	日輪寺
4	〃	絹本着色真言八祖像のうち竜智像	1	〃
5	〃	日輪寺密教法具	3	〃
6	〃	絹本着色日親上人像(複製)	1	妙宣寺(原品:本法寺(京都市))
7	〃	絹本着色伝教大師像	1	光明寺
8	〃	紙本着色亮運大僧正像	1	〃
9	〃	釈迦三尊図(紙本着色釈迦三尊像)	3	蓮福寺
10	〃	御涅槃画像(紙本着色釈迦涅槃図)	2	〃
11	考古	古代瓦(真行寺廃寺出土)	1	山武市教育委員会
12	〃	墨書土器(真行寺廃寺出土)	2	〃
13	宗教	銅造菩薩立像	1	芝山町教育委員会(芝山町立芝山古墳・はにわ博物館)
14	〃	銅造准胝観音立像	1	長柄町力丸自治会
15	〃	銅造善光寺式阿弥陀如来三尊像	3	金剛勝寺
16	〃	木造十一面観音菩薩立像	1	月蔵寺
17	〃	木造十一面観音菩薩立像	1	観明寺
18	〃	木造不動明王坐像(大永七年在銘)	1	〃
19	〃	木造阿弥陀如来坐像	1	長福寿寺
20	〃	鑄銅唐草文釣燈籠	1	笠森寺
21	〃	鑄銅孔雀文磬(応永三十三年在銘)	1	〃
22	〃	鑄銅鰐口(応永三十四年在銘)	1	〃
23	〃	銅造妙見菩薩懸仏(複製・正安元年在銘)	1	千葉市郷土博物館
24	〃	銅造懸仏(1面 永仁二年在銘)	2	五所神社
25	〃	銅造山王七尊懸仏(延文三年在銘)	1	山武市真行寺区
26	〃	銅造山王二十一社御正体	1	日吉神社
27	〃	銅造宝塔棟札(嘉吉二年在銘)	1	観音教寺
28	〃	正親町三条大納言添状	1	鷲山寺
29	〃	赤色大納言服	1	〃
30	〃	五条袈裟	1	〃
31	〃	七条袈裟	2	宝金剛寺

②久能山東照宮「家康公の時計」特別公開

	資料系	資料名	点数	借用先
1	宗教	袈裟	1	本漸寺

1C.4 資料の利用

利用方法	資料系	件数	点数
閲覧・館内撮影	古文書	5	9
貸出	歴史・生活	4	7
デジタル情報の利用	歴史・古文書・生活	39	69
合計		48	85

■ 閲覧・館内撮影

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	古文書	一般	天海僧正書状	1	個人
2	歴史	一般	長持ほか4点	4	太田会—会長—
3	〃	一般	勝海舟扁額「横山巒」	1	大多喜町立上瀑小学校
4	〃	一般	本多忠勝画像、源平合戦図屏風	2	練馬区立美術館
5	〃	一般	大多喜城と城下町模型	1	大多喜町産業振興課

■ 貸出

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	歴史	一般	洋式銃（エンフィールド銃）ほか	3	木更津市郷土博物館金のすず
2	〃	一般	房総志料	1	いすみ市郷土資料館
3	〃	一般	須恵器（甕演示用具）、鉄製灯籠	2	〃
4	〃	一般	日本刀	1	現代産業科学館

■ デジタル情報の複製

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	古文書	一般	旧森家弓術関係資料	1	個人
2	〃	一般	旧森家弓術関係資料、森久家資料	5	個人
3	〃	一般	旧森家弓術関係資料、森久家資料	4	個人
4	〃	一般	旧森家弓術関係資料ほか	7	個人
〃	〃	一般	筒井忠重への知行宛行状	1	寒川文書館
5	歴史	一般	兎形変兜	1	(株)新潮社出版部 とんぼの本編集室
6	〃	一般	兎形変兜	1	(株)メディアプルボ
7	〃	一般	兎形変兜	1	(株)アクロバットフィルム
8	〃	一般	兎形変兜	1	(株)東阪企画
〃	〃	一般	兎形変兜	1	(株)双葉社
9	〃	一般	御貸具足	1	オフィスワイズメイツ合同会社
10	〃	一般	十手	1	社会福祉法人 日本ライトハウス情報センター
11	〃	一般	遠山金四郎景元画像	1	NHK
12	〃	一般	遠山金四郎景元画像	1	(株)スリーシーズン
13	〃	一般	遠山金四郎景元画像	1	(株)クレッシェント—国府田響
14	〃	一般	遠山金四郎景元画像	1	(株)アッシュ
15	〃	一般	遠山金四郎景元画像	1	(株)虎屋
16	〃	一般	遠山金四郎景元画像	1	(株)ネクサス
17	〃	一般	遠山金四郎景元画像	1	(株)ネクサス
〃	〃	一般	遠山金四郎景元画像	1	(株)ネクサス
18	〃	一般	遠山金四郎景元画像、本多忠勝画像	2	(株)オフィスバンズ
19	〃	一般	徳川十六将図ほか	10	大多喜町教育委員会
20	〃	一般	本多忠勝画像	1	(株)メディアアクセス
21	〃	一般	本多忠勝画像	1	(株)芳林社
22	〃	一般	本多忠勝画像	1	(株)コミュニティネット
23	〃	一般	本多忠勝画像	1	中日本製作所
24	〃	一般	本多忠勝画像	1	(株)ネクサス
25	〃	一般	本多忠勝画像	1	(株)KADOKAWA
26	〃	一般	本多忠勝画像	1	(株)コミュニティネット
27	〃	一般	本多忠勝画像	1	(株)ユーコム
28	〃	一般	本多忠勝画像	1	練馬区立美術館
29	〃	一般	本多忠勝画像	1	(株)メディアアクセス
30	〃	一般	本多忠勝画像・遠山金四郎景元画像	1	(株)西東社
31	〃	一般	本多忠勝画像	1	(株)コミュニティネット
32	〃	一般	本多忠勝画像	1	(株)フラジャイル
33	〃	一般	本多忠勝画像ほか	6	NHK 大河ドラマ誘致実行委員会—和泉貞夫
〃	〃	一般	本多忠勝画像	一般	サンケイリビング新聞社
34	〃	一般	洋式銃（エンフィールド銃）ほか	3	木更津市郷土博物館金のすず
35	〃	一般	紺糸威二枚胴具足	1	(株)G B 編集部

1D 資料収集・整理保存 <分館海の博物館>

資料の登録、収集、借用、整理、利用提供、保存管理を行った。

1D.1 資料の登録点数

平成26年3月末現在

分野		年間登録点数	総登録点数	情報システム登録点数
全資料合計 () 内は24年度末数値		850 (166)	59,872 (59,022)	5,781 (5,781)
動物資料	海綿	0	299	0
	刺胞	618	6,551	845
	環形	5	2,078	618
	貝類	13	8,970	112
	頭足類	1	246	108
	甲殻類	25	2,578	706
	棘皮	0	1,562	179
	その他	1	387	20
	魚類	77	14,574	2,234
植物資料	種子植物	0	72	23
	藻類	110	7,042	936
画像資料	写真	0	12,215	0
	動画	0	1,416	0
図書資料	図書・雑誌等	0	1,882	0

1D.2 資料の収集

収集方法	資料系	点数
館員による収集 (採集)	動物資料	740
	植物資料	110
	図書資料	0
	合計	850

1D.3 資料の借用

区分	展示名	件数	点数
企画展示	マリンサイエンスギャラリー「海藻いろいろー千葉県豊かな海からー」	11	139

■企画展示

マリンサイエンスギャラリー「海藻いろいろー千葉県豊かな海からー」

	資料系	資料名	点数	借用先
1	標本	コンブ類樹脂含浸標本	2	千葉県立中央博物館
2	〃	ハバノリ樹脂包埋標本	1	〃
3	〃	海藻おしぼ作品	120	有限会社海藻デザイン研究所
4	画像	北海道磯焼け写真	1	個人
5	〃	千葉県磯焼け写真	2	個人
6	〃	アマモの花の写真	1	個人
7	〃	アナアオサの標本写真	1	個人
8	〃	海藻の神事利用に関する写真	3	個人
9	〃	ノリ養殖に関する写真	2	個人
10	〃	静岡県磯焼け写真	1	静岡県立水産技術研究所伊豆分場
11	〃	博物館建物・イベント写真	3	大森 海苔のふるさと館
12	〃	博物館建物・イベント写真	2	浦安市郷土博物館

1D.4 資料の利用

収集方法	資料系	件数	点数
研究用貸出	動物	5	23
デジタル情報の利用	植物・動物	8	51
合計		17	74

■ 研究用貸出

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	動物	一般	不明種標本（海綿動物門）	1	個人
2	〃	一般	<i>Octocoralia</i> sp. 標本（刺胞動物門、有櫛動物門）	2	個人
3	〃	一般	未同定種標本（刺胞動物門、有櫛動物門）	1	個人
4	〃	一般	<i>Melanochlamys ezoensis</i> 標本（軟体動物門貝類）	2	個人
5	〃	一般	<i>Eniampercis</i> sp. 標本（脊索動物門魚類（円口類を含む））	17	個人

■ デジタル情報の利用

	資料系	区分	資料名	点数	利用者
1	動物	著作物	クロイソカイメン等の海洋動物写真	13	勝浦若潮高校
2	〃	著作物	ウノアシの写真	1	制作一部
3	〃	著作物	十脚甲殻類標本写真	23	編集プロダクション嶋田工房
4	〃	著作物	トウキョウサンショウウオ成体、卵嚢写真	1	ジャパンインターナショナル総合研究所
5	〃	著作物	ミヤコタナゴ生体写真	1	いすみ市
6	〃	著作物	イッカク雄の全身骨格標本写真	2	ネクサス
7	植物	著作物	アマノリ等標本写真	9	料理王国編集室
8	〃	著作物	オオノアナメ生体写真	1	いすみ市

2 調査研究

調査研究、研究成果の公表・周知、研究交流等を行った。

2.1 調査研究の実施

2.1.1 館企画の研究 95件

	種別	研究課題	件数
本館 大利根分館 大多喜城分館	重点研究	房総丘陵の自然－過去、現在、未来－	3
	地域研究	地球誌系：1 房総の大地から探る地球の歴史 2 房総半島南部の大地の動きをさぐる 3 房総丘陵の地誌・地形・地質と生物と人のくらしの関連性	8
		生命誌系 1：房総の分類学的多様性の特徴とその保全	14
		生命誌系 2：房総の生態学的多様性の特徴とその保全	10
		人類誌系：房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究	9
		博物館誌系：博物館とその社会的役割に関する研究	3
	普遍研究	地球誌系：地形地質学的多様性に関する基礎研究	10
		生命誌系 1：分類学的多様性に関する基礎的研究	9
		生命誌系 2：生態学的多様性の維持機構に関する基礎的研究	10
		人類誌系：景観史という新領域の創出	4
		博物館誌系：博物館の歴史および機能の充実・発展に関する基礎的研究	3
小計			84
分館海の博物館	房総半島の海洋生物相とその特徴：房総半島沿岸の魚類相と繁殖 ：房総半島の海産無脊椎動物相 ：房総半島沿岸の海藻相	3	
	専門研究	9	
	小計		

■研究課題および成果

<本館・大利根分館・大多喜城分館>

1 重点研究課題

	担当者	研究のテーマ、目的・内容および本年度の成果
1	大野啓一 天野 誠 齋木健一 御巫由紀 尾崎煙雄 古木達郎 原田 浩 友田暁子 共同研究員 市民研究員	<p>【テーマ】房総丘陵の自然－過去、現在、未来－：植物学</p> <p>【内容】房総丘陵の森林には、関東周辺の山地と比べ、ヒメコマツやカツラなど温帯性の維管束植物が低標高地に分布する。北総にも分布する温帯性の種との対比や、その生育立地や生態の研究も行って、維管束植物の多様性を解明する。また、この森林には、多くの蘚苔類、地衣類、菌類が共生している。これらの生物群に関する研究も行って、房総丘陵の植物学的多様性を総合的に解明する。さらに、房総丘陵の植物学的多様性を県民に周知するためのツールを開発する。</p> <p>【成果】維管束植物相については、東京大学千葉演習林については24年度に本調査を終了し、25年度には補足調査を行った。また、銚子市の三次メッシュ3メッシュについて現地調査を行い、銚子市域ほぼ全域の調査を終了した。蘚苔類相については、東京大学千葉演習林に保管されている清澄山産の標本を検討し、これまで県内では九十九里平野にのみ知られていたフロウソウを確認した。また、これまでに清澄山において採集した標本の確認を行った。地衣類相については、東京大学千葉演習林内で調査を実施し、約800点の標本を採取した。国内での記録が極めて少ないウメノキゴケ科の一種 <i>Hypotrachyna adducta</i> について形態と化学成分を詳細に調べた（論文準備中）。東京大学千葉演習林に保管されている清澄山産の標本を検討し、これまで県内から記録がなかった2種等を確認した（論文投稿中）。</p>
2	宮野伸也 斉藤明子 尾崎煙雄 市民研究員	<p>【テーマ】房総丘陵の自然－過去、現在、未来－：動物学</p> <p>【内容】清澄山系は、動物相から見ても、多様性の高い地域である。特に昆虫は、この地域でのみ記録されている種も多い。房総丘陵内の他の山系との比較も行い、清澄山系の昆虫相の特異性を明らかにする。</p> <p>【成果】25年度には合計23回、延べ39日間の調査を実施した。採集した標本の一部を精査し、論文6編を発表した。また、『しいむじな』に記事を掲載し、重点研究について紹介した。</p>
3	高橋直樹 八木令子 伊左治鎮司 加藤久佳	<p>【テーマ】房総丘陵の自然－過去、現在、未来－：地学</p> <p>【内容】房総丘陵に産する新生代の化石、火成岩がまとまって産出する嶺岡丘陵の岩石、房総丘陵を源流とする河川の調査によって、房総半島南部の地形・地質の特性を解明する。</p> <p>【成果】嶺岡帯に接する房総丘陵南端部で地質調査を行い、テフラ鍵層を数点確認した。小櫃川上流の川廻し地形（君津市蔵玉地区）について現地調査を行い、フルカワ（旧流路跡）の微地形や土地利用の変遷について明らかにした。また、同地域の三浦層群及び上総層群分布域で地質調査を行うとともに、上総層群万田野層から多数の脊椎動物・無脊椎動物化石を採集し、外部研究者も交えて研究中である。</p>

2 地域研究課題：①地球誌系

	担当者	研究のテーマ、目的・内容および本年度の成果
1	岡崎浩子	<p>【テーマ】房総半島の地層の堆積環境の復元</p> <p>【内容】房総半島はそのほとんどが新生代の地層からできており、この時代の日本の模式地層として位置づけられている。したがってその地層の形成時の堆積環境を復元することは、房総半島の成り立ちおよび日本列島の成り立ちを解明する上で大変重要である。この堆積環境の復元を、堆積相解析を用いて地域ごとに行う。</p> <p>【成果】屏風ヶ浦を構成する香取層と犬吠層群の火山灰層による年代把握を行い、堆積相が示す海水準変動との関係を推定した。</p>
2	高橋直樹	<p>【テーマ】房総半島嶺岡帯の地質構造の解明</p> <p>【内容】嶺岡帯は無数の断層が発達したきわめて複雑な地質構造を持っている。詳細な現地調査を実施するとともに、構成岩石の岩石学的特徴の検討を加えて、これらの地質構造を明らかにする。</p> <p>【成果】嶺岡帯内に分布する保田層群元名層を構成する粗粒砂岩が、かつて石材として大規模に使用されていたことが明らかとなった。</p>
3	八木令子 吉村光敏	<p>【テーマ】房総半島の地形景観とその成り立ちに関する研究</p> <p>【内容】房総半島には高い山や火山はないが、激しい隆起や侵食、氷河性海面変動などに起因して形成された丘陵や台地、平野、海岸、河川など多様な地形が見られる。これらの分布や成り立ちに関する総括的な調査を行うとともに、それぞれの地形を景観として俯瞰できるような眺望地点の分布を明らかにする。平成 25 年度は主に南房総の地震性隆起段丘について調査を行う。</p> <p>【成果】館山市浜田及び洲崎の一部について、詳細な段丘分布図(1:1000~1:2500 程度の大縮尺地形図上で分類)を作成した。また洲崎神社や白浜城址跡展望台など、南房総の地震性隆起段丘の眺望地点をいくつか設定し、そこから何がどのように見えるかを検討した。</p>
4	伊左治鎮司	<p>【テーマ】房総半島の脊椎動物化石の分布調査</p> <p>【内容】房総半島に分布する上総層群と下総層群から産出する脊椎動物化石は多種多様であり、化石密集層から産出する例も知られている。脊椎動物化石を多く含む地層について、産出化石と堆積環境について調査する。</p> <p>【成果】市民研究員と上総層群万田野層の脊椎動物化石調査を行い、多数の新標本を得た。その一部は国立科学博物館との共同研究として進めている。</p>
5	加藤久佳	<p>【テーマ】房総の十脚甲殻類化石相</p> <p>【内容】中生代白亜紀前期～完新世に及ぶ、千葉県産の十脚甲殻類化石の分類、記載を行う。</p> <p>【成果】クジラ化石の周辺から産出する木下層産十脚類化石や、東京湾岸で拾われる完新世のものと思われる十脚甲殻類化石の同定を行った。</p>
6	奥田昌明	<p>【テーマ】房総周辺の花粉・環境誌</p> <p>【内容】房総とその周辺で環境、歴史、地質にかかわる花粉調査を実施する。調査試料としては、ボーリングコア中の化石花粉、または表層土壌中の現生花粉遺骸を使用する。</p> <p>【成果】千葉市中央区都町の花粉分析結果をまとめた。またその結果を 2013 年 11 月の千葉市民文化大学にて講演した。</p>
7	大木淳一	<p>【テーマ】房総丘陵におけるタゴガエルの産卵場所に関する環境地質学的研究</p> <p>【内容】タゴガエルの産卵場所および越冬場所である湧水箇所を環境地質学的に解明する。</p> <p>【成果】君津市清和県民の森で新たなタゴガエルの産卵場所を発見し、地質学的記載を行った。</p>
8	小田島高之 島立理子	<p>【テーマ】房総丘陵における河川の発達と河道の変遷に関する研究</p> <p>【内容】房総丘陵における河川の発達と河道の変遷を解明し、河川環境と人との関わりについて考察する。</p> <p>【成果】小櫃川上流域の踏査、古地図、迅速図、過去の地形図等による解析、古文書の解析を行った。</p>

2 地域研究課題：②生命誌系 1 (房総の分類学的多様性の特徴とその保全)

	担当者	研究のテーマ、目的・内容および本年度の成果
1	宮野伸也	<p>【テーマ】房総のハチ類誌</p> <p>【内容】ハチ類について生息する種を調査することにより、房総のハチ類の戸籍簿を作成する。</p> <p>【成果】千葉大学演習林、高宕山などでハチ類を採集し、標本を作製した。これらのうちアナバチ類やハナバチ類の同定を進めた。トガリハナバチについては、専門家による同定確認を得た。</p>
2	宮 正樹	<p>【テーマ】房総の魚類誌</p> <p>【内容】房総の生息する魚類を網羅的に収集し、種組成や生態などを明らかにする。</p> <p>【成果】房総半島周辺海域から釣り等により計 58 種の魚類を収集し、博物館資料として登録した。</p>
3	黒住耐二	<p>【テーマ】房総の貝類誌</p> <p>【内容】房総半島にどのような貝類が第四紀以降生息しており、それが人間活動を含めた環境変化に対して、どのように変遷し、また人間にどのように利用されてきたか等について調査する。</p> <p>【成果】市川市をタイプ産地する化石を含む貝類についてまとめた。千葉市中央区のボーリングコアから抽出された貝類を検討し、内湾の泥底から砂泥底への変化を明らかにした。市原市において、近世から近代に肥料とされた貝貝のサンプリングを行った。</p>
4	駒井智幸	<p>【テーマ】房総の甲殻類誌</p> <p>【内容】房総半島に出現する軟甲甲殻類相の解明を行い、未記載種、国内未記録種(外来種を含む)の公表を随時進める。</p> <p>【成果】房総半島周辺海域で行った調査で採集された標本資料の検討を進め、記載論文 4 編を投稿し、3 編が公表された(1 編は印刷中)。1 種(ハクライオウギガニ)は外来種であり、今後の動向が注目される。また印刷中のマメガニ属の新種は木更津市の盤洲干潟から見つかったもので、ツバサゴカイに共生し、地域個体群保全の必要の可能性がある。</p>

5	原田 浩 共同研究員 市民研究員	<p>【テーマ】房総の地衣類誌</p> <p>【内容】千葉県内に分布する地衣類の目録を完成するために、既に収集した標本資料の分類学的検討をおこなう。また、必要に応じ、主として千葉県南部（あるいは銚子地域）において補足調査を行う。また、県内における地衣類の分布を明らかにするために、県内各地で調査を行う。市民研究員・共同研究員と協力して実施する。</p> <p>【成果】千葉県産標本に基づき、ニセマルゴケを新種記載した。共同研究員・市民研究員とともに千葉県内の分布調査を実施した。これまでに県内で収集した 6000 点以上の標本の情報を、千葉県生物多様性センターの GIS を用いて 3 次メッシュに基づく分布図を作成した。</p>
6	古木達郎 市民研究員	<p>【テーマ】房総の蘚苔類誌</p> <p>【内容】千葉県内に生育するコケ植物について、分類学的な再検討を行い、併せて分布と生態を記述する。重点地域は継続して下総台地とする。</p> <p>【成果】市川市のコケ植物を調査し、5 種の千葉県新産を含む 152 種を確認し、当館自然誌研究に論文が掲載された（金子ほか 2014）。また、浦安市についても調査し、現在、研究中である。</p>
7	斉藤明子 市民研究員	<p>【テーマ】千葉県の甲虫相に関する研究</p> <p>【内容】本研究は、房総地域に生息する昆虫の戸籍簿の作成を目的とするもので、昆虫の内、カミキリムシ類などの食材性甲虫類の調査を行う。幼虫が生木あるいは枯れ木を餌とする食材性の昆虫は森林環境を指標する生物群のひとつであり、これらの生物相を調べることで、その地域の森林の状況を推測するための資料ともなる。</p> <p>【成果】君津市高宕山周辺で調査を行い、千葉県の甲虫相を明らかにするための基礎資料を収集した。また、引き続き千葉県動物誌、千葉県産動物総目録に掲載されていない甲虫について文献調査を行い、補遺と追加として 33 種を報告した。</p>
8	大木淳一 尾崎煙雄 小田島高之	<p>【テーマ】房総丘陵の両生爬虫類相</p> <p>【内容】千葉県の中でも最も多くの両生爬虫類が生息する房総丘陵の両生爬虫類相を解明し、1 km メッシュ単位の分布図を作成する。また、生態写真も撮影し、博物館活動に役立てる。</p> <p>【成果】養老溪谷や君津市清和県民の森にて両生爬虫類の生息調査を行い、生態写真も撮影し、ウェブサイトなどで公開した。</p>
9	尾崎煙雄 大木淳一	<p>【テーマ】房総丘陵の昆虫・クモ類相</p> <p>【内容】「房総三角帯」に属し特有の昆虫およびクモ類が生息する房総丘陵の昆虫・クモ類相を解明する。</p> <p>【成果】三島小教室博物館を拠点に、市民の協力を得つつ昆虫の標本を収集した。その成果を君津市清和公民館での展示や『しいむじな』、ウェブサイト等で公開した。</p>
10	尾崎煙雄	<p>【テーマ】房総丘陵の維管束植物相</p> <p>【内容】千葉県の中でも特有の植物種を多く擁する房総丘陵の維管束植物相を解明する。</p> <p>【成果】三島小教室博物館を拠点に、市民の協力を得つつ維管束植物の標本を収集した。その成果を『しいむじな』、ウェブサイト等で公開した。</p>
11	桑原和之	<p>【テーマ】千葉県の鳥類相に関する研究</p> <p>【内容】千葉県を中心とした文献を基礎的資料として、千葉県全域の鳥類相を把握する。期間は 4-6 年間を予定している。千葉県全体の鳥類相を知る目的から、はじめに海岸部の鳥類相の状況などを現地調査により可能な限り把握し、過去の文献と比較する。</p> <p>【成果】千葉県を中心とした文献を収集した。海岸部、および利根川流域の鳥類相の現地調査を行った。</p>
12	立川浩之	<p>【テーマ】房総のイシサンゴ類誌</p> <p>【内容】房総半島沿岸は有蓋性イシサンゴ類の太平洋岸における分布北限域として知られるが、実際に分布する種については十分に解明されていない。また、これまで房総半島周辺の無蓋性イシサンゴ類に関するまとまった報告はない。本研究では、標本収集および分類学的研究に基づき、房総のイシサンゴ相を明らかにする。</p> <p>【成果】科学研究費補助金による海外学術調査として、ロンドン自然史博物館およびベルリン自然史博物館において日本産イシサンゴ類の標本調査を行った。その結果、19 世紀後半に千葉県で採集されたイシサンゴ類の標本が現存していることが確認できた。</p>
13	天野 誠	<p>【テーマ】房総の維管束植物誌</p> <p>【内容】千葉県鴨川市周辺の維管束植物相を調査し、合わせて標本を収集する。この地域は植物相が豊かであり、過去の記録と照合することで植物相の変遷を知ることができる。</p> <p>【成果】過去に採集された千葉県産の約 5000 点の標本を同定または再同定し、登録をボランティアにお願いし、その後標本を整理・配架した。</p>
14	宮田昌彦	<p>【テーマ】千葉県の大型海産藻類の分類・生態に関する研究</p> <p>【内容】千葉県の高齢相の解明を目的として、北部の銚子地域と南部の館山地域をモニタリングサイトとして、海藻の分類学的及び生態学的な調査を行った。また、人と海藻とのかかわりを調査した。</p> <p>【成果】両地域において、これまで発見できなかった生殖器官を有する 20 種の海藻を収蔵標本とした。また、民族植物学的な調査の結果、海藻の採集時期と人々の一年の生活暦の関係が明らかになり学術論文として投稿した。</p>

2 地域研究課題：③生命誌系 2（房総の生態学的多様性の特徴とその保全）

	担当者	研究のテーマ、目的・内容および本年度の成果
1	大庭照代 外部研究者	<p>【テーマ】生態園の生態系変遷に関する野鳥調査</p> <p>【内容】野鳥のカウント調査（開館以来継続）から生態園における野鳥の生息状況を記録し、生物多様性をはかる基礎資料とする。</p> <p>【成果】平成 25 年度（2013 年 4 月 - 2014 年 3 月）、生態園一周ルートを歩く早朝野鳥調査（7:45-8:45）および野鳥観察舎から見える範囲で行う日中調査（8:45-16:15）を土日祝日に全 108 日間に実施した。期間中に 58 種が観察され、全種の最大個体数合計は 841 羽であった。調査日の最大種数は 46 種、最大個体数は 289 羽であった。9 月にササゴイ、10 月にオオパン、11 月にオカヨシガモ、12 月にはヨシガモが観察されたことを特記する。</p>

2	尾崎煙雄	<p>【テーマ】房総のヒメコマツの保全生態学的研究</p> <p>【内容】近年急速に減少している房総丘陵のヒメコマツ個体群について、群落生態学、分子生態学、造林学などの手法を用い、その保全に向けた研究を行う。</p> <p>【成果】ヒメコマツの個体群モニタリング、繁殖状況調査、移植実験等を実施した。その成果を調査報告書にまとめ、県自然保護課に提出した。</p>
3	落合啓二 大野啓一 由良 浩 林 紀男 倉西良一	<p>【テーマ】生態園の生態系変遷に関する総合研究</p> <p>【内容】生態園の生態系の変遷について、長期的な視野で記録に残し、今後の生態系管理に役立てていくことを目的とする。当面は、既存のデータや資料の所在確認や整理を行いつつ、日常的な記録システムのありかたや市民との連携方法、総合的な調査の時期や方法について検討を進める。研究体制は仮のものであり、今後、関連分野の職員や館外研究者とも相談しつつ、実効的な研究体制に移行していきたい。</p> <p>【成果】第 16 回自然系研究機関連絡会議 (NORNAC16) において生態園舟田池での水生植物再生を通じた水環境改善の取り組み成果を発表した。また、市民連携の調査を毎月実施した。</p>
4	落合啓二	<p>【テーマ】千葉県における哺乳類各種の生息状況と生態</p> <p>【内容】千葉県に生息する哺乳類各種について、分布・生態等の調査研究を進める。</p> <p>【成果】千葉県の哺乳類の基礎生息資料として、千葉県立博物館情報システムに新たに 981 件の標本登録入力作業を進めた。</p>
5	大野啓一	<p>【テーマ】房総に自生する植物のフェノロジー</p> <p>【内容】房総に分布する在来植物種について、開葉・落葉の時期や期間などの季節的な生長様式を、網羅的に調査する。既に草本種約 200 種、木本種約 100 種についてデータを得ているが、さらに資料の蓄積を図る。木本種については、市民と連携した調査もすすめる。</p> <p>【成果】昨年度に引き続き、常緑性と考えられる草本種を中心に、21 種について毎月 1 回程度の頻度で季節的な生長を調査し、そのフェノロジー型や個葉の寿命のデータを得た。</p>
6	由良 浩	<p>【テーマ】海岸植物の保護増殖</p> <p>【内容】千葉県をはじめとして海岸植物、特に砂浜と塩性湿地の植物は全国的に激減している。千葉県に生育する海岸植物を対象に海岸植物の生態を明らかにし、最適な保護策を考察する。</p> <p>【成果】関東地方で唯一の生息地であった銚子で絶滅したハマビシを復活させようとしている。今年度は、かつて採取された種子を発見することができた。</p>
7	林 紀男	<p>【テーマ】千葉県における原生生物等の生息状況</p> <p>【内容】千葉県内の池沼、ダム湖、水田など陸水域に生息する原生生物等の浮遊・付着生物の分布状況を網羅的に踏査し、県内生物相に関する同分類群の基礎的知見を集積する。</p> <p>【成果】千葉県内の陸水域の浮遊・付着生物に関する基礎的知見を集積できた。</p>
8	倉西良一 外部研究者 市民	<p>【テーマ】千葉県の水辺環境と水生昆虫類の分布特性</p> <p>【内容】千葉県内の河川や湖沼においてその水生昆虫相を始めとする昆虫相を明らかにし、その特徴となる昆虫の調査を行う。特に、房総半島に分布する絶滅危惧種『シャープゲンゴロウモドキ』などの昆虫について保全生物学的研究を行う。</p> <p>【成果】房総丘陵に生息する絶滅危惧種ヒメボタルの幼虫の生態の新知見をとりまとめ保全生態学研究に投稿し、受理印刷された。絶滅危惧種ミサキツノトビケラの分類、生態、生息状況等をとりまとめ投稿した。千葉県絶滅種スジトビケラ、絶滅危惧種キボシツボツゲンゴロウについて新知見をとりまとめ報告した。</p>
9	山口 剛	<p>【テーマ】房総に生息する生物の動画記録に関する研究</p> <p>【内容】主に昆虫を対象とし、その生態・行動をビデオ映像として記録し、整理、活用する方法などを研究する。</p> <p>【成果】山のフィールドミュージアムが活動している三島小学校周辺や清和県民の森などで約 1 年間にわたり撮影した DV テープについて映像を解析し、撮影記録原簿に記録し、整理する作業を行った。</p>
10	中村俊彦	<p>【テーマ】房総の里山里海と生物多様性保全に関する研究</p> <p>【内容】房総の里山里海と生物多様性との関係性を調査解析するとともに、その現状を評価し、より効果的な保全対策について主に生態学的視点から検討する。</p> <p>【成果】生物多様性をもたらす生態系の文化サービスについて、特に子どもの育みの視点から研究した。これについて第 10 回里山シンポジウムの全体会でプレシンポを開催し、その結果を報告書にまとめた。この成果などから、生きる力の 3 要素「自己主張」「外界認識」「環境適応」が認識され、その獲得には子ども時代の生物多様性豊かな里山里海での多様な体験が重要であることが示唆された。</p>

2 地域研究課題：④人類誌系（房総という環境の成り立ち及び人々の生活誌に関する研究）

	担当者	研究のテーマ、目的・内容および本年度の成果
1	島立理子	<p>【テーマ】房総丘陵における人の生活と自然のかかわりに関する研究</p> <p>【内容】房総丘陵に生活する人々が、地域の自然とどのようにかかわりながら生活してきたかを調査する。</p> <p>【成果】房総丘陵特有の灌漑水路「二五穴」について館内外の研究者と共同で調査し、その成果を「房総の二五穴」としてまとめた。</p>
2	白井 豊	<p>【テーマ】下総台地における近世以降の薪炭林育成に関する歴史地理学的研究</p> <p>【内容】下総台地において、近世以降に幕府直轄の馬牧とその周辺で展開した薪炭林育成について、空間的広がりパターン、経過を探求しその意義を明らかにする。</p> <p>【成果】テーマに関する聞き取り調査を行い、その結果を文章にまとめた。調査では、印西市域（旧印旛村）で薪炭生産や印旛沼を介しての薪の水運輸送に関する情報が得られた。その後、水運に関連する文献を収集し読み進んだ。</p>
3	小林裕美	<p>【テーマ】房総における生業の複合的なありかたについて</p> <p>【内容】農間余業としての職人仕事や行商がどのように行われてきたのか、事例研究を行う。</p> <p>【成果】印旛沼周辺からの野菜行商について聞き取り調査を進める一方、農民の日記の読み込みを行った。</p>
4	三浦和信	<p>【テーマ】房総半島における縄文時代の狩猟</p> <p>【内容】貝塚から出土する自然資料をもとに、狩猟対象と狩猟用具について研究する。</p> <p>【成果】狩猟対象であるシカの生息状況の写真撮影等を行った。</p>

5	糠谷 隆	<p>【テーマ】利根川下流の漁撈用具に関する研究</p> <p>【内容】大利根分館に所蔵されている千葉県指定有形民俗文化財「利根川下流域の漁撈用具」をはじめとした漁撈用具について、それら各々の使用法について調査する。</p> <p>【成果】県指定文化財の「利根川下流域の漁撈用具」なかの、印旛沼で使用された漁具について精査した。</p>
6	佐藤 誠	<p>【テーマ】水郷地域の社寺・史跡及び民俗行事の研究</p> <p>【内容】水郷地域に分布する史跡や近世以前に創建された社寺の現地調査及び、博物館が立地する十六島を始めとする水郷各地区の民俗行事を調査・研究する。</p> <p>【成果】大利根分館主催事業である「いしづみ調査隊」に於いて、公募した地域住民と香取市扇島の寺院内の石造物の調査を行った他、香取市加藤洲の寿蔵碑の調査を行い、その成果を「たかっぱ通信6号」で発表した。</p>
7	内田龍哉	<p>【テーマ】近世利根川下流域における江戸文人の遊歴</p> <p>【内容】江戸時代後期、江戸文人が利根川下流を遊歴した。その事例や作品を情報化し、併せて、常総地域における受容層の動向について分析する。</p> <p>【成果】国学者高田与清「鹿島日記」や渡邊崋山「刀祢遊記」の読解と分析を行った。</p>
8	一場郁夫	<p>【テーマ】印旛沼周辺の考古学研究</p> <p>【内容】印旛沼周辺の考古遺跡及び博物館等の考古資料を調査し、印旛沼水系における遺跡との関係を研究する。</p> <p>【成果】印旛沼周辺の考古遺跡を中心に調査を行った。主に石器の散布状況を調査し、その石材や用途について分析している。</p>
9	秋山笑子	<p>【テーマ】房総の低地における生業について</p> <p>【内容】房総の低地をフィールドとして生業について調査し、その環境変化と生活誌に関して研究する。</p> <p>【成果】11月に第17回常民文化研究講座で「農漁民の提唱」について発表を行い、3月に研究ノートとして「環境変化に伴う生業のあり方」、論文「海付きの低湿地における生業形態の変化と分業について」、学術報告書『浦安の農業』を執筆した。</p>

2 地域研究課題：⑤博物館誌系（博物館とその社会的役割に関する研究）

	担当者	研究のテーマ、目的・内容および本年度の成果
1	斉藤明子 御巫由紀 友田暁子 駒井智幸	<p>【テーマ】中央博物館の収蔵資料の保存管理に関する研究</p> <p>【内容】博物館の貴重な資料を劣化させない収蔵環境を維持するためには、総合的有害生物管理（IPM）を行う必要がある。温湿度などの管理、燻蒸釜による燻蒸、トラップによる生物生息調査などを継続的にを行い、異常を素早く見つけて対処し、さらに中央博物館に適切な総合的有害生物管理を行うための調査研究を行う。</p> <p>【成果】IPMの一貫として1回の生物生息調査を実施した。館内で有害生物の発生あるいは侵入が見られた場合には、その源を明らかにし、発生源となっていた資料の燻蒸などを行った。今後適切な総合的有害生物管理を行うためのデータとして活用する。</p>
2	一場郁夫	<p>【テーマ】中央博物館と学校との連携による博物館学習を推進するための体制整備</p> <p>【内容】国立歴史民俗博物館等の他の博物館の教育利用状況の調査を通して、博物館と学校との連携（博学連携）のあり方について研究する。中央博物館の学校利用の現状を分析し、実態に即した博物館学習を推進するための体制を整備する。</p> <p>【成果】他館の博学連携に関する体制及び学校利用をサポートする展示環境について調査を行った。その結果は、当館の博物館学習を推進するための資料とした。</p>
3	立和名明美	<p>【テーマ】県内歴史資源の発掘と活用に係る研究</p> <p>【内容】県内に眠る歴史資源を掘り起こすとともに、その活用方法について分析し、千葉県が標榜する「千葉の魅力発信」について県立博物館が果たすべき役割を研究する。活動にあたっては、地域や関係機関と幅広く連携し調査を進める。</p> <p>【成果】歴史文化資源を活用した千葉県の魅力発信プロジェクトの一環として「chiba♥Mt.Fuji」キャンペーン等の企画を他機関と協働し、立案。キャンペーン実施にあたっては、当館でもトビックス展「房総ゆかりの富士山」展を開催、関連シンポジウムなどを実施。また、新たな協働体として、博物館・図書館・公民館で連携した取り組みを行う実行委員会を立ち上げ、次年度以降は、博物館の資料・情報収集、情報発信機能の充実について検討を進める。</p>

3 普遍研究課題：①地球誌系（地形地質学的多様性に関する基礎研究）

	担当者	研究のテーマ、目的・内容および本年度の成果
1	岡崎浩子 館外研究者	<p>【テーマ】GPR（地中レーダー）を用いた河川州の研究</p> <p>【内容】GPR 地中レーダーを用いて河川堆積物の解析と房総半島に広く見られる河川成の地層の形成条件の検証をおこなう。これによって地球環境変動による中長期的な河川動態変化を明らかにする。</p> <p>【成果】安倍川の地形条件の異なる網状州の GPR 測定を行い、地形条件と網状州の発達様式の関係性を明らかにした。</p>
2	高橋直樹	<p>【テーマ】東北日本弧新第三紀火山活動の特質</p> <p>【内容】東北日本弧の新第三紀火山活動に関して、特に珪質火山活動の要因を探求することを目的とし、それらの時空分布、並びに、苦鉄質火山活動との成因的関係を中心に調査を進める。</p> <p>【成果】東北日本弧の新第三紀火山活動の特徴を明確にするため、伊豆・マリアナ弧に属する伊豆半島に分布する同時代の火山噴出物について、現地調査と資料採集、並びに、岩石学的な検討を行った。</p>
3	八木令子	<p>【テーマ】河川とその流域の地形学的研究</p> <p>【内容】夷隅川最上流部に特徴的な風隙地形について、その分布と形成時期について考察する。また比較として銚子の屏風ヶ浦から旭市にかけて海食崖上に分布する風隙地形についても現地調査を行う。</p> <p>【成果】夷隅川本流及び支流域について、空中写真判読及び現地調査から、風隙及び懸谷の分布状況を明らかにした。またそのうちの1箇所風隙の形成時期（谷の上流が侵食され、空谷になった時期）を明らかにした。</p>

4	伊左治 鎮司	<p>【テーマ】微小化石に基づく貝類化石の分類及び古生態の研究</p> <p>【内容】古生代石炭系一の谷層、中生代白亜系手取層群および銚子層群から産出する微小貝類化石について、胎殻や稚貝の形態を記載し、多様性や幼生生態、古生物地理を議論する。</p> <p>【成果】岐阜県古生界石炭系一の谷層から、日本初記録となる貝類の幼生化石を記載した。</p>
5	黒住 耐二	<p>【テーマ】東アジアを中心とした地域の貝類相の変遷</p> <p>【内容】現生/考古学遺跡/化石等の調査を行い、人間の貝類利用を含めて、包括的に変遷史を明らかにする。</p> <p>【成果】沖縄諸島の 7000 年間の貝類相の変遷と利用に関してまとめた。国指定史跡の鳥取県青谷上寺地遺跡や茨城県陸平貝塚あるいは徳之島のトマチン遺跡・面縄第二貝塚、佐賀県東名遺跡等の遺跡出土貝類についてまとめた。土器圧痕の貝や製塩に関する貝類についても論文を作成した。明治神宮の非海産貝類の組成についても報告した。</p>
6	斎木 健一	<p>【テーマ】地質時代温暖期におけるアジアの古植生復元</p> <p>【内容】中生代ジュラ紀-白亜紀の地球温暖期におけるアジアの古植生を化石記録から復元する。</p> <p>【成果】銚子層群白亜系産植物化石について、銚子市青少年科学館所蔵標本を調査した。</p>
7	加藤 久佳	<p>【テーマ】日本産十脚甲殻類化石の古地理と古生態</p> <p>【内容】主として東北日本産の十脚甲殻類の化石記録から、現在の日本周辺の十脚類フォーナがどのように形成されてきたか、古生物地理学的な検討と、共産する化石から得られる情報など古生態学的なアプローチからの検討を行う。</p> <p>【成果】東北日本の鮮新統産ヒキガニ化石を記載し、本属をテチス海起源とすると、環太平洋域への放散のタイミングが、ベーリング海が開くタイミングと整合しないことを論じた。</p>
8	奥田 昌明	<p>【テーマ】日本列島周辺の花粉・環境誌</p> <p>【内容】日本列島とその周辺で環境、歴史、地質にかかわる花粉調査を実施する。調査試料としてはポーリングコア中の化石花粉および表層土壌中の現生花粉遺骸を扱い、日本列島における表層花粉群のインベントリーを作成する。</p> <p>【成果】H23-25 科研(基盤 C・代表者奥田)の 3 年目として、中部地方と伊豆諸島を中心とした表層花粉調査をおこなった。</p>
9	大木 淳一	<p>【テーマ】河川地形の動態と生物分布に関する環境地質学的研究</p> <p>【内容】河川や海岸等の水辺に生息する鳥類、両生類、昆虫類などの生息環境や繁殖場所が規制される要因を環境地質学的に解明する。</p> <p>【成果】東京都の秋川渓谷にて、大雪がナガレタゴガエルの産卵場所へ与えた影響に関する環境調査を予察的に行った。</p>
10	小田 島高之	<p>【テーマ】地形や地質の生物分布に与える影響について</p> <p>【内容】地形・地質が生物分布に与える影響について地理情報システムを用いて解析する。</p> <p>【成果】県内の植生図及び標高データ(10 m メッシュ)に加え、2 次メッシュの衛星画像を GIS データベースとして整備し、解析を行った。</p>

3 普遍研究課題：②生命誌系 1 (分類学的多様性に関する基礎的研究)

	担当者	研究のテーマ、目的・内容および本年度の成果
1	宮 正樹	<p>【テーマ】ミトコンドリアゲノム分析に基づく魚類の系統進化</p> <p>【内容】ミトコンドリアゲノム全長配列に基づき、魚類の系統進化史を解明する。</p> <p>【成果】ミトコンドリアゲノム全長配列の比較に基づき、マグロ類・ハダカイワシ類の進化的起源や系統関係を明らかにした。また MitoFish にアノテーションパイプラインを付加することによりデータベースの機能拡充を図った、これらの研究成果を計 6 篇の原著論文に発表した。</p>
2	駒井 智幸	<p>【テーマ】十脚甲殻類の分類</p> <p>【内容】全世界の十脚甲殻類を対象とした分類学的研究を行い、系統学的研究や生物多様性研究への基盤整備に貢献する。</p> <p>【成果】房総半島周辺海域以外として、熊野灘～琉球列島にかけての日本沿岸、台湾、フィリピン、パプアニューギニア、インド南部、アフリカ東岸、南西インド洋など世界の海域から得られた標本資料の検討を進め、17 編の原著論文を公表した。24 新種が記載された。</p>
3	原田 浩	<p>【テーマ】地衣類の多様性に関する研究</p> <p>【内容】主として日本および周辺地域を対象として、アナイボゴケ科を中心とする地衣類の分類・分布、化学成分等に関する研究をおこなう。共同研究員および館外研究者と協力する。23-26 年度は、1) 日本地衣類誌の編纂、2) 淡水生地衣類の多様性解明、3) 東アジア産被果地衣類の分類学的研究、等。</p> <p>【成果】日本産マルミゴケ属の分類を明らかにし、6 種を認めた、このうち、千葉県産のチバノマルミゴケと静岡県産のイズマルミゴケは新種、サワマルミゴケとコマルミゴケは日本新産だった、共同研究員とともに、中国雲南省産のカシゴケ属を検討しニセカシゴケを報告し、日本産樹皮着生クチナワゴケ属の分類を明らかにし、栃木県産の地衣類のチェックリストを文献情報に基づきまとめた。</p>
4	古木 達郎	<p>【テーマ】アジア太平洋地域におけるコケ植物の分類学的研究</p> <p>【内容】千葉県と関係が深いアジア・太平洋地域に生育するコケ植物の多様性を探り、系統分類学的な研究を推進する。</p> <p>【成果】東南アジア産のスジゴケ科を調べ、1 新種を記載した (Furuki et al. 2013)。また、ツキヌキゴケ科とウキゴケ科についても国内産について研究し、新知見を学会で発表した。</p>
5	天野 誠	<p>【テーマ】アジア高山帯における植物分類学的研究</p> <p>【内容】アジアの高山帯には、特異な種分化を遂げた分類群が数多く存在する。その分化の様式は一様ではない。ユーラシア大陸の東のはずれに位置する日本の植物相を明らかにするためにも、ヒマラヤ山脈を中心とする地域の植物相の調査は欠かせない。本研究は、アジアの高山帯で多様に分化した分類群(特にゴマノハグサ科)を生物地理学的、細胞分類学的観点も含めて、研究するものである。</p> <p>【成果】Flora of Nepal の <i>Pedicularis</i> 属の Flora の原稿の一部を執筆した。ナデシコ科・ツユクサ科等のネパール産標本を同定した。</p>

6	斉藤明子	<p>【テーマ】 カミキリムシ科甲虫の分類</p> <p>【内容】 アジア産を中心とするカミキリムシ類についての分類学的な研究を行う。</p> <p>【成果】 東南アジア産ルリカミキリ族の標本の収集を行い、標本、文献調査を行った。</p>
7	御巫由紀	<p>【テーマ】 香気成分によるバラ属植物の化学分類</p> <p>【内容】 バラ属植物の花から得られる香気成分を分析し、種間、品種間の類縁関係との関わりを検討する。日本に自生する野生種 16 種類を対象として、自生地での香気成分の捕集および植物園等で栽培されている株の香気成分を捕集し、微量成分まで同定を行う。</p> <p>【成果】 県内のアズマイバラ自生地および県外のツクシイバラの新産地（徳島県）など、現地調査および標本蒐集を行った。</p>
8	立川浩之	<p>【テーマ】</p> <p>【内容】 日本産日本産イシサンゴ類の分類・生物地理に関する研究のイシサンゴ類はこれまでにおよそ 500 種が知られるが、無藻性種や温帯域の有藻性種を中心に従来の同定を再検討すべき種が多数存在する。本研究では、これらの種の再検討を中心として、日本産イシサンゴ類の分類学的・生物地理学的研究を行う。</p> <p>【成果】 琉球大学資料館（風樹館）において、1970 年代に沖縄島中城湾で採集されたイシサンゴ類標本群の分類学的研究を行った。この結果、日本初記録種や、日本での採集記録の少ない種の標本が収蔵されていることが明らかとなった。</p>
9	宮田昌彦	<p>【テーマ】 紅藻サンゴモ科およびカワノリ目の系統分類学的研究</p> <p>【内容】 アルスロカディア属の地球レベルの分布と分子系統解析を行う。</p> <p>【成果】 本課題のために、研究コンソーシアムを組織した（宮田昌彦（千葉中央博）、Nerson, W., Sutherland, J.（オークランド大学）、小亀一弘（北大）、Bolton, J.（ジョハネスブルグ大学）。日本産ヤハズシコロ属について、アルスロカディア属との形態と生態について比較研究を行った。</p>

3 普遍研究課題：③生命誌系 2（生態学的多様性の維持機構に関する基礎的研究）

	担当者	研究のテーマ、目的・内容および本年度の成果
1	宮野伸也	<p>【テーマ】 社会性ハチ類の生態・行動・進化に関する研究</p> <p>【内容】 社会性ハチ類、特にアシナガバチ類の生態や行動の特徴を明らかにし、社会性進化のなぞの解明を目指す。</p> <p>【成果】 フタモンアシナガバチを材料に幼虫の人工飼育を行った。終令（5 令）からの飼育にはほぼ成功した。</p>
2	大庭照代	<p>【テーマ】 生物音声自動認識および環境モニタリングに関わる生物の音声信号と音環境構造の研究</p> <p>【内容】 音環境調査活動において iPhone アプリ「ききみみずきん」により収集した音声および関連データについてのまとめとして、博物館の音声資料が環境モニタリングに役立つ社会的な資源として展示等において成果を公表する。</p> <p>【成果】 本研究の総まとめとして企画展「音の風景～うつりゆく自然と環境を未来に伝える」において、音環境調査活動を紹介し、活動の中で収集した音声資料の社会的資源化に向けての課題を提示した。</p>
3	尾崎煙雄	<p>【テーマ】 照葉樹林の生態学的研究</p> <p>【内容】 照葉樹林を構成する植物について生態学的、生物地理学的視点から研究を行い、その成り立ちを解明する。</p> <p>【成果】 房総丘陵および奄美群島において生物相調査を実施した。</p>
4	落合啓二	<p>【テーマ】 ニホンカモシカの生態学的研究</p> <p>【内容】 野生動物と生息環境の関係を明らかにすることは、動物生態学の基本的な課題としても、また野生動物の保全を進めるうえでも重要である。この課題に関して、ニホンカモシカの環境収容力の解析、並びにメスの個体別の繁殖成功度となわばりの質に関する研究を進める。</p> <p>【成果】 環境収容力および個体別繁殖成功度となわばりの質に関するデータ解析が終了し、論文投稿準備中である。</p>
5	大野啓一	<p>【テーマ】 芽ばえに関する記載的研究</p> <p>【内容】 木本・草本の芽ばえ（当年生実生）を、生態写真、スキャナー画像、標本、形態記載により、網羅的に記録し資料化する。採種、播種、育苗などについては市民と連携しておこなう。これらの資料をもとに、自然観察や自然の再生、管理に役立つ図鑑の編纂をめざす。</p> <p>【成果】 種子から育苗したり野外で採取した 49 種（うち木本 15 種、草本 34 種）の芽ばえについて、形態記載をおこない、標本を作成した。うち 14 種は市民が種子から育苗したものである。</p>
6	由良 浩	<p>【テーマ】 ススキ、オギ、アシ、ヒメガマの比較生態</p> <p>【内容】 ススキ、オギ、アシ、ヒメガマの生育域は、湿性～乾性とはっきりと分かれている。4 種とも種子は広く散布されているにもかかわらず、なぜそれほど生育域がはっきりと分かれているのかは未解明の点が多い。本研究ではなぜ湿性の植物が乾性的な環境に生育できないのかをさぐることに特に重点をおいて進める。</p> <p>【成果】 ヒメガマとアシとの混植実験を行い、互いにどのような影響を及ぼしあうかを調べた。混植下ではヒメガマの成長が悪くなることが示された。</p>
7	林 紀男	<p>【テーマ】 水辺植生の再生による水環境保全技術の開発</p> <p>【内容】 埋土種子等の散布体を用いて土着株による水辺植生の再生に向けた取り組みに関し、散布体からの株入手方法、増殖株の現場植え戻し工法、移植株の食害防止策など、植生再生に向けた基礎的知見を集積する。</p> <p>【成果】 バット水槽への埋土種子撒きだし法を検証し、休眠打破のための環境要因に関する基礎的知見を集積した。</p>
8	倉西良一 外部研究者	<p>【テーマ】 昆虫の遺伝子情報から分類と保全生態学を考える</p> <p>【内容】 昆虫のミトコンドリアゲノムの遺伝子情報から従来の分類システムや保全生態学を再考する。</p> <p>【成果】 日本の河川環境を代表するヒゲナガカワトビケラ科昆虫に着目し遺伝子解析の材料を全国から収集した。国外ではミャンマー産の個体の採集に成功しその遺伝子の抽出を完了した。</p>

9	山口 剛	<p>【テーマ】アリ類の行動・生態学的研究</p> <p>【内容】アリ類は社会性昆虫であり複数の個体が協力して採餌や営巣活動などを行っている。しかし、その生態は種によって異なっており未知な部分が多い。この研究では、特に人の身近に生息しているアリ類を対象に、種ごとの行動・生態的特性について研究する。</p> <p>【成果】クロヤマアリが目標物に向かって泳ぐ行動に光源が与える影響を明らかにした。この結果は、北海道大学で行なわれた日本昆虫学会第 73 回大会において「クロヤマアリ (<i>Formica japonica</i>) の泳ぎに光源が与える影響」というタイトルで発表した。</p>
10	桑原和之	<p>【テーマ】シギ・チドリ類の越冬生態、特に個体数変動に関する研究</p> <p>【内容】チドリ目の越冬期の生態に関して、チドリ科、シギ科に属する種を中心に生態的な基礎研究を行なう。シギ・チドリ類の個体数の変動は、気象状況や捕食者に大きく影響をうけるので、これらの記録も現地調査で収集し、解析する。</p> <p>【成果】九十九里地域でオオソリハシシギの越冬期の生態に関して、調査を行い、越冬の記録を確認した。</p>

3 普遍研究課題：④人類誌系（景観史という新領域の創出）

	担当者	研究のテーマ、目的・内容および本年度の成果
1	島立理子	<p>【テーマ】近現代における裁縫教育についての研究</p> <p>【内容】近現代において、衣類を調整する技術がどのような場で、どのように伝承あるいは教授されてきたかを明らかにし、近代以降の裁縫教育の持つ意味を明らかにする。</p> <p>【成果】野田市木間ヶ瀬で聞き取り調査を行い、洋装化と既製品の普及と裁縫教育の地域における役割について検討した。</p>
2	白井 豊	<p>【テーマ】関東平野における明治 10 年代の土地利用に関する研究</p> <p>【内容】迅速測図を基礎的資料として、関東平野全域の土地利用を約 2 km メッシュのオーダーで把握する。明治 10 年代の土地利用の意義を知る目的から近世の都市・信仰的中心地や交通の状況なども可能な限り把握する。その際には近世の道標を初めとする石造文化財や古文書を資料とする場合もある。</p> <p>【成果】迅速測図を基礎資料とする土地利用の把握の作業を継続している。茨城県北部の土地利用について、迅速測図に土地利用の着色作業を進めた。本年度までで、茨城県については、北西部は旧真壁町、北東部は大洗町までが終了した。</p>
3	小林裕美	<p>【テーマ】民俗文化の伝播と伝承について</p> <p>【内容】民俗行事の変遷や地域による差異に着目し、民俗文化の伝播や伝承の在り方について考察する。</p> <p>【成果】印旛沼周辺の浅間信仰の調査を進めた。</p>
4	三浦和信	<p>【テーマ】縄文時代の採集・狩猟・漁撈活動について</p> <p>【内容】遺跡から出土する遺物等とおおして、縄文時代の人々の生活について考察する。</p> <p>【成果】市川市道免き谷津遺跡出土の土器・石器・堅果類炭化資料を借用し、当館の展示会に展示し、縄文時代の人々の生活を理解できるように反映した。</p>

3 普遍研究課題：⑤博物館誌系（博物館の歴史および機能の充実・発展に関する基礎的研究）

	担当者	研究のテーマ、目的・内容および本年度の成果
1	立和名 明美	<p>【テーマ】古代施釉陶器の生産と流通についての研究</p> <p>【内容】古代において、幾つかの特定の地域のみで生産された施釉陶器。その生産と流通等を通し、当時の社会様相の一端を明らかにし、古代景観を復元する。【成果】県内出土の施釉陶器について、出土事例を収集し、形や製作技法などの点から検討した。さらに、県内で出土する陶器の系統について調査を進める。</p>
2	林 浩二	<p>【テーマ】持続可能な社会のための教育と博物館</p> <p>【内容】国際的にまた国内でも関心を集めている「持続可能な社会のための教育」に、博物館として何ができるか、具体的な活動から探る。</p> <p>【成果】6 月に開催した当館行事・環境教育ワークショップ「持続可能な社会のための教育を考える」では「花見川のツルノゲイトウ」問題を取り上げ、この問題に取り組んでいる NPO の協力を得て議論した。ICOM 定款における博物館の定義の改訂（2007 年）の意義について考察し、執筆事項は 7 月に刊行、口頭発表は 11 月と 2 月に計 3 件行った。</p>
3	内田龍哉	<p>【テーマ】地域博物館の連携による地域史像の形成</p> <p>【内容】地域博物館の連携による、歴史的枠組みによるフィールドミュージアムの構築、文化遺産の再発見と地域史像の形成について、提言する。</p> <p>【成果】特集展示「水郷を旅した人々」（さわやかちば県民プラザにて開催）では、当館・大利根分館・関宿城博物館及び県立中央博物館の関連資料を標記テーマにより展示構成し、トピックス展「房総ゆかりの富士山」（本館にて開催）では、当館・大利根分館・関宿城博物館及び木更津市郷土博物館金のすずの所蔵資料を再構成して展示した。同様の研究関心や収集方針に基づいて収集された郷土資料を連携し再構成することで、より効果的な展示活動が可能になる。</p>

<分館海の博物館>

①房総半島の海洋生物相とその特徴

	担当者	研究のテーマ、目的・内容および本年度の成果
1	川瀬裕司	<p>【テーマ】房総半島沿岸の魚類相と繁殖</p> <p>【内容】房総半島は北部と南部、太平洋岸と東京湾岸で海洋環境が大きく異なり、千葉県全体として多様な魚類相が形成されている。この魚類相の特徴を、県内および県外各地からの標本・資料収集により明らかにする。</p> <p>【成果】県内調査では、オキフリソデウオ、サガミザメなどの深海性魚類をはじめ、淡水域に生息するメダカやモツゴなどの魚類を資料登録した。</p>
2	奥野淳兒 柳 研介 村田明久	<p>【テーマ】房総半島の海産無脊椎動物相</p> <p>【内容】房総半島に生息する海産無脊椎動物相を掌握するため、資料の収集、同定、分類学的研究等を行う。</p> <p>【成果】お茶の水女子大学湾岸生物研究教育センターより提供されたニセツノヒラムシ科標本を調査し、千葉県新記録として報告した（奥野, 2014）（担当：奥野）。</p> <p>房総半島を中心に資料収集を行い、刺胞動物 611 点、環形動物 4 点、軟体動物 15 点（含む頭足類）を資料登録した（担当：柳）。</p> <p>磯の観察エリア内の定点でのモニタリングを実施し、岩礁海岸生物群集の長期的な動態を把握するための基礎的なデータ収集および解析を行った（担当：村田）。</p>
3	菊地則雄	<p>【テーマ】房総半島沿岸の海藻相</p> <p>【内容】房総半島沿岸の海藻相とその特徴を明らかにする。</p> <p>【成果】勝浦市沿岸を中心に海藻・海産種子植物相を調査して、海藻標本 110 点を新規登録した。勝浦新産種として紅藻ハブタエノリを採集した。</p>

②専門研究

	担当者	研究のテーマ、目的・内容および本年度の成果
1	原 正利	<p>【テーマ】照葉樹林の植生地理</p> <p>【内容】千葉県の森林生態系の基盤をなす照葉樹林について、様々な空間スケールで植生地理学的研究を行う。1) 東アジアスケールでは、熱帯山地林と照葉樹林の比較研究を進める。2) 日本列島スケールでは、分布北限付近に位置する東日本各地の照葉樹林の特性を、西日本との比較も行いつつ明らかにする。3) 千葉県スケールでは、照葉樹林の大部分は社叢林として残されていることから、その分布や地域特性を、人との関わりも含めて明らかにしていく。</p> <p>【成果】研究代表者となっている基盤研究 (C) 「常緑広葉樹林帯における温帯性樹木の遺存分布と成因に関する保全生物地理学的研究」により、照葉樹林に遺存分布する落葉広葉樹の分布を、鹿児島県および房総丘陵（東京大学千葉演習林）において調査した。房総丘陵での調査結果は第 61 回日本生態学会大会で発表した。</p>
2	原 正利	<p>【テーマ】ブナ林の動態と生物地理</p> <p>【内容】東日本に本来は広く分布し、この地域の自然生態系の基盤をなしていたブナ林について、特に、1) 再生・維持動態、および 2) 生物地理（生態地理および系統地理）について研究を進める。1) については、これまでに行ってきた研究を継続し、ブナ林の再生・維持動態を長期モニタリングデータに基づいて明らかにする。2) については、東日本各地の残存林の分布や植生学的特徴、DNA 解析によるブナの系統地理学について研究を進める。</p> <p>【成果】研究分担者となっている基盤研究 (B) 「ブナ林の断片化がブナ集団の遺伝的多様性と繁殖に及ぼす影響」により、宮城県栗駒山のブナ林のモニタリング調査を行った。北関東のブナおよびイヌブナの分布について文献その他による調査を行った。</p>
3	本吉正宏	<p>【テーマ】房総半島における自然災害史の研究</p> <p>【内容】自然災害のうちの地震津波に焦点を当てて、県内を取りあげた古文書等史料を調査し、津波の規模や被害状況を明らかにする。</p> <p>【成果】富津市・勝浦市・君津市・船橋市等に於いて現地調査を行い、鋸南町の聞き取り調査を行った。新たな資料や機知情報の確認ができた。勝浦市では市主催の見学会、南房総市では講演会を実施した。</p>
4	川瀬裕司	<p>【テーマ】魚類の繁殖行動とその進化</p> <p>【内容】沿岸性海産魚類の繁殖生態（なわばり行動、産卵行動、卵保護行動など）について、フィールド観察を主体にして明らかにする。</p> <p>【成果】伊豆、南房総などで潜水観察を行い、スズメダイ科魚類の繁殖状況を調査した。</p>
5	菊地則雄	<p>【テーマ】原始紅藻亜綱植物の分類学的、生態学的研究</p> <p>【内容】日本産原始紅藻亜綱植物の分類学的再検討を行うとともに、生活史について明らかにする。</p> <p>【成果】千葉県内数カ所でアマノリ属藻類を採集し、糸状体培養株を作出するとともに、北海道産のエリモアマノリと、類似種のウップルイノリとの分類学的検討を行い、エリモアマノリとウップルイノリの葉状体の出現季節の相違など、両種の生態的な違いを明らかにした。</p>
6	奥野淳兒	<p>【テーマ】日本産共生性コエビ類の分類学的研究</p> <p>【内容】テナガエビ科を中心として、様々な海産無脊椎動物と共生するコエビ類の分類学的研究を行う。</p> <p>【成果】琉球大学熱帯生物圏研究センターとの共同研究として、沖縄本島および西表島で調査を行った。テナガカクレエビ属 <i>Cuapetes</i> で未記載種と日本新記録種を採集し、現在論文執筆中である。</p>
7	柳 研介	<p>【テーマ】イソギンチャク類の分類・生態学的研究</p> <p>【内容】イソギンチャク類について、その「形」を明らかにしていくとともに、DNA 解析の手法を用いた検証を行い、日本産のイソギンチャク類の分類の再検討を行う。タイプ標本の検討のため、海外での調査を行う。</p> <p>【成果】房総半島、四国、九州、南西諸島からイソギンチャク類 112 点を採集し、このうち 70 標本から DNA の抽出・PCR による目的配列の増幅を行った。また、デンマークのコペンハーゲン大学自然史博物館、アメリカのイェール大学ピーボディ自然史博物館において、日本産イソギンチャク類のタイプ標本の探索を行い、これまで未発見だったタイプ標本を含む、計 27 種のタイプ標本の調査を行った。これらのデータ解析は現在も継続中である。</p>

8	青木慎哉	<p>【テーマ】房総半島における海浜植生の研究</p> <p>【内容】房総半島、特に鶴原理郷を中心とした勝浦周辺の植物調査を行い、海浜植生の特徴を明らかにする。</p> <p>【成果】博物館周辺を中心に、勝浦市周辺の植生調査および植物採集を行い、錯葉標本を作製した。定期的な鶴原理郷モニタリングを実施し、周辺の植物について展示で紹介した。日本各地のタマアジサイと房総半島産を比較し、その系統と分類についての考察を行った。</p>
9	村田明久	<p>【テーマ】フジツボ類の繁殖生態</p> <p>【内容】繁殖生態や生活誌等、蔓脚類の生態について明らかにする。</p> <p>【成果】基礎データの収集・蓄積および解析を行った。</p>

2.1.2 助成を受けた研究課題・他機関との共同研究課題 36 件

種別	件数
文部科学省科学研究費補助金による研究（研究代表）	10
文部科学省科学研究費補助金による研究（研究分担）	5
その他助成金による研究（研究代表・研究分担）	7
他機関との共同研究課題	14

■ 研究課題

① 文部科学省科学研究費補助金による研究（研究代表）

	研究代表者	研究種目	区分	研究課題	開始	期間	H25 直接経費 (円)
1	八木令子	基盤研究 (C)	一般	博物館における「土地の履歴を読み解く防災教育」の実践	H25	4 年	900,000
2	島立理子	基盤研究 (C)	一般	市民・地域との連携による資料所在マップの作成とその活用	H25	3 年	1,700,000
3	柳 研介	基盤研究 (C)	一般	タイプ標本の再検討に基づく日本産イソギンチャク類の分類の確立と同定ツール開発	H25	4 年	1,500,000
4	原 正利	基盤研究 (C)	一般	常緑広葉樹林帯における温帯性樹木の遺存分布と成因に関する保全生物地理学的研究	H25	4 年	900,000
5	斎木健一	基盤研究 (C)	一般	形態学の知識が無くても使える生物検索システムの開発	H24	3 年	500,000
6	大庭照代	基盤研究 (A)	一般	自然と環境を聞く力を養うための博物館音響資料の収集・保存・持続的活用に関する研究	H23	3 年	5,900,000
7	岡崎浩子	基盤研究 (C)	一般	河川砂礫堆の 3 次元形成ダイナミクス：水路実験と現世堆積物の GPR による融合	H23	4 年	1,300,000
8	奥田昌明	基盤研究 (C)	一般	琵琶湖堆積物の花粉群解析による MIS 1、5e、11 間氷期の古気温定量復元	H23	3 年	1,100,000
9	原田 浩	基盤研究 (C)	一般	特殊環境に生育する地衣類の種多様性解明 (1)：淡水生被果地衣類	H23	4 年	1,040,000
10	大木淳一	基盤研究 (C)	一般	校内学習型地学教育プログラムの開発と実践	H21	5 年	910,000

② 文部科学省科学研究費補助金による研究（研究分担）

	研究分担者	研究課題	研究種目	研究代表者	期間	H25 直接経費 (円)
1	伊左治鎮司	東アジア東縁のジュラ紀-白亜紀の微化石相および海洋古環境解析	基盤研究 (C)	富山大学 准教授 柏木健司	H23-25	250,000
2	立川浩之	造礁性イシサンゴ類の分子系統および化石と現世の形態多様性に基づく分類体系の再構築	基盤研究 (B)	富山大学 准教授 深見裕伸	H22-26	300,000
3	黒住耐二	琉球列島先史・原史時代における環境と文化の変遷に関する実証的研究	新学術領域研究 (研究領域提案型)	札幌大学 教授 高宮広士	H21-25	300,000
4	原 正利	ブナ林の断片化がブナ集団の遺伝的多様性と繁殖に及ぼす影響	基盤研究 (B)	名古屋大学 教授 戸丸信弘	H25-27	350,000
5	原 正利	東南アジア林冠部植物多様性と地理的生態的な群集分化解明のための広域インベントリー	基盤研究 (A)	京都大学 教授 神埼 護	H24-28	500,000

③その他助成金による研究（研究代表）

	代表者	研究課題	助成名	期間	H25 直接経費 (円)
1	黒住耐二	淡水二枚貝マシジミは近世期の外来種かー遺跡出土貝類からの証明	平成 25 年度財団法人高梨学術奨励基金調査研究助成	H25	170,000
2	駒井智幸	日本列島の干潟～潮下帯域に生息する穴居性十脚目甲殻類のインベントリーのための基礎的研究	公益財団法人藤原ナチュラルヒストリー振興財団学術研究助成	H25	570,000
3	倉西良一	多摩川流域の水生昆虫の遺伝的構造	公益財団法人とうきゅう環境財団調査・試験研究助成	H23-26	1,825,080
4	菊地則雄	未利用アマノリの基礎生物学的研究Ⅱーエリモアマノリの生活史特性の把握ー	平成 25 年度海苔養殖の長期的・基礎的研究に関する助成	H25	400,000

④その他助成金による研究（研究分担）

	分担者	研究課題	助成名	研究代表者 (所属)	期間
1	宮 正樹	環境 DNA に基づく魚類群集の定量モニタリングと生態系評価手法の開発	JST 戦略的創造研究推進事業 (CREST) 「海洋生物多様性および生態系の保全・再生に関する基盤技術の形成」	近藤倫生 (龍谷大学)	H25-30
2	斎木健一	千葉県絶滅危惧種イスマスズカケの保全生物学的研究	第 25 期 (2014 年度) プロ・ナトゥーラ・ファンド助成	上原浩一 (千葉大学園芸学部)	H25-26
3	尾崎煙雄	房総のヒメコマツの保全生態学的研究	平成 25 年度ヒメコマツ現地調査・保全業務	藤平量郎 (房総のヒメコマツ研究グループ)	H25

⑤他機関との共同研究

	分担者	研究課題	機関名	研究代表者 (所属)	期間
1		日本産カワノリ目 (トレボウクシア藻綱) の分子系統学的研究	ニュージーランド国立水圏研究所	宮田昌彦 (※)	H24-26
2	宮田昌彦	日本産タマアジサイ属の系統分類学的研究	東京大学	青木慎哉 (※2)	H23-28
3	尾崎煙雄, 島立理子, 大木淳一, 加藤久佳, 八木令子, 小田島高之	日本の中山間地域における人と自然の文化誌	国立歴史民俗博物館	原 正利 (※2)	H23-25
4	黒住耐二	島嶼地域における洞穴遺跡の基礎的研究	鹿児島大学	新里貴之 (鹿児島大学)	H23-25
5	黒住耐二	本州最北部における更新世人類集団の学際的調査・研究	慶応大学	佐藤孝雄 (慶応大学)	H25-28
6	斎木健一	千葉県の絶滅危惧種イスマスズカケの保全生物学的研究	千葉大学	上原浩一 (千葉大学園芸学部)	H25-26
7	駒井智幸	深海性十脚目甲殻類の分類学的研究	独立行政法人海洋研究開発機構	土田真二	H25
8	林 紀男	地域環境再生のための総合的環境修復・循環技術システムの構築	独立行政法人国立環境研究所	徐 開欽 (国立環境研究所)	H25-29
9	島立理子	博物館型研究統合による日韓地域研究	国立歴史民俗博物館	小池淳一 (国立歴史民俗博物館)	H21-26
10	奥野淳兒	琉球列島産テナガエビ科カクレエビ亜科の分類と宿主選択の特異性	琉球大学熱帯生物圏研究センター	成瀬 貴 (琉球大学)	H24-25
11		相模湾産イソギンチャク類相の解明	東京大学大学院理学系研究科付属臨海実験所	柳 研介 (※2)	H25
12		館山湾のマクロベントス相の解明	お茶の水女子大学湾岸生物教育センター	柳 研介 (※2)	H25
13	原田 浩	Floristic and Biogeographic Study on Lichens from Arid Valley of Jinsha River (金沙江乾燥谷における地衣類のフロラと生物地理学的研究)	中国科学院昆明植物研究所	王 立松 (中国科学院昆明植物研究所)	H26-29
14	林 浩二	知の循環型社会における対話型博物館生涯学習システムの構築に関する基礎的研究	国立科学博物館 他	小川義和 (国立科学博物館)	H24-28

※ 千葉県立中央博物館、※2 分館・海の博物館。

2.2 研究成果の公表・周知

2.2.1 自然誌シンポジウムの開催 1回 参加者数 39人

学問の発展に寄与すると共に、県民への還元を図るため、専門的なテーマを掲げて学術シンポジウムを開催した。

テーマ：「音の風景遺産－ふるさとの音をつたえよう－」

開催日：平成 25 年 10 月 27 日 (10:00～15:00)

場 所：本館講堂

担 当：大庭照代

内 容：郷土の音風景をめぐる知見と自然の音に耳を傾ける文化、博物館の役割について、発表および意見交換を行った。同時に、市民参加事業「私たちの大切にしている場所の音環境調査」の研究発表会も実施した。

対象・定員：一般 (中学生以上) ・200 名

プログラム：

①基調講演「音の風景が紡ぐ地域の物語」 鳥越 けい子 (青山学院大学総合文化政策学部)

②講 演

1 事例「学校から地域から一音の出る地図を使って」 小林 田鶴子 (共栄大学教育学部)

2 事例「テレビを聴く－ドラマ・アニメの中の音の風景－」 兼古 勝史 (立教大学・武蔵大学社会学部)

3 事例「地域の音の風景を記録する博物館」 大庭 照代 (千葉県立中央博物館生態・環境研究部)

4 解説「音の風景を仮想空間で再現する技術」 豊谷 純 (日本大学生産工学部)

③研究発表「私たちの大切な場所の音環境調査報告－地域の音が出る地図の聞きどころ－」 音環境調査会 (耳をたよりにプロジェクト)

1 仁戸名小学校区 佐々木 明美 (千葉市在住)

2 なつかしいふるさとの音・大やぶ池の森 柴田 清治 (千葉市在住)

3 千葉公園の四季 眞智 和佳奈・洋二・孝子 (小学 6 年生および家族 千葉市在住)

4 森と海の SOUND (ビデオ発表) 森山 蒼瑚 (中学 2 年生 千葉市在住)

5 活動支援で感じたこと 田中 理恵子 (研究協力者 千葉市在住)

④発表者へのコメント・意見交流

配布資料：プログラム 4p

※本シンポジウムは、企画展「音の風景－うつりゆく自然と環境を未来に伝える－」と関連して開催した。

2.2.2 セミナーの開催 12回

研究事業活性化のため、研究員の研究成果紹介や最近の研究動向などを発表し、研究員間の情報交換を行った。

①中央博セミナー (本館)

	開催日	発表テーマ	発表者
1	9月18日	海中の自然美を撮る	堀田弘文
2	11月20日	浦安のハマとオカ	秋山笑子
3	3月19日	鳥と音声の話	大庭照代

②海博セミナー (分館海の博物館)

	開催日	発表テーマ	発表者
1	10月24日	エリモアマノリの分類と生態	菊地則雄
2	11月7日	サラサエビ科エビ類の分類学的再検討	奥野淳兒
3	11月28日	海底に「ミステリーサークル」をつくるフグの不思議な生態	川瀬裕司
5	12月12日	大津波と復興工事が海岸植生に及ぼす影響	原 正利
5	12月26日	千葉県に於ける富士山宝永噴火の記録	本吉正宏
6	1月23日	カイメンと共生する？未知のイソギンチャクについて	柳 研介
7	1月30日	藻体内食－新しい摂餌様式	平野弥生 (共同研究員)
8	2月27日	タマアジサイ類の分類と分布 (2)	青木慎哉
9	3月13日	フジツボを題材とした生態学教材の開発	村田明久

2.2.3 研究紹介展示 6回

中央博物館研究員による国内および海外での調査研究活動や最新の研究成果のパネル紹介。
(場所：本館展示室)

期間	展示名	担当
昨年度2月1日～12月21日	地域の音を未来に伝える地図	大庭照代
昨年度2月20日～6月30日	世界で千葉県にだけ：新種「イスミスズカケ」の発見	斎木健一
7月1日～10月20日	生態園「舟田池」の水環境保全に向けた生態学的な取り組み	林 紀男
11月1日～(次年度継続)	東日本大震災の前後における海岸植物相の変化	由良 浩
12月22日～(次年度継続)	重点研究:海岸域における多様性の変化を探るー出土遺体と現生との比較からー:その1	黒住耐二
3月31日～(次年度継続)	風景を読み解くー房総半島の地形景観とその成り立ちに関する研究ー	八木令子

2.2.4 研究報告の発行 2誌

①Natural History Research Vol.13 No.1 2014年2月4日発行

著者	論文名	ページ
Tomoyuki Komai	A New Species of the Hermit Crab Genus <i>Catapaguroides</i> A. Milne-Edwards and Bouvier, 1892 (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguridae) from Sagami Bay, Japan.	1-9
Tomoyuki Komai	A New Bathyal Species of the Squat Lobster Genus <i>Munida</i> Leach, 1820 (Crustacea: Decapoda: Anomura: Munididae) from Japan.	11-18
Tomoyuki Komai	New Record of a Xanthid Crab <i>Alainodaeus nuku</i> Davie, 1997 (Crustacea: Decapoda: Brachyura) from Japanese Waters.	19-24

②千葉県立中央博物館自然誌研究報告 第13巻 第1号 2014年3月31日発行

	著者	論文名	ページ
古生物学・動物学	高橋啓一・薄井重雄・落合啓二	ニホンジカ冠状縫合の性差と個体成長ーシカ化石の分類のための基礎研究ー	1-27
博物館学	川瀬裕司	アンケートとお絵かきからみた子供に人気の展示生物ー企画展示「深い海に暮らす生きものたち」の内容と結果の分析	29-40
植物学	金子久男・金子和子・古木達郎	千葉県市川市のコケ植物	41-55
古生物学・動物学	大島光春・加藤久佳	千葉県富津市金谷の海岸に打ち上げられたイノシシ頭骨化石	57-61
古生物学・動物学	高橋啓一・北川博道・伊左治鎮司・加藤久佳	千葉県木更津市菅生産ナウマンゾウ化石	63-69

③千葉県立中央博物館研究報告ー人文科学ー第13巻 第2号 本年度の発行中止

2.2.5 職員の執筆・研究発表 373件

活動	人数	件数	内訳
学術論文・学術書への執筆	24	95	学術論文89件、学術書6件
報告書への執筆	17	35	
普及書への執筆	36	149	
口頭発表	25	94	

2.3 研究交流

2.3.1 海外調査・海外研究員の来訪

	種類	人数	備考
本館	職員の海外調査	4	6カ国、現地調査および標本調査
	海外研究員の来訪	5	5カ国、大学および研究機関
分館海の博物館	職員の海外調査	0	
	海外研究員の来訪	0	

①海外調査

氏名	渡航先	渡航目的	滞在期間	備考
黒住耐二	大韓民国	調査	平成 25 年 9 月 11 日-14 日	助成金
立川浩之	グレートブリテン及び北アイルランド連合王国・ドイツ連邦共和国	調査	平成 25 年 9 月 21 日-29 日	科研費
駒井智幸	トンガ共和国、ニュージーランド	海洋研究開発機構による乗船調査への参加のため	平成 25 年 10 月 22 日-11 月 2 日	国費
柳 研介	デンマーク王国	標本調査	平成 25 年 11 月 16 日-26 日	科研費

②海外研究員の来訪

訪問者氏名	所属	国籍	滞在期間	対応職員
Katie May Lawmann	Virginia Institute of Oceanography	アメリカ	平成 25 年 6 月 18 日-8 月 31 日	宮 正樹
Patrick Kuss	Institute of Systematic Botany (スイス植物系統学研究所)	スイス	平成 25 年 11 月 5 日	天野 誠
Jan Yde Poulsen	University of Bergen	デンマーク王国	平成 26 年 2 月 4 日-3 月 31 日	宮 正樹
Verity Nye	National Oceanography Centre Southampton	イギリス	平成 26 年 2 月 12 日	駒井智幸
Vadim A. Bakalin	Far Eastern Branch of the Russian Academy of Science (ロシア科学アカデミー極東支部)	ロシア	平成 26 年 3 月 8 日-12 日	古木達郎

2.3.2 館友、共同研究員、市民研究員、研究生の受入

	種類	人数	内訳	対応研究員数	(平成 24 年度)
本館	館友	2	継続 2	2	2
	共同研究員	21	継続 14、新規 7	9	19
	市民研究員	39	継続 34、新規 5	11	39
	研究生	1	新規 1	1	1
	合計	63		18	61

館友：退職後も当館において調査研究活動を継続する当館の元研究職員。

共同研究員：当館職員と共同で、当館の資料・設備等を利用して研究を行う館外の研究者・専門家。

市民研究員：当館職員の助言により、館内外で調査研究活動を行う市民。

研究生：当館職員が大学と連携して研究指導を行う大学・大学院在籍の学生。

①館友

氏名	退職時肩書き	研究テーマ	担当
大場達之	副館長	千葉県植物相に関する研究	宮田昌彦
吉村光敏	地学研究科長	地形景観を主題にした鳥瞰図のデータベース化/千葉県の滝の地形学的研究	八木令子

②共同研究員

	氏名	研究テーマ	担当	新規/継続
1	木村 陽子	千葉県の維管束植物に関する研究	天野 誠	継続
2	富塚 朋子	房総半島における海藻・海草の標本調査と民俗植物学的研究	宮田昌彦 古木達郎	継続
3	吉川 裕子	地衣類の化学分類	原田 浩	市民研究員から
4	河崎 衣美	石像文化遺産上に生育する地衣類の多様性解明	原田 浩	市民研究員から
5	坂田 歩美	リトマスゴケ科地衣類の分類学的研究	原田 浩	継続
6	木下 靖浩	地衣類の化学分類	原田 浩	継続
7	高橋 (嶋村) 奏恵	ツブノリ科地衣類の分類学的研究	原田 浩	継続
8	坪田 美保	地衣類の共生菌に関する研究	原田 浩	継続

9	綿貫 攻	日本産樹皮着生スミイボゴケ属の分類学的研究	原田 浩	継続
10	Jae-Seoun Hur	Taxonomic study on Korean lichens (韓国の地衣類の分類学的研究)	原田 浩	継続
11	王 立松	Taxonomic study on lichens of Yunnan, China (中国雲南省産地衣類の分類学的研究)	原田 浩	継続
12	浅井 秀彦	銚子層群の動物化石相	加藤久佳	継続
13	箕輪 義隆	利根川水系の湿地における鳥類相の解明	桑原和之	継続
14	松丸 一郎	湿地におけるトモエガモ <i>Anas formosa</i> の越冬生態	桑原和之	継続
15	今井 優	草地性鳥類のハビタット評価	桑原和之	継続
16	斉藤 敏一	利根川水系の湿地における鳥類相の変遷	桑原和之	新規
17	布留川 毅	外房海岸における鳥類相の変遷	桑原和之	新規
18	吹春 俊光	糞生菌・アンモニア菌の研究	古木達郎	新規
19	平野 弥生	十文字クラゲ <i>Lipkea</i> sp. の分類学的検討と生活史の解明	柳 研介	新規
20	尾崎 真澄	千葉県における淡水魚介類相の解明および稀少生物の保全	宮 正樹	新規
21	豊谷 純	地域の音環境の記録および音声資料の共有を促進する地理情報ネットワークシステムの構築	大庭照代	継続

③市民研究員

	人数	研究テーマ	担当	新規/継続
1-8, 12	9	房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求（継続）	高橋直樹	継続
9	1	房総半島中部に分布する万田野砂礫層の礫供給源（後背地）の探求	高橋直樹	新規
10	1	鉱物の同定—特に砂を構成する粒子について	高橋直樹	継続
11	1	初期近代鉱物学史を中心とした地学史研究	高橋直樹	継続
13	1	万田野層の古脊椎動物化石相の研究	伊左治鎮司	継続
14	1	三浦層群ならびに上総層群の底生無脊椎動物化石の分布調査	加藤久佳	継続
15	1	銚子層群の軟体動物及び甲殻類化石の研究	加藤久佳	継続
16	1	北総台地における木下層化石の研究	加藤久佳	継続
17	1	データ主導型・発見探索型アプローチによる深海魚の進化史と多様性の包括的解明	宮 正樹	継続
18	1	貝紫について イボニシガイ・アカニシガイなどの生態に関する研究	黒住耐二	継続
19	1	千葉県産蛾類データベースの構築	斉藤明子	継続
20	1	千葉県北部地域の昆虫相（甲虫類）	斉藤明子	継続
21	1	古代における上総国と中央政権(勢力) との交流	高梨俊夫	継続
22	1	黒姫山周辺の地衣類	原田 浩	継続
23	1	房総の地衣類誌	原田 浩	継続
24	1	苗場山の地衣相	原田 浩	継続
25	1	21世紀の森と広場（松戸市）における地衣類観察の取り組み	原田 浩	継続
26	1	関東地方（特に千葉県佐倉市）周辺の地衣類相	原田 浩	継続
27	1	茨城県北部の地衣類相	原田 浩	継続
28	1	地衣類の顕微鏡観察	原田 浩	継続
29	1	<i>Malcolmiella</i> 属地衣類の分類学的研究	原田 浩	継続
30	1	白井市周辺の地衣類	原田 浩	継続
31	1	地衣類の内部組織の観察	原田 浩	継続
32	1	海岸生ダイダイゴケ属 (<i>Caloplaca</i>) の形態分類	原田 浩	継続
33,34	2	房総の蘚苔類（コケ植物）誌	古木達郎	継続
35	1	鹿田山丘陵の蘚苔類	古木達郎	新規
36	1	腐生性アンモニア菌・糞生菌の研究	古木達郎	新規
37	1	腐生性アンモニア菌の研究	古木達郎	継続
38	1	八丈島における国内外来種日本イタチの食性	落合啓二	新規
39	1	「脱ゆとり教育」年代に関する学校の博物館利用	林 浩二	新規

④研究生

人数	研究テーマ	担当	新規/継続
1	青森県下北半島沖の深海底堆積物に対する化石花粉分析	奥田昌明	新規

2.3.3 客員研究員・学会委員等の受託 18名 29件

種類	人数	件数
客員研究員	4	6
学会委員	15	23

3A 展示 <本館>

常設展示の一部を更新し、企画展示・出前展示を開催した。

3A.1 常設展示

3A.1.1 展示更新等 17 箇所

展示資料等の更新（追加・入替等）およびパネル追加を行った。

■展示更新等 17 箇所

展示室名	展示コーナー	更新内容
地学展示室	嶺岡山地の地質	シロウリガイ類化石 2 点を「新鉱物千葉石」展示ケース内に追加
	相談コーナー	解説パネル「ジオパークに行ってみよう」設置
歴史展示室	戦国時代の房総	資料貸出による入替 撤去：鑄銅唐草文釣燈籠、鑄銅孔雀文磬（応永 33 年在銘）、鑄銅鰐口（応永 34 年在銘） 追加：喜連川判鑑、快元僧都記、笹子落草子（いずれも複製）
分類展示室	軟体動物門	サザンカイモの期間限定展示（1/11-2/15）
	蛭虫動物門	オオボネリムシ写真の入替（劣化による）
小動物展示室		モツゴ、ツチフキ、ヌマチチブ、タロモコ、スジエビ、テナガエビを大水槽に導入
案内所		ミジンコ（水槽 1 台）導入

3A.1.2 音声ガイドの利用 1,007 人

常設展示の解説が聞ける、音声ガイドの貸出を行った。ガイドの台数：10 台。

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
54	79	106	94	249	68	67	86	50	71	63	20	1,007

3A.2 企画展示

次の企画展示を実施した。

	開催回数	入場者数※1	観覧料※2	主な会場
企画展	1	34,547	500 円	第1・第2 企画展示室、2 階ホール等
季節展等※3	5	62,167	300 円	〃
トピックス展	12	89,366	300 円	2 階ホール、展示室廊下等
生態園トピックス展	4	29,625	無料	生態園オリエンテーションハウス
計	22	215,705		

※1 企画展（本館展示室入場者・生態園入場者・行事参加者・その他利用者）、季節展等・トピックス展（本館展示室入場者）、生態園トピックス展（生態園入場者）

※2 常設展示の観覧料を含む（金額は一般個人）

※3 夏期に第1 企画展示室で開催した地域連携展の入場者数は、企画展と同じ算出根拠とした。

（凡例）

	企画展示名	会期	開催日数	入場者数
--	-------	----	------	------

会期が年度をまたぐ場合、開催日数および入場者数は本年度分の数値を挙げている。全会期の合計と内訳は詳細に示す。

■ 企画展

1	音の風景 -うつりゆく自然と環境を未来に伝える-	2013 年 10 月 5 日～12 月 1 日	50 日	34,547 人
---	--------------------------	--------------------------	------	----------

入場者数：本館展示室：9,296 人、生態園：10,466 人、行事参加・利用者：14,785 人

展示概要：多様でおもしろい自然の音や、録音方法の進歩、日本の録音家の紹介、学習プログラム「耳をたよりにプロジェクト」、水郷佐原の震災前後の変化を全球パノラマで再現する「音の風景シアター」、中央博物館友の会の協力による「未来に残したい音・伝えたい音」、日本サウンドスケープ協会による展示「音風景の地平」など、ありとあらゆる切り口で、音の風景を紹介した。

主な展示資料：千葉の音今昔（音声・パネル）、「自然の音を聞ける人になりましょう」（ビデオ）、舟田池リアルタイムサウンドモニタリング、源氏物語絵巻、浮世絵、日本画（デジタル複製）、虫籠、鳥籠、鉄瓶、「自然の音曼荼羅」（壁画）、鳴きまね（音声・録音・剥製・写真・パネル）、フクロウの不思議な声（音声・録音・剥製・写真・刺繍・パネル）、壁に耳あり障子に目あり（音声・イラスト）、野生生物録音黎明期（録音資料・パネル）、日本における野生生物録音（録音資料、蒲谷鶴彦氏が使用した録音機・パラボラ集音器・超指向性マイク）、デジタル録音（録音機・媒体・パネル）、みみふくろーが紹介する録音の歴史（音声）、個別音録音（録音資料）、音環境録音（録音資料）、録音方法と道具類（録音機・マイク・三脚・パラボラ集音器・野帳）、中央博物館資料百選からいろいろな音を聞いてみよう（音声・パネル）、松浦一郎生物音声コレクション（虫の飼育ケージ・録音資料）、峯岸典雄・金田忍・小山勇のコレクション（録音資料・録音記録）、音の視覚化（本・サウンドマップ）、自然の音を聞くことの未来（録音資料・論文・報告書・教育普及資料・写真・サウンドカード・サウンドカードプレーヤー・ききみみずきん（開発機）・パラボラ集音器・関連資料、地域の音が出る地図作製装置、パノラマ音空間像デザイン図）、佐原音環境調査（地図・写真・調査記録・デザイン図）、音の風景シアター（佐原の音環境夏祭と秋祭）、佐原の音の思い出（パネル・航空写真）、音環境調査室（地域の音が出る地図・調査ノート・パネル・調査報告ポスター）、未来に伝えたい音の風景（残したい日本の音風景ビデオ・録音資料）、友の会会員による「未来に残したい音・伝えたい音」、「Oh! ききみみずきん」・音声資料カタログ・博物館音声資料を活用した成果品・音の標本箱・日本サウンドスケープ協会（歴史パネルと関連資料・活動パネル・震災プロジェクトのパネルとDVD、音についての投影・俳句の掛け軸）全1,817点

行事：内覧会（10/4）、ミュージアムトーク（10/5、10/6、11/4、11/23）、サウンドスケープの教室（10/5、10/6、10/12、10/13、10/19、10/20、10/26、11/2、11/3、11/9、11/10、11/23、11/24）、とりの声キャッチ名人（10/5、10/12、10/19、10/26、11/2、11/9、11/16、11/30、12/1）、森の音さんぽ（10/6）、友の会解説（10/9）、生態園観察会「虫の声2 江戸時代の虫聴き」（10/12）、特別解説（10/12、10/13、10/14）、大利根分館講座「水郷の自然と歴史 耳で聞く水郷佐原」（10/19）、中央博（自然誌）シンポジウム（10/27）、ネーチャーサタデーコンサート（音のこころ）（11/9）、猫八さんトークショー（11/10）、日本サウンドスケープ協会秋季研究発表会（11/16）、日本サウンドスケープ協会創立20周年記念シンポジウム「音風景の地平をさぐる」（11/17）、記念講演会「動物の音世界：自然界のサウンドスケープ」（11/17）、生態園観察会「冬の音を楽しもう」（11/24）プレイベント：とりの声キャッチ名人（4/6、4/13、4/20、4/27、5/4、5/11、5/18、5.25、6/1、6/8、6/15、6/22、6/29、7/6、7/13、7/20、7/27、8/3、8/10、8/17、8/24、8/31、9/7、9/14、9/21、9/28）、鳥のさえずり（4/28）、ネーチャーサタデーコンサート（音のこころ）（5/11、6/15、7/20）、早起きをして夏の音をさがそう（8/4）

解説書・配布資料：ポスター、チラシ、会場案内図（音を聞くポイント）、展示のみどころ

会場：2 階ホール、第1 企画展示室、第2 企画展示室、展示室通路

担当：大庭照代

館内協力者：宮野伸也、落合啓二、白井豊、由良浩、林紀男、御巫由紀、山口剛、桑原和之、倉西良一、尾崎煙雄、島立理子、大木淳一、加藤久佳、立和名明美、小田島高之、原正利

主な連携先：日本サウンドスケープ協会、千葉市科学館、千葉市動物公園、千葉県リート・オペラワークショップ・S.C.

助成：芸術文化振興基金 900,000 円

備考：科研費「自然と環境を聞く力を養うための博物館音響資料の収集・保存・持続的な活用の研究」による研究の成果還元展示

■ 季節展等

1	春の展示「ナッツ&ベリー -千葉の名産から世界の逸品まで-	2013 年 3 月 16 日～5 月 12 日	36 日	6,556 人
<p>開催日数 : 計 50 日 (前年度 14 日、本年度 36 日) 入場者数 : 計 9,723 人 (前年度 3,167 人、本年度 6,556 人) 展示概要 : 他の動物に種子を運んでもらうために進化したナッツやベリー。ヒトが食べてもおいしい木の果のいろいろを紹介。 主な展示資料 : ミックスナッツの正体、いろいろなナッツ、千葉県のカナダナッツ&ベリー、いろいろなベリー、七味唐辛子の正体、リキュールやケーキになったナッツ&ベリーなどの写真 161 点、標本 72 点、実物・加工品 229 点、書籍 8 点ほか合計 596 点 行事 : 「ナッツとベリーの秘密」(4/14)、公開講座「落花生」(4/20)、体験イベント「落花生の食べくらべ」(4/28、4/29、5/3、5/4)、「ナッツと力くらべ」(5/6)、落花生の種の無料配布 (4/28、5/6)、ミュージアムトーク (4/6、4/7、4/13、4/20、4/21、4/27、5/5、5/11、5/12) 解説書・配布資料 : A4 版チラシ 会場 : 第 1 企画展示室 担当 : 古木達郎、天野誠、齋木健一 館内協力者 : 原正利、大野啓一、桑原和之、尾崎煙雄、島立理子、御巫由紀、大木淳一、三浦和信、高橋直樹 主な連携先 : 千葉県いちご組合連合会、(社) 千葉県落下生協会、八街商工会議所落花生部会、千葉県農林総合研究センター、千葉県農林水産部生産販売振興課</p>				
2	夏の展示「写真展 海の宝石 -ウミウシの世界-	2013 年 7 月 13 日～9 月 8 日	56 日	14,270 人
<p>展示概要 : さまざまな色や模様を持ち、「海の宝石」とも呼ばれるウミウシたちを写真で紹介。 主な展示資料 : 写真 132 点に加えて標本等を含めて計 198 点 行事 : 展示解説「ウミウシを知ろう」(7/15)、ミュージアムトーク (7/13、7/27、8/4、8/11、8/18) 解説書・配布資料 : A4 版チラシ 会場 : 第 2 企画展示室 担当 : 立川浩之 館内協力者 : 宮正樹、黒住耐二</p>				
3	地域連携展「世界の音を聴こう！」	2013 年 7 月 20 日～9 月 1 日	44 日	32,758 人
<p>入場者数 : 本館展示室 : 12,404 人、生態園 : 6,228 人、行事参加・利用者 : 14,126 人 展示概要 : 会場内に配置された 24 個のスピーカーから流れる世界各地 25 カ国の音を自由に聴き巡りながら、世界の音の多様性を感じとる展示。 主な展示資料 : サウンドインスタレーション、録音地点のスライドショーと世界地図 行事 : 解説会、ネーチャーサタデーコンサート(音のこころ) (7/20)、体験イベント「世界の森の音を聞きくらべよう」(7/21)、ミュージアムトーク (7/28、8/10) 解説書・配布資料 : A4 版チラシ、案内地図 (A4 版 2 ページ) 会場 : 2 階ホール、第 1 企画展示室 担当 : 大庭照代 制作 : サウンドバムプロジェクト (代表 川崎義博) 館内協力者 : 落合啓二、白井豊、由良浩、林紀男、林浩二、御巫由紀、山口剛、大木淳一、立和名明美、原正利 主な連携先 : 千葉市科学館</p>				
4	北川隆司鉱物コレクション展-教授を魅了した大地の結晶-	2014 年 1 月 11 日～2 月 23 日	38 日	5,373 人
<p>展示概要 : 広島大学の故北川隆司教授が収集した個人鉱物コレクション約 2,000 点の中から、鮮やかな色や整った形を示す結晶など、自然の造形の標本約 200 点を選び紹介。 主な展示資料 : 北川隆司氏鉱物標本 216 点 行事 : ミュージアムトーク (1/12、1/26、2/23) (2/9 は大雪で臨時休館のため中止) 解説書・配布資料 : 展示解説チラシ (A4 版 1 枚 (2 ページ)) : 手印刷 会場 : 第 1 企画展示室 担当 : 高橋直樹 館内協力者 : 岡崎浩子、八木令子、伊左治鎮司 主な連携先 : 日本鉱物科学会、日本粘土学会</p>				
5	春の展示「水辺の記憶 -写真家 林辰雄のまなざし-	2014 年 3 月 8 日～5 月 25 日	20 日	3,210 人
<p>開催日数 : 計 66 日 (本年度 19 日、次年度 47 日) 展示概要 : アマチュア写真家、林辰雄さんが水辺に生きる人々の暮らしをテーマに昭和 30～40 年代に撮影した写真を紹介。 主な展示資料 : 写真資料 123 点、漁具・民具・生物標本等 96 点 行事 : 内覧会 (3/8)、講演会 (3/22) 解説書・配布資料 : 有り 会場 : 第 1 企画展示室 担当 : 小林裕美 館内協力者 : 内田龍哉、三浦和信、田邊由美子、白井豊 助成金 : 日本海事科学振興財団「海と船の企画展」 1,110,000 円</p>				

■トピックス展

1	サクラサク	2013年3月23日～4月7日	6日	1,048人
<p>開催日数：計14日（前年度8日、本年度6日） 入場者数：計3,226人（前年度2,178人、本年度1,048人） 展示概要：桜の開花期に当たり、当館所蔵の桜に関する浮世絵・地誌・本草書を展示紹介。 主な展示資料：歌川広重「千駄木団子坂 花屋敷」（複製）、歌川広重「飛鳥山 北の眺望」（複製）、齊藤月岑著「江戸名所図会」、寺島良安著「和漢三才図会」4点 会場：2階ホール 担当：内田龍哉 館内協力者：島立理子、立和名明美、御巫由紀</p>				
2	貝類新収蔵資料・伏見道雄貝類コレクション. パート1	2013年3月26日～4月26日	22日	2,684人
<p>開催日数：計28日（前年度6日、本年度22日） 入場者数：計4,182人（前年度1,498人、本年度2,684人） 展示概要：伏見道雄氏が収集された、世界中の海産種を中心とした希少種を多く含む貴重な貝類のコレクションを紹介。 主な展示資料：サクライダカラ、アサヤケダカラ、ゴトウオキナエビス、アデヤカイモなど29点 解説書・配布資料：解説資料「貝類新収蔵資料・伏見道雄貝類コレクション. パート1」A4版1p. 会場：2階ホール 担当：黒住耐二 館内協力者：宮正樹</p>				
3	ZooMuSee -超高分解度昆虫画像データベース-	2013年3月28日～2014年3月28日	309日	50,953人
<p>開催日数：計312日（前年度4日、本年度309日） 入場者数：計51,846人（前年度893人、本年度50,953人） 展示概要：昆虫の超高分解度画像を、マウスを使って自由に拡大縮小することができる超高分解度昆虫画像データベース「ZooMuSee」を紹介。 主な展示資料：「ZooMuSee」をインストールしたコンピュータ・パネル 会場：2階ホール 担当：宮野伸也、齊藤明子、尾崎煙雄</p>				
4	千葉県のレア・アース鉱物	2013年4月27日～7月15日	69日	10,941人
<p>展示概要：レア・アースを含む特殊な鉱物「チェフキン石」が千葉県で発見・記載されたのを機会にその標本を紹介。 主な展示資料：チェフキン石標本（顕微鏡観察）、チェフキン石を含む岩石標本、レア・アースを含む様々な鉱物標本など 会場：地学展示室前 担当：高橋直樹</p>				
5	貝類新収蔵資料・伏見道雄貝類コレクション. パート2	2013年5月15日～6月30日	41日	5,258人
<p>展示概要：伏見道雄氏が収集された、世界中の海産種を中心とした希少種を多く含む貴重な貝類のコレクションを紹介。 主な展示資料：シンセイダカラ・リュウグウオキナエビスなど74点 解説書・配布資料：解説資料「貝類新収蔵資料・伏見道雄貝類コレクション. パート1」A4版1p. 会場：2階ホール 担当：黒住耐二 館内協力者：宮正樹</p>				
6	花菖蒲	2013年5月25日～6月9日	14日	1,458人
<p>展示概要：花菖蒲に関連する文書等の歴史的資料を紹介。 主な展示資料：花菖蒲に関連する文書等 会場：2階ホール 担当：内田龍哉</p>				
7	千葉県特別支援学校作品展	2013年7月30日～8月5日	7日	2,010人
<p>展示概要：千葉県下の特別支援学校生徒が作成した絵を展示。 主な展示資料：特別支援学校生徒が描いた絵 会場：地学・生物展示室廊下 担当：宮正樹 館内協力者：大木淳一、伊左治慎司、宮野伸也 主な連携先：千葉県特別支援学校</p>				
8	緊急報告！ 台風26号による伊豆大島の土石流災害	2013年11月2日～12月15日	38日	6,155人
<p>展示概要：台風26号によって伊豆大島で起きた土石流災害が、どのような場所で、どのように発生したか、火山地質模型や航空</p>				

斜め写真などを使って解説。

主な展示資料：伊豆大島火山地質模型 1 点、災害状況の航空斜め写真 7 点、伊豆大島地形図 2 点、溶岩、火山弾の実物標本数点

会場：地学展示室前廊下

担当：八木令子

館内協力者：小田島高之、高橋直樹

9	ネギ畑からクジラの化石！	2013 年 12 月 21 日～12 月 27 日	6 日	574 人
---	--------------	----------------------------	-----	-------

展示概要：柏市のネギ畑から発掘されたクジラの化石を紹介。

主な展示資料：クジラ脊椎骨化石 5 個、肋骨化石 1 本、サメの歯化石 34 本、貝化石 1 個、発掘風景映像 1 点、解説パネル 2 点

解説書・配布資料：A4 版チラシ

会場：2 階ホール

担当：加藤久佳

館内協力者：伊左治鎮司、岡崎浩子

10	干支にちなんで一年-	2013 年 12 月 21 日～2014 年 1 月 10 日	11 日	1,011 人
----	------------	----------------------------------	------	---------

展示概要：2014 年の干支である「午」にちなむ生きものを紹介。

主な展示資料：ウマノオバチ等の動物標本 14 点、ウマゴヤシ等の植物標本 6 点、馬蹄石等の岩石標本計 3 点

会場：2 階ホール、歴史展示室

担当：宮正樹

館内協力者：斉藤明子、高橋直樹、黒住耐二、立川浩之、田邊由美子、天野誠

11	房総ゆかりの富士山	2014 年 1 月 5 日～2 月 9 日	31 日	3,763 人
----	-----------	------------------------	------	---------

展示概要：「新♥発見 チバ×Mt.Fuji」魅力発信のキャンペーンに合わせ、房総からの富士山を描いた風景画を展示する。

主な展示資料：広重「六十余州名所図会 下総銚子の浜外浦」、広重「富嶽三十六景 常州牛嶋」ほか計 27 点

行事：ミュージアムトーク(1/5, 1/12, 1/19, 1/26, 2/8)

会場：第 2 企画展示室

担当：内田龍哉

12	冬の華サザンカと仲間たち	2014 年 1 月 9 日～2 月 9 日	28 日	3,511 人
----	--------------	------------------------	------	---------

展示概要：冬に咲くサザンカの仲間である野生種を展示。併せて国立歴史民俗博物館「くらしの植物苑」で開催中の「冬の華サザンカ」展の展示の様子を掲示。

主な展示資料：サザンカ・ヤブツバキ・キャノキなど当館で収蔵しているサザンカの仲間の模型を 5 体展示。

会場：2 階ホール

担当：立和名明美

館内協力者：大野啓一、御巫由紀、内田龍哉、島立理子

主な連携先：国立歴史民族博物館

■生態園トピックス展 (会場：生態園オリエンテーションハウス)

1	写真でみる生態園のいきものたち	2013 年 2 月 26 日～5 月 6 日	31 日	8,193 人
---	-----------------	-------------------------	------	---------

開催日数：計 61 日(前年度 30 日、本年度 31 日)

入場者数：計 17,228 人(前年度 9,035 人、本年度 8,193 人)

展示概要：これまで撮りためられてきた、植物・昆虫・鳥・キノコなど生態園のさまざまな生きものたちの写真を一堂に紹介。

主な展示資料：春夏秋冬ごとに生態園内で撮影した植物、キノコ、コケ、虫、クモ、鳥、両生類などの写真 270 点

行事：展示解説会(3/13：友の会向けを兼ねて)、展示解説会(3/21：中央博ボランティア向けを兼ねて)

解説書・配布資料：解説書：図書室・生態園オリエンテーションハウス配置記録用に数部限定作製(A4)

2	生態園のトンボ	2013 年 7 月 9 日～8 月 18 日	35 日	5,549 人
---	---------	-------------------------	------	---------

展示概要：生態園で見られるトンボを中心に写真と標本でトンボの世界を紹介。

主な展示資料：トンボ標本

担当：倉西 良一

3	あなたが聞いた秋の音を教えてください	2013 年 8 月 27 日～12 月 8 日	90 日	15,883 人
---	--------------------	--------------------------	------	----------

展示概要：生態園観察会「とりの声キャッチ名人」の最近の活動を紹介し、iPhone アプリ「ききみみずきん」による野鳥観察の結果をスライドショーやツイートで紹介した。来園者もみつけた秋の音を掲示した。

主な展示資料：生態園ツイート地図、デジタル紙芝居「とりの声キャッチ名人」、キャッチ名人への道、体験シート、iPhone、Wifi(模型)、タイマー、ふりかえり、野鳥観察ガイドブック、野鳥観察カードセット 6 種、キャッチ名人バッジ 6 個、ツイートリスト(掲示)、iPad、解説、キャッチされた野鳥リスト、Q&A、講師紹介、生態園で聞いた秋の音揭示版全 28 点

行事：「虫の声 1 キリギリスとコオロギ」(8/24)、友の会解説(9/11)、友の会生き物教室「鳴く虫」(10/1)

担当：大庭照代

3A.3 出前展示 11件 入場者数 48,638人

館外イベントへのブース出展、当館資料の館外機関での展示を行った。

(凡例)

	企画展示名	会期	開催日数	入場者数
--	-------	----	------	------

会期が年度をまたぐ場合、開催日数および入場者数は本年度分の数値を挙げている。全会期の合計と内訳は詳細に示す。

1	芽ばえ展	2013年3月21日～5月6日	31日	6,884人
---	------	-----------------	-----	--------

開催日数：計40日（前年度9日、本年度31日）

入場者数：計9,052人（前年度2,168人、本年度6,884人）

展示概要：タネから発芽したばかりの小さな植物、芽ばえ。山野草や森の木々、果物などのさまざまな芽ばえのかわいらしい姿と特徴を紹介。

主な展示資料：芽ばえの写真37点

解説書・配布資料：展示解説書「芽ばえ」A4版4pp.

会場：さわやかちば県民プラザ さわやかコーナー

担当：大野啓一

館内協力者：萩野康則

館外連携先：さわやかちば県民プラザ

2	写真でみる生態園の生きものたち	2013年5月11日～7月7日	48日	10,715人
---	-----------------	-----------------	-----	---------

展示概要：生態園で見られる生きものの紹介。

主な展示資料：春に生態園内で撮影した植物、キノコ、コケ、虫、クモ、鳥、両生類などの写真パネル3枚

行事：ネイチャーサタデーコンサート(音のこころ)(5/11)

会場：大多喜城分館1階ホール

担当：地引尚幸、林紀男

館内協力：大野啓一、萩野康則、宮野伸也、斉藤明子、大木淳一、古木達郎、原田浩、山口剛、尾崎煙雄、御巫由紀、黒住耐二、桑原和之、倉西良一、吹春俊光、平田和宏、宇山直子

3	ラムサール条約登録20周年記念 谷津干潟の日イベント	2013年6月1日～6月2日	2日	1,212人
---	----------------------------	----------------	----	--------

展示概要：ラムサール条約登録20周年を記念して

主な展示資料：鳥類の写真パネル等

解説書・配布資料：博物館パンフレット

会場：谷津干潟観察センター

担当：大木淳一

館内協力者：桑原和之

館外連携先：谷津干潟観察センター

4	水郷を旅した人々	2013年8月18日～9月5日	16日	9,566人
---	----------	-----------------	-----	--------

展示概要：水郷を訪れた文人・文豪の作品を紹介。

主な展示資料：絵画・地誌・紀行文など。

会場：さわやかちば県民プラザ(柏市)

担当：内田龍哉

館外連携先：さわやかちば県民プラザ

5	エコメッセ2013 in ちば：博物館紹介	2013年9月28日	1日	300人
---	-----------------------	------------	----	------

展示概要：かかわり展示室などで展示しているバイオマス等エコロジー関連の話題を紹介。

主な展示資料：野鳥の写真パネル・木質プラスチックデコイ・文字パネル等

解説書・配布資料：博物館のパンフレット

会場：幕張メッセ国際会議場

担当：桑原和之

6	水郷を旅した人々	2013年10月19日～11月30日	37日	4,488人
---	----------	--------------------	-----	--------

展示概要：水郷を訪れた文人・文豪の作品を紹介。

主な展示資料：旅日記(複製)、スライドショー展示など。

行事：東部図書館歴史講座「利根川水運と文人・文豪の水郷遊歴」(11/30)

会場：千葉県立東部図書館(旭市)

担当：内田龍哉

館内協力者：糠谷隆

館外連携先：千葉県立東部図書館

7	第 42 回清和地区文化祭：房総の山のフィールド・ミュージアム紹介	2013 年 10 月 19 日～10 月 20 日	2 日	425 人
<p>展示概要：房総の山地に見られる貝やウニの化石、哺乳類などを紹介。 主な展示資料：貝やウニの化石実物・哺乳類の写真パネル 解説書・配布資料：博物館のパンフレット 会場：君津市清和公民館 担当：尾崎煙雄・加藤久佳・島立理子 館外連携先：君津市清和公民館</p>				
8	演習林一般公開：房総の山のフィールド・ミュージアム紹介	2013 年 11 月 30 日～12 月 1 日	2 日	3,958 人
<p>展示概要：房総の山地に見られる貝やウニの化石、哺乳類などを紹介。 主な展示資料：貝やウニの化石実物・哺乳類の写真パネル 解説書・配布資料：博物館のパンフレット 会場：東京大学千葉演習林 担当：尾崎煙雄・加藤久佳 館外連携先：東京大学千葉演習林</p>				
9	バンクス植物図譜	2014 年 1 月 21 日～1 月 26 日	6 日	1,200 人
<p>展示概要：当館所蔵のバンクス植物図譜のうち代表的な作品を千葉県文化会館で「施設まるごと文化発見フェスタ」というイベントにあわせて紹介。 主な展示資料：バンクス植物図譜から 10 点と解説パネル 行事：ギャラリートーク「バンクス植物図譜ーキャプテン・クックと旅した植物画ー」(1/26) 会場：千葉県文化会館大ホール・ホワイエ 担当：御巫由紀</p>				
10	職人尽絵の世界	2014 年 2 月 26 日～3 月 8 日	10 日	7,527 人
<p>展示概要：江戸期に製作された職人尽絵や明治期の錦絵などを展示し、伝統的な職人の生活を紹介した。 主な展示資料：職人尽絵貼りまぜ風絵、倭国諸職絵づくしなど 計 10 点 会場：さわやかちば県民プラザ(柏市) 担当：内田龍哉 館内協力者：立和名明美 館外連携先：さわやかちば県民プラザ</p>				
11	写真展 海の宝石 ウミウシの世界	2014 年 3 月 18 日～4 月 29 日	12 日	2,363 人
<p>開催日数：計 36 日(本年度 12 日、次年度 24 日) 入場者数：計 8,470 人(本年度 2,363 人、次年度 6,107 人) 展示概要：さまざまな色や模様を持ち、「海の宝石」とも呼ばれるウミウシたちを写真で紹介。 主な展示資料：写真パネル 75 枚 会場：さわやかちば県民プラザ・さわやかコーナー 担当：立川浩之 館内協力者：宮正樹、黒住耐二 館外連携先：さわやか県民プラザ</p>				

3B 展示 <大利根分館>

企画展示・出前展示を行った。

3B.1 企画展示

■年間開催概要 5件 18,687人

展示名	開催回数	日数	入場者数	観覧料 ※
企画展	1	30	8,401	300円
写真展	1	41	681	200円
収蔵資料展	2	64	8,390	200円
移動美術館	1	16	1,215	200円
計	5	151	18,687	

常設展示の観覧料を含む（金額は一般個人）

■実施詳細

1	企画展「利根川と文学 -寺田憲とその周辺-」	2013年6月1日～6月30日	30日	8,401人
---	------------------------	-----------------	-----	--------

展示概要：水郷を訪れた文人墨客の紹介。

主な展示資料：水郷をテーマにした書籍や文人に関する資料などおよそ120点

行事：ミュージアムトーク・企画展記念講演会

解説書・配布資料：解説書A3二つ折り4ページ「利根川と文学 -寺田憲とその周辺-」（A4）

会場：第3展示室

担当：糠谷隆

2	写真展「私が撮った水郷2013」	2013年4月2日～5月12日	41日	681人
---	------------------	-----------------	-----	------

展示概要：水郷地域の自然や文化を公募した写真で紹介する。

主な展示資料：水郷地域で撮影された写真およそ50点

会場：第3展示室

担当：佐藤誠

3	収蔵資料展「深海の生きものたち」	2013年7月20日～9月1日	42日	3,558人
---	------------------	-----------------	-----	--------

展示概要：深海の魚やエボ・カニなどの生きものを、標本などで紹介する。

主な展示資料：貝・エビ・カニ・深海魚等の標本およそ150点

会場：第3展示室

担当：糠谷隆

4	収蔵資料展「古い道具とむかしの暮らし」	2013年10月3日～2014年3月20日	22日	4,835人
---	---------------------	-----------------------	-----	--------

展示概要：小学3年生の「昔の暮らし」の学習単元に役立つ資料を紹介する。

主な展示資料：江戸～昭和にかけての生活道具およそ100点

会場：第3展示室、各学校など

担当：糠谷隆・佐藤誠

5	第37回千葉県移動美術館	2013年9月14日～9月29日	16日	1,215人
---	--------------	------------------	-----	--------

展示概要：千葉県立美術館の収蔵品を紹介する。

主な展示資料：千葉県ゆかりの作家の作品を中心に約30点

会場：第3展示室

担当：糠谷隆

3B.2 出前展示

小学校等で当館資料の展示を行った。

展示名	校数	件数	日数	観覧者数	展示概要
古い道具とむかしの暮らし	18	18	134	10,631	小学3年生の「昔の暮らし」の学習単元に役立つ資料を紹介した。
鳥の先祖は恐竜だった	9	14	113	7,915	恐竜の特徴や、鳥に近い動物であることを子ども向けに解説したパネルを展示した。
計	27	32	247	18,546	

■実施詳細

①出前展示「古い道具とむかしの暮らし」(担当: 糠谷隆・佐藤誠)

開始日	終了日	開催日数	会場	観覧者数
9月2日	9月20日	14	千葉大学教育学部附属小学校	724
11月19日	11月25日	4	市川市立二俣小	434
12月19日	1月21日	23	銚子市青少年文化会館	1,472
1月6日	1月10日	5	船橋市立高根東小	566
1月10日	1月20日	7	市川市立妙典小	800
1月20日	1月22日	3	柏市立藤心小	486
1月23日	1月28日	4	潮来市立潮来小	286
1月22日	1月31日	8	市川市立塩焼小	827
1月27日	2月3日	8	印西市立内野小	386
2月4日	2月7日	4	市川市立南新浜小	679
2月5日	2月13日	9	匝瑳市立吉田小	74
2月5日	2月14日	10	旭市立共和小	307
2月14日	2月19日	6	柏市立土南部小	762
2月17日	2月21日	5	八街市立実住小	818
2月19日	2月24日	6	私立日出学園小	520
2月24日	2月28日	5	成田市立公津の杜小	757
2月28日	3月4日	5	旭市立鶴巻小	162
2月26日	3月5日	8	香取市立小見川中央小	571

②パネル展示「鳥の先祖は恐竜だった」(担当: 佐藤誠)

開始日	終了日	開催日数	会場	観覧者数
4月1日	4月24日	23	八千代市村上小学校	110
4月28日	5月26日	24	八千代市立萱田南小学校	622
4月29日	4月29日	1	八千代市立萱田南小学校(保護者見学)	418
5月30日	6月23日	25	八千代市立みどりが丘小学校	329
6月28日	7月28日	31	八千代市立萱田小学校	1,091
7月6日	7月6日	1	八千代市立萱田小学校(保護者見学)	983
8月26日	8月26日	1	八千代市立大和田小学校(登校日)	790
9月27日	9月27日	1	八千代市立八千代台小学校	453
10月17日	10月17日	1	八千代市立八千代台小学校(保護者見学)	453
11月20日	11月20日	1	八千代市立八千代台西小学校	378
12月16日	12月16日	1	八千代市立八千代台西小学校(保護者見学)	747
1月24日	1月24日	1	八千代市立西高津小学校	994
2月3日	2月3日	1	八千代市立八千代台西小学校	386
3月10日	3月10日	1	八千代市立米本小学校	161

3C 展示 〈大多喜城分館〉

常設展示を更新し、企画展示を開催した。

3C.1 常設展示

展示更新

企画展示の合間に展示更新を行った。

展示室名	展示コーナー	更新内容
1階ロビー	ロビー展示	瓶
2階展示室	房総の城と城下町	刀（固山宗平）、槍（播磨大掾藤原重高）、薙刀（越中守正俊）、 大多喜領地絵図複製、紙本著色本多忠勝画像
1階ロビー	ロビー展示	重陽菊文湯呑
2階展示室	房総の城と城下町	槍（大田喜住長久）、刀（莊司直勝）、脇指（備州三原住貞正）、 薙刀（越中守正俊）、赤糸威大鎧複製等
2階展示室	房総の城と城下町	紺糸威桶側胴具足、紺糸威仏胴具足、色々威腹巻、紺糸威二枚胴具足
3階展示室	房総の城と城下町	諸国道中金の草鞋 十七、扁額（広厳院観音堂）、キリシタン禁制制札、 大多喜縣廳等
1階ロビー	ロビー展示	切金螺鈿蔦葉文黒漆塗鞍、蠟色塗竹文銀平象嵌鏡等
1階ロビー	ロビー展示	花見道具等

3C.2 企画展示

年間開催概要

展示名	開催回数	開催日数	入場者数	観覧料 ※
企画展	1	39	14,068	300円
収蔵資料展	1	88	23,608	200円
地域連携展	1	24	7,046	200円
特別公開	2	66	18,446	200円
移動美術館	1	14	2,457	200円
計	6	231	65,625	

常設展示の観覧料を含む（金額は一般個人）

■実施詳細

1	企画展「上総の仏教美術Ⅱ -長生・山武-	2013 年 10 月 25 日～12 月 8 日	39 日	14,068 人
<p>展示概要 : 長生・山武地域の寺院等が所蔵している仏教美術に係る資料を紹介した。</p> <p>主な展示資料 : 日輪寺密教法具、木造阿弥陀如来坐像、鑄銅唐草文釣燈籠(重文)など 4 2 点</p> <p>行事 : 講演会「上総の仏教美術 -工芸品を中心に-」(11/10)、博物館セミナー「仏教美術にみる上総の歴史」(11/17)、 声明公演(11/24)、試着体験「如来・菩薩の格好をしてみよう」(11/2)、「仏像を 3D で見てみよう」(12/1・7・8)、「お茶席」(11/16)</p> <p>解説書・配布資料 : 解説書 A3 二つ折り、「上総の仏教美術Ⅱ -長生・山武-」(A4)</p> <p>会場 : 2 階展示室及び 1 階フロアー</p> <p>担当 : 村田憲一</p> <p>館内協力者 : 地引尚幸、福原宣之、内田龍哉、本吉正宏、三浦和信</p>				
2	収蔵資料展「大多喜藩の弓術」	2013 年 7 月 11 日～10 月 20 日	88 日	23,608 人
<p>展示概要 : 当館で所蔵している大多喜藩弓術関係資料を紹介した。</p> <p>主な展示資料 : 小張顔之図、旧大多喜城図、重藤 弓等約 40 点</p> <p>解説書・配布資料 :</p> <p>会場 : 2 階展示室</p> <p>担当 : 地引尚幸</p> <p>館内協力者 : 福原宣之、村田憲一</p>				
3	久能山東照宮「家康公の時計」特別公開	2013 年 9 月 3 日～9 月 29 日	24 日	7,046 人
<p>主な展示資料 : 洋時計(重文)、東照大権現像、家康及徳川十六将図、大黒頭巾形兜など 14 点</p> <p>解説書・配布資料 : チラシ(A4)</p> <p>会場 : 2 階展示室</p> <p>担当 : 福原宣之</p> <p>館内協力者 : 地引尚幸、村田憲一</p> <p>主な連携先 : 大多喜町</p>				
4	特別公開Ⅰ「江戸風俗図屏風」	2013 年 4 月 1 日～4 月 23 日 2013 年 9 月 20 日～10 月 20 日 2014 年 3 月 19 日～4 月 22 日	57 日	17,734 人
<p>主な展示資料 : 江戸風俗図屏風の高精細デジタル複製品。左隻(2 回)、右隻(1 回)</p> <p>解説書・配布資料 : チラシ(A4)</p> <p>会場 : 1 階フロアー</p> <p>担当 : 地引尚幸</p> <p>館内協力者 : 福原宣之、村田憲一</p>				
5	特別公開Ⅱ「重要文化財 大薙刀」	2014 年 2 月 4 日～2 月 16 日	9 日	712 人
<p>主な展示資料 : 「大薙刀(伝法城寺)」「赤絲威大鎧(複製)」「後三年合戦絵巻」「源平合戦図」</p> <p>会場 : 2 階展示室</p> <p>担当 : 村田憲一</p> <p>館内協力者 : 地引尚幸、福原宣之</p>				
6	第 37 回千葉県移動美術館「千葉県立美術館名品展」	2014 年 2 月 22 日～3 月 9 日	14 日	2,457 人
<p>展示概要 : 千葉県ゆかりの作家の作品を中心に千葉県立美術館の収蔵品を紹介する。</p> <p>主な展示資料 : 浅井忠「藁屋根」、高村公太郎「手」など 16 点</p> <p>会場 : 3 階展示室</p> <p>担当 : 福原宣之</p> <p>館内協力者 : 地引尚幸、村田憲一</p>				

3D 展示 <分館海の博物館>

常設展示を更新し、企画展示を開催した。

3D.1 常設展示の更新

■ 展示更新

企画展示の合間に展示更新を行った。

展示室名	展示コーナー	更新回数
常設展示室	ユニット展示	3回交換
常設展示室	季節展示	4回交換
常設展示室	トピック展示	11回更新
常設展示室	自然観察エリアホワイトボード	18回更新
常設展示室	こんな研究をやっています	1回更新

3D.2 企画展示の開催

■年間開催概要

展示名	開催回数	開催日数	入場者数
マリンサイエンスギャラリー	2	70	14,333
収蔵資料展	1	48	19,647
お絵かき展	1	61	9,941
計	4	179	43,921

※ 年度またぎの企画展示の日数・入場者数は、本年度（2013年4月1日～2014年3月31日）のみの数値。

■実施詳細

1	マリンサイエンスギャラリー 「チーバくんと学ぶ深い海に暮らす生きものたち」	2013年2月16日～5月6日	32日	8,212人
---	--	-----------------	-----	--------

開催日数：計70日（前年度38日、本年度32日）

入場者数：計16,593人（前年度8,381人、本年度8,212人）

展示概要：深い海に暮らす生きものたちの暮らしや体のつくり、人との関わりについて紹介した

主な展示資料：キンメダイ、タカアシガニ、メンダコ、トガリムネエソ、シギウナギ

行事：講座「深い海に暮らす生きものたち」2月17日

解説書・配布資料：展示解説書・ポスター、ちらし、お絵かき用紙、アンケート用紙

会場：分館海の博物館研修室

担当：川瀬裕司

館内協力者：本吉正宏、菊地則雄、奥野淳兒、柳研介、青木慎哉、村田明久

助成金：日本海事科学振興財団・海と船の企画展支援事業 989,782円

2	収蔵資料展「夏休みスペシャル ウニと愉快ななかまたち」	2013年7月13日～9月1日	48日	19,647人
---	-----------------------------	-----------------	-----	---------

展示概要：ウニを中心に、様々な棘皮動物を紹介した。

主な展示資料：ムラサキウニ、イイジマフクロウニ、スカシカシパン、トリノアシ、オニヒトデなど約80点

解説書・配布資料：リーフレット（A4）、解説シート、ワークシート

会場：分館海の博物館研修室

担当：村田明久

館内協力者：本吉正宏、川瀬裕司、菊地則雄、奥野淳兒、柳研介、青木慎哉

3	お絵かき展 「チーバくんと学ぶ深い海に暮らす生きものたちより」	2013 年 11 月 23 日～ 2014 年 2 月 2 日	54 日	9,941 人
---	------------------------------------	-------------------------------------	------	---------

展示概要 : H24 マリンサイエンスギャラリー会場で子どもが展示物を見て書いた絵を展示した

主な展示資料 : 子どもの書いた絵, キンメダイ, タカアシガニなどの標本

解説書・配布資料 : ポスター

会場 : 分館海の博物館研修室

担当 : 川瀬裕司

館内協力者 : 本吉正宏、菊地則雄、奥野淳兒、柳研介、青木慎哉、村田明久

4	マリンサイエンスギャラリー 「海藻いろいろ - 千葉県豊かな海から -」	2014 年 2 月 15 日～5 月 6 日	38 日	6,121 人
---	---	-------------------------	------	---------

開催日数 : 計 72 日 (本年度 38 日、次年度 34 日)

入場者数 : 本年度 6,121 人

展示概要 : 千葉県の海藻を中心に、種類や生態系での役割、人の暮らしとの関わりなどについて紹介した。

主な展示資料 : オオノアナメ標本、アサクサノリ生体、藻場の海藻と動物(生体)、ハバノリ製品、海藻おしば作品

行事 : 特別講座「一海からの贈り物ー海藻おしばを作ろう」2 月 15 日

解説書・配布資料 : 展示解説書、ポスター、リーフレット、展示解説シート、ワークシート

会場 : 分館海の博物館研修室

担当 : 菊地則雄

館内協力者 : 本吉正宏、川瀬裕司、奥野淳兒、柳研介、青木慎哉、村田明久

主な連携先 : 海藻おしば協会

助成金 : 公益財団法人 日本海事科学振興財団「海と船の企画展」支援事業 597,775 円

4A 教育普及 <本館>

展示観覧支援、講座・観察会等の主催、房総の山のフィールド・ミュージアム事業、学校教育支援、団体・機関等への支援、友の会活動支援、学習キットの貸出・製作、専門分野における相談対応、ボランティアの受入を実施した。

4A.1 展示観覧支援 14,719 人

4A.1.1 展示解説 157 回 2,899 人 データ編

本館の常設展示・企画展示および生態園での個人向け解説、および団体の要望に応じて解説を行った。

解説展示名	実施回数	参加者数
ミュージアム・トーク ※	108 回	1,928
ギャラリートーク	6 回	74
展示解説 ※2 学校教育支援、団体・機関支援、友の会支援の事業と重複	43 回	897

※ミュージアム・トーク：研究員が展示室、生態園、収蔵庫においてテーマを決め、本館入場者に行う解説。

開催日時：毎土日祝（11：00～・14：30～）各 30 分

4A.1.2 音声ガイドの利用 1,007 人

常設展示の解説が聞ける、音声ガイドの貸出を行った。ガイドの台数 10 台。

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
54	79	106	94	249	68	67	86	50	71	63	20	1,007

(3A.1.2 常設展示より再掲)

4A.1.3 中央博調査隊・森の調査隊 10,813 人 データ編

本館展示室および生態園にて、子ども対象のワークシートによる展示観覧プログラムを個人向けと団体向けに行った。

本館シート：中央博調査隊、おきにいり新聞、博物館ぬりえ、おえかきっこ。生態園シート：森の調査隊

個人の利用

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計人数
中央博調査隊	545	621	352	664	1,264	447	482	829	348	290	432	524	6,798
森の調査隊	132	256	156	133	201	122	125	142	78	56	58	227	1,686

団体の利用

	中央博調査隊		森の調査隊	
	実施日数	参加者数	実施日数	参加者数
幼稚園・保育所	1	30	1	57
小学校	4	172	19	1,965
特別支援学校	0	0	1	54
子ども団体	1	51	0	0
公民館・その他	0	0	0	0
小計	6	253	21	2,076

■ 実施詳細

①ミュージアム・トーク

実施日	タイトル	実施場所	参加者数	担当
4月5日	これが花?ふしぎな雄花いろいろ	生態園など	20	奥田昌明
4月6日	舟田池のプランクトン	生態園	13	林紀男
4月7日	春の展示「ナッツ&ベリー:ベリーの話」の解説	企画展示室	10	古木達郎
4月13日	おいしいベリーの話	企画展示室	10	御巫由紀
4月14日	食べ物としてのナッツとベリー	企画、生物展示室	11	天野誠
4月14日	野鳥も大好き、ナッツ&ベリー	企画、生物展示室	36	桑原和之
4月20日	野鳥も大好き、ナッツ&ベリー	企画、生物展示室	22	桑原和之
4月27日	ナッツ&ベリー:ミックスナッツの話	企画展示室	13	古木達郎
5月5日	春の展示「ナッツ&ベリー:ベリーの話」の解説	企画展示室	20	古木達郎
5月6日	バックヤードツアー「収蔵庫見学」	液浸標本収蔵庫	7	駒井智幸
5月11日	ナッツ&ベリー:鳥や動物とのかかわり	企画、生物展示室	14	大野啓一
5月12日	ナッツ&ベリー:ベリーの話	企画展示室	25	古木達郎
5月18日	5月18日は国際博物館の日・国際植物の日です	生物、分類、かかわり展示室	6	林浩二
5月19日	身近なアリ	生態園	12	山口剛
5月25日	千葉県の野鳥	生物、かかわり展示室	10	桑原和之
5月26日	新型ルーペでみる超小さな世界	生態園など	27	奥田昌明
6月1日	食虫植物の特徴と暮らし	生物、分類展示室	6	古木達郎
6月1日	6月は環境月間です	かかわり展示室、2Fホール	5	林浩二
6月8日	地層の模様	地学展示室	13	岡崎浩子
6月9日	ちばの野生動物	生物、分類展示室	43	落合啓二
6月15日	千葉県誕生!	歴史展示室	25	内田龍哉
6月16日	気象衛星ひまわりで見る梅雨の空	地学展示室	5	小田島高之
6月22日	身近なアリ	生態園	5	山口剛
6月23日	スゴイ!大むかしの人々の暮らしー本物の石器にさわってみようー	歴史展示室	44	一場郁夫
6月29日	谷津田のむらの景観	かかわり展示室	3	白井豊
6月30日	ちばの野生動物	生物、分類展示室	11	落合啓二
7月6日	身近なアリ	生態園	12	山口剛
7月7日	房総の七夕行事	かかわり展示室	6	秋山笑子
7月13日	夏の展示「ウミウシの世界」解説	第2企画展示室	19	立川浩之
7月14日	千葉県の地形模型を作ろう	地学展示室	20	八木合子
7月15日	ナウマンゾウの話	地学展示室	25	伊左治鐘司
7月20日	千葉県の地形模型を作ろう	地学展示室	10	八木合子
7月21日	バックヤードツアー	図書室ほか	17	斎木健一
7月27日	殻をもつウミウシ	第2企画展示室	38	黒住耐二
7月28日	地域連携展「世界の音を聴こう!」解説	第1企画展示室	30	大庭照代
8月3日	バックヤードツアー「植物標本の作り方」	植物標本作製室	7	御巫由紀
8月4日	夏の展示「ウミウシの世界」解説	第2企画展示室	33	立川浩之
8月10日	地域連携展「世界の音を聴こう!」解説	第1企画展示室	24	大庭照代
8月11日	夏の展示「ウミウシの世界」解説	第2企画展示室	44	立川浩之
8月17日	水生植物復活の取り組み紹介	生態園	9	林紀男
8月18日	夏の展示「ウミウシの世界」解説	第2企画展示室	28	立川浩之
8月24日	低湿地の農業	第1企画展示室、かかわり展示室	4	秋山笑子
8月25日	バックヤードツアー「収蔵庫見学」	液浸標本収蔵庫	11	駒井智幸
8月31日	富士山の噴火と房総	地学展示室	6	高橋直樹
9月1日	9月1日は防災の日ー関東大震災と房総半島南部の地形変化ー	地学展示室	20	八木合子
9月7日	大陸からのおくりもの	歴史展示室	7	石渡克彦
9月8日	バックヤードツアー「動物標本」	第2収蔵庫、液浸収蔵庫	35	乃一哲久
9月14日	房総のお月見	かかわり展示室	9	秋山笑子
9月15日	ちばの野生動物	生物、分類展示室	15	落合啓二
9月16日	バックヤードツアー「千葉の花粉」	かかわり展示室など	2	奥田昌明
9月21日	水生植物復活の取り組み紹介	生態園	4	林紀男
9月22日	スズメバチの生活	生物展示室	16	宮野伸也
9月23日	千葉県の海岸植物	生態園(雨天時は本館)	7	由良浩
9月28日	バックヤードツアー「植物標本の作り方」	植物標本作製室	0	御巫由紀
9月29日	スズメバチの生活	生物展示室	47	宮野伸也
10月5日	企画展「音の風景」解説	展示室、生態園	64	大庭照代
10月6日	企画展「音の風景」解説	展示室、生態園	21	大庭照代
10月12日	身近な藻類	分類展示室	15	宮田昌彦
10月13日	ナウマンゾウの話	地学展示室	30	伊左治鐘司
10月14日	大陸からのおくりもの	歴史展示室	9	石渡克彦
10月19日	房総の縄文貝塚	歴史展示室	9	三浦和信
10月20日	スゴイ!大むかしの人々の暮らしー本物の石器にさわってみようー	歴史展示室	53	一場郁夫
10月26日	千葉の酒	歴史展示室	21	立和名明美
10月27日	房総の雨乞い	生物、分類展示室	8	島立理子
11月2日	身近な藻類	分類展示室	8	宮田昌彦
11月4日	企画展「音の風景」解説	展示室、生態園	24	大庭照代
11月9日	房総の縄文貝塚	歴史展示室	2	三浦和信
11月10日	土の中の生き物	生物、分類展示室	3	萩野康則
11月16日	秋の木の実いろいろ	生物展示室	3	天野誠
11月17日	戦国末期の東総地方	歴史展示室	6	内田龍哉
11月23日	企画展「音の風景」解説	展示室、生態園	35	大庭照代
11月24日	縄文人ってどんな人?	歴史展示室	22	田邊由美子
11月30日	雑木林の植物	生物、かかわり展示室	28	大野啓一
12月1日	房総の貝類	地学、生物、海洋、分類展示室等	14	黒住耐二

12月7日	戦国末期の東総地方	歴史展示室	10	内田龍哉
12月8日	自然の材料で道具を作る「木積の箕づくり」	歴史展示室	7	小林裕美
12月14日	房総の縄文貝塚	歴史展示室	5	三浦和信
12月15日	12月は地球温暖化防止月間です	かかわり展示室	7	林浩二
12月21日	マムシの謎に迫る	小動物展示室	15	倉西良一
12月22日	低湿地の農業	かかわり展示室	8	秋山笑子
12月23日	卑弥呼の鏡	歴史展示室	18	高梨俊夫
1月5日	植物の冬越し	生物展示室	4	天野誠
1月11日	バックヤードツアー「昆虫標本」	第5収蔵庫	25	斉藤明子
1月12日	北川鉱物コレクションの紹介	第1企画展示室	44	高橋直樹
1月13日	収蔵庫探検	第2収蔵庫、液浸収蔵庫	25	宮正樹
1月18日	地層の模様	地学展示室	8	岡崎浩子
1月19日	スゴイ!大むかしの人々の暮らしー本物の石器にさわってみようー	歴史展示室	31	一場郁夫
1月25日	大陸からのおくりもの	歴史展示室	1	石渡克彦
1月26日	北川鉱物コレクションの紹介	第1企画展示室	25	高橋直樹
2月1日	地層の模様	地学展示室	8	岡崎浩子
2月2日	バックヤードツアー「昆虫標本」	第5収蔵庫	35	斉藤明子
2月8日	千葉の旅	歴史展示室	0	立和名明美
2月11日	収蔵庫探検	第2収蔵庫、液浸収蔵庫	10	宮正樹
2月15日	コケ植物の暮らし	生物、分類展示室	5	古木達郎
2月16日	身近な藻類	分類展示室	17	宮田昌彦
2月22日	植物の冬越し	生態園	25	由良浩
2月23日	北川隆司鉱物コレクションの紹介	第1企画展示室	90	高橋直樹
3月1日	バックヤードツアー「収蔵庫見学」	液浸標本収蔵庫	12	駒井智幸
3月2日	バックヤードツアー「昆虫標本」	第5収蔵庫	35	斉藤明子
3月8日	イモリの謎に迫る	小動物展示室	13	倉西良一
3月9日	東京湾岸の景観変貌	第1企画展示室、かかわり展示室	15	白井豊
3月15日	印旛沼周辺の景観変貌	第1企画展示室、かかわり展示室	22	白井豊
3月16日	マムシの謎に迫る	小動物展示室	29	倉西良一
3月21日	収蔵庫探検	第2収蔵庫、液浸収蔵庫	10	宮正樹
3月22日	春植物の暮らし	生物展示室	18	大野啓一
3月23日	水辺の生業	第1企画展示室	19	小林裕美
3月29日	東京湾の貝貝き文化	第1企画展示室	17	黒住耐二
3月30日	水辺の生業	第1企画展示室	19	小林裕美

②ギャラリートーク

実施日	事業内容	実施場所	参加者数	担当
1月5日	房総ゆかりの富士山	第2企画展示室	13	内田龍哉
1月12日	〃	〃	23	〃
1月19日	〃	〃	13	〃
1月26日	〃	〃	8	〃
2月2日	〃	〃	17	〃
2月9日	〃	〃	0	〃

③展示解説

実施日	依頼団体	事業内容	実施場所	参加者数	担当
4月10日	中央博物館友の会	春の展示「ナッツ&ベリー展」	企画展示室	15	天野誠
4月24日	葛飾区立四ツ木中学校1年	展示室解説	本館	30	黒住耐二
4月27日	東京成徳大学人文学部	博物館実習	本館	9	大野啓一
4月27日	千葉大学文学部	博物館学実習	本館	10	大野啓一、黒住耐二
5月1日	千葉市立蘇我小学校4年	展示室解説	本館	20	黒住耐二
5月21日	習志野市教育研究会(理科部会)	博物館利用研修会	本館	17	一場郁夫
5月26日	自由学園	自然探索実習の履修	本館	17	一場郁夫
5月29日	明治大学農学部応用植物生態学研究室	樹名板・野外解説板などについて助言	生態園	5	林浩二
6月2日	日本獣医生命科学大学	博物館資料論見学実習	研修室、生態園、液浸収蔵庫、常設展示室	28	大野啓一、駒井智幸
6月4日	(財)千里文化財団	生態園視察	生態園	2	林紀男
6月4日	独立行政法人 日本万国博覧会記念機構	生態園視察	生態園	2	林紀男
6月9日	京葉学園	博物館学習	本館	30	一場郁夫
6月12日	中央博物館友の会	歴史展示室で見る“房総の旅“	歴史展示室	5	立和名明美
6月14日	印西市立永治小学校5年	展示室解説	本館	10	黒住耐二
6月14日	成田市立公津の社小学校3年	展示室解説	本館	10	黒住耐二
6月15日	群馬県立太田女子高等学校地学部	JST 事業部活動支援事業	研修室	13	岡崎浩子
6月25日	日本サウンドスケープ協会	展示室視察(展示・講座の準備対応)	本館	6	林紀男
7月10日	中央博物館友の会	生態園トピックス展「生態園のトンボ」	生態園オリエンテーションハウス	7	倉西良一
7月23日	千葉県教育振興部特別支援教育課	平成25年度県立特別支援学校に勤務する技術職員等研修会	本館	181	一場郁夫
7月26日	銚子市	銚子市のジオパークのボランティア研修	本館	27	岡崎浩子
8月9日	国立教育政策研究所	社会教育主事講習現地研修	本館	10	一場郁夫
8月14日	中央博物館友の会	夏の展示「ウミウシの世界」	企画展示室	12	立川浩之

8月26日・27日	10年経験者研修	教員向け博物館利用研修	研修室	1	一場郁夫、林浩二
8月30日	立正大学文学部	博物館施設見学実習	本館、生態園	5	大野啓一、島立理子
9月11日	千葉県立中央博物館友の会	生態園トピックス展「あなたが聞いた秋の音を教えてください」	生態園オリエンテーションハウス	7	大庭照代
9月19日	千葉自然学校	シニア自然大学	本館	42	大野啓一
9月27日	自然保護課	自然保護指導員および自然公園指導員研修会	生態園	38	由良浩
10月2日	習志野市立谷津小学校5年	展示室解説	本館	10	黒住耐二
10月2日	成田市立高岡小学校3・4年	展示室解説	本館	10	黒住耐二
10月9日	中央博物館友の会	企画展の解説「うつつりゆく音」	企画展示室	8	大庭照代
10月22日	千葉県生涯大学校京葉学園	生態園ギャラリー(作品制作)	生態園、研修室	45	林浩二
10月23日	南房総市立丸山中学校	SPP大地の変化を学ぼう	房総の地学展示室	41	高橋、岡崎、ボランティア
10月23日	千葉県教育研究会船橋支部理科部会	理科部会一日研修	本館	17	一場郁夫
11月12日	柏市立旭小学校4年	展示室解説	本館	10	黒住耐二
11月14日	ふなばし市民大学	生態園ギャラリー(作品制作)	生態園、研修室	41	林浩二
11月21日	秀明大学	博物館見学	講堂	11	一場郁夫
11月26日	千葉県生涯大学校京葉学園	生態園ギャラリー(作品制作)	生態園、研修室	45	林浩二
11月30日	茨城県自然博物館	平成25年度茨城県自然博物館ボランティア自主研修会	講堂	31	一場郁夫
1月24日	君津市立周西小学校4年	展示室解説	本館	10	黒住耐二
2月12日	中央博物館友の会	トピックス展「北川隆司鉱物コレクション展」	企画展示室	10	高橋直樹
2月13日	千葉県環境生活部環境調整課	環境学習拠点担当者会議	会議室、生態園	18	林浩二
2月16日	ASA青葉の森エス・アイ・エス	小中学生の一日記者体験	本館	23	一場郁夫
3月12日	中央博物館友の会	春の展示「水辺の記憶」	企画展示室	8	小林裕美

④中央博調査隊

実施日	学校名・団体名	実施展示室	参加者数	担当
5月14日	香取市立瑞穂小学校	生物	26	岡本、石渡、ボランティア
7月12日	千葉市立さつきヶ丘西小学校	生物	39	岡本、石渡、ボランティア
8月28日	葛城地区亥鼻子ども会	生物	51	寺部、石渡、ボランティア
9月27日	いすみ市立太東小学校	生物	67	岡本、石渡、ボランティア
2月27日	ふたば保育園	分類	30	寺部、石渡、ボランティア
2月27日	八千代市立緑が丘小学校	かかわり	40	宇山、石渡、白井、ボランティア

⑤森の調査隊

実施日	学校名・団体名	場所	参加者数	担当
5月1日	千葉市立緑町小4年	生態園	78	林浩二、パートナー2名
5月8日	千葉市立稲毛小4年	〃	87	〃、パートナー2名
5月10日	千葉市立新宿小3年	〃	157	〃、パートナー1名
5月23日	千葉市立宮崎小3年	〃	134	〃、パートナー1名
6月7日	千葉市立花園小3年	〃	129	〃、パートナー1名
7月2日	千葉市立真砂東小3年	〃	84	〃、御巫由紀
9月10日	千葉市立緑町小学校4年	〃	83	〃
10月9日	千葉市南部特別支援学級合同遠足	〃	52	〃
10月17日	東金市立東金東小学校1年	〃	123	〃
10月30日	明德幼稚園 年長児	〃	57	〃
10月31日	千葉市立新宿小学校3年	〃	158	〃
11月6日	千葉市立緑町小4年	〃	79	〃、パートナー2名
11月9日	なかまのつどい	〃	54	〃
11月13日	千葉市立真砂東小3年	〃	76	〃、パートナー1名
11月21日	千葉市立稲毛小4年	〃	87	〃、パートナー2名
12月12日	千葉市立宮崎小4年	〃	134	〃、パートナー5名
12月12日	千葉市立花園小2年	〃	114	〃
12月17日	千葉市立緑町小4年	〃	81	〃、パートナー1名
1月28日	千葉市立真砂東小3年	〃	72	〃、パートナー6名
2月6日	千葉市立新宿小3年	〃	152	〃、パートナー1名
2月28日	千葉市立稲毛小学校4年	〃	85	〃、パートナー3名

4A.2 講座・観察会等の主催 37,471 人

4A.2.1 講座・観察会等の主催 213 件 7,877 人

行事種類	件数	参加者数	シリーズ	件数	参加者数
講座	47	1,033	地学講座	10	246
			動物学講座	6	79
			植物学講座	18	227
			歴史学講座	6	310
			環境科学講座	2	35
			環境教育講座	5	136
観察会	28	775	地学野外観察会	8	183
			里山観察会	1	26
			動物観察会	1	73
			植物観察会	4	163
			生態園観察会	5	54
			山の学校 ※	6	206
			房総の山の観察会 ※	3	70
体験イベント・特別企画	76	3,793	連休特別企画	7	928
			県民の日特別企画	4	925
			夏休み関連行事	7	314
			文化の日特別企画	3	378
			生態園連休特別企画	7	1,043
			とりの声キャッチ名人	48	205
企画展示関連	62	2,276	企画展「音の風景」	44	1,385
			春の展示「ナッツ&ベリー」	9	587
			写真展「海の宝石 ウミウシの世界」	1	80
			春の展示「水辺の記憶」	2	81
			地域連携展「世界の音を聴こう！」	3	104
			生態園ギャラリー	3	39

※房総の山のフィールド・ミュージアム事業

4A.2.2 はっけん！すまいるキッズ 648 人

親子向け（主に幼児連れ）のワークショップ（創作やクイズ、紙芝居等）を7月から新たに開始した。

実施日：土日祝 場所：体験学習室

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	—	—	—	7	9	9	9	10	7	8	8	10	77
人数	—	—	—	55	79	124	68	87	58	60	57	60	648

4A.2.3 ちばバードプロジェクト

平成 22 年度から千葉市科学館、千葉市動物公園、当館による 3 館園によるコラボ企画を = 年度から実施している。

本年度のテーマは「鳥」。

行事	期間	参加者数	備考
紹介展示（パネル展示）	7月20日～12月1日	25,344	各館を紹介した展示
ちば生きもの科学クラブ（第1回～第8回、補講）	5月12日～12月8日	262	クラブ生（小4～大人）を募集して実施した。
クラブ生巡回展	1月5日～2月2日	3,340	クラブ生の作品発表
合計		28,946	

■ 実施詳細

① 講座

シリーズ	実施日	タイトル	場所	参加者数	担当者
地学講座	7月27日	地形模型を作ろう 1	研修室	13	八木令子
	8月3日	地形模型を作ろう 2	研修室	14	八木令子
	8月10日	化石の模型をつくろう 1 -製作編-	研修室	46	加藤久佳
	8月17日	化石の模型をつくろう 2 -着色編-	研修室	38	加藤久佳
	8月18日	地形模型を作ろう 3	研修室	13	八木令子
	9月23日	化石発掘たいけん	研修室	36	伊左治鎮司
	2月8日	山を観るための技能講座 1	研修室	25	八木令子
	2月15日	赤土の中の鉱物観察	研修室	20	高橋直樹
	2月22日	山を観るための技能講座 2	研修室	21	八木令子
動物学講座	3月8日	山を観るための技能講座 3	研修室	20	八木令子
	7月28日	昆虫標本のつくりかた	研修室	25	斎藤明子
	10月26日	海洋動物学講座 1 -深海魚の進化-	研修室	9	宮正樹
	11月23日	土壌動物入門 -生きた土の中の生き物を見る-	研修室	7	萩野康則
	12月7日	海洋動物学講座 2 -貝類-	研修室	8	黒住耐二
	1月12日	海洋動物学講座 3 -サンゴ-	研修室	16	立川浩之
	1月19日	海洋動物学講座 4 -深海の生きもの-	研修室	14	駒井智幸
	4月7日	植物学講座「くだものの解剖」	研修室	24	斎木健一
	4月27日	地衣類の分類 1	研修室	15	原田浩
植物学講座	5月19日	芽ばえさまさま	講堂	17	大野啓一
	5月26日	地衣類の分類 2	研修室	12	原田浩
	6月23日	地衣類の分類 3	研修室	10	原田浩
	9月8日	地衣類の分類 4	研修室	7	原田浩
	9月29日	地衣類の分類 5	研修室	7	原田浩
	10月19日	果実のかたちとはたらき	研修室・青葉の森公園	5	原正利
	10月20日	地衣類の分類 6	研修室	8	原田浩
	11月24日	地衣類の分類 7	研修室	10	原田浩
	11月30日	バラの歴史	研修室	29	御巫由紀
	12月1日	コケ植物の顕微鏡観察	研修室	10	古木達郎
	12月15日	地衣類の分類 8	研修室	14	原田浩
	1月26日	地衣類の分類 9	研修室	11	原田浩
	2月23日	地衣類の分類 10	研修室	12	原田浩
	3月2日	花粉の見わけ方 -技とコツ 1-	研修室	11	奥田昌明
	3月9日	花粉の見わけ方 -技とコツ 2-	研修室	10	奥田昌明
3月23日	地衣類の分類 11	研修室	15	原田浩	
歴史学講座	6月16日	歴史学講座 1 民俗編	講堂	35	小林裕美
	7月21日	歴史学講座 2 考古編 1	講堂	64	三浦和信
	8月18日	歴史学講座 3 古文書編 1	講堂	67	内田龍哉
	9月15日	歴史学講座 4 歴史	講堂	55	内田龍哉
	12月1日	歴史学講座 5 考古編 2 「縄文人の子育て」	講堂	49	田邊由美子
	12月22日	歴史学講座 6 古文書編 2 「絵図に歴史を読む」	講堂	40	内田龍哉
環境科学講座	9月14日	水槽栽培の水生植物を触って比べよう	生態園	25	林紀男
	10月10日	印旛沼水生植物再生の現場を歩く	成田市	10	林紀男
環境教育講座	6月15日	ヒトと哺乳類・鳥・虫 -動物からうつる人の病気-	講堂	27	落合啓二、桑原和之、倉西良一
	6月29日	持続可能な社会のための教育を考える	研修室	6	林浩二
	9月7日	石仏入門講座	講堂	83	白井豊ほか
	12月8日	ヒトと哺乳類・鳥・虫 -ピオトープとサンクチュアリー-	講堂	14	落合啓二、桑原和之、倉西良一
	12月14日	景観を探る -下総台地の薪炭林化-近世享保期編-	研修室	6	白井豊

② 観察会

シリーズ	実施日	タイトル	場所	参加者数	担当者
地学 野外観察会	4月27日	街なかの自然観察 1 -中央博物館周辺の地形と地質-	研修室、館周辺	8	八木令子、高橋直樹
	6月1日	街なかの自然観察 2 -都の西北-台地と谷と坂道を歩く-	東京(小石川〜目白〜早稲田)	13	八木令子、天野誠
	6月9日	上総層群の化石採集会	富津市	63	伊左治鎮司
	6月16日	地質の日関連-銚子ジオパークを訪ねる-	銚子市	23	高橋直樹、岡崎浩子
	7月21日	茨城県那珂湊の化石	茨城県ひたちなか市	27	加藤久佳
	11月23日	街なかの自然観察 3 -市川〜松戸、江戸川べりの下総台地と名勝地を歩く-	市川〜松戸市	20	八木令子、天野誠
	11月9〜11日	県外岩石観察会 7 -伊豆半島と伊豆石-	静岡県下田市ほか	11	高橋直樹
	1月18日	町の中の化石をさがそう	千葉市	18	加藤久佳
里山観察会	8月3日	はちみつのひみつ	県立房総のむら	26	宮野伸也
動物観察会	4月5〜26日	小動物展示室での給餌観察	小動物展示室	73	倉西良一
植物観察会	4月29日	春の植物観察	長生村	81	天野誠、斎木健一
	5月25日	佐倉城址の森について	国立歴史民俗博物館くらしの植物苑	66	原正利
	10月26日	暮らしの中に息づく植物	国立歴史民俗博物館くらしの植物苑	0	天野誠
	11月3日	秋の植物観察	長生村	16	天野誠、斎木健一
生態園観察会	4月18日	春の植物	生態園	5	由良浩
	5月16日	初夏の植物	生態園	8	御巫由紀
	6月2日	アリの観察しよう	生態園	15	山口剛
	11月14日	秋の植物	生態園	16	大野啓一

	2月20日	早春の植物	生態園	15	林浩二
山の学校	4月20日	山の学校 109 春の山の生きもの	君津市	21	尾崎煙雄、大木淳一
	5月18日	山の学校 110 初夏の里の生きもの	君津市	14	尾崎煙雄、大木淳一
	6月15日	山の学校 111 川の生きもの 1	君津市	雨天中止	尾崎煙雄、大木淳一
	7月20日	山の学校 112 川の生きもの 2	君津市	70	大木淳一、尾崎煙雄、加藤久佳、斉藤明子
	8月17日	山の学校 113 川の生きもの 3	君津市	91	尾崎煙雄、大木淳一、島立理子
	9月21日	山の学校 114 初秋の里の生きもの	君津市	31	島立理子、大木淳一、尾崎煙雄
房総の山の観察会	7月20-21日	夏の山の昆虫	君津市清和	20	尾崎煙雄、斉藤明子
	11月2日	泥だんごで学ぶ地質学	君津市清和	31	大木淳一
	11月16日	トドの化石を見つけよう	市原市朝生原(梅ヶ瀬溪谷)	39	大木淳一、伊左治鎮司、加藤久佳

③体験イベント・特別企画

シリーズ	実施日	タイトル	場所	参加者数	担当者
連休特別企画	4月28日	勾玉をつくろう	研修室	23	三浦和信
	4月29日	収蔵庫探検	液浸標本収蔵庫ほか	8	駒井智幸
	5月3日	中央博「ミニ動物標本館」(深海魚)	本館2階ホール	408	宮正樹
	5月4日	石を割ってみよう	1階入り口	58	高橋直樹
	5月5日	本物の化石にさわってみよう	1階ホール	106	伊左治鎮司
	5月5日	火おこしを体験しよう	1階入り口	231	三浦和信
県民の日特別企画	9月22日	火おこしを体験しよう	1階入り口	94	三浦和信
	6月15日	押し花でしおりを作ろう	本館2階ホール	268	吉木達郎
	6月15日	貝塚発掘体験	1階入り口	167	黒住耐二
	6月15日	本物の土器にさわってみよう	展示室	325	三浦和信
夏休み関連行事	6月15日	昆虫の標本づくり	展示室	165	斉藤明子
	7月27日	夏休み自由研究相談会(前編)	1階ホール	40	全研究職員
	8月4日	砂カード(ジオパッド)をつくろう	研修室	21	岡崎浩子
	8月10日	海岸で石ころをひろおう	富津市	18	高橋直樹
	8月11日	勾玉をつくろう	研修室	62	三浦和信
	8月11日	勾玉をつくろう	研修室	62	三浦和信
	8月24日	夏休み自由研究相談会(後編)	1階ホール・研修室	57	全研究職員
文化の日特別企画	8月25日	夏休み自由研究相談会(後編)	1階ホール・研修室	54	全研究職員
	11月3日	ものしりミュージアム千葉-最新の研究紹介	講堂	29	島立理子、高橋直樹
	11月3日	砂絵を作ろう	1階ホール	85	岡崎浩子
生態園連休特別企画	11月3日	本物の土器にさわってみよう	展示室	264	三浦和信
	4月28日	森の調査隊	生態園	19	由良浩
	4月28日	大集合!生態園のケモノたち	生態園	82	落合啓二、山口剛
	5月3日	体験!身近な植物の不思議	生態園	266	原正利、由良浩、大野啓一、御巫由紀
	5月4日	体験!身近な植物の不思議	生態園	200	由良浩、大野啓一、御巫由紀、原正利
	5月5日	生態園スタンプラリー	生態園	190	山口剛、林紀男
	5月6日	生態園スタンプラリー	生態園	186	萩野康則、林紀男
	11月4日	体験!身近な植物の不思議	生態園	100	由良浩、大野啓一、御巫由紀、林浩二
とりの声キャッチ名人	4月6日	とりの声キャッチ名人	野鳥観察舎	0	大庭照代
	4月13日	〃	〃	2	〃
	4月20日	〃	〃	2	〃
	4月27日	〃	〃	13	〃
	5月11日	〃	〃	2	〃
	5月18日	〃	〃	5	〃
	5月25日	〃	〃	7	〃
	6月2日	〃	〃	5	〃
	6月8日	〃	〃	2	〃
	6月15日	〃	〃	1	〃
	6月22日	〃	〃	2	〃
	6月29日	〃	〃	9	〃
	7月6日	〃	〃	4	〃
	7月13日	〃	〃	2	〃
	7月20日	〃	〃	3	〃
	7月27日	〃	〃	8	〃
8月3日	〃	〃	2	〃	
8月10日	〃	〃	9	〃	

	8月17日	〃	〃	13	〃
	8月24日	〃	〃	4	〃
	8月30日	〃	〃	3	〃
	9月7日	〃	〃	6	〃
	9月14日	〃	〃	0	〃
	9月21日	〃	〃	4	〃
	9月28日	〃	〃	5	〃
	10月5日	〃	〃	3	〃
	10月12日	〃	〃	4	〃
	10月19日	〃	〃	3	〃
	10月26日	〃	〃	0	〃
	11月2日	〃	〃	4	〃
	11月9日	〃	〃	13	〃
	11月16日	〃	〃	11	〃
	11月30日	〃	〃	8	〃
	12月7日	〃	〃	0	〃
	12月14日	〃	〃	9	〃
	12月21日	〃	〃	2	〃
	1月11日	〃	〃	2	〃
	1月18日	〃	〃	2	〃
	1月25日	〃	〃	3	〃
	2月1日	〃	〃	5	〃
	2月8日	〃	〃	0	〃
	2月15日	〃	〃	0	〃
	2月22日	〃	〃	0	〃
	3月1日	〃	〃	1	〃
	3月8日	〃	〃	7	〃
	3月15日	〃	〃	1	〃
	3月22日	〃	〃	4	〃
	3月29日	〃	〃	10	〃

④企画展示関連

シリーズ	実施日	タイトル	場所	参加者数	担当者
企画展「音の風景」	4月27日	とりの声キャッチ名人 ー連休版ー	生態園	9	大庭照代
	4月28日	鳥のさえずり1ー夜明けのコーラスー	生態園	10	大庭照代
	4月28日	鳥のさえずり2ー早朝のさえずりー	生態園	22	大庭照代
	4月28日	鳥のさえずり3ーとりの声をツイートしようー	生態園	7	大庭照代
	7月20日	ネイチャー!! サタデーコンサート (音のこころ)	講堂・1階ホール	180	島立理子
	8月4日	早起きをして夏の音を探そう1ー夜明けのコーラスー	生態園	4	大庭照代
	8月4日	早起きをして夏の音を探そう2ーすがすがしい朝ー	生態園	8	大庭照代
	10月4日	企画展「音の風景」内覧会	講堂、企画展示室	126	桑原和之
	10月5日	サウンドスケープの教室「過去の音の研究について～明治期末の京都の事例を中心に」	第2企画展示室	24	加藤久佳
	10月5日	サウンドスケープの教室「日本庭園にひそむ音風景」	第2企画展示室	25	加藤久佳
	10月6日	ワークショップ「森の音さんぽ」	生態園	5	加藤久佳
	10月6日	サウンドスケープの教室「フィールドレコーディングの世界(1)」	第2企画展示室	10	加藤久佳
	10月6日	サウンドスケープの教室「フィールドレコーディングの世界(2)」	第2企画展示室	6	加藤久佳
	10月12日	企画展「音の風景」特別解説	企画展示室	13	大庭照代
	10月12日	むしの声2ー江戸時代の虫聴きー	生態園	26	大庭照代
	10月12日	サウンドスケープの教室「音クイズ」	第2企画展示室	13	大庭照代
	10月12日	サウンドスケープの教室「アオマツムシは騒音害虫か?」	第2企画展示室	15	大庭照代
	10月13日	企画展「音の風景」特別解説	企画展示室	10	大庭照代
	10月13日	サウンドスケープの教室「子どもの聴く耳を呼び覚ますために～音当てクイズトライ!～」	第2企画展示室	19	大庭照代
	10月13日	サウンドスケープの教室「美しい河川の景観に伴う音環境の研究」	第2企画展示室	26	大庭照代
	10月14日	企画展「音の風景」特別解説	企画展示室	11	大庭照代
	10月26日	サウンドスケープの教室「ラジオ放送のおける音風景」	第2企画展示室	23	林浩二
	10月26日	サウンドスケープの教室「映画音響とサウンドスケープ(映画音響を考える)」	第2企画展示室	23	林浩二
	10月27日	中央博シンポジウム「音の風景遺産 ふるさとの音を伝えよう」	講堂	39	尾崎輝雄
	11月2日	サウンドスケープの教室「サウンドデザインと音の可能性」	第2企画展示室	12	大庭照代
	11月3日	サウンドスケープの教室「日本庭園にひそむ音風景」	第2企画展示室	20	大庭照代
	11月3日	サウンドスケープの教室「まちの音に耳をすまして まちを再発見」	第2企画展示室	22	大庭照代
	11月9日	サウンドスケープの教室「音のデザインー感性に訴える音を作るー」	第2企画展示室	14	大庭照代
	11月9日	サウンドスケープの教室「手回しオルゴールの音風景」	第2企画展示室	24	大庭照代
	11月9日	ネイチャー!!サタデーコンサート (音のこころ)	講堂	52	島立理子

	11月10日	サウンドスケープの教室「音って何だろうーいろいろな音の体験ー」	第2企画展示室	53	大庭照代
	11月10日	猫八さんトークショー「音の風景ー鳴きまねの世界からー猫八さんと一緒にさえずろうー」	講堂	161	島立理子、大庭照代
	11月16日	企画展記念研究発表会「最近のサウンドスケープ研究の現場から」	講堂	47	加藤久佳、林紀男
	11月17日	日本サウンドスケープ協会創立20周年記念シンポジウム「音風景の地平をさぐる」	講堂	56	加藤久佳、林紀男
	11月23日	サウンドスケープの教室「静寂を聴く」	第2企画展示室	15	大庭照代
	11月23日	サウンドスケープの教室「音を楽しむONGAKU」	第2企画展示室	33	大庭照代
	11月24日	冬の音を楽しもう1ー夜明けの静けさー	生態園	9	大庭照代
	11月24日	冬の音を楽しもう2ー賑やかな鳥たちー	生態園	8	大庭照代
	11月24日	サウンドスケープの教室「ミュージアムジークからサウンドスケープへ」	第2企画展示室	21	大庭照代
	11月24日	サウンドスケープの教室「火の見櫓の音風景」	第2企画展示室	26	大庭照代
	11月30日	サウンドスケープの教室「地域と暮らしのデザインへ」	第2企画展示室	67	大庭照代
	11月30日	サウンドスケープの教室「日本庭園の音風景」	第2企画展示室	39	大庭照代
	12月1日	サウンドスケープの教室「橋の下の響きからまちを読む」	第2企画展示室	29	大庭照代
	12月1日	サウンドスケープの教室「自己肯定感と感性を育てるサウンドエデュケーションの実践」	第2企画展示室	23	大庭照代
春の展示「ナッツ&ベリー」	4月14日	講演会「ナッツとベリーのひみつ」	講堂	17	天野誠
	4月20日	公開講座「落花生」	講堂	9	植物学研究科
	4月20日	落花生たね 無料配布	2階ホール	130	古木達郎
	4月28日	落花生の食べくらべ	1階ホール	47	古木達郎、天野誠、齋木健一
	4月29日	落花生の食べくらべ	1階ホール	29	〃
	5月3日	落花生の食べくらべ	1階ホール	86	〃
	5月4日	落花生の食べくらべ	1階ホール	106	〃
	5月5日	落花生たね 無料配布	2階ホール	113	古木達郎
5月6日	ナッツとちからくらべ	1階ホール	50	古木達郎	
夏の展示「写真展 海の宝石 ウミウシの世界」	7月15日	ウミウシを知ろう	展示室	80	立川浩之
春の展示「水辺の記憶」	3月8日	春の展示「水辺の記憶ー写真家林辰雄のまなざしー」内覧会	講堂・エントランス・企画展示室	40	小林裕美
	3月22日	水辺の景観と生業ー林辰雄撮影の写真を手掛かりに	講堂	41	白井豊、小林裕美
地域連携展「世界の音を聴こう！」	7月19日	地域連携展「世界の音を聴こう！」開会記念解説会	講堂・第1企画展示室	57	大庭照代
	7月21日	体験イベント「世界の森の音をききくらべよう」	研修室	39	大庭照代
	8月24日	むしの声1ーキリギリスとコオロギー	生態園	8	大庭照代
生態園ギャラリー	9月8日	あなたの発見おしえてください	生態園	1	林浩二
	9月29日	あなたの発見おしえてください	生態園	15	林浩二
	10月6日	あなたの発見おしえてください	生態園	23	林浩二

⑤ちばバードプロジェクト

内容区分	実施期間	事業内容	参加者数	実施場所	担当
展示	7月20日～12月1日	ちばバードプロジェクト紹介展示	25,344	本館	大木淳一、山口剛、大庭照代
ちば生きもの科学クラブ	5月12日	第1回「鳥を音・色・形で科学する」	41	他施設(県内)	大木淳一、大庭照代、山口剛
	5月26日	第2回「鳥を音・色・形で科学する」	29	他施設(県内)	〃
	6月15日	第3回「観察し表現する」	25	他施設(県内)	〃
	7月14日	第4回「調べ方・まとめ方を学ぶ」	33	他施設(県内)	〃
	8月4日	第5回「鶏頭水煮の解剖から分かること」	23	他施設(県内)	〃
	10月20日	第6回「企画展『音の風景 うつりゆく自然と環境を未来に伝える』」	25	本館	〃
	11月3日	第7回「科学的に分かりやすいまとめ方・伝え方」	24	他施設(県内)	〃
	11月24日	補講「科学的に分かりやすいまとめ方・伝え方」	15	他施設(県内)	〃
12月8日	第8回「発表会」	47	他施設(県内)	〃	
クラブ生巡回展	1月5日～2月2日	ちば生きもの科学クラブ2013クラブ生巡回展	3,340	本館	大木淳一、大庭照代、山口剛

4A.3 房総の山のフィールド・ミュージアム事業

平成 11 年 4 月から房総丘陵周辺をフィールドにした、博物館活動を行っている。

4A.3.1 観察会

山の学校（6 回、うち 1 回雨天中止）、房総の山の観察会（3 回）を実施した。4A.2.1 講座、観察会等の主催を参照。

4A.3.2 三島小学校教室博物館 開室 52 日 入場者 719 人

小学校の教室に博物館を開き、地域住民の協力により資料収集・調査活動を実施した（入場無料）。坂畑小教室博物館は、平成 23～24 年度は毎月 1 回定期開館していたが、25 年度からは依頼により観察会・教員研修等を開催することになった。詳細は、4A.4.1 学校教育支援を参照。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
日数	4	5	4	4	5	6	4	5	3	4	4	4	52
人数	73	85	105	44	19	117	83	70	22	40	38	23	719

4A.3.3 おばあちゃんの畑プロジェクト 7 回 105 人参加

房総丘陵において、博物館と地元グループが協同して「在来の農作業」をテーマにした活動を行った。平成 25 年度には地元団体が主催するワークショップ「めざせ！田んぼのマイスター」を実施した。

行事	期間	参加者数
4 月 14 日（日）	4 月の畑の作業日	15
4 月 21 日（日）	めざせ！田んぼのマイスター1	2
4 月 28 日（日）	” 2	16
6 月 1 日（土）	” 3	8
6 月 2 日（日）	” 4	34
7 月 1 日（月）	” 5	5
10 月 6 日（日）	” 6	25

（担当：島立理子）

4A.3.4 山みち展示

君津市清和県民の森の遊歩道に、野外展示を季節毎に県民の森と連携して設置した。

4A.3.5 「しいむじな」の発行

ニュースレターを年 4 回、発行した。詳しくは 5.1 出版物・印刷物の発行を参照。

4A.4 学校教育等支援

4A.4.1 学校教育支援 40 校 74 件 3,693 人 データ編

特別見学の実施、講座観察会の講師、出前授業、研究課題相談、および博物館学習等を行った。

依頼先	学校数	件数	人数
幼稚園・保育所	1 ()	3 ()	221 ()
小学校	14 (9)	27 (9)	1,207 (646)
中学校	9 (3)	16 (3)	1,482 (269)
高校	5 (2)	9 (2)	456 (168)
特別支援学校	4 (2)	6 (3)	97 (35)
大学	7 ()	13 ()	230 ()

※ 博物館学習の実施：() 内は、博物館学習の件数

学校の教科・領域の学習内容と関連して、研究員のサポートと実物資料等を伴う学習活動を行った。

※大学生・大学院生の論文研究指導は、2.3 館友、共同研究員、市民研究員、研究生の受入を参照のこと。

※中央博調査隊・森の調査隊の数値は含まれていない。4A.1 を参照。

4A.4.2 大学非常勤講師 11 名 データ編 (2 委員等の受託参照)

博物館学、自然・歴史分野の講座の非常勤講師として大学教育支援を行った。

4A.4.3 職場体験・インターンシップ・博物館実習 48 件 120 日 286 人 データ編

職場体験、インターンシップ、博物館実習、教員研修等の人材教育事業の実施・受入を行った。

実施内容	受入	校数	件数	日数	人数	備考
職場体験	中学生	20	20	38	53	研究部各科で各校 1～2 日間の受入
インターンシップ	大学生	5	5	51	5	野鳥観察舎業務 (7～8 月 4 名) 図書室 (9 月 1 名)
博物館実習 (主催)	大学生	16	1	9	20	2013 年 8 月 1 日(木)～9 日(金)
博物館実習 (その他)	大学生	6	22	22	208	非常勤講師等個別に対応したもの

■ 館主催博物館実習カリキュラム (8 月 1 日～9 日)

1 日目	開講式 (中村副館長) 館内見学 (常設展示室、生態園、地域連携展、夏の展示、収蔵庫、図書室)
2 日目～4 日目	班別実習 (各科対応)
5 日目	自宅研修
6 日目	「資料収集～昆虫標本作製」(斉藤明子)
7 日目	「化石レプリカ作製」(加藤久佳) 「資料借用の実践」(内田龍哉、三浦和信) 案内所体験・入館者調査 (大野啓一)
8 日目	模擬ミュージアムトーク (石渡克彦)
9 日目	模擬ミュージアムトーク反省会 (石渡克彦) 中央博調査隊シミュレーション (石渡克彦) 講義「博物館の現状と課題」(高梨俊夫) 閉講式 (館長)・交流会

4A.4.4 教員研修 13 件 14 日 175 人

実施内容	件数	日数	人数	備考
博物館活用研究会	3	3	12	博学連携による博物館利用法、ワークシート作成などの研究会 会員 23 名
その他 (団体)	10	11	163	他機関主催の研修受入

■ 実施詳細

① 学校教育支援

学校区分	実施日	学校名	事業内容	参加者数	実施場所	担当
幼稚園・保育所	11月28日	和光保育園	光る泥だんご作りから大地の成り立ちを学ぶ	34	野外(県内)	大木淳一
	12月6日	和光保育園	泥だんごから大地の成り立ちを学ぶ	34	他施設(県内)	大木淳一
	12月13日	和光保育園	発表会『粘土のひみつ』	153	他施設(県内)	大木淳一
小学校	5月1日	千葉市立蘇我小学校4年	展示室解説	20	本館	黒住耐二
	6月5日	君津市立小櫃小学校	プールの生きもの観察	41	他施設(県外)	大木淳一
	6月5日	君津市立八重原小学校	プールの生きもの観察	49	他施設(県外)	大木淳一
	6月7日	君津市立三島小学校	プールの生きもの観察	20	他施設(県内)	尾崎煙雄
	6月11日	君津市立小櫃小学校	校庭の昆虫観察	43	他施設(県内)	尾崎煙雄
	6月14日	印西市立永治小学校5年	展示室解説	10	本館	黒住耐二
	6月14日	成田市立公津の社小学校3年	展示室解説	10	本館	黒住耐二
	6月19日	君津市立坂畑小学校	プールの生きもの観察	45	他施設(県外)	大木淳一
	7月10日	九十九里町立豊海小学校	2年生活科「生きものはっけん!」	45	他施設(県内)	大木淳一
	7月23日	君津市立坂畑小学校	東京大学千葉演習林見学	21	他施設(県内)	尾崎煙雄
	9月17日	習志野市立鷺沼小学校	教材用の哺乳類標本貸し出し	122	他施設(県内)	落合啓二
	10月2日	習志野市立谷津小学校5年	展示室解説	10	本館	黒住耐二
	10月2日	成田市立高岡小学校3・4年	展示室解説	10	本館	黒住耐二
	10月24日	君津市立三島小学校	5年生『小糸川の中流と上流』	10	野外(県内)	大木淳一
	10月30日	市原市立辰巳台東諸学校4年	博物館資料を用いた学習	76	本館	白井豊
	11月12日	柏市立旭小学校4年	展示室解説	10	本館	黒住耐二
	1月24日	君津市立周西小学校4年	展示室解説	10	本館	黒住耐二
	2月21日	君津市立三島小学校	1年生授業	9	他施設(県内)	尾崎煙雄
	中学校	4月24日	葛飾区立四ツ木中学校1年	展示室解説	30	本館
4月26日		千葉大学教育学部附属中学校	教材用の哺乳類標本貸し出し	168	他施設(県内)	落合啓二
5月4日		大網白里市立増穂中学校	教材用の哺乳類標本貸し出し	100	他施設(県内)	落合啓二
9月4日		君津市立亀山中学校	房総丘陵の地層学習	10	野外(県内)	大木淳一
9月17日		千葉市立星久喜中学校	教材用の哺乳類標本貸し出し	79	他施設(県内)	落合啓二
10月4日		南房総市立丸山中学校	SPP 大地の変化を学ぼう	42	野外(県内)	高橋直樹
10月21日		君津市立亀山中学校	学校の石材を活用した岩石の学習	11	他施設(県内)	大木淳一
10月22日		千葉市立星久喜中学校	教材用の哺乳類標本貸し出し	79	他施設(県内)	落合啓二
10月23日		南房総市立丸山中学校	SPP 大地の変化を学ぼう	41	本館	高橋直樹、岡崎浩子、ボランティア
10月31日		浦安市立堀江中学校	教材用の哺乳類標本貸出	200	他施設(県内)	落合啓二
10月31日		千葉市立打瀬中学校	教材用の哺乳類標本貸出	310	他施設(県内)	落合啓二
1月17日		南房総市立丸山中学校	SPP 講座—丸山中学校周辺の土地の成り立ち	40	他施設(県内)	高橋直樹
1月28日		船橋市立芝山中学校	中1理科第2分野「大地は語る」	103	他施設(県内)	加藤久佳、一場郁夫
高校	6月30日	敬愛学園高等学校	イネ科植物の同定の仕方	4	本館	天野誠
	8月8日	千葉大学教育学部	サイエンスサマーキャンプ DX	36	本館	一場郁夫
	8月21日	千葉県立長生高校	サイエンス・フィールドワーク 事前学習	16	本館	高橋直樹、加藤久佳
	9月28日	千葉大学教育学部	第7回高校生理学研究発表会	29	館外	天野誠
	10月1日	千葉県立長生高校	SSH サイエンス・フィールドワーク	23	野外(県内)	加藤久佳
	11月4日	SS ネット(コア SSH) 事務局(千葉県立船橋高等学校)	千葉 SS ネット(コア SSH) サイエンスセミナー「大地の変動を探る～南房総・鴨川地域フィールド観察～」	40	野外(県内)	高橋直樹
	11月23日	東海大学付属浦安中・高等学校	化石のレプリカづくり	140	他施設(県内)	加藤久佳
特別支援	5月8日	千葉県立袖ヶ浦特別支援学校	化石の学習	20	他施設(県内)	伊左治鐘司
	2月5日	千葉県立千葉特別支援学校	コンクリート活用事業	22	他施設(県内)	林紀男
	2月13日	千葉県立千葉特別支援学校	コンクリート活用事業	20	他施設(県内)	林紀男
大学	5月22日	千葉大教育学部	生物学実験	26	他施設(県内)	斉藤明子
	5月26日	自由学園	自然探索実習の履修	17	本館	一場郁夫
	5月29日	明治大学農学部応用植物生態学研究室	樹名板・野外解説板などについて助言	5	生態園	林浩二
	6月14日	日本大学生物資源科学部	森林資源科学実習	20	本館	斉藤明子
	7月6日	東京大学	野外研修	15	野外(県外)	岡崎浩子
	7月12日	日本大学生物資源科学部	森林資源科学実習	20	本館	斉藤明子
	9月1日～3日	東邦大学理学部	野外実習指導	22	他施設(県内)	林紀男
	9月16日～18日	東邦大学理学部	野外実習指導	18	他施設(県内)	林紀男
	9月19日	千葉大学	生物学演習(藻類学)	30	他施設(県内)	宮田昌彦
	10月9日	千葉大教育学部	生物学実験	16	他施設(県内)	斉藤明子
	11月21日	秀明大学	博物館見学	11	本館	一場郁夫
11月22日	東邦大学理学部	大学院講義	15	他施設(県内)	天野誠	
11月29日	東邦大学理学部	大学院講義	15	他施設(県内)	天野誠	

②博物館学習

	実施日	学校名	事業内容	参加者数	実施場所	担当
小学校	6月14日	印西市立永治小学校	5年社会科	12	本館	白井豊、一場郁夫
	9月19日	佐倉市立南志津小学校	理科	55	本館	展示室当番
	10月17日	東金市立東小学校	生活科	118	本館	林浩二、一場郁夫
	10月29日	君津市立秋元小学校	社会科	17	本館	展示室当番、一場郁夫
	10月30日	四街道市立吉岡小学校	社会科	39	本館	内田龍哉、一場郁夫
	11月29日	船橋市立飯山満南小学校	総合	91	本館	展示室当番、一場郁夫
	12月13日	千葉市立寒川小学校	理科	92	本館	岡崎浩子
	12月13日	足立区立東伊興小学校	総合	98	本館	展示室当番
中学校	1月24日	君津市立周西小学校	社会科	124	本館	落合啓二、白井豊、一場郁夫
	4月24日	葛飾区立四ツ木中学校	1年社会科	87	本館	一場郁夫
	1月28日	船橋市立芝山中学校	理科	103	出張授業	加藤久佳、一場郁夫
高校	2月20日	県立千葉中学校	社会科	79	本館	高橋直樹、白井豊、一場郁夫
	6月12日	県立君津青葉高校	1年産業社会	154	本館	全研究員
特別	8月28日	第一学院高校	理科・総合	14	本館	宮田昌彦、奥田昌明
	11月13日	県立千葉盲学校中学部	理科	5	本館	御巫由紀
	11月20日	県立千葉盲学校小学部	理科	12	本館	桑原和之
	1月16日	県立市原特別支援学校	特活	18	本館	一場郁夫

③職場体験

実施日	日数	学校名	人数	担当科	担当者
6月25日、26日	2	千葉市立緑ヶ丘中学校	3	環教	桑原和之、倉西良一
6月26日、27日	2	千葉市立みつわ台中学校	2	地学	八木令子、伊左治鑽司
6月26日、27日	2	千葉市立大宮中学校	3	動物	黒住耐二
9月18日、19日	2	千葉市立川戸中学校	2	歴史	三浦和信
10月10日、11日	2	習志野市立第3中学校	3	資料	駒井智幸、斉藤明子
10月30日、31日	2	東金市立西中学校	3	地学	高橋直樹、岡崎浩子
10月30日、31日	2	千葉市立おゆみの南中学校	3	植物	古木達郎
11月6日、7日	2	千葉市立花園中学校	2	生態	山口剛、白井豊、林浩二、由良浩
11月7日	1	習志野市立第7中学校	1	植物	天野誠
11月7日、8日	2	習志野市立第2中学校	3	環教	倉西良一、桑原和之
11月13日、14日	2	千葉市立土気南中学校	3	植物	天野誠
11月13日、14日	2	市原市立ちはら台南中学校	3	資料	友田暁子、斉藤明子
11月13日、14日	2	船橋市立宮本中学校	2	歴史	小林裕美
11月20日、21日	2	千葉市立蘇我中学校	3	地学	八木令子、岡崎浩子
11月21日、22日	2	千葉市立緑町中学校	3	生態	林紀夫、白井豊、林浩二、大庭照代
11月21日、22日	2	市原市立八幡中学校	3	環教	桑原和之、倉西良一
11月26日、27日	2	千葉市立小中台中学校	2	動物	宮正樹
11月27日、28日	2	千葉市立有吉中学校	3	資料	友田暁子、斉藤明子
11月29日、30日	2	千葉市立葛城中学校	3	生態	由良浩、林浩二、白井豊、山口剛
2月6日	1	静岡大附属静岡中学校	3	普及	宮田昌彦

④インターンシップ

実施日	日数	学校名	参加者数	実施場所	担当
7月20日～8月3日	13	木更津工業専門学校	1	野鳥観察舎	大庭照代
8月3日～17日	13	千葉商科大学	1	野鳥観察舎	大庭照代
8月17日、25日、27日～31日	7	東邦大学	1	野鳥観察舎	大庭照代
8月17日～31日	13	國学院大学北海道短期大学部	1	野鳥観察舎	大庭照代
9月2日～6日	5	青山学院大学	1	図書室	友田暁子

⑤ 博物館実習 (館主催)

実施日	学校名	研修名	参加者数	実施場所	担当
8月1日～9日	青山学院大学	博物館実習(館主催)	1	館内	石渡克彦ほか全員
"	桜美林大学	"	1	"	"
"	学習院女子大学	"	1	"	"
"	神奈川大学	"	1	"	"
"	大正大学	"	1	"	"
"	帝京科学大学	"	1	"	"
"	帝京大学	"	1	"	"
"	東京女子大学	"	3	"	"
"	東京農業大学	"	2	"	"
"	新潟大学	"	1	"	"
"	日本女子大学	"	1	"	"
"	日本大学	"	2	"	"
"	八洲学園大学	"	1	"	"
"	明治学院大学	"	1	"	"
"	明星大学	"	1	"	"
"	立正大学	"	1	"	"

⑥ 博物館実習 (その他)

実施日	学校名	研修名	参加者数	実施場所	担当
4月27日	東京成徳大学人文学部	博物館実習	9	館内	大野啓一
4月27日	千葉大学文学部	博物館学実習	10	館内	大野啓一、黒住耐二
6月2日	日本獣医生命科学大学	博物館資料論見学実習	28	館内	大野啓一、駒井智幸
6月9日	産総研 地質標本館(千葉大理学部)	千葉大理学部博物館実習	7	館内	加藤久佳
8月30日	立正大学文学部	博物館施設見学実習	5	館内	大野啓一、島立理子
8月30日	千葉経済大学	博物館実習	21	館内	島立理子
8月15日	日本女子大学	夏期集中授業	9	本館	大木淳一
8月22日	"	夏期集中授業	9	野外(県内)	"
9月23日	"	後期博物館実習1	8	施設(県外)	"
9月30日	"	後期博物館実習2	8	"	"
10月7日	"	後期博物館実習3	8	"	"
10月14日	"	後期博物館実習4	7	"	"
10月28日	"	後期博物館実習5	8	"	"
11月4日	"	後期博物館実習6	8	"	"
11月11日	"	後期博物館実習7	8	"	"
11月18日	"	後期博物館実習8	8	"	"
11月25日	"	後期博物館実習9	8	"	"
12月2日	"	後期博物館実習10	8	"	"
12月9日	"	後期博物館実習11	8	"	"
12月16日	"	後期博物館実習12	8	"	"
1月6日	"	後期博物館実習13	8	"	"
1月20日	"	後期博物館実習14	7	"	"

⑥ 教員研修

実施日	依頼団体	研修名	参加者数	実施場所	担当
8月7日	第1回博物館活用研究会	研究の進め方・展示解説	5		一場郁夫
11月9日	第2回博物館活用研究会	展示の教材化	4		一場郁夫
2月1日	第3回博物館活用研究会	実践発表・意見交換	3		一場郁夫
5月21日	習志野市教育研究会(理科部会)	博物館利用研修会	17	本館	一場郁夫
7月25日	印旛地区教育研究会第2部理科研究部	印旛地区教育研究会第2部理科研究部 理科実技研修会	21	生態園	斎木健一、林浩二
7月26日	君津市立三島小学校	教員研修会	4	君津市立三島小学校	尾崎煙雄
7月31日	君津市立小櫃小学校	スクールミュージアム	15	君津市立小櫃小学校	尾崎煙雄
8月8日	千葉市教育委員会	千葉市教育センター「野外研修」	39	銚子市	岡崎浩子
8月9日	国立教育政策研究所	社会教育主事講習現地研修	10	本館	一場郁夫
8月26日、27日	10年経験者研修	教員向け博物館利用研修	1	研修室	一場郁夫、林浩二
9月5日	君津市立八重原小学校	スクールミュージアム教員研修	14	君津市立八重原小学校	尾崎煙雄
10月23日	千葉県教育研究会船橋支部理科部会	理科部会一日研修	17	本館	一場郁夫
11月6日	野田市教育研究会理科部会(中学校)	学習指導要領をふまえた実験技術の研修と学習指導法の研究「土壌動物-基礎知識と簡単な名前前調べ」	25	野田市立第二中学校	萩野康則

4A.5 団体・機関等への支援 172 件 8,084 人

特別利用、講座講師による団体・機関の学習支援、学会・研究会の開催支援を行った。

支援内容	件数	人数	備考
特別利用	12	456	館の概要説明、展示解説、収蔵庫等の案内。4.1 展示解説の件数も含む。
講座等講師	141	6,765	館内外における講師派遣
学会・研究会等の開催	19	863	特別利用・講師派遣以外の人員・施設提供による開催支援。

①特別利用

実施日	依頼団体	事業名	参加者数	実施場所	担当
4月1日	土井ヶ浜人類ミュージアム	遺跡出土製品同定の	3	自室	黒住耐二
7月23日	千葉県教育振興部特別支援教育課	平成25年度県立特別支援学校に勤務する技術職員等研修会	181	本館	一場郁夫
8月9日	国立教育政策研究所	社会教育主事講習現地研修	10	本館	一場郁夫
9月27日	自然保護課	自然保護指導員および自然公園指導員研修会	38	生態園	由良浩
10月22日	千葉県生涯大学校京葉学園	生態園ギャラリー(作品制作)	45	生態園、研修室	林浩二
10月23日	千葉県教育研究会船橋支部理科部会	理科部会一日研修	17	本館	一場郁夫
11月14日	ふなばし市民大学校	生態園ギャラリー(作品制作)	41	生態園、研修室	林浩二
11月26日	千葉県生涯大学校京葉学園	生態園ギャラリー(作品制作)	45	生態園、研修室	林浩二
11月30日	茨城県自然博物館	平成25年度茨城県自然博物館ボランティア自主研修会	31	講堂	一場郁夫
2月13日	千葉県環境生活部環境調整課	環境学習拠点担当者会議	18	会議室、生態園	林浩二
2月16日	ASA 青葉の森エヌ・アイ・エス	小中学生の一日記者体験	23	本館	一場郁夫
2月22日	静岡県自然保護課	収蔵庫案内	4	本館	黒住耐二

②講座等講師

実施日	依頼団体	事業名	参加者数	実施場所	担当
4月6日	千葉市野鳥の会	第112回千葉市野鳥の会談話会	1	本館	桑原和之
4月7日	千葉市野鳥の会	第113回千葉市野鳥の会談話会	2	大利根分館	桑原和之
4月9日	千葉自然学校	シニア自然大学「千葉の自然概論」	45	本館	中村俊彦
4月13日	雨城古文書同好会	房総の二五穴について	18	他施設(県外)	島立理子
4月20日	千葉市野鳥の会	第114回千葉市野鳥の会談話会	1	本館	桑原和之
5月10日	稲毛中学区青少年相談員連絡協議会	環境教育講演会「子どもを育む生物多様性教育」	30	稲毛公民館	中村俊彦
5月12日	安房生物愛好会	観察会	19	清和県民の森	尾崎煙雄
5月16日	町田市立博物館	「岩田藤七・久利・糸子:スケッチブックとガラス作品」展に伴う貝類分類整理指導	2	他施設(県外)	黒住耐二
5月18日	上総郷土文化同好会	講演:房総の二五穴	23	君津市	島立理子
5月18日	青葉の森公園緑の相談所	講演会講師	32	青葉の森公園緑の相談所	御巫由紀
5月18日	里山シンポジウム実行委員会	第10回里山シンポジウム・プレシンポジウムと4つの「生態系サービス」4文化サービス	35	千葉経済大学	中村俊彦
5月18日	里山シンポジウム実行委員会	第10回里山シンポジウム・パネルディスカッション「里山に託す私たちの未来」	200	千葉経済大学	中村俊彦
5月18日	海洋研究開発機構(JAMSTEC)	JAMSTEC 一般公開「相模湾の生き物と地質—枕状溶岩ってどんなもの?」	20	海洋研究開発機構(JAMSTEC)横須賀本部	高橋直樹
5月25日	千葉県立房総のむら	里山観察会	10	他施設(県外)	天野誠
5月26日	千葉市野鳥の会	第115回千葉市野鳥の会談話会	1	本館	桑原和之
5月26日	千葉県立房総のむら	平成25年度千葉県立房総のむらトビックス展「神の依り代・梵天—房総の出羽三山信仰—」解説会講師	50	房総のむら風土記の丘資料館	小林裕美
5月31日	環境自治体会議ひおき会議・日置市	第21回環境自治体会議ひおき会議「未来へつなごう自然との共生」第5分科会生物多様性	70	日置市吹上砂丘荘	中村俊彦
6月1日	科学研究費・環太平洋の環境文明史/琉球班	「古代の名城」科研費成果報告会	81	他施設(県外)	黒住耐二
6月1日	環境自治体会議ひおき会議・日置市	第21回環境自治体会議ひおき会議・パネルディスカッション「地域資源の活かし方・つなぎ方」	300	日置市伊集院文化会館	中村俊彦
6月1日、2日	谷津干潟観察センター	ラムサール条約登録20周年記念 谷津干潟の日イベント	1212	習志野市	大木淳一、尾崎煙雄
6月6日	千葉県資料品質改善研究会	千葉県における外来生物及び植物の状況と対策についての講演会	15	プラザ菜の花会議室	高山順子
6月9日	京葉学園	博物館学習	30	本館	一場郁夫
6月13日	千葉自然学校・シニア自然大学	川沼の自然入門	44	市原市	大木淳一
6月15日	東金子ども科学館	銚子ジオパークを見に行こう	44	銚子市	加藤久佳

6月19日	千葉市野鳥の会	第116回千葉市野鳥の会談話会	5	本館	桑原和之
6月19日	町田市立博物館	「岩田藤七・久利・糸子:スケッチブックとガラス作品」展に伴う貝類分類整理指導	2	他施設(県外)	黒住耐二
6月22日	東金こども科学館	講座 はちみつのひみつ	60	他施設(県内)	宮野伸也
6月23日	フィールドミュージアム・三番瀬の会	三番瀬の海辺で海浜植物を観察しよう	6	野外(県内)	由良浩
6月29日	国立科学博物館/日本蕨苔類学会	コケ類入門講座	20	国立科学博物館	古木達郎
6月29日	岩手県宮古市	磯の生物観察会	15	宮古市浄土が浜	駒井智幸
6月30日	千葉市野鳥の会	第117回千葉市野鳥の会談話会	8	本館	桑原和之
6月30日	日本野鳥の会千葉県	2013幹事研修会	29	本館	桑原和之
7月3日	リンテック株式会社	生物多様性学習会「私たちの暮らしと生物多様性」	93	リンテック株式会社本社	中村俊彦
7月4日	生物多様性ちば企業ネットワーク	生物多様性ちば企業ネットワーク第1回勉強会「私たちの暮らしと生物多様性」	50	東京情報大学千葉ステーションキャンパス	中村俊彦
7月14日	千葉県生活環境部水質保全課	ミニ手賀沼水生植物植栽事業	30	他施設(県内)	林紀男
7月14日	(財)日本自然保護協会	モニタリング1000講習会	23	横浜自然観察の森	尾崎煙雄
7月15日	(財)日本自然保護協会	モニタリング1000講習会	3	横浜自然観察の森	尾崎煙雄
7月17日、19日	北谷町教育委員会	桑江伊平土地区画整理事業に係る発掘調査出土の貝類分析及び指導	24	北谷町教育委員会	黒住耐二
7月20日	千葉県酪農のさと/嶺岡牧研究所	プラットフォーム「牧の文化再生」第1回牧の自然再生ホーム	35	千葉県酪農のさと	高橋直樹
7月21日	フィールドミュージアム・三番瀬の会	干潟の生物観察会	10	船橋市船橋海浜公園	駒井智幸
7月23日	千葉市野鳥の会	第118回千葉市野鳥の会談話会	40	本館	桑原和之
7月23日	生涯学習課 学校・家庭・地域連携室	サイエンス・スクール	110	本館	桑原和之、一場郁夫
7月24日	千葉市教育委員会	平成25年度児童植物観察会	57	本館	由良浩、齊木健一
7月24日	千葉県県土整備部河川環境課	印旛沼水草探検隊	39	佐倉市立弥富小学校	林紀男
7月25日	八街市立図書館	夏休み子ども科学講座	40	他施設(県内)	加藤久佳、一場郁夫
7月25日	東京都千代田区教育委員会	有楽町1丁目遺跡の貝類に関する調査指導	48	東京都千代田区有楽町1丁目	黒住耐二
7月28日	NPO いんば	屋形舟で印旛沼体験	96	他施設(県内)	林紀男
7月28日	習志野市谷津干潟自然観察センター	小糸川上流の生きもの観察	38	清和県民の森	尾崎煙雄
7月29日	千葉市野鳥の会	第119回千葉市野鳥の会談話会	13	本館	桑原和之
7月29日	千葉県環境局環境保全課 自然保護対策室	平成25年度自然保護講習会	45	本館	桑原和之
8月3日	千葉県立房総のむら	講座 はちみつのひみつ	26	房総のむら	宮野伸也
8月3日	コアSSH推進委員会	千葉サイエンスフェスティバル	116	千葉工業大学	由良浩
8月4日	岐阜県高山市教育委員会	荘川化石フォーラム	80	高山市	伊左治鑽司
8月6日、7日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄県産ブランド開発・発信事業に伴う協力に付いて/南城市サキタリ洞遺跡出土貝類に関する専門的調査	4	他施設(県外)	黒住耐二
8月10日	千葉県立西部図書館	平成25年度第1回サイエンス・カフェ(いきもの編)「特別天然記念物ニホンカモシカを追って37年」	22	千葉県立西部図書館	落合啓二
8月20日	秋田県秋田地域振興局	八郎湖子ども交流会	40	秋田県立大学	林紀男
8月24日	佐倉野草会	押し葉標本同定会	38	佐倉中央公民館	大野啓一
8月31日	君津市清和公民館	博物館講座 用水を歩く	27	君津市	島立理子
9月1日	千葉県/環境パートナーシップちば	環境学習指導技能向上講座	15	千葉市文化センター	林浩二
9月1日	さわやかちば県民プラザ	特集展示解説講座	20	他施設(県内)	内田龍哉
9月6日	文化庁	ミュージアムエデュケーター研修(教育プログラム開発・発表および評価・検証・改良等)	54	他施設(県外)	林浩二
9月7日	日本学術振興会/札幌大学	「ひらめきときめきサイエンス」・札幌大学『古代人はどのように生き抜いたのか。古代人の生活を復元する』講師	17	他施設(県外)	黒住耐二
9月8日	千葉市野鳥の会	第120回千葉市野鳥の会談話会	3	本館	桑原和之
9月12日	シニア自然大学	川・沼の自然入門 川や沼に棲息する昆虫類から分かること	50	千葉県立中央博物館 講堂	倉西良一
9月15日	君津市八重原公民館	子ども自然体験教室	0	君津市八重原公民館	尾崎煙雄
9月19日	千葉自然学校	シニア自然大学	42	本館	大野啓一
9月25日	自然保護課	行徳内陸性湿地再整備検討協議会意見交換会	9	本館	大野啓一、由良浩、桑原和之、駒井智幸、黒住耐二
10月4日	千葉市野鳥の会	第121回千葉市野鳥の会談話会	17	本館	桑原和之
10月5日	ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社	「ふるさと考古学—遺跡と人のワークショップ パート8. 貝の考古学—」	24	野外(県外)	黒住耐二
10月7日	君津市清和公民館	地域課題学習	8	君津市	島立理子
10月10日	NPO法人千葉自然学校	シニア自然大学	43	本館	宮野伸也
10月10日	佐倉市市民カレッジ	身近な自然環境の最近の話題	100	佐倉市中央公民館	倉西良一

10月10日	和田未来農業研究会公開セミナー	あのホテルを呼び戻せるか?	60	和田ふるさと館	倉西良一
10月12日	君津市清和公民館	親子教室	14	野外(県内)	尾崎煙雄
10月12日	海洋研究開発機構(JAMSTEC)	JAMSTEC 一般公開「相模湾コーナー—東京海底谷の謎の蛇紋岩」	30	海洋研究開発機構(JAMSTEC) 横浜研究所	高橋直樹
10月13日	君津市八重原公民館	こども自然体験教室	21	君津市八重原公民館	尾崎煙雄
10月14日	千葉市野鳥の会	第122回千葉市野鳥の会談話会	10	本館	桑原和之
10月19日	君津市八重原公民館	八重原地区第17回ふれあい文化祭特別企画イベント「里山保全と生活文化:生物多様性と生態系サービスの視点から」	30	君津市八重原公民館	中村俊彦
10月24日	千葉自然学校	シニア自然大学	42	野外(県内)	尾崎煙雄
10月26日	千葉県教育委員会	千葉学講座	40	現代産業科学館	高梨俊夫
10月29日	自然と人間を考える会	定例講座「小糸川を学ぶ」	22	君津市八重原公民館	内田龍哉
11月1日	木更津市畑沢小学校	野外実習指導	125	野外(県内)	岡崎浩子、加藤久佳、大木淳一
11月1日	鈴木省三生誕100年記念祭実行委員会	鈴木省三生誕100年記念講演会司会	97	佐倉市立美術館	御巫由紀
11月3日	鈴木省三生誕100年記念祭実行委員会	鈴木省三生誕100年記念講演会司会	99	佐倉市立美術館	御巫由紀
11月6日	自然系調査研究機関連絡会議	研究成果発表会	65	石川県輪島市	林紀男
11月7日	自然系調査研究機関連絡会議	連絡会議	38	石川県能登町	林紀男
11月8日	日本映像民俗学の会	房総の出羽三山信仰	32	国立歴史民俗博物館	島立理子
11月9日	モニタリング1000里地調査同定能力向上研修会	調査員を対象に講習会を実施	35	大阪市立自然史博物館	尾崎煙雄
11月9日	鈴木省三生誕100年記念祭実行委員会	鈴木省三生誕100年記念講演会座談会	80	佐倉市立美術館	御巫由紀
11月10日	千葉市野鳥の会	第123回千葉市野鳥の会談話会	3	本館	桑原和之
11月10日	モニタリング1000里地調査サイト間交流会	調査員と調査検討委員による課題解決ワークショップ	40	iSite なんば	尾崎煙雄
11月10日	鈴木省三生誕100年記念祭実行委員会	鈴木省三生誕100年記念講演会司会	80	佐倉市立美術館	御巫由紀
11月14日	日本水処理生物学会	研究発表会	185	兵庫県神戸市	林紀男
11月16日	千葉県立房総のむら	里山観察会(コケ植物)	9	他施設(県内)	古木達郎
11月17日	群馬県立自然史博物館友の会	体験活動(コケの観察会)	21	野外(県外)	古木達郎
11月17日	宍塚の自然と歴史の会	第23回里山保全学習会「生物多様性戦略とその実行体制」	30	土浦市四中地区公民館	中村俊彦
11月18日	君津市生涯学習交流センター	きみつ歴史探訪	18	君津市	伊左治鎮司
11月20日	千葉市文化振興財団	古代の千葉の植生を知る	80	千葉市文化センター	奥田昌明
11月22日	南房総市丸山公民館	平成25年度安房地区公民館連携事業「見たり・聞いたり安房の国」第3回「嶺岡山系の成り立ちと千葉石」	100	南房総市丸山公民館及び南房総市、鴨川市	高橋直樹
11月24日	千葉県自然観察指導員協議会	フォローアップ研修会	36	野外(県内)	大木淳一
11月24日	滞の会	東京湾学講座	40	富津公民館	内田龍哉
11月25日	リンテック株式会社千葉工場	生物多様性についての講演会「生物多様性って何だろう?」	15	リンテック株式会社千葉工場	高山順子
11月26日	千葉大学園芸学部	絶滅危惧水生昆虫の保全遺伝学を目指して	25	千葉大学園芸学部	倉西良一
11月27日	千葉市文化振興財団	地層中の花粉からわかること—更級日記の時代	80	千葉市文化センター	奥田昌明
11月30日	すげの会	標本同定会	14	本館	天野誠
11月30日	千葉県立東部図書館	歴史講座「水郷を旅した人々」	54	千葉県立頭部図書館	内田龍哉
12月1日	千葉市野鳥の会	第124回千葉市野鳥の会談話会	4	本館	桑原和之
12月4日	千葉市野鳥の会	第125回千葉市野鳥の会談話会	4	本館	桑原和之
12月6日	水辺の植物同好会	印旛沼水生植物再生事業実施地植生調査	19	成田市	林紀男
12月7日	日本山学会千葉支部	富士山と房総の自然を語る集い「富士山の浮世絵から探る房総の景相」	80	千葉県立中央博物館	中村俊彦
12月8日	千葉市野鳥の会	第126回千葉市野鳥の会談話会	42	本館	桑原和之
12月8日	さわやかちば県民プラザ	柏の葉アカデミア講座	70	さわやか千葉県民プラザ	内田龍哉
12月12日	麗沢大学オープンカレッジ教室イル・フィオーレ	麗沢大学オープンカレッジ教室講師	40	他施設(県内)	御巫由紀
12月13日	千葉市野鳥の会	第127回千葉市野鳥の会談話会	3	本館	桑原和之
12月14日	東京都西部公園緑地管理事務所	井の頭池かいぼり隊養成講座講師	88	東京都	林紀男
12月14日	フィールドミュージアム・三番瀬の会	フィールドミュージアム振り返りシンポジウム「千葉県立中央博物館のフィールドミュージアム展開」	60	千葉県立中央博物館	中村俊彦
12月18日	千葉市野鳥の会	第128回千葉市野鳥の会談話会	5	本館	桑原和之
12月20日	千葉市野鳥の会	第129回千葉市野鳥の会談話会	4	本館	桑原和之
12月21日	千葉市野鳥の会	第130回千葉市野鳥の会談話会	15	本館	桑原和之
12月21日	日本野鳥の会千葉県	2013幹事研修会	49	本館	桑原和之
1月23日	千葉県環境行政連絡協議会	自然環境部会研修会「千葉県の自然環境と生物多様性保全研修会」	42	千葉県立中央博物館	中村俊彦

1月25日	環境省多様性センター/NPO 法人パードリサーチ	平成 25 年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(モニタリングサイト 1000) シギ・チドリ類調査交流会	30	他施設(県外)	桑原和之
1月25日	千葉県立中央図書館	企画展「世界遺産」関連講座「富士山の原生林と日本人の心」	50	千葉県立中央図書館	中村俊彦
1月26日	(財)千葉県文化振興財団	施設まるごと!文化発見フェスタ in ちば 美術鑑賞教室ギャラリートーク講師	15	千葉県文化会館	御巫由紀
1月26日	佐倉市教育委員会	佐倉市城下町 400 周年記念リレー講演会:佐倉市の水辺環境	80	佐倉市中央公民館	倉西良一
2月6日	環境省関東地方環境事務所	平成 25 年度特定外来生物防除等推進事業外来種対策連絡会議「千葉県印旛沼水系における特定外来生物カミツキガメの防除体制」	40	TKP 東京駅前カンファレンスセンター	高山順子
2月12日	農林水産省・那覇植物防疫所	平成 25 年度第 2 回セミナー講師	24	他施設(県外)	黒住耐二
2月19日	千葉県野鳥の会	第 131 回千葉県野鳥の会談話会	8	本館	桑原和之
2月22日	千葉県野鳥の会	第 132 回千葉県野鳥の会談話会	60	他施設(県外)	桑原和之
2月22日	波崎愛鳥会	波崎愛鳥会設立 30 周年記念講演会	67	他施設(県外)	桑原和之
2月22日	いには野アカガエルの里を守る会	里山とホテル	50	ふれあいセンターいんば	倉西良一
2月26日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄伊産ブランド開発・発信事業に伴う協力に付いて/南城市サキタリ洞遺跡出土貝類に関する専門的調査	4	沖縄県立博物館、美術館	黒住耐二
2月26日、28日	沖縄県立博物館・美術館	沖縄伊産ブランド開発・発信事業に伴う協力に付いて/南城市サキタリ洞遺跡出土貝類に関する専門的調査	4	他施設(県外)	黒住耐二
2月28日	千葉県教育委員会	千葉県美術館・博物館等職員研修会	54	講堂	高梨俊夫
2月28日、3月7日	農林水産省・神戸植物防疫所	平成 25 年度植物防疫官専門研修(害虫コース)講師	15	他施設(県外)	黒住耐二
2月28日、8月1日	(公財)千葉県教育振興財団	市川市雷下遺跡における貝類の調査指導	25	市川市雷下遺跡	黒住耐二
3月1日	千葉県野鳥の会	第 133 回千葉県野鳥の会談話会	8	大利根分館	桑原和之
3月1日	(財)日本自然保護協会	モニタリング 1000 講習会	43	鎌倉中央公園	尾崎煙雄
3月16日	千葉県自然保護課	ヒメコマツ観察会	5	清和県民の森	尾崎煙雄
3月24日	(財)千葉県教育振興財団	市川市雷下遺跡の貝類について	2	野外(県内)	黒住耐二
3月20日、21日	鹿児島県伊仙町教育委員会	面縄貝塚群発掘指導	7	野外(県外)	黒住耐二

③学会・研究会等の開催

実施日	依頼団体	事業名	参加者数	実施場所	担当
5月25日	房総地学会	平成 25 年度総会	18	会議室	高橋直樹
6月2日	千葉県文化財保護協会	第 1 回文化財講演会	146	講堂	三浦和信
6月15日	房総貝類談話会	第 6 回房総貝類談話会	7	野外(県内)	黒住耐二
7月24日	千葉県教育委員会	博物館協議会	9	会議室	高梨俊夫
7月27日	房総地学会	第 65 回談話会	19	会議室	高橋直樹
9月8日	千葉県文化財保護協会	第 2 回文化財講演会	102	講堂	三浦和信
10月20日	千葉県昆虫談話会	第 84 回例会	26	会議室	斉藤明子
11月4日	房総貝類談話会	第 7 回房総貝類談話会	18	本館	黒住耐二
11月16日	房総地学会	第 66 回談話会	20	会議室	八木令子
11月24日	千葉県地学教育研究会	第 63 回地学研究発表会(児童・生徒)	34	講堂	高橋直樹
11月24日	千葉県高等学校文化連盟	千葉県高校生科学研究発表会	104	講堂	一場郁夫
12月4日	千葉県教育委員会	博物館協議会	8	会議室	高梨俊夫
12月21日	千葉県地学教育研究会	平成 26 年度総会・研究発表会・談話会	24	会議室	高橋直樹
12月22日	千葉県昆虫談話会	第 85 回例会	35	会議室	斉藤明子
1月18日	房総貝類談話会	第 8 回例会	19	本館	黒住耐二
1月19日	千葉県文化財保護協会	第 3 回文化財講演会	117	講堂	三浦和信
2月16日	千葉県昆虫談話会	第 86 回例会	22	会議室	宮野伸也
2月22日	湘南地球科学の会	第 164 回例会	13	会議室	高橋直樹
3月2日	千葉県文化財保護協会	第 4 回文化財講演会	122	講堂	三浦和信

4A.6 友の会活動支援

4A.6.1 友の会事業支援 70 件 788 人 データ編

講師・施設・設備の提供により当館友の会の活動を支援した。

内容	件数	人数	備考
企画行事講師	15	285	友の会主催の講座・観察会の講師を引き受けた。
会員対象の展示解説・講座	12	95	毎月 1 回(水)。当館企画展示の解説、専門分野の講座の実施
友の会自主活動支援	43	408	コケサークル観察会講師・ヒスイの会(岩石勉強会)。 1 件雨天中止

4A.6.2 友の会による博物館の行事開催支援

館主催の講座・観察会、企画展示のイベントの実施に当たって、友の会ボランティアの協力を受けた。

10.3.5 千葉県立中央博物館友の会(博物館行事の支援)を参照こと。

4A.6.3 中央博サークルの結成

12 月 1 日の友の会解散決定を受けて、その活動を継承する当館の新たな仕組みとして「中央博サークル」を結成することとした。メンバーの公募と登録、活動開始は 26 年度からとなる。

3 月 10 日：中央博サークル設置・運用要綱が施行された。

3 月 20 日：友の会に由来するグループからの申請を受け、9 つのサークルが結成された。

結成サークル

- 1 地学同好会
- 2 生きものサークル
- 3 もりたん
- 4 ヒスイの会
- 5 コケサークル(蘚苔類)
- 6 コケサークル(地衣類)
- 7 海藻倶楽部
- 8 夏休み親子科学クラブ
- 9 歴史サークル

■実施詳細

内容区分	実施日	事業内容	参加者数	実施場所	担当
行事講師	4月12日	自然観察会(下見)	4	四街道市	天野誠
	4月20日	自然観察会	31	四街道市	天野誠
	4月21日	定期総会講演会	24	講堂	大庭照代
	5月21日	生きもの教室	18	本館	斉藤明子
	6月7日~8日	自然観察会	33	箱根駒ヶ岳. 湿生花園	御巫由紀
	6月18日	生きもの教室	27	本館	萩野康則
	7月7日	化石のクリーニングと標本作り	20	研修室	伊左治鎮司
	7月12日~13日	自然観察会(下見)	4	草津白根山他	天野誠
	7月20日	生きもの教室	16	青葉の森公園	宮野伸也
	7月21日	海藻クラブ	7	鴨川市	宮田昌彦
	9月10日	生きもの教室	15	生態園	大庭照代
	9月28日	北総の自然と文化	15	香取市	内田龍哉
	10月6日	千畑層化石採集会一鋸山	40	鋸南町	伊左治鎮司
	11月2日	自然観察会「南限のハマギク」	31	茨城県高萩市他	由良浩
展示解説・講座	4月10日	春の展示「ナッツ&ベリー展」	15	企画展示室	天野誠
	5月8日	花粉のみわけ方	3	講座	奥田昌明
	6月12日	歴史展示室で見る“房総の旅“	5	歴史展示室	立和名明美
	7月10日	生態園トビックス展「生態園のトンボ」	7	生態園オリエンテーションハウス	倉西良一
	8月14日	夏の展示「ウミウシの世界」	12	企画展示室	立川浩之
	9月11日	生態園トビックス展「あなたが聞いた秋の音を教えてください」	7	生態園オリエンテーションハウス	大庭照代
	10月9日	企画展「うつりゆく音」	8	企画展示室	大庭照代
	11月13日	身近な藻類	7	講座	宮田昌彦
	12月11日	魚類の初期発生一親とは異なる子供の形一	6	講座	乃一哲久
	1月15日	見ばえのする写真の作り方	7	講座	奥田昌明
	2月12日	トビックス展「北川隆司鉱物コレクション展」	10	企画展示室	高橋直樹
	3月12日	春の展示「水辺の記憶」	8	企画展示室	小林裕美
	自主活動支援	4月5日	ヒスイの会(岩石勉強会)	11	研修室
4月12日		〃	8	〃	〃
4月19日		〃	8	〃	〃
4月26日		〃	13	〃	〃
5月10日		〃	7	〃	〃
5月17日		〃	10	〃	〃
5月23日		〃	8	〃	〃
5月31日		〃	10	〃	〃
6月7日		〃	10	〃	〃
6月14日		〃	11	〃	〃
6月21日		〃	10	〃	〃
6月28日		〃	8	〃	〃
7月12日		〃	8	〃	〃
7月19日		〃	11	〃	〃
7月26日		〃	5	〃	〃
8月1日		〃	10	〃	〃
8月16日		〃	8	〃	〃
8月29日		〃	7	〃	〃
9月6日		〃	9	〃	〃
9月20日		〃	13	〃	〃
9月27日		〃	6	〃	〃
10月4日		〃	7	〃	〃
10月11日		〃	5	〃	〃
10月18日		〃	9	〃	〃
11月1日		〃	11	〃	〃
11月8日		〃	9	〃	〃
11月15日		〃	10	〃	〃
11月22日		〃	9	〃	〃
11月28日		〃	10	〃	〃
12月6日		〃	13	〃	〃
12月12日		〃	7	〃	〃
12月20日		〃	12	〃	〃
1月10日		〃	12	〃	〃
1月17日		〃	14	〃	〃
1月24日		〃	10	〃	〃
1月31日		〃	12	〃	〃
2月6日	〃	15	〃	〃	
2月14日	〃	7	〃	〃	
2月21日	〃	12	〃	〃	
2月28日	〃	13	〃	〃	
6月6日	コケサークル第52回研修会	14	千葉市泉自然公園	古木達郎	
10月2日	コケサークル第53回研修会	-	雨天中止	〃	
11月14日	コケサークル第54回研修会	6	館山城山公園	〃	

4A.7 学習キットの貸出・製作

4A.7.1 標本・学習キットの貸出 146 件 5,860 人 データ編

団体・機関に、学習用に整備した資料・キットの貸出を行った。

キット名	貸出件数	貸出日数	利用者数
生命と大地の歴史を体感する化石キット	10	36	782
昆虫標本作製キット	4	5	270
哺乳類標本貸出キット	7	32	1,058
野草カード ※	125	125	3,750
計	146	198	5,860

※利用者数を一律 30 人とした。

4A.7.2 学習キットの製作

千葉県立博物館合同企画事業「授業に役立つ県立博物館」プロジェクトにおいて学習キットを製作した。

キット名	内容	セット数
古文書・和本移動展キット	古文書・和本・絵画の複製など当館収蔵資料を出張展示するためのキット。利用対象：小学校・中学校・高校の「社会（歴史）」、小学校の「総合的な学習の時間」	1

■ 貸出詳細

①化石、昆虫標本作製、哺乳類標本

キット名	利用区分	貸出日	日数	利用対象	貸出先	利用者数	担当
生命と大地の歴史を体感する化石キット	貸出	7月25日	5	中学生	佐倉市立佐倉中学校	17	加藤久佳
	出前	7月25日	1	小学生	八街市立図書館	40	〃
	実演	8月7日	1	大学生	千葉県立中央博物館	20	〃
	他	8月17日	1	—	千葉県立中央博物館	38	〃
	実演	10月23日	1	—	中学教員理科部会船橋支部	17	〃
	貸出	11月11日	11	中学生	酒々井町立酒々井中学校	178	〃
	貸出	12月10日	1	中学生	勝浦市立興津中学校	27	〃
	実演	11月23日	1	高校生	東海大浦安中学校	140	〃
	出前	1月28日	1	中学生	船橋市立芝山中学校	103	〃
	貸出	2月15日	13	中学生	千葉市立幕張西中学校	202	〃
昆虫標本作製キット 理科編	実演	6月15日	1	—	千葉県立中央博物館	165	斉藤明子
	他	7月28日	1	—	千葉県立中央博物館	25	〃
	実演	8月6日	1	大学生	千葉県立中央博物館	20	〃
昆虫標本作製キット 国語編	貸出	1月17日	2	中学生	八千代市立大和田中学校	60	〃
哺乳類標本貸し出しキット	貸出	4月26日	4	中学生	千葉大学教育学部附属中学校	168	落合啓二
	貸出	5月4日	4	中学生	大網白里市立増徳中学校	100	〃
	貸出	9月17日	4	小学生	習志野市立鷺沼小学校	122	〃
	貸出	9月17日	3	中学生	千葉市立星久喜中学校	79	〃
	貸出	10月22日	3	中学生	千葉市立星久喜中学校	79	〃
	貸出	10月31日	5	中学生	浦安市立堀江中学校	200	〃
	貸出	10月31日	9	中学生	千葉市立打瀬中学校	310	〃

②野草カードの提供 (担当: 齋木健一)

校種	学校名	提供日
小学校	県内 我孫子市立布佐南小学校	8月9日
県内	我孫子市立立根戸小学校	8月9日
県内	鎌ヶ谷市立第四小学校	8月9日
県内	鎌ヶ谷市立東部小学校	8月9日
県内	香取市立香取小学校	8月6日
県内	香取市立佐原小学校	8月6日
県内	香取市立小見川東小学校	8月6日
県内	香取市立大倉小学校	8月6日
県内	香取市立東大戸小学校	8月6日
県内	香取市立東大戸小学校	8月6日
県内	香取市立八都小学校	8月6日
県内	香取市立府馬小学校	8月6日
県内	香取市立北佐原小学校	8月6日
県内	佐倉市立千代田小学校	7月24日
県内	佐倉市立染井野小学校	5月3日
県内	佐倉市立染井野小学校	8月9日
県内	市原市立牧園小学校	8月9日
県内	習志野市袖ヶ浦西小学校	8月9日
県内	習志野市立谷津小学校	7月24日
県内	習志野市立谷津小学校	8月9日
県内	松戸市立河原塚小学校	8月9日
県内	松戸市立松飛台小学校	8月9日
県内	松戸市立松飛台第二小学校	3月27日
県内	松戸市立松飛台第二小学校	3月27日
県内	松戸市立新松戸西小学校	8月9日
県内	松戸市立新松戸南小学校	8月9日
県内	神崎町立神崎小学校	8月6日
県内	成田市立加良部小学校	7月25日
県内	成田市立吾妻小学校	7月25日
県内	成田市立向台小学校	7月25日
県内	成田市立桜田小学校	7月25日
県内	成田市立桜田小学校	8月9日
県内	成田市立小御門小学校	7月25日
県内	成田市立新山小学校	7月25日
県内	成田市立神宮寺小学校	7月25日
県内	成田市立平成小学校	7月25日
県内	千葉県立院内小学校	7月24日
県内	千葉県立院内小学校	7月24日
県内	千葉県立園生小学校	7月24日
県内	千葉県立寒川小学校	7月24日
県内	千葉県立宮崎小学校	7月24日
県内	千葉県立検見川小学校	7月24日
県内	千葉県立検見川小学校	7月24日
県内	千葉県立高浜海浜小学校	7月24日
県内	千葉県立轟町小学校	7月24日
県内	千葉県立桜木小学校	7月24日
県内	千葉県立小中台小学校	7月24日
県内	千葉県立新宿小学校	7月24日
県内	千葉県立長作小学校	7月24日
県内	千葉県立鶴沢小学校	7月24日
県内	千葉県立本町小学校	7月24日
県内	千葉県立幕張小学校	7月24日
県内	千葉県立有吉小学校	7月24日
県内	千葉県立緑町小学校	7月24日
県内	船橋市立夏見台小学校	9月18日
県内	船橋市立古和釜小学校	8月9日
県内	船橋市立芝山東小学校	7月24日
県内	大多喜町立大多喜小学校	8月9日
県内	八千代市立萱田小学校	3月27日
県内	八千代市立萱田小学校	3月27日
県内	富里市立日吉台小学校	7月24日
県内	富里市立日吉台小学校	7月24日
県内	木更津市立畑沢小学校	8月9日
県内	流山市立東小学校	8月9日
県内	流山市立東深井小学校	8月9日
県内	流山市立鱈ヶ崎小学校	8月9日

県外	さいたま市立片柳小学校	3月27日
県外	伊勢崎市立あざま北小学校	4月26日
県外	横浜市立永谷小学校	3月27日
県外	高岡市立横田小学校	3月27日
県外	三鷹市立南浦小学校	3月27日
県外	神栖市立大野原西小学校	3月27日
県外	清瀬市第十小学校	3月27日
県外	川口市立里小学校	3月27日
県外	足立区立綾瀬小学校	3月27日
県外	大阪市立関目小学校	3月27日
県外	大阪市立新東三国小学校	3月27日
県外	大阪府立和泉市小学校	3月27日
県外	大田区矢口西小学校	3月27日
県外	筑波大学附属小学校	3月27日
県外	藤沢市立天神小学校	3月27日
県外	八王子市立七国小学校	3月27日
県外	半田市立岩清小学校	3月27日
県外	平塚市立松延小学校	4月12日
県外	北九州市立あやめが丘小学校	3月27日
県外	北区なでしこ小学校	3月27日
県外	北区紅葉小学校	3月27日
中学校	県外 宇治市立南宇治中学校	4月5日
県内	成田市立成田中学校	7月25日
県内	成田市立成田中学校	7月25日
県内	成田市立久住中学校	7月25日
県内	成田市立西中学校	7月25日
県内	成田市立玉造中学校	7月25日
県内	富里市立富里中学校	7月25日
県内	富里市立富里北中学校	7月25日
県内	栄町立栄中学校	7月25日
県内	栄町立栄中学校	7月25日
県内	成田市立公津の杜中学校	7月25日
県内	成田市立吾妻中学校	7月25日
県内	成田市立下総中学校	7月25日
県内	香取市立香取中学校	8月6日
県内	香取市立佐原中学校	8月6日
県内	香取市立佐原中学校	8月6日
県内	香取市立香取中学校	8月6日
県内	香取市立佐原第五中学校	8月6日
県内	香取市立新島中学校	8月6日
県内	香取市立小見川中学校	8月6日
県内	香取市立山田中学校	8月6日
県内	神崎町立神崎中学校	8月6日
県内	神崎町立神崎中学校	8月6日
県内	東庄町立東庄中学校	8月6日
県内	銚子市立第一中学校	8月9日
県内	成田市立吾妻中学校	8月9日
大学	県外 自由学園最高学部	5月26日
県内	東邦大学	8月9日
県外	明星大学	3月27日
県外	明治学院大学	3月27日
県外	明治学院大学	3月27日
特別	県内 千葉県立千葉盲学校	8月9日
県内	千葉県立香取特別支援学校	8月9日
県内	千葉県立銚子特別支援学校	8月9日
県内	千葉県立楨の実特別支援学校	8月9日
県外	埼玉県立東松山市特別支援学校 嵐山学園内教室	3月27日
県外	足立区新田学園	3月27日

4A.8 専門分野における相談対応

研究員による質問対応、資料・図書の利用提供により、県民の学習支援を行った。研究員が専門分野の知識を活かし、団体・機関・行政等への助言・技術協力を行った。

4A.8.1 個人および団体・機関・行政からの相談件数 合計 3,146 件

対応	個人	団体（機関）
来館・視察等の対応（※学習情報センターでの対応を含む）	552	399
電話・文書・ファックス・メール等での相談件数	847	1,235
現地での助言指導	-	113
合計	1,399	1,747

※学習情報センターにおける対応 155 件

1 階学習情報センターでは、自然や歴史に関する質問、生物や岩石・鉱物の同定など、来館者からの質問に対応した。

質問内訳	標本同定 64 件、写真同定 18 件、その他 88 件
回答における資料提示	図書 84 件、標本資料 19 件、展示 2 件

4A.8.2 図書の利用提供

1 階図書閲覧コーナーにて、所蔵図書の利用提供により、来館者の調査・研究を支援した。

■図書の利用件数 84 件

書庫の図書の閲覧 11 件 24 冊
 図書コピー 73 件 526 枚

■図書の開架冊数 3,461 冊

閲覧コーナー 2,181 冊
 体験学習室 1,280 冊

4A.8.3 委員受託 27 名 81 件 ☞データ編（2 委員等の受託参照）

博物館協議会委員、文化財保護審議委員、自然保護検討委員、発表会審査委員、学会幹事等の委員を受託した。

4A.9 ボランティアの受入

ボランティア制度を設け、館の様々な事業でボランティアを受け入れ、活動を行った。

4A.9.1 登録者数 169 人 (新規 19 人・継続 150 人)

4A.9.2 活動日数 延べ 1,602 日

4A.9.3 活動内容別の実績

複数の活動に参加が可能。

活動内容	人数		活動日数 (延べ日数)	備考
	申請人数	実働人数		
展示室ボランティア	42	28	385	常設展示室で展示解説を行い、体験学習室での学習をサポート
生態園パートナー	21	12	124	生態園来園者の自然観察をサポート(森の調査隊・自然観察・野鳥・)
資料整理ボランティア	25	19	515	博物館資料の整理・保存をサポート(岩石・化石・昆虫・貝・哺乳類・植物・菌類・地衣・図書で実施)
講座・観察会・イベントボランティア	36	18	182	当館で実施する講座・観察会・イベントをサポート(地学)
自然誌調査研究ボランティア	24	19	184	重点調査(銚子市植物調査ボランティア)
房総の山の観察会サポーター	9	6	7	房総の山のフィールド・ミュージアムでの観察会をサポート
「おばあちゃんの畑」プロジェクト活動支援パートナー	12	8	205	「おばあちゃんの畑」プロジェクト活動のサポート
合計	169	110	1,602	

4A.9.4 ボランティア研修

企画展示の解説、図書室ガイダンス、通信発行、および個別の質問に対応した。

■解説研修 17 回 109 人参加

開催日	解説	内容	参加数
4 月 10 日	天野	春の展示の解説—ナッツ&ベリー展	15
5 月 8 日	奥田	花粉のみわけ方	3
6 月 12 日	立和名	歴史展示室で見る“房総の旅“	5
7 月 10 日	倉西	生態園トピックス展の解説—生態園のトンボ	7
8 月 14 日	立川	夏の展示の解説—ウミウシの世界	12
9 月 11 日	大庭	生態園トピックス展の解説—あなたが聞いた秋の音を教えてください	7
10 月 9 日	大庭	企画展の解説—うつりゆく音—	8
10 月 30 日	地学科	地学展示室の解説	4
11 月 13 日	宮田	身近な藻類	7
12 月 11 日	乃一	魚類の初期発生—親とは異なる子供の形—	6
1 月 15 日	奥田	見ばえのする写真の作り方	7
2 月 12 日	高橋	トピックス展の解説—北川隆司鉱物コレクション展	10
3 月 12 日	小林	春の展示の解説—水辺の記憶	8
4 月 10 日	友田	図書室ガイダンス	6
8 月 14 日	〃	〃	2
9 月 11 日	〃	〃	2
10 月 9 日	〃	〃	0

■通信発行

「銚子市植物調査通信」No12~20 を発行し、植物調査ボランティアに配付した。(植物学研究科)

4B 教育普及 <大利根分館>

講座等の主催、展示解説、川のフィールドミュージアム事業、学習キットの貸出、学校教育支援、団体・機関等への支援を行った。

4B.1 講座等の実施 31 件 3,099 人

行事	件数	参加者数
企画展関連事業	2	31
講義	6	77
体験講座	21	481
イベント	2	2,510

■実施詳細

シリーズ名	行事名	実施日	対象	定員	参加者数	講師
企画展関連	企画展「利根川と文学」解説会	6月2日	一般	40	12	
		6月23日	一般	40	19	
講義	水郷の自然と歴史①水鳥の野鳥	4月7日	中～	40	6	桑原和之
	水郷の自然と歴史②利根川と文学	6月8日	中～	40	18	糠谷隆
	水郷の自然と歴史③深海のエビやカニ	7月27日	中～	40	20	駒井智幸
	水郷の自然と歴史④深海の魚たち	8月10日	中～	40	18	宮正樹
	水郷の自然と歴史⑤耳で聞く水郷佐原	10月19日	中～	40	15	糠谷隆
	水郷の自然と歴史⑥川のフィールドミュージアム報告会	3月1日	中～	40	0	桑原和之
体験講座	かざぐるまをつくろう	4月28日	小～	40	11	
		4月29日	小～	40	0	
		10月13日	小～	40	2	
		10月14日	小～	40	5	
	手がた足がたをとろう	5月3日	一般	20	17	
		5月4日	一般	20	21	
		5月5日	一般	20	22	
	かわいいカモをつくろう	5月11日	小～	40	11	
		5月12日	小～	40	19	
		8月31日	小～	40	24	
		9月1日	小～	40	25	
	ザリガニ釣り	7月28日	小～	40	49	
		8月11日	小～	40	50	
	砂の中のたからものをさがそう	8月3日	小4～	40	26	
		8月4日	小5～	40	40	
	気分は武将	8月17日	小～	40	25	
		8月18日	小～	40	32	
	まが玉作り	8月24日	一般	40	18	
		8月25日	一般	40	30	
	宮中伝統衣装の試着	1月12日	小～	45	27	
1月13日		小～	45	27		
イベント	ネーチャー!!サタデーコンサート	6月15日	一般	全	380	
	昭和の名車大集合II	11月3日	一般	全	2,130	

4B.2 展示解説 41 回 1,762 人

企画展示の個人向け解説、および団体の要望に応じて解説を行った。

解説展示名	実施回数	参加者数
企画展「利根川と文学」解説会	2	31
団体向け展示解説（学校）	34	1,547
団体向け展示解説（その他）	5	184

※ 実施詳細は、4B.1 講座等の主催、4B.5 学校教育支援、4B.7 団体・機関支援を参照のこと。

4B.3 川のフィールドミュージアム事業 6 回 1 人

利根川下流周辺地域の歴史や文化、自然について、参加者と現地調査をしてその成果をまとめ、発表した。発表内容は、「たかっぽ通信」5 号に掲載した。

事業名	実施回数	参加者数
いきもの調査隊	3	0
いしぶみ調査隊	3	1

■実施詳細

行事名	実施日	対象	定員	参加者数
いきもの調査隊	4 月 7 日	中～	20	0
	11 月 9 日	中～	20	0
	3 月 1 日	中～	20	0
いしぶみ調査隊	10 月 26 日	中～	20	0
	11 月 16 日	中～	20	1
	3 月 1 日	中～	20	0

4B.4 学校教育支援 51 件 3,139 人

団体解説、出前授業を行った。

	依頼先	学校数	件数	参加者数
団体解説	小学校	31	34	1,547
出前授業	小学校	17	17	1,627

①学校団体解説および学習キットの利用

実施日	学校名	キット名称	参加者数	担当
5 月 15 日	茨城県行方市立羽生小学校	水郷景観模型	35	糠谷隆
6 月 27 日	市原市立内田小学校	水郷景観模型	26	〃
7 月 15 日	袖ヶ浦市奈良輪小学校	水郷景観模型	62	〃
9 月 12 日	我孫子市立第三小学校	水郷景観模型	149	〃
9 月 25 日	我孫子市立高野山小学校	水郷景観模型	132	〃
10 月 24 日	大網白里私立増徳北小学校	灯りの歴史体験キット	49	〃
10 月 25 日	鎌ヶ谷市立道野辺小学校	灯りの歴史体験キット	138	〃
10 月 25 日	東庄町立笹川小学校	灯りの歴史体験キット	48	〃
11 月 2 日	多古町立中村小学校	灯りの歴史体験キット	21	〃
11 月 7 日	旭市立嚶鳴小学校	灯りの歴史体験キット	81	〃
11 月 23 日	山武市立大富小学校	灯りの歴史体験キット	23	〃
11 月 27 日	市川市立行徳小学校	灯りの歴史体験キット	149	〃
12 月 4 日	香取市立八都第二小学校	灯りの歴史体験キット・水郷景観模型	10	〃
12 月 5 日	潮来市立津知小学校	灯りの歴史体験キット・水郷景観模型	31	〃
12 月 6 日	潮来市立日の出小学校	灯りの歴史体験キット・水郷景観模型	41	〃
12 月 7 日	潮来市立日の出小学校	灯りの歴史体験キット・水郷景観模型	40	〃
12 月 8 日	銚子市立高神小学校	灯りの歴史体験キット・水郷景観模型	31	〃
12 月 9 日	匝瑳市立平和小学校	灯りの歴史体験キット・水郷景観模型	33	〃
12 月 10 日	香取市立山倉小学校	灯りの歴史体験キット・水郷景観模型	18	〃
12 月 11 日	香取市立新島小学校	灯りの歴史体験キット・水郷景観模型	17	〃
12 月 12 日	旭市立嚶鳴小学校	灯りの歴史体験キット・水郷景観模型	62	〃
12 月 13 日	潮来市立大生原小学校	灯りの歴史体験キット・水郷景観模型	9	〃
12 月 14 日	香取市立府馬小学校	灯りの歴史体験キット・水郷景観模型	19	〃
12 月 15 日	香取市立湖東小学校	灯りの歴史体験キット・水郷景観模型	10	〃
12 月 16 日	香取市立第一山倉小学校	灯りの歴史体験キット・水郷景観模型	13	〃
12 月 17 日	香取市立津宮小学校	灯りの歴史体験キット・水郷景観模型	10	〃
12 月 18 日	東庄町立笹川小学校	灯りの歴史体験キット・水郷景観模型	55	〃
12 月 19 日	香取市立神南小学校	灯りの歴史体験キット・水郷景観模型	19	〃
12 月 20 日	市川市立中山小学校	灯りの歴史体験キット・水郷景観模型	121	〃
12 月 21 日	香取市立北佐原小学校	灯りの歴史体験キット・水郷景観模型	26	〃
1 月 22 日	旭市立萬歳小学校	灯りの歴史体験キット	15	〃
1 月 22 日	多古町立多古第二小学校	灯りの歴史体験キット	10	〃
1 月 30 日	神崎町立米沢小学校	灯りの歴史体験キット	20	〃
1 月 31 日	香取市立竟成小学校	灯りの歴史体験キット	24	〃

②出前授業「古い道具とむかしのくらし」

実施日	学校名	参加者数	担当
9月20日	千葉大学教育学部附属小学校	111	糠谷隆、佐藤誠
11月19日	市川市立二俣小学校	111	〃
1月10日	船橋市立高根東小学校	86	〃
1月20日	市川市立妙典小学校	148	〃
1月22日	柏市立藤心小学校	86	〃
1月28日	潮来市立潮来小学校	55	〃
1月31日	市川市立塩焼小学校	150	〃
2月3日	印西市立内野小学校	71	〃
2月7日	市川市立南新浜小学校	124	〃
2月13日	匝瑳市立吉田小学校	9	〃
2月14日	旭市立共和小学校	56	〃
2月19日	柏市立土南部小学校	112	〃
2月21日	八街市立実住小学校	130	〃
2月24日	私立日出学園小学校	126	〃
2月28日	成田市立公津の杜小学校	142	〃
3月4日	旭市立鶴巻小学校	26	〃
3月5日	香取市立小見川中央小学校	84	〃

※ 3B.2 出前展示に合わせて、授業を行った。

4B.5 団体・機関等への支援 5件 149人

支援内容	団体数	件数	人数
団体解説	5	5	149

■一般団体解説・学習キット活用

実施日	団体名	キット名称	参加者数	担当
5月28日	中新宿きらく会	水郷景観模型	31	糠谷隆
6月20日	いすみ市大原公民館	水郷景観模型	32	〃
6月25日	本納文化財顕彰会	水郷景観模型	24	〃
7月20日	東金市福岡子ども会	灯りの歴史体験キット	47	〃
10月20日	鹿島市役所青少年課	水郷景観模型	15	〃

4B.6 学習キットの貸出 77件 239日 17,024人

団体・機関に、学習用に整備した資料・キットの貸出を行った。

キット名	件数	貸出日数	利用者数
水郷景観模型	28	75	5,235
灯の歴史体験キット	49	164	11,789

■利用詳細

キット名称	利用区分	貸出日	貸出日数	貸出先	利用者数
水郷景観模型	貸出	10月1日～11月24日	48	八千代市立郷土博物館	4,132
	実演		23	学校団体 23 件 (4B.4①参照)	969
	実演		4	一般団体 4 件 (4B.5 参照)	134
灯りの歴史体験キット	貸出		134	出前展示貸出 19 件 (3B.2 参照)	10,631
	実演		29	学校団体 29 件 (4B.4 参照)	1,143
	実演		1	一般団体 1 件 (4B.5 参照)	15

4D.7 委員受託（教育、文化財保護、自然保護等） 1名 2件

水郷佐原山車開館協議委員、佐原広域交流 PFI 事業「水の郷さわら」有識者フォローアップ会議委員を引き受けた。

4C 教育普及 <大多喜城分館>

講座等の主催、展示解説、学習キットの貸出・製作、学校教育支援、人材教育支援、団体・機関等への支援を行った。

4C.1 行事の実施 30 件 3,841 人

	種類	件数	参加者数
主催企画	博物館セミナー	6	75
	自然シリーズ	5	148
	企画展関連事業	7	258
	体験教室	5	163
	小計	23	644
協働企画	大多喜お城まつり(協働企画、会場)	1	1,086
	大多喜さくらまつり(協働企画、会場)	4	2,076
	関連行事(甲冑・小袖試着体験、鼓演奏)	2	35
	小計	7	3,197

※大多喜町との協働企画では、大多喜高校茶道部による茶席や有志による琴演奏、鉄砲隊の演武会等の会場を提供した。

■実施詳細

シリーズ名	行事名	開催日	対象	定員	参加者数	実施場所	担当(講師)
博物館セミナー	きのこ観察会	10月10日	一般	40	10	研修館及びび館周辺	吹春俊光(房総のむら)
	仏教美術にみる上総の歴史	11月17日	一般	40	22	研修館	植野英夫(文化財課)
	古文書講座	12月19日	一般	40	15	研修館	内田龍哉
	古文書講座	1月16日	一般	40	12	研修館	渡辺善司(国立歴史民俗博物館)
	大多喜城下を歩く	1月19日	一般	40	7	大多喜町内	福原宣之
	古文書講座	2月13日	一般	40	9	研修館	高橋寛(房総のむら)
自然シリーズ	とりの声キャッチ名人	5月11日	なし	なし	26	二之丸公園	大庭照代
	ネイチャー!!サタデーコンサート	5月11日	なし	なし	85	研修館	千葉県リート・オペラワークショップ・S.C.
	ミツバチと蜂蜜～蜂蜜しぼりも体験します～	6月2日	小3以上	20	16	研修館	宮野伸也
	カタツムリを見つけよう	7月6日	小～	20	10	館周辺	黒住耐二
企画展関連事業	大多喜城周辺のヨケ植物	12月14日	小～	15	11	館周辺	古木達郎
	講演会「上総の仏教美術Ⅱ-工芸品を中心に-」	11月10日	一般	40	16	研修館	原田一敏(東京芸術大学大学美術館教授)
	如来・菩薩の格好をしてみよう(試着体験)	11月2日	小～	20	19	館内	河本雅史(長南文化財修復室)
	お茶席	11月16日	小～	なし	71	研修館	千葉県立大多喜高等学校茶道部
	声明公演	11月24日	小～	40	45	研修館	千葉研聲会・斉藤佐智江・飯島多恵
	仏像を3Dで見てみよう①	12月1日	小～	20	50	館内	植田憲(千葉大学)
	仏像を3Dで見てみよう②	12月7日	小～	20	20	館内	植田憲(千葉大学)
体験教室	仏像を3Dで見てみよう③	12月8日	小～	20	37	館内	植田憲(千葉大学)
	甲冑・小袖・袴の試着	5月5日	小～	20	61	研修館	地引・福原・村田・ボ6名
	甲冑・小袖・袴の試着	6月15日	小～	20	19	研修館	地引・福原・村田・ボ10名
	甲冑・小袖・袴の試着	11月3日	小～	20	39	研修館	地引・福原・村田・ボ4名
	甲冑・小袖・袴の試着	2月11日	小～	20	7	研修館	地引・福原・村田・ボ4名
協働企画	甲冑・小袖・袴の試着	3月2日	小～	20	37	研修館	地引・福原・村田・ボ4名
	大多喜さくらまつり	4月6日	小～		374	館内	
	大多喜さくらまつり	4月7日	小～		331	館内	
	大多喜お城まつり	9月29日	小～		1,086	館内	
	甲冑・小袖・袴の試着	9月15日	小～	20	29	研修館	地引・福原・村田・ボ3名
	大多喜さくらまつり	3月29日	小～		1,111	館内	
	大多喜さくらまつり	3月30日	小～		260	館内	
	甲冑・小袖・袴の試着	3月30日	中高大		6	館内	地引・ボランティア8名

担当：ボ＝ボランティア

4C.2 展示解説 36 件 1,214 人

対象	件数	参加者数
学校	23	938
その他団体	10	252
ボランティア	3	24

※：4C.3 学校教育支援、4C.4 団体機関等への支援、C4.8 ボランティア研修より抽出。

4C.3 学校教育支援 34校 35件 1,331人

大多喜城の歴史、展示解説、甲冑・小袖の試着体験、出前授業などを実施した。

学校区分	校数	件数	利用者数
幼稚園、保育園	1	1	131
小学校	19	19	668
中学校	9	10	405
大学	3	3	47
青少年相談員協議会	2	2	80

■実施詳細

行事名	実施日	展示解説	実施場所	対象	学校名	参加者数	担当
歴史教室	5月10日	展示解説・試着体験	展、研	中	いすみ市立国吉中学校	20	地引尚幸、村田憲一
	5月26日	展示解説	常設展	大	東京成徳大学	10	地引尚幸
	6月6日	展示解説・試着体験	展、研	小	目黒区立八雲小学校	53	地引尚幸、村田憲一、福原宣之
	6月9日	展示解説・試着体験	展、研	大	城西国際大学国際教育センター	20	福原宣之、村田憲一
	6月11日	展示解説・試着体験	展、研	小	目黒区立上目黒小学校	41	地引、村田、福原
	7月17日	展示解説・試着体験	展、研	小	長南町立長南小学校	16	地引、村田、福原
	7月17日	展示解説・試着体験	展、研	小	長南町立豊栄小学校	16	地引、村田、福原
	7月23日	展示解説・試着体験	展、研	中	市川学園市川中学校	87	地引、村田、福原
	7月23日	「本多忠勝と大多喜城」解説	会議室	中	いすみ市立国吉中学校	6	村田憲一
	7月28日	展示解説・試着体験	展、研	中	市川学園市川中学校	87	地引、村田、福原
	7月30日	館内見学・試着体験	展、研	小中	貞元小学校区青少年相談員協議会	17	地引、村田、福原
	7月30日	館内見学・試着体験	展、研	幼保	園生幼稚園	131	地引尚幸、福原宣之
	7月31日	展示解説・試着体験	展、研	中	市川学園市川中学校	92	地引、村田、福原
	7月31日	「いすみ市の城」解説	会議室	中	いすみ市立国吉中学校	4	村田憲一
	8月2日	館内見学・試着体験	展、研	小中	土気中学校区青少年相談員協議会	63	地引、村田、福原
	8月3日	展示解説・試着体験	展、研	中	市川学園市川中学校	86	地引、村田、福原
	8月17日	大多喜城の歴史	常設展	中	浅野学園教職員	11	地引尚幸
	9月6日	展示解説・試着体験	展、研	小	目黒区立宮前小学校	72	地引、村田、福原
	9月11日	展示解説	常設展	小	いすみ市立中川小学校	16	福原宣之
	9月11日	展示解説	常設展	小	いすみ市立千町小学校	16	福原宣之
	9月13日	大多喜城の歴史	常設展	小	目黒区立烏森小学校	58	福原宣之
	9月27日	展示解説・試着体験	展、研	小	目黒区立碑小学校	95	地引尚幸、福原宣之
	10月2日	展示解説・試着体験	展、研	中	大多喜町立西中学校	11	地引尚幸
	10月11日	展示解説・試着体験	展、研	小	大多喜町立西小学校	16	地引尚幸
	10月18日	大多喜の歴史	常設展	小	大多喜町立大多喜小学校	39	地引尚幸
	11月1日	常設展展示解説	常設展	小	いすみ市立大原小学校	74	地引尚幸
	11月20日	常設展展示解説	常設展	小	勝浦市立郁文小学校	20	地引尚幸
12月3日	展示解説・試着体験	展、研	小	長南町立東小・西小学校	32	地引尚幸、村田憲一	
1月10日	展示解説・試着体験	展、研	小	布施学校組合立布施小学校	17	地引尚幸、村田憲一	
2月6日	展示解説・試着体験	展、研	小	いすみ市立国吉小学校	25	地引尚幸、福原宣之、村田憲一	
3月28日	展示解説	展示室	小	船橋市立船橋小学校	6	村田憲一	
総合学習	8月22日	バリアフリー学習	館施設	中	大多喜町立大多喜中学校	2	村田憲一
博物館学習	9月6日	展示解説・試着体験	展、研	大	川村学園女子大学	17	地引尚幸
出前授業	9月6日	社会科「戦国時代」の学習	学校	小	大多喜町立西小学校	16	地引尚幸
	10月9日	総合学習「甲冑・小袖・袴の試着体験」	学校	小	市原市立海上小学校	30	地引尚幸
キット貸出	1月23日～26日	学習発表会	学校	小	いすみ市立中根小学校	16	地引尚幸

実施場所：展=展示室、研=研修館、常設展=常設展示室

4C.4 団体・機関等への支援 52 件 1,682 人

支援内容	件数	人数	備考
歴史・体験教室	51	1,646	大多喜城解説、企画展解説、甲冑・小袖・袴の試着体験
キット貸出	1	36	「図書館子どもまつり」における学習キット提供

■実施詳細

行事名	実施日	展示解説	実施場所	団体名	参加者数	講師
歴史教室	4月2日	大多喜城の歴史解説	常設展	LIVELY 旅	26	地引尚幸
	4月4日	大多喜城の歴史解説	常設展	LIVELY 旅	24	村田憲一
	4月9日	大多喜城の歴史解説	常設展	(株) ゆうエージェンシー	24	村田憲一
	4月10日	甲冑・小袖・袴の試着	展、研	茂原市企画財政部企画政策課	19	地引尚幸、村田憲一
	4月21日	大多喜城の歴史解説	常設展	葛飾医療生協	27	地引尚幸
	5月14日	大多喜城の歴史・展示解説	常設展	(医) 相信会	22	村田憲一
	5月26日	大多喜城の歴史	常設展	古河郷土史研究会	26	地引尚幸
	5月28日	大多喜城の歴史	常設展	千葉シニア自然大学	28	村田憲一
	5月28日	大多喜城の歴史	常設展	生涯学習西柴	47	地引尚幸
	5月29日	展示解説・試着体験	展、研	御宿町	12	地引尚幸、村田憲一
	6月5日	展示解説	常設展	三咲地区社会福祉協議会	44	地引尚幸
	6月6日	大多喜城の歴史	常設展	互助組合榛原支部	40	村田憲一
	6月13日	大多喜城の歴史	常設展	みずき会 (佐倉市ユウカリヶ丘)	51	村田憲一
	6月18日	大多喜城の歴史	常設展	つくば市歴史探訪同好会	31	村田憲一
	6月18日	大多喜城の歴史	常設展	保土ヶ谷中学校 3 期同期会	21	福原宣之
	6月18日	大多喜城の歴史	常設展	ときわクラブ	20	福原宣之
	6月18日	大多喜城の歴史	常設展	さくら会	23	福原宣之
	6月23日	大多喜城の歴史	常設展	伊達交通労働組合	17	村田憲一
	6月23日	大多喜城の歴史	常設展	大塚新田自治会	12	村田憲一
	6月27日	展示解説・試着体験	展、研	館山市富崎地区公民館	41	福原宣之、村田憲一
	6月30日	展示解説・試着体験	展、研	御宿町	11	地引尚幸
	7月4日	展示解説・試着体験	展、研	日本国際交流協力センター	28	地引、村田、福原
	7月19日	大多喜城の歴史	常設展	小山地区危険物保守協会	26	福原宣之
	9月4日	展示解説	常設展	(公財) JR 東海生涯学習財団	45	福原宣之
	9月7日	大多喜城の歴史	常設展	旭西寿会	21	地引尚幸
	9月7日	大多喜城の歴史	常設展	荻野自然観察会	26	地引尚幸
	9月19日	大多喜城の歴史	常設展	タケダウォーク	42	村田憲一
	9月19日	展示解説	常設展	有志	15	村田憲一
	9月26日	展示解説・試着体験	展、研	オーストラリア青少年日本研修協会	11	地引尚幸
	10月3日	大多喜城の歴史	常設展	袖ヶ浦市平川公民館	27	地引尚幸
	10月6日	展示解説・試着体験	展、研	茂原市企画政策課	23	地引尚幸
	10月10日	大多喜城の歴史	常設展	千葉県曹洞宗第八教区	59	福原宣之
	10月14日	大多喜城の歴史	常設展	平塚視力障害者協会	34	村田憲一
	11月10日	大多喜城の歴史	常設展	日の丸交通株式会社	15	地引尚幸
	11月20日	大多喜城の歴史	常設展	高松台公民館ゆりの木大学	37	地引尚幸
	11月22日	大多喜城の歴史	常設展	市原市立加茂公民館	28	村田憲一
	11月24日	大多喜城の歴史	常設展	チーバくん大使ツアー	20	福原宣之、立和名明美
	11月26日	試着体験	研修館	蓮田市歩こう会	46	村田憲一
	11月27日	大多喜城の歴史	常設展	館山市館山地区公民館	28	村田憲一
	12月1日	大多喜城の歴史	常設展	船橋市前原地区スポーツ推進委員会	48	福原宣之
12月1日	大多喜城の歴史	常設展	前原地区スポーツ推進委員会	48	福原宣之	
12月8日	大多喜城の歴史	常設展	芳賀山遊クラブ	78	地引尚幸	
12月12日	大多喜城の歴史	常設展	船橋市高根台公民館	25	地引尚幸	

	12月12日	大多喜城の歴史	常設展	木更津市立富来田公民館	20	地引尚幸
	1月19日	大多喜城の歴史	常設展	墨田区日本共産党後援会	191	地引尚幸
	1月31日	大多喜城の歴史	常設展	松戸市河川清流課研修	22	村田憲一
	2月2日	大多喜城の歴史	常設展	大東区民会	24	村田憲一
	2月11日	大多喜城の歴史	常設展	(株)読売旅行	19	福原宣之
	3月1日	大多喜城の歴史	常設展	歴訪会	28	地引尚幸
	3月12日	大多喜城の歴史	常設展	浦和歴友会	27	村田憲一
	3月16日	大多喜城の歴史	常設展	JAあきがわ女性部幹部研修	19	地引尚幸
キット貸出	4月21日	図書館子どもまつり	依頼先	野田市立興風図書館	36	村田憲一

実施場所：展=展示室、研=研修館、常設展=常設展示室

4C.5 学習キットの貸出・製作

4C5.1 学習キットの貸出 47件1,662人

キット名	貸出先	貸出日数	利用者数
甲冑試着体験キットのみ	5	14	190
小袖試着体験キットのみ	1	1	6
甲冑・小袖・袴試着体験キット	41	41	1,466

■貸出詳細

キット名称(略称)	区分	開始日	返却日	貸出先	利用人数
甲冑・小袖・袴	実演	4月10日		茂原市企画政策課(国際交流)	19
甲冑	貸出	4月21日		野田市立興風図書館	36
甲冑・小袖・袴	実演	5月5日		当館体験教室	61
甲冑・小袖・袴	実演	5月10日		いすみ市国吉中学校(国際交流)	20
甲冑・小袖・袴	実演	5月29日		御宿町(国際交流)	12
甲冑・小袖・袴	実演	6月6日		目黒区八雲小学校	53
甲冑・小袖・袴	実演	6月9日		城西国際大学国際教育センター	20
甲冑・小袖・袴	実演	6月11日		目黒区立上目黒小学校	41
甲冑・小袖・袴	実演	6月15日		当館体験教室	19
甲冑・小袖・袴	実演	6月27日		館山市富崎地区公民館	41
甲冑・小袖・袴	実演	6月30日		御宿町(国際交流)	11
甲冑・小袖・袴	実演	7月4日		日本国際交流協力センター	28
甲冑・小袖・袴	実演	7月17日		長南町立長南小学校	16
甲冑・小袖・袴	実演	7月17日		長南町立豊栄小学校	16
甲冑・小袖・袴	実演	7月23日		市川学園市川中学校	87
甲冑・小袖・袴	実演	7月28日		市川学園市川中学校	87
甲冑・小袖・袴	実演	7月30日		貞元小学校区青少年相談員協議会	17
甲冑・小袖・袴	実演	7月30日		園生幼稚園	131
甲冑・小袖・袴	実演	7月31日		市川学園市川中学校	92
甲冑・小袖・袴	実演	7月31日		館山市立博物館ボランティア	11
甲冑・小袖・袴	実演	8月2日		土気中学校区青少年相談員連絡協議会	63
甲冑・小袖・袴	実演	8月3日		市川学園市川中学校	86
甲冑	貸出	8月17日	8月18日	大利根分館	57
甲冑	展示	8月19日	8月24日	千葉県総合教育センター	75
甲冑・小袖・袴	実演	9月4日		川村学園女子大学	17
甲冑・小袖・袴	実演	9月6日		目黒区立宮前小学校	72
甲冑・小袖・袴	出前	9月6日		大多喜町立西小学校	16
甲冑・小袖・袴	実演	9月15日		大多喜町連携	29
甲冑・小袖・袴	実演	9月26日		オーストラリア青少年日本研修協会	11
甲冑・小袖・袴	実演	9月27日		目黒区立碑小学校	95
甲冑・小袖・袴	実演	10月2日		大多喜町立西中学校	11
甲冑・小袖・袴	実演	10月6日		茂原市企画政策課(国際交流)	23
甲冑・小袖・袴	出前	10月9日		市原市立海上小学校	30
甲冑・小袖・袴	実演	10月11日		大多喜町立西小学校	16
甲冑・小袖・袴	実演	11月3日		当館体験教室	39
甲冑	他	11月13日		ボランティア研修会	6
甲冑・小袖・袴	実演	11月26日		蓮田市歩こう会	46
甲冑・小袖・袴	実演	12月3日		長南町立東小学校	18
甲冑・小袖・袴	実演	12月3日		長南町立西小学校	14
甲冑・小袖・袴	実演	1月10日		布施学校組合立布施小学校	17

甲冑・小袖・袴	実演	1月21日		重点事業評価(文化財課)	6
甲冑	貸出	1月23日	1月26日	いすみ市立中根小学校	16
甲冑・小袖・袴	実演	2月6日		いすみ市立国吉小学校	25
甲冑・小袖・袴	実演	2月11日		当館体験教室	7
甲冑・小袖・袴	実演	3月2日		当館体験教室	37
小袖	実演	3月27日		ボランティア勉強会	6
甲冑・小袖・袴	実演	3月31日		大多喜さくらまつりイベント	6

4C.6 ボランティアの受入

ボランティア制度を設け、以下の事業でボランティアを受け入れている。登録期間は年度末までで、更新が可能。

4C.6.1 登録者数 16人

4C.6.2 活動日数 150人日(延べ)

4C.6.3 活動内容

活動内容	登録人数	活動人日	備考
体験教室ボランティア	16	150	普及事業の体験教室「甲冑・小袖・袴の試着」及び学習キットを活用した体験学習等のサポート

4C.6.4 ボランティア研修

企画展示の解説と試着体験研修を行った。

開催日	解説	内容	参加者数
7月25日	地引尚幸	収蔵資料展の展示見学、学習キットの試着方法の研修	7
8月1日	地引尚幸・村田憲一・福原宣之	館山市立博物館ボランティアとの相互研修会	11
11月14日	村田憲一・地引尚幸	企画展の展示説明、小袖と袴の試着体験の研修	6

4D 教育普及 <分館海の博物館>

講座・観察会等の主催、展示解説、海のフィールドミュージアム事業、学習キットの貸出、学校教育支援、人材教育支援、団体・機関等への支援、ボランティアの受入を行った。

4D.1 講座・観察会等の主催 75件 1,118人 データ編

行事		件数	参加者数	対象
講座	講座	3	45	一般
観察会	観察会※1	10	145	一般・小学生以上
	フィールドトリップ（磯・いそ探検隊）※1	9	179	3才以上
体験イベント	タッチプール	5	293	3才以上
	バックヤードツアー（博物館探検隊）	2	30	3才以上
	みんなで工作	5	140	3才以上
	海の体験コーナーイベント※2	41	286	一般

※1 海のフィールドミュージアム事業を兼ねる。

※2 海の体験コーナーイベントは、「海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう」「微小貝を探そう」など。

■実施詳細

①講座（事前申込）

行事名	実施日	対象	定員	参加者数	実施場所	担当
深い海に暮らす生きものたち	5月4日	一般	20	21	館内	川瀬裕司
房総災害史	11月10日	一般	20	7	館内	本吉正宏
企画展示特別講座「海からの贈り物-海藻おしぼを作ろう」	2月15日	一般	30	17	館内	菊地則雄

②観察会（事前申込）※海のフィールドミュージアム事業

行事名	実施日	対象	定員	参加者数	実施場所	担当
親子で海の生きものを探そう その1	4月27日	小	20	22	館前の磯	村田明久
ウミウシを観察しよう	4月28日	小～	20	21	館前の磯	立川浩之
春の鶴原理想郷で植物を観察しよう	5月6日	一般	15	10	鶴原理想郷	青木慎哉
親子で磯の生きものを探そう その2	5月12日	小	20	7	館前の磯	川瀬裕司
潮だまりでエビやカニを探そう	5月26日	小～	20	18	館前の磯	奥野淳児
海の生きもの基礎実習(講座同時)	6月9日	一般	15	8	館前の磯	柳研介
水中めがねで海の生きものを観察しよう	8月3日	一般	20	20	鶴原理想郷	柳研介
博物館周辺の歴史と文化を訪ねて	10月13日	小～	15	7	鶴原理想郷	本吉正宏
秋の鶴原理想郷で植物を観察しよう	11月16日	一般	15	15	館前の磯	青木慎哉
海藻を観察しよう	3月21日	中～	20	17	館前の磯	菊地則雄

③フィールドトリップ（当日申込）※海のフィールドミュージアム事業

行事名	実施日	対象	定員	参加者数	実施場所	担当
磯・いそ探検隊（個人対象）	4月29日	3才～	各15	34	館前の磯	川瀬裕司
〃	7月7日	3才～	各15	15	館前の磯	村田明久
〃	7月21日	3才～	各15	10	館前の磯	青木慎哉
〃	7月21日	3才～	各15	20	館前の磯	柳研介
〃	8月7日	3才～	各15	16	館前の磯	柳研介
〃	8月8日	3才～	各15	18	館前の磯	青木慎哉
〃	8月9日	3才～	各15	27	館前の磯	奥野淳児
〃	8月20日	3才～	各15	24	館前の磯	柳研介
〃	8月21日	3才～	各15	15	館前の磯	村田明久

④タッチプール（当日申込）

行事名	実施日	対象	定員	参加者数	実施場所	担当
タッチプール①～④	5月5日	3才～	各10	69	館内飼育室	菊地則雄
タッチプール①～④	8月13日	3才～	各10	78	館内飼育室	川瀬裕司
タッチプール①～④	8月14日	3才～	各10	59	館内飼育室	青木慎哉
タッチプール①～④	8月15日	3才～	各10	63	館内飼育室	奥野淳児
タッチプール①～②	3月30日	3才～	各10	24	館内飼育室	菊地則雄

⑤バックヤードツアー (当日申込)

行事名	実施日	対象	定員	参加者数	実施場所	担当
博物館探検隊①～②	6月15日	3才～	各15	13	館内バックヤード	村田明久
博物館探検隊①～②	11月3日	3才～	各15	17	館内バックヤード	奥野淳兒,柳研介

⑥みんなで工作 (当日申込)

行事名	実施日	対象	定員	参加者数	実施場所	担当
エコデコイ「こがもちゃん」の色塗り	7月15日	3才～	各15	14	館内	柏木、金子
コーラルプリントをしよう	7月27日	3才～	各15	26	館内	柏木、金子
海藻おしぼを作ろう	8月4日	3才～	各15	31	館内	柏木、金子
コーラルプリントをしよう	8月10日	3才～	各15	27	館内	柏木、金子
オリジナルオブジェを作ろう	8月24日	3才～	各15	42	館内	柏木、金子

⑦海の体験コーナーイベント (当日申込)

行事名	実施日	対象	定員	参加者数	実施場所	担当
海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	4月6日	一般	各6	7	館内	柏木、金子
海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	4月6日	一般	各6	7	館内	柏木、金子
コーラルプリントをしよう	4月20日	一般	各6	2	館内	柏木、金子
コーラルプリントをしよう	4月20日	一般	各6	5	館内	柏木、金子
海藻おしぼを作ろう	5月11日	一般	各6	3	館内	柏木、金子
海藻おしぼを作ろう	5月11日	一般	各6	8	館内	柏木、金子
微小貝を探そう	5月18日	一般	各6	3	館内	柏木、金子
微小貝を探そう	5月18日	一般	各6	9	館内	柏木、金子
海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	6月1日	一般	各6	2	館内	柏木、金子
海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	6月1日	一般	各6	0	館内	柏木、金子
微小貝を探そう	6月29日	一般	各6	3	館内	柏木、金子
微小貝を探そう	6月29日	一般	各6	4	館内	柏木、金子
海藻おしぼを作ろう	9月7日	一般	各6	4	館内	柏木、金子
海藻おしぼを作ろう	9月7日	一般	各6	7	館内	柏木、金子
微小貝を探そう	9月21日	一般	各6	6	館内	柏木、金子
微小貝を探そう	9月21日	一般	各6	5	館内	柏木、金子
海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	10月12日	一般	各6	8	館内	柏木、金子
海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	10月12日	一般	各6	7	館内	柏木、金子
微小貝を探そう	10月26日	一般	各6	0	館内	柏木、金子
微小貝を探そう	10月26日	一般	各6	3	館内	柏木、金子
コーラルプリントをしよう	11月9日	一般	各6	4	館内	柏木、金子
コーラルプリントをしよう	11月9日	一般	各6	5	館内	柏木、金子
海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	11月10日	一般	100	100	鴨川青年の家	奥野、青木、金子
海藻おしぼを作ろう	11月23日	一般	各6	7	館内	柏木、金子
海藻おしぼを作ろう	11月23日	一般	各6	6	館内	柏木、金子
海藻おしぼを作ろう	12月7日	一般	各6	5	館内	柏木、金子
海藻おしぼを作ろう	12月7日	一般	各6	3	館内	柏木、金子
シラスを調べよう	12月21日	一般	各6	4	館内	柏木、金子
シラスを調べよう	12月21日	一般	各6	5	館内	柏木、金子
海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	1月11日	一般	各6	4	館内	柏木、金子
海で見つけた材料でオリジナルオブジェを作ろう	1月11日	一般	各6	2	館内	柏木、金子
微小貝を探そう	1月25日	一般	各6	5	館内	柏木、金子
微小貝を探そう	1月25日	一般	各6	7	館内	柏木、金子
コーラルプリントをしよう	2月8日	一般	各6	4	館内	柏木、金子
コーラルプリントをしよう	2月8日	一般	各6	4	館内	柏木、金子
海藻おしぼを作ろう	2月22日	一般	各6	2	館内	柏木、金子
海藻おしぼを作ろう	2月22日	一般	各6	4	館内	柏木、金子
海藻おしぼを作ろう	3月8日	一般	各6	4	館内	柏木、金子
海藻おしぼを作ろう	3月8日	一般	各6	5	館内	柏木、金子
海藻おしぼを作ろう	3月22日	一般	各6	7	館内	柏木、金子
海藻おしぼを作ろう	3月22日	一般	各6	6	館内	柏木、金子

4D.2 展示解説 37回 1,781人

解説対象	実施回数	参加者数
個人対象（展示室の歩き方）	3	9
学校団体	23	1,488
一般団体	11	284

■実施詳細

①個人対象

行事名	実施日	実施場所	対象	参加者数	担当
展示室の歩き方	8月8日	展示室	一般	3	柏木、金子
	8月9日	展示室	一般	2	柏木、金子
	1月3日	展示室	一般	4	柏木、金子

②団体対象

対象	団体名・学校名	実施日	実施場所	参加者数	担当
学校	目黒区立緑ヶ丘小学校	5月9日	展示室、バックヤード	48	青木慎哉、菊地則雄
"	目黒区立前原小学校	5月21日	"	102	菊地則雄、柳研介
"	目黒区立中目黒小学校	5月23日	"	109	青木慎哉、本吉正宏
"	目黒区立中目黒小学校	5月24日	"	36	青木慎哉、奥野淳兒
"	勝浦市立勝浦小学校	5月28日	"	50	青木慎哉、川瀬裕司
"	小金井市立南小学校	5月30日	"	103	青木慎哉、川瀬裕司
"	小金井市立第一小学校	6月5日	"	126	青木慎哉、本吉正宏
"	小金井市立第二小学校	6月6日	"	97	青木慎哉、村田明久
"	小金井市立第三小学校	6月11日	"	136	青木慎哉、奥野淳兒
"	夷隅特別支援学校	6月14日	"	7	菊地則雄、青木慎哉
"	目黒区立菅刈小学校	6月26日	"	41	本吉正宏、菊地則雄
"	自由の森学園	7月4日	"	26	青木慎哉
"	東京海洋大学フレッシュマンセミナー	7月26日	"	116	菊地則雄、奥野淳兒、柳研介
"	横浜共立学園	8月1日	"	15	青木慎哉
"	千葉大学付属中学校	8月4日	"	29	菊地則雄、青木慎哉
"	東京海洋大学	8月5日	"	86	川瀬、柳
"	天津小学校	9月12日	"	35	本吉、青木
"	目黒区立月光原小学校	10月22日	"	33	青木
"	目黒区立五本木小学校	10月24日	"	69	青木、村田
"	目黒区立碑小学校	12月3日	"	113	青木、奥野
"	慶応女子高等学校	1月10日	"	46	青木、川瀬
"	いすみ市立太東小学校	2月4日	"	31	青木慎哉、奥野淳兒
"	大多喜町立大多喜小学校	2月21日	"	34	青木慎哉
一般	小金井市教育委員会	4月11日	"	12	青木慎哉
"	目黒区教育委員会	4月18日	"	19	奥野淳兒
"	夷隅郡自然を守る会	4月27日	"	14	柳研介
"	文京公民館	6月15日	"	26	奥野淳兒
"	富崎公民館	6月27日	"	40	本吉正宏、奥野淳兒
"	生涯大学校	7月10日	"	61	菊地則雄、青木慎哉
"	千葉シニア大学	7月11日	"	41	奥野淳兒、青木慎哉
"	生涯学習課「サイエンススクール」	7月20日	"	26	奥野淳兒、青木慎哉
"	いすみ市教頭会	7月25日	"	11	奥野淳兒、青木慎哉
"	鶴原観察会	1月19日	"	8	青木慎哉
"	岩根西公民館	2月27日	"	26	柳研介

4D.3 海のフィールドミュージアム事業 41件 1,287人

行事	件数	参加者数
観察会	10	145
フィールドトリップ	9	179
野外実習授業	22	963

4D.1 講座・観察会、4D.5 学校教育から再掲。

4D.4 学校教育支援

4D.4.1 学校教育支援 22 件 963 人

野外実習授業（学校団体向けの自然観察会）を実施した。

依頼先	学校数	実施件数	参加者数
小学校	10	11	677
中学校	4	5	166
高校	3	4	86
大学・大学院	2	2	34

※海のフィールドミュージアム事業を兼ねる。展示解説は含まない。

■実施詳細

対象	実施日	団体名（学校名）	参加者数	実施場所	担当者
小学校	5月23日	天津わかしお学校	37	城崎海岸	川瀬裕司
〃	5月24日	御宿町立御宿小学校	229	小波月海岸	柳研介
〃	5月24日	勝浦市立豊浜小学校	21	豊浜小学校	村田明久
〃	5月24日	豊島区立竹岡健康学園	20	富津市棚海岸	奥野淳児
〃	6月12日	いすみ市立東小学校	17	雨天のため館内	川瀬裕司
〃	6月12日	勝浦市立上野小学校	27	雨天のため館内	青木慎哉、菊地則雄
〃	6月23日	勝浦市立郁文小学校	67	松部の磯	柳研介
〃	6月24日	勝浦市立豊浜小学校	52	かざはやの磯	村田明久
〃	6月25日	いすみ市立千町小学校	20	館前の磯	青木慎哉
〃	6月27日	東京学芸大学附属小金井小学校	124	館前の磯	青木慎哉
〃	3月19日	鴨川市立東条小学校	63	館前の磯	村田明久
中学校	6月23日	日本橋女学館	11	館前の磯	菊地則雄
〃	7月9日	東京学芸大学附属国際中学校	102	館前の磯	青木慎哉
〃	8月1日	横浜共立学園	15	館前の磯	青木慎哉
〃	8月4日	千葉大学付属中学校	29	館前の磯	青木慎哉
〃	11月24日	日本橋女学館	9	館前の磯	菊地則雄
高校	7月25日	埼玉県立熊谷西高校	37	館前の磯	川瀬裕司
〃	8月13日	津田沼高校生物部	14	館前の磯	柳研介
〃	9月11日	勝浦若潮高等学校	15	虫浦の磯	柳研介
〃	9月19日	勝浦若潮高等学校	20	虫浦の磯	村田明久
大学	4月23日	東京大学	28	館前の磯	菊地則雄
大学院	6月22日	東京大学大学院	6	館前の磯	奥野淳児

4D.4.2 大学非常勤講師 3名 データ編（2委員等の受託参照）

自然分野の講座の非常勤講師として大学教育支援を行った。

4D.4.3 職場体験・博物館実習・教員研修 6件9日84人

実施内容	対象	校数	件数	日数	参加者数	備考
職場体験	小学生	1	1	3	6	
教員研修	教員		5	6	78	館前の磯・講座実験室にて実施

■実施詳細

事業名	実施日	日数	依頼団体	対象	参加者数	担当者
職場体験	11月9～11日	3	勝浦市立勝浦中学校	小学生	6	青木慎哉
教員研修	5月28日	1	千葉県高等学校理科部会	教員	8	柳研介
	7月24日	1	県総合教育センター	教員	24	柳研介
	8月20日	1	船橋市教職員研修会	教員	8	青木慎哉
	8月22日	1	君津市小中学校教育研究会	教員	30	村田明久
	3月11～12日	2	埼玉県高等学校生物研究会	教員	8	村田明久

4D.5 団体・機関等への支援 18件 522人

団体フィールドトリップ（一般団体向けの自然観察会）を実施した。

支援内容	団体数	件数	参加者数	備考
団体フィールドトリップ	15	18	522	

■実施詳細

実施日	団体名（学校名）	参加対象	参加者数	実施場所	担当者
4月27日	夷隅郡自然を守る会	NPO	15	館前の磯	柳研介
7月11日	千葉シニア大学	NPO	41	館前の磯	奥野淳兒
10月9日	南外房環境クラブ	NPO	6	苗代川流域	原正利、青木慎哉
11月12日	南外房環境クラブ	NPO	10	苗代川流域	原正利、青木慎哉
2月27日	千葉シニア大学	NPO	38	鵜原理想郷	青木慎哉、菊地則雄
6月8日	勝浦市教育委員会	教委	26	館前の磯	菊地則雄
8月6日	山武市教育委員会	教委	33	館前の磯	菊地則雄、青木慎哉
9月29日	茂原市教育委員会	教委	15	館前の磯	青木慎哉
7月25日	勝浦市教育研究会「サマースクール」	教研	26	館前の磯	青木慎哉
7月20日	生涯学習課「サイエンススクール」	県	42	館前の磯	奥野淳兒
11月15日	目黒区立上目黒小学校	県	42	館前の磯	柳研介、菊地則雄
5月2日	有秋公民館	公民	35	有秋公民館	柳研介
5月9日	有秋公民館	公民	32	館前の磯	柳研介
7月23日	市津公民館磯観察	公民	41	館前の磯	菊地則雄
8月19日	南総公民館	公民	25	館前の磯	村田明久
9月4日	勝浦市	市町	10	館内	村田明久
7月10日	生涯大学校	生涯	61	館前の磯	菊地則雄
6月1日	（一社）カツウラシティ宣伝部	法人	24	鵜原理想郷	青木慎哉

4D.6 学習キットの貸出 66件 66日間 1,668人

館行事・学校・団体・機関に学習キットの貸し出しを行った。

キット名	貸出件数	貸出日数	利用者数
磯の観察キット	49	49	1,482
海藻おしばキット	17	17	186

※ 館行事での利用を含む。

■貸出詳細

①磯の観察キット

貸出日	貸出先	利用者数	利用場所
4月27日	東京大学臨海実習	7	館前の磯
4月28日	夷隅郡市自然を守る会	14	館前の磯
4月28日	観察会参加者	22	館前の磯
4月29日	観察会参加者	21	館前の磯
4月30日	磯いそ探検隊参加者	19	館前の磯
4月30日	磯いそ探検隊参加者	15	館前の磯
5月10日	有秋公民館	32	館前の磯
5月12日	体験コーナー	3	館前の磯
5月12日	体験コーナー	7	館前の磯
5月13日	観察会参加者	7	館前の磯
5月24日	天津わかしお学校	37	城崎海岸
5月25日	御宿町立御宿小学校	229	小波月海岸
5月25日	勝浦市立豊浜小学校	21	豊浜小学校
5月27日	観察会参加者	18	館前の磯
5月29日	千葉県高等学校理科部会	8	館前の磯
5月29日	豊島区立竹岡健康学園	20	富津市棚海岸
6月9日	勝浦市教育委員会	26	館前の磯
6月10日	観察会参加者	8	館前の磯
6月13日	いすみ市立東小学校	17	館前の磯
6月13日	勝浦市立上野小学校	27	館前の磯
6月23日	東京大学大学院	6	館前の磯
6月25日	勝浦市立郁文小学校	67	松部の磯

6月25日	勝浦市立豊浜小学校	52	かざはやの磯
6月26日	いすみ市立千町小学校	20	館前の磯
6月28日	東京学芸大学附属小金井小学校	124	館前の磯
7月8日	磯・いそ探検隊	15	館前の磯
7月10日	東京学芸大学附属国際中学校	102	館前の磯
7月11日	生涯大学校	61	館前の磯
7月12日	千葉シニア大学	41	館前の磯
7月21日	生涯学習課「サイエンススクール」	42	館前の磯
7月22日	磯・いそ探検隊	10	館前の磯
7月25日	千葉県総合教育センター教員研修	24	館前の磯
7月26日	勝浦市教育研究会「サマースクール」	26	館前の磯
7月26日	埼玉県立熊谷西高校	37	館前の磯
8月2日	横浜共立学園	15	館前の磯
8月5日	千葉大学付属中学校	29	館前の磯
8月7日	山武市教育委員会「いきいき体験教室」	33	館前の磯
8月8日	磯・いそ探検隊	16	館前の磯
8月9日	磯・いそ探検隊	18	館前の磯
8月10日	磯・いそ探検隊	27	館前の磯
8月14日	津田沼高校生物部	14	館前の磯
8月20日	南総公民館磯探検	25	館前の磯
8月21日	船橋市教職員研修会	8	館前の磯
8月21日	磯・いそ探検隊	24	館前の磯
8月22日	磯・いそ探検隊	15	館前の磯
8月23日	君津市小中学校教育研究会研修会	30	館前の磯
9月12日	勝浦若潮高等学校	15	虫浦の磯
9月20日	勝浦若潮高等学校	20	虫浦の磯
3月2日	埼玉県高等学校生物研究会	8	館前の磯

②海藻おしばキット

貸出日	貸出先	利用者数	利用場所
5月12日	体験コーナー	3	展示室体験コーナー
5月12日	体験コーナー	7	展示室体験コーナー
6月24日	日本橋女学館中学・高校	11	館内講座実験室
7月24日	市津公民館磯観察	41	館内講座実験室
8月5日	みんなで工作海の生きもの	31	館内講座実験室
9月8日	体験コーナー	4	展示室体験コーナー
9月8日	体験コーナー	7	展示室体験コーナー
10月13日	体験コーナー	8	展示室体験コーナー
10月13日	体験コーナー	7	展示室体験コーナー
11月24日	体験コーナー	13	展示室体験コーナー
12月8日	体験コーナー	8	展示室体験コーナー
11月25日	日本橋女学館	9	館内講座実験室
2月8日	体験コーナー	4	展示室体験コーナー
2月15日	企画展示特別講座	17	館内講座実験室
2月22日	体験コーナー	5	展示室体験コーナー
3月8日	体験コーナー	7	展示室体験コーナー
3月22日	体験コーナー	4	展示室体験コーナー

4D.7 委員受託（教育・文化財保護・自然保護等） 3名12件

博物館協議会委員、文化財審議委員、調査委員、学会幹事等を引き受けた。

☞データ編2委員等の受託参照

4D.8 ボランティアの受入

4D.8.1 登録者数 18人

4D.8.2 活動日数 延べ202人日

4D.8.3 活動内容

活動内容	登録人数 (活動人数)	活動日数 (延べ日数)	備考
展示解説ボランティア	1	40	展示室の解説をサポート
イベント支援ボランティア	15	91	当館で実施する講座・観察会・イベントをサポート
調査研究ボランティア	1	38	調査・研究に用いる器材の整理をサポート
資料整理ボランティア	1	30	博物館資料の保存・管理をサポート

5 情報発信

出版物・印刷物、インターネット、マスコミを通じて、当館事業の発信を行った。そのほか、缶バッジ・マグネット等の来館促進グッズの開発と配布を行った。

5.1 出版物・印刷物の発行 47 点

行事案内・ちらし・ポスター等の広報印刷物、年報・研究報告・たより・解説書等の普及刊行物を発行した。

そのうち冊子刊行物を 10 種 21 点発行した。

①4 館共通

種類	名称	規格	頁数	発行部数	発行年月日
行事案内	平成 26 年度行事案内	A4 (三折)	6	25,000	3 月 5 日
刊行物	Natural History Research Vol.13 No.1	B5	24	850	2 月 4 日
	千葉県立中央博物館自然誌研究報告 第 13 巻 第 1 号	B5	69	850	3 月 31 日
	中央博物館だより 71	A4	12	1,500	3 月 31 日
	千葉県立中央博物館年報 25 平成 24 年度	A4	137	PDF (※)	12 月 15 日

※ PDF は、本館ウェブサイトにて公開。

②本館

種類	名称	規格	頁数	発行部数	発行年月日
刊行物	銚子市植物調査通信 12	A4	4	50	4 月 11 日
	銚子市植物調査通信 13	A4	4	50	5 月 12 日
	銚子市植物調査通信 14	A4	4	50	6 月 12 日
	銚子市植物調査通信 15	A4	4	50	7 月 18 日
	銚子市植物調査通信 16	A4	4	50	8 月 12 日
	銚子市植物調査通信 17	A4	4	50	9 月 07 日
	銚子市植物調査通信 18	A4	4	50	10 月 10 日
	銚子市植物調査通信 19	A4	4	50	11 月 09 日
	銚子市植物調査通信 20	A4	4	50	12 月 27 日
	企画展示関連	企画展「音の風景—うつつりゆく自然と環境を未来に伝える—」			
チラシ		A4	2	90,000	7 月 19 日
ポスター		A2	1	1,000	7 月 19 日
地域連携展「世界の音を聴こう！」 / 写真展「—海の宝石—ウミウシの世界—」					
チラシ		A4	2	20,000	6 月 12 日
特集展示「水郷を旅した人々」					
チラシ		A4	1	20,000	7 月 12 日
平成 25 年度春の展示「水辺の記憶—写真家 林辰雄のまなざし—」					
チラシ		A4	2	15,000	1 月 17 日
ポスター		A2	1	300	1 月 17 日
展示解説パンフレット		A4	16	5,000	3 月 8 日
平成 26 年度トピックス展「もののけ来るぞ」					
チラシ		A4	2	30,000	3 月 28 日
ポスター	B2	1	100	3 月 28 日	

③房総の山のフィールド・ミュージアム

種類	名称	規格	頁数	発行部数	発行年月日
行事案内	房総の山のフィールドミュージアム平成 26 年度のご案内	A4	2	10,000	3 月 18 日
刊行物	ニュースレター「しいむじな」 41	A4	4	6,000	7 月 30 日
	ニュースレター「しいむじな」 42	A4	4	6,000	10 月 30 日
	ニュースレター「しいむじな」 43	A4	4	6,000	1 月 20 日
	ニュースレター「しいむじな」 44	A4	4	6,000	3 月 14 日

④大利根分館

種類	名称	規格	頁数	発行部数	発行年月日
利用案内	常設展示パンフレット (増刷)	A4 (三折)	6	3,000	3月31日
行事案内	平成 26 年度行事予定	A4	2	10,000	3月31日
刊行物	大利根 川のフィールドミュージアムニュースレター「たかっぱ通信」第 6 号	A4	4	3,000	3月31日
企画展示関連	収蔵資料展「深海のいきものたち」				
	チラシ	A5	2	40,000	7月5日
	企画展「利根川と文学」				
	チラシ	A4	2	15,000	3月29日
	展示解説用リーフレット	A4	4	7,000	3月29日

⑤大多喜城分館

種類	名称	規格	頁数	発行部数	発行年月日
企画展示関連	企画展「上総の仏教美術Ⅱ ー長生・山武ー」				
	チラシ	A4	2	10,000	9月27日
	ポスター	B2	1	300	9月27日
	解説書	A3 (二折)	4	15,000	10月24日

⑥分館海の博物館

種類	名称	規格	頁数	発行部数	発行年月日
行事案内	平成 25 年度行事案内	A6 切	8	8,000	4月17日
刊行物	海の生きもの観察ノート 1「磯でみられるエビ・ヤドカリ・カニ」 (増刷)	A5	24	2,000	3月30日
企画展示関連	マリンサイエンスギャラリー「海藻いろいろ ー千葉県豊かな海からー」				
	チラシ	A4	2	18,000	2月15日
	ポスター	A2	1	1,050	2月15日
	展示解説書	A4	16	5,000	2月15日
	収蔵資料展「ウニと愉快的なかまたち」				
	チラシ	A4	2	18,000	7月9日
	解説シート	A4	1	1,000	7月13日
	ワークシート	A4	1	1,500	7月13日
	お絵かき展 私のお気に入りの生きもの				
	チラシ	A4	1	200	11月10日
	ポスター	A2	1	20	11月10日

5.2 インターネットによる情報発信

5.2.1 ウェブサイトの更新

展示・行事案内、研究員紹介の更新を行った。また、研究報告（最新号およびバックナンバー）、中央博物館だより（最新号）の当館刊行物の PDF 公開を開始した。

	更新回数	新規追加ファイル数	更新ファイル数
本館	308	1,169	631
大利根分館	42	92	137
大多喜城分館	35	38	42
合計	385	1,299	810

※房総の山のフィールド・ミュージアムのページを含む。

■連載教室博日記（房総の山のフィールド・ミュージアム）の更新：4月～3月、109回（No.1131-1239）

5.2.2 メールマガジンの配信 41,039 件

展示・行事情報のほか、毎回、職員による連載コラムを掲載した。

館名	メルマガ名	巻次	配信回	配信日	総配信数
本館・大利根分館・大多喜城分館	ちば中央博メール	80～91	12	毎月 10 日	18,229
房総の山のフィールド・ミュージアム	しいむじなメール	109～120	12	毎月 10 日	10,479
分館海の博物館	海からのたより	98～109・臨時号	13	毎月 1 日	12,331

※「海からのたより」は 3 月 20 日臨時号を配信

■連載コラム名  データ編

メルマガ名	連載名
ちば中央博メール	「中央博の窓」12 本、「コラム 研究室から...」12 本
海からのたより	「研究員ノート」12 本

5.2.3 ツイッターによる情報発信

行事情報や実施した様子をツイートした。25 年 4 月 18 日、分館海の博物館がツイッターを開始した。

(平成 26 年 3 月末現在)

館名	フォロワー数	ツイート数	アカウント名	開始
本館・大利根分館・大多喜城分館	394 人	1,996 件	@chiba_chuohaku	平成 25 年 3 月 26 日
分館海の博物館	150 人	156 件	@umihaku	平成 25 年 4 月 18 日
合計	544 人	2,152 件		

5.2.4 デジタルミュージアムの公開 データ編

当館資料や自然・歴史について、テーマごとに解説したコンテンツを作成し、当館ウェブサイトで公開した。

■コンテンツ総数 37 本  データ編 (平成 26 年 3 月末)

館名	公開総数
本館	28
大利根分館	2
大多喜城分館	3
分館海の博物館	4

5.2.5 ウェブサイトへのアクセス件数 173,804 件

A 本館 B 大利根分館 C 大多喜城分館 D 分館海の博物館 E 房総の山のフィールド・ミュージアム

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
A	24,934	25,942	23,336	29,340	39,773	20,272	20,871	17,981	13,596	18,998	16,203	17,544	268,790
B	1,094	1,457	1,414	1,289	1,456	997	857	1,854	614	1,220	955	851	14,058
C	2,654	2,596	2,034	2,433	2,924	2,803	2,490	2,671	1,921	2,186	1,847	2,982	29,541
D	5,299	5,680	4,644	6,619	7,240	3,802	3,443	2,862	2,504	3,485	2,974	4,379	52,931
E	1,066	1,073	898	965	1,326	944	800	781	595	769	662	833	10,712
計	24,934	25,942	23,336	29,340	39,773	20,272	20,871	17,981	13,596	18,998	16,203	17,544	268,790

※数値は、ページビュー数

5.3 マスコミを通じての発信（メディアへの発信）

マスコミを通じて、新発見の発表、行事や専門的な話題の発信・情報提供を行った。

5.3.1 記者発表等 13 件

	件数	発表内容
記者会見	1	本館 (12/20 クジラ化石、ネギ畑から発見！)
資料提供	6	本館 (7/9「世界の音を聴こう」、「海の宝石ウミウシの世界」、9/27「音の風景」) 大多喜城分館 (9/2「家康公の時計」、10/18「上総の仏教美術 II」) 大利根分館 (10/28「昭和の名車大集合」)
知事定例会見	6	本館 (4/18「ナッツ&ベリー」、5/30「県民の日特別行事」、7/25「海の宝石ウミウシの世界」、 10/31 企画展「音の風景」) 大利根分館 (4/18「利根川と文学」、7/25「深海のいきものたち」)

5.3.2 行事情報の発信 830 件

県・マスコミ等の報道機関、ミニコミ誌・業界メディア等に当館の行事情報を発信した件数

	件数
本館	780
大利根分館	25
多喜城分館	25

5.3.3 職員の取材対応 120 件 データ編

当館事業や専門分野について職員が取材を受けた件数

	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	PR ビデオ	合計
本館	41	40	1	82
大利根分館	5	4	0	9
大多喜城分館	8	6	1	15
分館海の博物館	8	6	0	14
合計	61	57	2	120

5.3.4 メディア掲載 106 件 データ編

新聞・雑誌等に掲載された当館関連記事（催事情報を除く）の件数

	記事	新聞連載（※）	合計
本館	58	14	72
大利根分館	1	1	2
大多喜城分館	9	1	10
分館海の博物館	15	4	19
複数館	3	0	3
合計	86	20	106

※職員執筆の新聞連載

館名	新聞名	連載名	連載期間	本数
本館ほか	朝日新聞	チーバくんの Q 中央博を訪ねる	4月23日～3月25日	11
	しんぶん赤旗	貝がらさがし 1～5	5月3日～31日	5
海の博物館	千葉日報	チーバくんと学ぶ深い海に暮らす生きものたち 5	4月8日	1
	千葉日報	藻じゃーずと学ぶ 海藻いろいろ 1～3	2月24日～3月24日	3

6 県立博物館ネットワーク

6.1 県立博物館情報システム

県立博物館情報システムの運営統括を行った。第 3 期システム（24 年度～28 年度）の運用中である。

■所蔵資料登録件数

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

館名	平成 25 年度			平成 24 年度		
	登録件数	データ公開件数	公開画像点数	登録件数	データ公開件数	公開画像点数
美術館	2,456	2,438	606	2,456	2,438	606
中央博物館	180,326	148,716	2,988	156,374	121,492	2,568
分館海の博物館	2,047	1,341	951	5,781	5,706	836
大利根分館	1,025	489	392	2,047	1,341	951
大多喜城分館	5,781	5,706	836	1,025	489	392
現代産業科学館	2,516	1,541	1,882	2,110	1,135	1,477
関宿城博物館	5,658	2,510	2,315	5,658	2,510	2,315
房総のむら	42,942	4,175	4,557	42,942	4,175	4,557
合計	242,751	166,916	14,527	218,393	139,286	13,702

■分野別登録件数(全県立館)

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

検索分野	平成 25 年度			平成 24 年度		
	登録件数	データ公開件数	公開画像点数	登録件数	データ公開件数	公開画像点数
動物	83,480	79,817	2,253	81,484	78,184	1,887
植物・菌類	69,373	59,827	744	57,010	47,464	744
岩石	16,219	258	453	15,480	231	422
地学景観画像	217	214	236	217	214	236
古生物	15,029	12,559	351	7,028	209	328
古文書	4,613	1,898	904	4,613	1,898	904
民俗	3,726	2,272	3,347	3,726	2,272	3,347
埋蔵文化財	28,770	1,343	472	28,770	1,343	472
美術工芸	2,651	1,047	837	2,651	1,047	837
絵はがき	2,402	2,401	2,370	2,402	2,401	2,370
古写真	36	32	72	36	32	72
年中行事	61	0	0	61	0	0
工業・科学技術	2,555	1,541	1,882	2,149	1,135	1,477
美術作品	2,456	2,438	606	2,456	2,438	606
図書・刊行物	11,163	1,269	0	10,310	418	0
雑誌	0	0	0	0	0	0
合計	242,751	166,916	14,527	218,393	139,286	13,702

6.2 千葉県美術館・博物館職員等研修会

博物館法第 7 条第 1 項及び博物館の設置及び運営上望ましい基準第 14 条第 1 項に基づき、千葉県教育委員会が県内の博物館職員に対し、能力及び資質の向上を図るために必要な研修を行った。当館が実務を担当した。

日 時	2014 年 2 月 28 日 (金) 13 時 00 分～16 時 00 分
会 場	千葉県立中央博物館講堂
テ ー マ	特になし
プログラム	指定文化財の公開手続きについて (千葉県教育庁文化財課指定文化財班 主任上席文化財主事 幅 大) 伝わる展示 ((株)日展本社事業部 デザイン部長 小澤浩利) 博物館資料救済活動について (千葉県立中央博物館 企画調整課課長 高梨俊夫)
参 加 者	54 人
共 催	千葉県教育委員会

6.3 千葉県立博物館文化セミナー「千葉学講座」の開催

県立博物館の職員が講師となり、千葉県に関するテーマで講演を行った。

本年度会場：千葉県立現代産業科学館 時間：13 時～16 時 20 分

開催日	テーマ	講師	参加者数
10 月 26 日 (土)	印旛沼の漁の風景	吉田歩未 (千葉県立房総のむら)	40 人
	小説「坂の上の雲」秋山好古と習志野	佐藤誠 (千葉県立中央博物館大根分館)	
	飛べ！大空に：千葉と航空のかかわり	長尾論 (千葉県立現代産業科学館)	

7 入館者状況

7.1 月別入館者数

本館 (生態園入園者含む)

月	開館日数	個人	団体	計
4月	25	16,533	389	16,922
5月	26	14,446	687	15,133
6月	26	11,310	539	11,849
7月	28	11,376	391	11,767
8月	31	23,070	398	23,468
9月	25	11,852	683	12,535
10月	27	12,736	1,862	14,598
11月	26	18,763	1,092	19,855
12月	23	10,642	663	11,305
1月	23	7,912	543	8,455
2月	24	10,113	1,152	11,265
3月	26	26,338	569	26,907
合計	310	175,091	8,968	184,059
割合		95.1%	4.9%	
通算	7,553	3,631,623	581,223	4,212,846

生態園

月	開館日数	計
4月	25	5,048
5月	27	6,978
6月	26	3,724
7月	26	3,655
8月	27	4,185
9月	25	3,549
10月	26	4,583
11月	26	5,715
12月	23	3,291
1月	23	2,634
2月	22	3,446
3月	26	5,716
合計	302	52,524
通算	7,512	2,833,198

大利根分館

月	開館日数	個人	団体	計
4月	26	379	1,150	1,529
5月	27	811	392	1,203
6月	30	6,710	1,691	8,401
7月	26	1,429	1,045	2,474
8月	27	2,031	790	2,821
9月	25	885	1,569	2,454
10月	0	22	1,187	1,209
11月	0	2,131	1,163	3,294
12月	0	0	1,263	1,263
1月	0	54	5,473	5,527
2月	0	0	5,524	5,524
3月	0	0	1,044	1,044
合計	161	14,452	22,291	36,743
割合		39.3%	60.7%	
通算	161	14,452	22,291	36,743

大多喜城分館

月	開館日数	個人	団体	計
4月	26	7,468	409	7,877
5月	27	9,593	610	10,203
6月	26	4,997	681	5,678
7月	24	4,583	628	5,211
8月	27	7,929	149	8,078
9月	25	6,623	709	7,332
10月	24	4,942	553	5,495
11月	26	8,477	1,171	9,648
12月	21	4,694	752	5,446
1月	25	5,201	272	5,473
2月	18	2,839	255	3,094
3月	25	8,509	248	8,757
合計	294	75,855	6,437	82,292
割合		92.2%	7.8%	

分館海の博物館

月	開館日数	個人	団体	計
4月	26	4,366	73	4,439
5月	26	5,419	986	6,405
6月	26	2,892	1,086	3,978
7月	26	4,988	930	5,918
8月	31	14,234	419	14,653
9月	23	3,170	112	3,282
10月	26	2,501	708	3,209
11月	26	4,674	557	5,231
12月	21	3,928	333	4,261
1月	24	2,953	47	3,000
2月	24	1,601	143	1,744
3月	26	4,915	175	5,090
合計	305	55,641	5,569	61,210
割合		90.9%	9.1%	
通算	7,536	2,930,186	527,485	3,457,671

7.2 団体入館状況 データ編

本館（生態園を含む）

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市	1	2	1	31	6		11	14	20	3	4	16	109	53.2%
葛南				4				2	1	2		6	15	7.3%
東葛飾			1	5			1					5	12	5.9%
北総			2	12	2		2				5	4	27	13.2%
東上総				3				2	1			8	14	6.8%
南房総		2	1	5	1		2		1	1		4	17	8.3%
県外	2		1	2						2		4	11	5.4%
海外													0	0.0%
合計	3	4	6	62	9	0	16	18	23	8	9	47	205	
割合	1.5%	2.0%	2.9%	30.2%	4.4%	0.0%	7.8%	8.8%	11.2%	3.9%	4.4%	22.9%		

大利根分館（来館者のみ）

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市			2	2								1	5	9.1%
葛南				19								1	20	36.4%
東葛飾				5								3	8	14.5%
北総				10								3	13	23.6%
東上総				3					1				4	7.3%
南房総				1									1	1.8%
県外				4								1	5	9.1%
海外													0	0.0%
合計	0	0	2	44	0	0	0	0	1	0		9	55	
割合	0.0%	0.0%	3.6%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	16.4%		

大多喜城分館

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市		1						1				8	10	5.7%
葛南			4									13	17	9.8%
東葛飾												10	10	5.7%
北総												9	9	5.2%
東上総	1	1	1	7			1					6	17	9.8%
南房総				1	1							9	11	6.3%
県外	1		1	6						2		90	100	57.5%
海外													0	0.0%
合計	2	2	6	14	1	0	1	1	0	2	0	145	174	
割合	1.1%	1.1%	3.4%	8.0%	0.6%	0.0%	0.6%	0.6%	0.0%	1.1%	0.0%	83.3%		

分館海の博物館

	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計	割合
千葉市	1		2									2	5	5.0%
葛南								1				1	2	2.0%
東葛飾		1										4	5	5.0%
北総												1	1	1.0%
東上総				6	2				5	1		6	20	19.8%
南房総			1	2					1			4	8	7.9%
県外	3	6	3	22					2	2		22	60	59.4%
海外													0	0.0%
合計	4	7	6	30	2	0	0	1	8	3	0	40	101	
割合	4.0%	6.9%	5.9%	29.7%	2.0%	0.0%	0.0%	1.0%	7.9%	3.0%	0.0%	39.6%		

8 予算・決算

8.1 歳入決算

(千円)

	本館	大利根分館	大多喜城分館	分館海の博物館	計
入場料収入	5,001	460	6,313	4,983	16,757
駐車場収入				9,523	9,523
その他収入	650	17	61	23	752
計	5,651	477	6,374	14,529	27,031

8.2 歳出決算

本館

(千円)

	決算額	構成比(%)	内訳	
展示事業費	3,618	2.38%	企画展開催等	
普及事業費	40,652	26.80%	展示解説員等	7,995
			博物館情報システム	30,543
			要覧等印刷費	198
			房総の山のフィールド・ミュージアム	1,681
			その他	235
調査研究費	2,779	1.83%	調査研究費	680
			重点研究事業	1,814
			シンポジウム	85
			研究報告書印刷	200
資料収集保存費	1,778	1.18%		
維持管理費	99,374	65.50%	一般運営費(光熱費等)・館管理業務(警備・清掃等)	
施設整備費	3,505	2.31%	施設整備(既設設備等改修)	
計	151,706			

分館

(千円)

	決算額	内訳
大利根分館	16,442	展示・普及・維持管理等
大多喜城分館	23,169	〃
分館海の博物館	57,997	展示・普及・調査研究(資料御収集込)・維持管理等

8.3 外部資金(予算)

(円)

事業	種類	金額
調査研究	文部科学省科学研究費補助金(研究代表)	20,340,000
	文部科学省科学研究費補助金(研究分担)	940,000
	その他助成金(平成 25 年度財団法人高梨学術奨励基金調査研究助成、公益財団法人藤原ナチュラルヒストリー振興財団学術研究助成、公益財団法人とうきゅう環境財団調査・試験研究助成、平成 25 年度海苔養殖の長期的・基礎的研究に関する助成)	25,167,160
展示	日本海事科学振興財団「海と船の企画展」支援事業(2件)	1,707,775
	計	49,054,935

9 組織・運営

9.1 博物館協議会

教育機関設置条例第 21 条の 2 に基づいて設置され、県立美術館・博物館の運営に関し、各委員の専門的立場から広く意見を聴取し、事業に反映させている。（平成 18 年 4 月 1 日 設置）

■委員名簿

任期：平成 24 年 4 月 1 日～26 年 3 月 31 日

氏名（敬称略・氏名順）	所属・役職
鶴澤登美子	元佐倉市教育委員会教育次長
大森喜美江	千葉県子ども会育成連合会理事
岡本東三	千葉大学名誉教授
小野勝弘	株式会社出光興産顧問
齊藤泰嘉	筑波大学教授
反町京子	千葉市立大宮台小学校長
常光 徹	国立歴史民俗博物館教授
西田治文	中央大学教授
水島陽子	元館山市教育委員会教育委員長
米本 信	（財）NHK サービスセンター理事

■協議会の開催

回次	開催日	会場	出席者数
1	平成 25 年 7 月 24 日	千葉県立中央博物館	9
2	平成 25 年 12 月 4 日	千葉県立中央博物館	8
3	平成 26 年 3 月 12 日	千葉県立現代産業科学館	7

各回の議事録は、千葉の県立博物館のウェブサイトにて PDF が公開されている。

http://www2.chiba-muse.or.jp/index.php?page_id=20（閲覧日：2014 年 9 月 6 日）

9.2 館組織・職員

9.2.1 組織図・分掌 () 内は人数

館長 (1)	副館長 (2) ※1	庶務部 部長 (1)	庶務課 (5)	庶務・会計・管理
			教育普及課 (8)	教育普及・広報全般、本館来館者対応 体験学習室維持管理
			企画調整課 (3)	館事業の企画調整、情報システム運営、評価事業、 博物館協議会の運営、他館との調整
		自然誌・歴史研究部 部長 (1)	地学研究科 (4)	地学分野の調査研究・資料・教育普及・展示に関 すること。地学展示室維持管理
			動物学研究科 (3+1) ※2	動物分野の調査研究・資料・教育普及・展示に関 すること。動物展示室維持管理
			植物学研究科 (3+1) ※2	植物分野の調査研究・資料・教育普及・展示に関 すること。植物展示室維持管理
			歴史学研究科 (4)	歴史分野の調査研究・資料・教育普及・展示に関 すること。展示維持管理
			(大利根分館) (3)	大利根分館の管理・博物館事業
			(大多喜城分館) (4)	大多喜城分館の管理・博物館事業
		生態・環境研究部 部長 (1)	生態学・環境研究科 (7+2) ※2	生態環境分野の調査研究・資料・教育普及・展示 に関すること。生態園の運営・維持管理
			(房総の山のフィールド・ ミュージアム) (4)	房総の山のフィールド・ミュージアム事業
			環境教育研究科 (2)	環境教育分野の調査研究・資料・教育普及・展示 に関すること。かかわり展示室等の維持管理
		分館海の博物館 分館長 (1)	事務 (2)	分館海の博物館の庶務・会計・管理
			専門 (7)	分館海の博物館の博物館事業

※1 うち 1 名は環境生活部自然保護課副技監併任、※2 環境生活部自然保護課生物多様性センター併任

9.2.2 職員

①職員 73 名 (うち研究職 62 名で、再任用 3 名・併任 5 名を含む)

平成 26 年 3 月 31 日現在

部名・館	課・科名	職名	氏名	研究分野	
		館長	堀田 弘文	日本考古学	
		副館長 (併) 副技 監	中村 俊彦	植物生態学	◎
		副館長	平野 久朗		
庶務部	庶務課	部長兼庶務課長	関 登志彦		
		主査	河名千恵美		
		主査	宇野澤正義		
		副主査	植草さち江		
		副主査	長谷 久夫		
		主任事務員	佐藤久美子		
	教育普及課	主席研究員兼課長	大野 啓一	群落生態学	
		主任上席研究員	乙竹 孝文	日本近世史	
		主任上席研究員	一場 郁夫	博物館活用・社会科教育	
		主任上席研究員	秋山 笑子	民俗学	
		主任上席研究員	立和名明美	考古学・文化財学	
		主任上席研究員	奥田 昌明	古環境学	
	企画調整課	課長	高梨 俊夫	考古学	
主任上席研究員		小田島高之	地理学		
主任上席研究員		乃一 哲久	魚類水産学		
自然誌・歴史研究部	地学研究科	部長	宮野 伸也	社会性昆虫学	
		主席研究員兼科長	岡崎 浩子	堆積学	
		主任上席研究員	高橋 直樹	地質学・岩石学	
		主任上席研究員	八木 令子	地形学	
		主任上席研究員	伊左治鑽司	古生物学	
	動物学研究科	科長	宮 正樹	分子系統学	
		主任上席研究員	黒住 耐二	貝類学	

	植物学研究科	主任上席研究員	立川 浩之	海洋生物学		
		上席研究員	高山 順子	海洋生態学	○	
		主席研究員兼科長	古木 達郎	蘚苔類分類学		
		主任上席研究員	原田 浩	地衣類分類学	○	
		主任上席研究員	天野 誠	植物細胞分類学		
	歴史学研究科	主席研究員兼科長	内田 龍哉	日本近世史		
		主任上席研究員	小林 裕美	日本民俗学		
		主任上席研究員	三浦 和信	日本考古学	再	
		研究員	田邊由美子	動物考古学		
	(大利根分館)	主任上席研究員	糠谷 隆	魚類学		
		主任上席研究員	佐藤 誠	日本古代学		
		主任上席研究員	豊田 佳伸	日本考古学	再	
	(大多喜城分館)	主任上席研究員	福原 宣之	博物館学		
		主任上席研究員	地引 尚幸	日本民俗学		
		主任上席研究員	村田 憲一	日本史		
		主任用務員	中村 英美			
	資料管理研究科	科長	齊藤 明子	昆虫分類学		
		主任上席研究員	駒井 智幸	甲殻類分類学		
主任上席研究員		友田 暁子	図書資料論			
生態・環境研究部	生態学・環境研究科	部長兼環境教育研究科長	落合 啓二	哺乳類生態学		
		主席研究員兼科長	大庭 照代	生物音響学		
		主席研究員	白井 豊	歴史地理学		
		主任上席研究員	由良 浩	植物実験生態学		
		主任上席研究員	林 紀男	微生物生態学		
		主任上席研究員	林 浩二	植物生態学・環境教育		
		主任上席研究員	萩野 康則	土壌動物学	○	
		主任上席研究員	御巫 由紀	植物分類学		
		主任上席研究員	山口 剛	昆虫生態学		
	(房総の山のFM)	主任上席研究員	浅田 正彦	哺乳類学	○	
		主任上席研究員	尾崎 煙雄	森林生態学		
		主任上席研究員	島立 理子	民俗学・日本近代史		
		主任上席研究員	加藤 久佳	古生物学		
	環境教育研究科	主任上席研究員	大木 淳一	環境地質学		
		主任上席研究員	桑原 和之	鳥類学		
		主任上席研究員	倉西 良一	水生昆虫学		
	分館海の博物館	事務	分館長	原 正利	森林生態学	
			主査	高木 慎哉		
副主査			大石 岳			
専門		主任上席研究員	本吉 正宏	歴史学		
		主任上席研究員	川瀬 裕司	魚類生態学		
		主任上席研究員	奥野 淳兒	動物分類学 (甲殻類)		
		主任上席研究員	菊地 則雄	藻類学		
		主任上席研究員	柳 研介	動物分類学		
		上席研究員	青木 慎哉	海岸植物生態		
		上席研究員	村田 明久	動物行動学 (蔓脚類)		

(◎：環境生活部自然保護課副技監併任、○：環境生活部自然保護課生物多様性センター併任、再：再任用)

②嘱託職員

本館	体験交流員	3名	寺部あゆみ、岡本 香織、宇山 直子
	その他	1名	山田 薫
分館海の博物館	体験学習指導員	2名	柏木真弓、金子美織
	その他	1名	深川 翔

9.3 運営推進チーム

横断的な事業は、各館・各課科職員からなるチームを組織し、企画運営を行った。

企画・広報チーム	安全管理委員会
教育普及チーム	衛生委員会
展示チーム	
資料情報チーム	
調査研究チーム	

10 千葉県立中央博物館友の会

10.1 会員数 (平成 26 年 3 月 31 日)

	25 年度	(24 年度)	(23 年度)	(22 年度)
一般会員	334	358	407	403
家族会員	68	65	101	97
賛助会員	5	7	5	5
合 計	407	430	513	505

10.2 役員

役職	人数
会長	1
副会長 事業部会長	1
副会長	1
事務局長 庶務部会長	1
監事	2
幹事	10
編集部会長	1
編集部幹事	2
友の会会計・ショップ	2
役員選考委員	2
ショップ担当	4
友の会事務局	1
顧問	3

10.3 事業

■定期総会および講演会

平成 25 年 4 月 21 日 (日) 中央博物館講堂

13:00~14:00 定期総会 (36名)

14:10~15:40 講演会 (24名)

講師: 大庭照代

演題: 「おもしろい音をご一緒に聞かせませんか—千葉県立中央博物館の音と音環境コレクションから—」

■観察会・講座・見学会の実施

◇青葉の森観察会 担当幹事: 本間・田井中

開催日	行事名	参加者
5月18日(土)	春の青葉の森—植物・鳥・小動物の観察	15
10月5日(土)	秋の青葉の森—植物・鳥・小動物の観察	5

◇自然観察会 担当幹事: 伊藤(純)・宇賀神(俊)・宇賀神(美)

4月20日(土)	貴重種が残る公園と谷津の散策(四街道市)	31
6月7日(金)~8日(土)	箱根湿生花園とサンショウバラ(箱根駒ヶ岳・湿生花園)	33
11月2日(土)	南限のハマギク	30

◇生きもの教室 担当幹事: 関・田井中・本間

5月21日(火)	ウオーレシアの世界~カミキリムシの多様性を中心として~	18
5月25日(土)	青葉の森の虫さがし	25
6月18日(火)	不死身のムシ「クマムシ」を見る	22
7月20日(土)	青葉の森の虫さがし	16
9月10日(火)	虫の鳴き方	15
11月12日(火)	観察報告会	16

◇地学関係 担当幹事: 橋本・吉田

7月7日(日)	化石のクリーニングと標本づくり	14
10月6日(日)	千畑層化石採集会—鋸山	22

◇歴史散歩 担当幹事: 松崎

5月26日(日)	古街道を訪ねる—久留里街道(木更津市・君津市)	21
11月24日(日)	古街道を訪ねる—匝瑳市から多古街道へ(匝瑳市・多古町)	21
2月23日(日)	古街道を訪ねる—多古街道(香取市)	26

◇北総の自然と文化 担当幹事: 橋本

6月22日(土)	平将門の駆けぬけた土地—印西・我孫子・柏周辺	19
9月28日(土)	経済文化都市佐原と伊能忠敬—佐原から北極~南極を視野に—	15

◇夏休み親子科学クラブ 担当幹事: 橋本

8月6日(火)	2億5000万年前の化石をみがこう	18
8月7日(水)	紙ヒコーキを飛ばしてみよう	12
8月8日(木)	木の年輪ってなんだろう?	4
8月9日(金)	手づくりおもちゃを楽しもう	25
8月10日(土)	南極ってどんなところ?	27
8月11日(日)	葉っぱの顔をくらべてみよう	9

◇海藻クラブ 担当幹事: 富塚

7月21日(日)	観察会 潮だまりの海藻	7
----------	-------------	---

◇博物館・友の会連携行事

4月28日(日)	鳥のさえずり 1.2.3 (1.夜明けのコーラス 4:30~6:00 2.早朝のさえずり 6:30~8:00 3.鳥の声をツイートしよう 9:30~11:00)	29
5月5日(日・祝)	本物の化石にさわってみよう	約100
6月9日(日)	上総層群の化石採集会	60
6月16日(日)	地質の日関連 銚子ジオパークを訪ねる	26
7月21日(日)	茨城県那珂湊の化石	28
7月27日(日)	夏休み自由研究相談会(前編)	40
8月4日(日)	砂カード(ジオパッド)をつくろう	25
8月4日(日)	早起きして夏の音を探そう 1.2 (1.夜明けのコーラス 4:30~6:00 2.すがすがしい朝 6:30~8:00)	8
8月10日(日)	海岸で石ころをひろおう	24
8月10日(日)	化石の模型を作ろう 1 (製作編)	51
8月17日(日)	化石の模型を作ろう 2 (着色編)	45
8月24日(日)	むしの声 1 キリギリスとコオロギ	8
8月24日(土)・25日(日)	夏休み自由研究相談会(後編)	37
9月23日(日・祝)	化石発掘たいけん	40
10月12日(日)	むしの声 2 江戸時代の虫聴き	26
11月3日(日・祝)	砂絵を作ろう	85
11月16日(日)	トドの化石をみつけよう	43

11月24日(日)	冬の音を楽しもう 1.2 (1.夜明けの静けさ 7:00~8:00 2.にぎやかな鳥たち 8:00~9:00)	11
11月30日(土)~12月1日(日)	県外岩石観察会 7 伊豆半島と伊豆石	11
1月18日(土)	町の中の化石をさがそう	18

■サークル活動

◇歴史サークル

担当幹事：藤野

5月12日(日)	武蔵野台地の史跡と文化を訪ねる 東京中野区江古田	26
7月28日(日)	中世古文書学習会 史料を読み解き房総の暮らしと社会を学ぶ1	9
10月27日(日)	中世古文書学習会 史料を読み解き房総の暮らしと社会を学ぶ2	5
10月29日(火)	国立歴史民俗博物館企画展「中世の技」見学	7
2月2日(日)	中世古文書学習会 史料を読み解き房総の暮らしと社会を学ぶ3	7
3月2日(日)	早春の多摩丘陵の自然と歴史を歩く 東京都板橋区	中止

◇コケサークル

担当幹事：泉

6月6日(木)	第52回研修会 泉自然公園蘚苔類観察会	13
10月2日(水)	第53回研修会 御岳山蘚苔類観察会	中止
11月14日(木)	第54回研修会 館山城公園蘚苔類観察会	7
3月1日(木)	第55回研修会 蘚苔類 顕微鏡観察(中央博物館研修室)	14

■地域連携展「世界の音を聴こう！」の案内ボランティア

地域連携展の会場整理および案内ボランティア(全14回、土日実施) 会員11名、参加者1,426名

■博物館職員による展示解説(会員向け)

毎月第2水曜日 11:00~12:00、全12回実施。参加者95名

※詳しくは4.7章友の会活動支援参照

回	開催日	テーマ	場所	講師	参加者
1	4月10日	春の展示「ナッツ & ベリー」の解説	企画展示室	天野 誠	15
2	5月8日	花粉のみわけ方-技とコツ-	研修室	奥田昌明	3
3	6月12日	歴史展示室で見る“房総の旅”	歴史展示室	立和名明美	5
4	7月10日	生態園トビックス展「生態園のトンボ」の解説	生態園	林 紀男	7
5	8月14日	夏の展示「ウミウシの世界」の解説	企画展示室	立川浩之	12
6	9月11日	生態園トビックス展「あなたの聞いた秋の音を教えてください」の解説	生態園	大庭照代	7
7	10月9日	企画展「音の風景-うつりゆく自然と環境を未来に伝える-」の解説	企画展示室	大庭照代	8
8	11月13日	身近な藻類について	分類展示室	宮田昌彦	7
9	12月11日	魚類の初期発生-親とは異なる子供の形-	研修室	乃一哲久	6
10	1月15日	見ばえのする写真の作り方	研修室	奥田昌明	7
11	2月12日	トビックス展「北川鉱物コレクション展」の解説	企画展示室	高橋直樹	10
12	3月12日	春の展示「水辺の記憶」の解説	企画展示室	小林裕美	8

■友の会ニュースの発行 (年4回)

78号(4月1日発行)

79号(8月1日発行)

80号(12月1日発行)

81最終号(3月31日発行)

ミュージアムショップの運営

営業時間 平日 12:00~16:30

土日祝 11:00~16:30

月曜日 休業(博物館の臨時開館日も休業)

平成26年3月30日 ミュージアムショップ閉店

■臨時総会

平成25年12月1日(日) 10:00~11:30 中央博物館講堂(55名)

千葉県立中央博物館友の会の解散を議決

■友の会の活動停止・解散

平成26年3月31日(日) 千葉県立中央博物館友の会の全活動を停止・解散

データ編

1 職員の執筆・研究発表

①執筆 (学術は学術論文・学術書、報告は報告書、普及は普及書)

氏名	種別	書誌
中村俊彦	報告	中村俊彦. 2014. 都市-里山海の生物多様性保全: その新たな知見と課題. 千葉県生物多様性センター研究報告, (7): 120-128.
"	報告	中村俊彦. 2014. 印旛沼とその流域の生物・生態系. 印旛沼流域水循環健全化調査研究報告, (2):81-91.
"	普及	中村俊彦. 2013. 千葉の自然概論. 千葉シニア自然大学テキスト, 平成 25 年度シニア大学テキスト集, pp. 9-13. 千葉自然学校千葉シニア自然大学運営事務局, 千葉市.
"	普及	中村俊彦. 2013. 豊かな谷津の不思議な水環境と巧みな水利用. 河川文化, (63): 22-23.
"	普及	中村俊彦. 2013. 里山海からの通信 72: 桜の開花と温暖化. ふれあい毎日, (148): 2.
"	普及	中村俊彦. 2013. 里山海からの通信 73a: 里海のヒジキ群落と草地の利用, 管理. ふれあい毎日, (149): 2.
"	普及	中村俊彦. 2013. 里山海からの通信 73b: 不可解な「ジャパニーズマインド」と富士山. ふれあい毎日, (150): 2.
"	普及	中村俊彦. 2013. 里山海からの通信 74: 三つの生きる力, 「自己主張」「外界認識」「環境適応」. ふれあい毎日, (151): 2.
"	普及	中村俊彦. 2013. 里山海からの通信 75: 冠をかぶった殿様ガエル. ふれあい毎日, (152): 3.
"	普及	中村俊彦. 2013. 里山海からの通信 76: ススキの変化, 金から銅, そして銀へ. ふれあい毎日, (153): 3.
"	普及	中村俊彦. 2013. 里山海からの通信 77: 偉大な実業家「佐藤健太郎」が伝えたもの. ふれあい毎日, (154): 3.
"	普及	中村俊彦. 2013. 里山海からの通信 78: 「音の風景」の虫の音. ふれあい毎日, (155): 3.
"	普及	中村俊彦. 2013. 里山海からの通信 79: 子ども木登りの木. ふれあい毎日, (156): 3.
"	普及	中村俊彦. 2014. 里山海からの通信 80: 五葉松のヒメコマツ. ふれあい毎日, (158): 3.
"	普及	中村俊彦. 2014. 里山海からの通信 81: 「富士塚」奥山を身近に. ふれあい毎日, (159): 3.
"	普及	中村俊彦. 2014. 子どもたちの未来のための里山. NPO 富里のホタル (編), 知ってほしい! 富里のこと, p. 17. NPO 富里のホタル, 富里市.
"	普及	中村俊彦. 2014. 千葉県立中央博物館のフィールドミュージアム展開. フィールドミュージアム三番瀬の会 (編), 自然と文化を守り育むまちづくりを考える. pp. 23-28. フィールドミュージアム三番瀬の会, 千葉市.
秋山笑子	学術	秋山笑子. 2014. 海付きの低湿地における生業形態の変化と分業について-浦安のハマとオカー-. 総研大文化科学研究, (10): 111-136.
"	報告	浦安市教育委員会 (浦安市郷土博物館). 2014. 浦安の農業. 浦安市教育委員会 (浦安市郷土博物館), 浦安の農業, p. 171. 浦安市教育委員会 (浦安市郷土博物館), 浦安市.
"	普及	秋山笑子. 2014. 環境変化に伴う生業のあり方 [ウシガエルの流入を中心として] - 『増田実日記』を糸口にして-. 『国立歴史民俗博物館研究報告』, 第 181 集: 147-164.
奥田昌明	報告	吉野秀夫・奥田昌明. 2013. 地層に刻まれた歴史をみる一千年余の眠りから蘇るか池田郷の池-. 千葉県議会観光立県推進議員連盟, 千葉市中央区都町・本町公園案内看板, p. 2. 千葉市中央区市場町.
"	普及	奥田昌明. 2013. 中央博の窓-50 ~御蔵島へ行ってきました~. 中央博メールマガジン, 2013 年 10 月号.
"	普及	奥田昌明. 2014. 研究室から・・26 ~ペランダの花粉にご注意~. 中央博メールマガジン, 2014 年 2 月号.
宮田昌彦	普及	宮田昌彦. 2013.4. 植物・ポブラディア大図鑑「WONDA」. pp. 65-67. ポプラ社, 東京.
小田島高之	報告	吉村光敏・八木令子・小田島高之. 2014. 平成 25 年度銚子市文化財総合調査報告-地形調査・空中写真解析-. 銚子市教育委員会, 名勝に関する特定の調査研究事業-屏風ヶ浦 (千葉県銚子市)-, 銚子市, 千葉県銚子市.
"	普及	小田島高之. 2014. 学習図鑑の魅力. 中央博だより, (70): 7
宮野伸也	普及	宮野伸也. 26.3. 図鑑展に寄せて-図鑑と私. 中央博物館博物館だより, (71): 7.
"	普及	宮野伸也. 2013. チーバクんの Q. 中央博を訪ねる ミツバチの生態、とても興味深いよ. 朝日新聞, 26.3.25.28. 朝日新聞社.
岡崎浩子	学術	Okazaki, H.Nakazato, H. and Y. Kwak. 2013.4. Application of high-frequency ground penetrating radar to the reconstruction of 3D sedimentary architecture in a flume model of a fluvial system. Sedimentary Geology, (293): 21-29.
"	学術	岡崎浩子・郭 榮珠. 2013.7. 小型平面水路での河道観察-教材化にむけての一例. 堆積学研究, (72): 39-48.
"	報告	岡崎浩子・中里裕臣・佐藤弘幸. 2014. 平成 25 年度銚子市文化財総合調査報告-地質調査-. 銚子市教育委員会, 名勝に関する特定の調査研究事業に関する成果の報告書-屏風ヶ浦 (千葉県銚子市)-, 11 pp. 千葉県銚子市.
高橋直樹	学術	藤岡換太郎・平田大二・大島光春・根本 卓・三森亮介・堀田桃子・野田智佳代・萱場うい子・高橋直樹・森慎一・柴田健一郎・西川 徹・満澤巨彦および KO-OHO-O の会メンバー. 2014. 相模湾の海底地形・地質および生物の目視観察-NT08-21 次航海ハイパードルフィン潜水調査報告-. 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学), (43): 73-97.
"	普及	高橋直樹. 2013. 日本地質学会関東支部地質研究サミットシリーズ第 1 回「房総・三浦地質研究サミット」報告. 日本地質学会 News, 16(5): 20-21.
八木令子	報告	吉村光敏・八木令子・小田島高之. 2014. 平成 25 年度銚子市文化財総合調査報告-地形調査・空中写真解析-. 銚子市教育委員会, 名勝に関する特定の調査研究事業-屏風ヶ浦 (千葉県銚子市)-, 銚子市, 千葉県銚子市.
"	普及	八木令子. 2014. 蔵玉だより IX 房総特有の川廻し地形. 房総の山のフィールド・ミュージアム, しいむじな, (43): 2-3.
"	普及	八木令子. 2013. チーバクんの Q. 千葉県の地形、どうして平らなの. 朝日新聞, 2013 年 12 月 17 日朝刊. 朝日新聞社.
伊左治鎮司	学術	Isaji, S. 2013. Adulomya from the Miocene Aokiyama Formation, Hota Group, in the Boso Peninsula, Japan. Paleontological Research, (17): 196-199.
"	学術	Isaji, S. and M. Okura. 2014. Molluscan larvae from the Carboniferous Ichinotani Formation, Fukuji, Gifu Prefecture, central Japan. Paleontological Research, (18): 45-50.
"	学術	柏木健司・伊左治鎮司・浅井秀彦. 2013.9. 銚子地域の鮮新統名洗層の基底礫岩に由来する石灰質団塊礫から産したジュラ紀新世末~白亜紀新世前期の放射虫化石. 地質学雑誌, (119): 647-652.

宮 正樹	学術	Poulsen, J.Y., I. ByrkJedal, E. Willassen, D. Rees, H. Takeshima, T.P. Satoh, G. Shinohara, M. Nishida and M. Miya. 2013.6. Mitogenomic sequences and evidence from unique gene rearrangements corroborate evolutionary relationships of myctophiformes (Neoteleostei). <i>BMC Evolutionary Biology</i> , 13(1): 111.
"	学術	Iwasaki, W., T. Fukunaga, R. Isagozawa, K. Yamada, Y. Maeda, T.P. Satoh, T. Sado, K. Mabuchi, H. Takeshima, M. Miya and M. Nishida. 2013.8. MitoFish and MitoAnnotator: A mitochondrial genome database of fish with an accurate and automatic annotation pipeline. <i>Molecular Biology and Evolution</i> , 30(11): 2513-2540.
"	学術	Miya, M., M. Friedman, T.P. Satoh, H. Takeshima, T. Sado, W. Iwasaki, Y. Yamanoue, M. Nakatani, K. Mabuchi, J.G. Inoue, J.Y. Poulsen, T. Fukunaga, Y. Sato, and M. Nishida. 2013.9. Evolutionary origin of the scombridae (tunas and mackerels): members of a paleogene adaptive radiation with 14 other pelagic fish families. <i>PLoS ONE</i> , 8(9): e73535.
"	学術	Campbell, M.A., J.A. López, T. Sado and M. Miya. 2013.11. Pike and salmon as sister taxa: Detailed intraclade resolution and divergence time estimation of Esociformes + Salmoniformes based on whole mitochondrial genome sequences. <i>Gene</i> , 530(1): 57-65.
"	学術	Chen, J.-N., J.A. López, S. Lavoué, M. Miya and W.-J. Chen. 2014.1. Phylogeny of the Elopomorpha (Teleostei): Evidence from six nuclear and mitochondrial markers. <i>Molecular Phylogenetics and Evolution</i> , 70(1): 152-161.
黒住耐二	学術	黒住耐二. 2013. 明治神宮で確認された非海産貝類. 鎮座百周年記念第二次明治神宮境内総合調査委員会, 鎮座百周年記念第二次明治神宮境内総合調査報告書, pp. 416-431. 明治神宮社務所, 東京都渋谷区.
"	学術	黒住耐二. 2014. 貝類遺体からみた沖繩諸島の環境変化と文化変化. 高宮広土・新里貴之, 琉球列島先史・原史時代の環境と文化の変遷, pp. 55-70. 六一書房, 東京都千代田区.
"	学術	阿部芳郎・河西学・黒住耐二・吉田邦夫. 2013. 縄文時代における製塩行為の復元ー畑貝塚採集の白色結核体の生成過程と土器製塩ー. <i>駿大史学</i> , (149): 1-23.
"	報告	黒住耐二. 2013. 貝類. 東京都環境局自然環境部, レッドデータブック東京 2013〜東京都の保護上重要な野生生物種(本土部) 解説版, pp. 599-626. 東京都環境局自然環境部, 東京都新宿区.
"	報告	黒住耐二. 2013. トマチン遺跡出土の貝類遺体. 新里貴之, 徳之島トマチン遺跡の研究, pp. 186-196. 鹿児島大学, 鹿児島市.
"	報告	黒住耐二. 2014. 市川市をタイプ産地とする貝類. 市史研究いちかわ, (5): 9-24.
"	報告	黒住耐二. 2014. 陸平貝塚のD貝塚2012年調査で得られた微小貝類遺体. 中村哲也, 陸平貝塚, 陸平研究所叢書, (9): pp. 57-63. 陸平研究所, 茨城県美浦村.
"	報告	黒住耐二. 2014. 青谷上寺地遺跡の第 13 次調査で貝類遺体. 森本倫弘, 鳥取県埋蔵文化財センター調査報告, (59): pp. 327-332. 鳥取県埋蔵文化財センター, 鳥取市.
"	報告	黒住耐二. 2014. 沖永良部島の洞窟から得られた貝類を中心とした微小動物遺体について. 新里貴之, 沖永良部島鳳雛洞・大山水鏡洞の研究, pp. 90-96. 鹿児島大学, 鹿児島市.
"	報告	黒住耐二. 2014. 貝類. 八王子市市史編集委員会, 新八王子市史, 自然編, pp. 406-410. 八王子市, 東京都八王子市.
"	報告	中沢道彦・畑山智史・黒住耐二. 2013. レプリカ法による島根県三田谷 I 遺跡出土土器の微小貝類刺突の観察. <i>古代文化</i> , 65(2): 274-276.
"	普及	黒住耐二. 2013. 貝がらさがし. 調査で見えてきたこと①. 全国の自然を一斉に. しんぶん赤旗, 2013年5月3日 10面. 日本共産党中央委員会, 東京都渋谷区.
"	普及	黒住耐二. 2013. 貝がらさがし. 調査で見えてきたこと②. すむ環境が少し違う. しんぶん赤旗, 2013年5月10日 10面. 日本共産党中央委員会, 東京都渋谷区.
"	普及	黒住耐二. 2013. 貝がらさがし. 調査で見えてきたこと③. 地球温暖化の影響は. しんぶん赤旗, 2013年5月17日 10面. 日本共産党中央委員会, 東京都渋谷区.
"	普及	黒住耐二. 2013. 貝がらさがし. 調査で見えてきたこと④. 年ごとの変化を記録. しんぶん赤旗, 2013年5月24日 10面. 日本共産党中央委員会, 東京都渋谷区.
"	普及	黒住耐二. 2013. 貝がらさがし. 調査で見えてきたこと⑤. 子供の笑顔とともに. しんぶん赤旗, 2013年5月31日 10面. 日本共産党中央委員会, 東京都渋谷区.
"	普及	黒住耐二. 2013. トビックス展「貝類新収蔵資料. 伏見道雄貝類コレクション. パート2」. 1 p. 千葉県立中央博物館.
"	普及	黒住耐二. 2013. アズキガイ. 杜のいのち. 第二次明治神宮境内総合調査から⑧. 代々木, 54(3): 22. 明治神宮社務所・明治神宮崇敬会, 東京都渋谷区.
"	普及	黒住耐二(分担執筆). 2013. 「自然しらべ2012 貝がらさがし!」報告書. 大野正人・萩原正(編), 日本自然保護協会資料集, (52): pp. 5, 26, 31. (公財) 日本自然保護協会, 東京都中央区.
"	普及	黒住耐二. 2014. 貝類研究者からみた岩田藤七の貝類コレクション. 町田市立博物館, 岩田藤七・久利・糸子. スケッチブックとガラス作品, pp. 56-58. 町田市立博物館, 東京都町田市.
立川浩之	学術	深見浩伸・磯村尚子・岩尾研二・立川浩之. 2013. ミドリイシ科ニオウミドリイシ属(新称) <i>Isopora</i> の分類及び生態. <i>日本サンゴ礁学会誌</i> , (15): 1-14.
"	普及	立川浩之. 2013. チーバクんの Q. 房総の海にもいるウミウシって何. 朝日新聞, 2013年7月30日. 朝日新聞社.
高山順子	普及	高山順子. 2014. 特定外来生物カミツキガメの問題と対策について. <i>ワイルドライフ・フォーラム</i> , 18(2): 8-9.
"	普及	高山順子. 2014. 印旛沼水系におけるカミツキガメ防除の取組み. <i>RIVERFRONT</i> , (78): 14-17.
"	普及	高山順子. 2014. 千葉県の希少種ハマガニ(モクズガニ科). 生物多様性ちばニュースレター生命のにぎわいとつながり, (37): 4.
古木達郎	学術	Furuki, T., K.T.Yong and A.M.Haji Mohamed. 2013. <i>Riccardia deguchii</i> Furuki & K.T.Yong (Marchantiophyta, Aneuraceae), sp.nov. from Malaysia. <i>Hikobia</i> , (16): 285-288.
"	学術	Higuchi, M. and T. Furuki. 2014.3. Bryophytes of the Imperial Palace, Tokyo, Japan. <i>Mem. Natl. Mus. Sci.</i> , Tokyo, 49: 40191.
"	学術	古木達郎・内田暁友. 2014. ミズゼニゴケの国内2番目の産地を北海道から報告する. <i>蘚苔類研究</i> , 11(1): 17.
"	学術	金子久男・金子和子・古木達郎. 2014. 千葉県市川市のコケ植物. <i>千葉中央博自然誌研究報告</i> , 13(1): 41-55.
"	普及	古木達郎. 2014.3. ルーベでコケを見てみよう. <i>自然保護</i> , (538): 22-23.
原田 浩	学術	Harada, H. 2013. The lichen genus <i>Thelidium</i> (Verrucariaceae) in Japan. <i>Lichenology</i> , 11: 53-66.
"	学術	Harada, H. 2013. <i>Agonimia deguchii</i> (lichenized Ascomycota, Verrucariaceae), a new saxicolous species from central Japan. <i>Hikobia</i> , 16: 307-310.
"	学術	Harada, H. 2014. <i>Cresporhaphis chibaensis</i> sp. nov. (lichenized Ascomycota, Trichosphaeriaceae) from Chiba-ken, central Japan. <i>Lichenology</i> , 12: 31-36.

"	学術	Sakata, A., H. Harada, K. Hara & Y. Yamamoto. 2014. Taxonomic study on the lichen family Roccellaceae (lichenized Ascomycota, Arthoniales) of Japan (3). Corticolous species of Enterographa. <i>Lichenology</i> , 12: 1-30.
"	学術	Sakata, A. H. Harada & L.-S. Wang. 2013. Contributions to the lichen flora of Yunnan and adjacent area, China (2). <i>Cresponea macrocarpoides</i> (Roccellaceae) as new for mainland China. <i>Lichenology</i> , 11: 73-77.
"	学術	原田 浩. 2013. 日本産淡水生地衣類 (3). <i>Lichenology</i> , 12: 51-60.
"	学術	原田 浩・坂田歩美・小澤武雄・福田廣一. 2013. 都道府県別地衣類チェックリスト (8). 栃木県. <i>Lichenology</i> , 11: 105-140.
"	学術	日比野洋也・川上紳一・東條文治・原田 浩. 2013. 岐阜県養老町の養老公園における地衣類調査: 大垣東高校理科課題研究. <i>Lichenology</i> , 11: 95.
"	学術	川上紳一・東條文治・原田 浩. 2013. 科学教育プログラムとしての地衣類調査と「進化する地衣類図鑑」の開発. <i>Lichenology</i> , 11: 96
"	学術	木下靖浩・原田 浩. 2014. 千葉県産のレブラゴケ属地衣について-3. <i>Lichenology</i> , 12: 86.
"	学術	松井宏明・原田 浩. 2013. 日本産 <i>Malcolmiella</i> 属地衣類の分類学的検討. <i>Lichenology</i> , 11: 94.
"	学術	坂田歩美・原田 浩. 2013. 日本産リトマスゴケ科地衣類. <i>Lichenology</i> , 11: 94.
"	学術	高橋奏恵・原田 浩. 2013. 高知県四万十川中流域のツブノリ科地衣類. <i>Lichenology</i> , 11: 95.
"	学術	吉川裕子・原田 浩. 2013. かつて清澄山 (千葉県) で採集された分布上興味深い地衣類. <i>Lichenology</i> , 11: 93.
"	普及	原田 浩・木下靖浩・安斉唯夫・坂田歩美・陶山 舞. 第 12 回地衣類観察会 (長野県上田市菅平高原) で観察された地衣類. 日本地衣学会ニュースレター, (122): 455-456.
"	普及	坂田歩美・吉川裕子・原田 浩. 干支の地衣, 「午 (馬)」編. 日本地衣学会ニュースレター, (122): 453-454.
天野 誠	学術	天野 誠. 2014.3. 植物相の調査. 千葉演習林 120 周年記念出版実行委員会, 東京大学千葉演習林のすべて, p. 177. 東京大学演習林出版局, 東京都文京区.
"	報告	天野 誠・齋木健一・御巫由紀・鶴岡 繁. 2014. 平成 25 年度銚子文化財総合調査 (屏風ヶ浦) - 植生調査 -, pp. 1-8. 千葉県銚子市.
"	普及	天野 誠. 2013.4.1. ナッツはネズミのために, ベリーは鳥のために. 千葉県立中央博物館友の会ニュース, (78): 5.
内田龍哉	普及	内田龍哉. 2014. 千葉県立中央博物館, 中央博物館だより, (71): 裏表紙.
小林裕美	普及	小林裕美. 2013. 春の展示「水辺の記憶-写真家 林辰雄のまなざし-」. 千葉県立中央博物館友の会, 友の会ニュース (80): 7.
"	普及	小林裕美. 2013. 駄菓子. 民俗小事典 食, p. 251. 吉川弘文館, 東京.
田邊由美子	報告	香取市教育委員会. 2014.2. 表 2 動物遺存体一覧表. 千丈が谷遺跡-経営体育成基盤整備事業府馬地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-, p. 15. 香取市.
三浦和信	普及	三浦和信. 2013. 荒久古墳について. 千葉県立中央博物館友の会. 友の会ニュース, (79): 8.
斉藤明子	学術	斉藤明子・鈴木勝. 2013.8. 東京大学千葉演習林で採集した甲虫類 (I). 房総の昆虫, (51): 38-40.
"	学術	斉藤明子・尾崎煙雄・鈴木勝. 2013.12. 東京大学千葉演習林で採集した甲虫類 (II). 房総の昆虫, (52): 8-10.
"	学術	尾崎煙雄・斉藤明子. 2013.4. 千葉県清澄山で 58 年ぶりにアダチアカサシガメを採集. 月刊むし, 506: 44.
"	学術	鈴木勝・斉藤明子. 2013.8. 千葉県の甲虫相の概況. 房総の昆虫, (51): 73-78.
"	学術	鈴木勝・斉藤明子. 2013.12. 千葉県動物誌, 千葉県産動物総目録に掲載されていない甲虫 補遺と追加 (II). 房総の昆虫, (52): 45-49.
"	普及	斉藤明子. 2013. 博物館学芸員として思うこと. 昆虫 DNA 研究会ニュースレター, (19): 1-2.
"	普及	斉藤明子. 2013. 2013 年総会・第 85 回例会報告. 昆虫ニュース千葉, (95): 1-2.
"	普及	斉藤明子. 2013. 2013 年第 84 回例会報告. 昆虫ニュース千葉, (94): 1.
"	普及	斉藤明子. 2013. 2013 年第 83 回例会報告. 昆虫ニュース千葉, (92): 1.
駒井智幸	学術	Komai, T. 2013.5. A new species of the hippolytid genus <i>Paralebbeus</i> Bruce & Chace, 1986 (Crustacea: Decapoda: Caridea) from the Coral Seamount, southwestern Indian Ocean (Crustacea: Decapoda: Caridea). <i>Zootaxa</i> , (3646): 171-179.
"	学術	Komai, T. 2013.5. A new genus and new species of Paguridae (Crustacea: Decapoda: Anomura) from the Bohol Sea, the Philippines. <i>Species Diversity</i> , 18(1): 23-32.
"	学術	Komai, T. 2013.5. A new species of the ghost shrimp family Ctenochelidae (Crustacea: Decapoda: Axioidea) from Japan. <i>Species Diversity</i> , 18(1): 45-55.
"	学術	Komai, T. 2013.6. Additional records of the pagurid hermit crab genus <i>Trichopagurus</i> de Saint Laurent, 1968 (Crustacea: Decapoda: Anomura), with description of a new species from the Philippines. <i>Zootaxa</i> , (3670): 274-282.
"	学術	Komai, T. and T.-Y. Chan. 2014.2. A new species of the hermit crab genus <i>Catapaguroides</i> A. Milne-Edwards and Bouvier, 1892 (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguridae) from Sagami Bay, Japan. <i>Natural History Research</i> , 13(1): 1-10.
"	学術	Komai, T. 2014.2. A new bathyal species of the squat lobster genus <i>Munida</i> Leach, 1820 (Crustacea: Decapoda: Anomura: Munididae) from Japan. <i>Natural History Research</i> , 13(1): 11-18.
"	学術	Komai, T. 2014.2. New record of a xanthid crab <i>Alainodaeus nuku</i> Davie, 1997 (Crustacea: Decapoda: Brachyura) from Japanese waters. <i>Natural History Research</i> , 13(1): 19-24.
"	学術	Komai, T. and T.-Y. Chan. 2013.1. New records of <i>Glyphocrangon</i> (Crustacea: Decapoda: Caridea: Glyphocrangonidae) from the recent French expeditions off the Mozambique Channel and Papua New Guinea, with description of one new species. <i>Memoires du Museum national d'Histoire naturelle</i> , (204): 107-128.
"	学術	Komai, T., T.-Y. Chan and J.-Y. Shy. 2013.6. A redescription of a rare axiid shrimp, <i>Amakusaxius amakusanus</i> (Miyake & Sakai, 1967) (Crustacea: Decapoda: Axioidea). <i>Zootaxa</i> , (3669): 490-502.
"	学術	Komai, T. and T. Furota. 2013.8. A new introduced crab in the western North Pacific: <i>Acantholobulus pacificus</i> (Edmondson) (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Panopeidae), collected from Tokyo Bay, Japan. <i>Marine Biodiversity Records</i> , (6): e96 (pp. 1-5)
"	学術	Komai, T. and Y. Fujita. 2014.2. New record of a callianassid ghost shrimp <i>Paratrypaea maldivensis</i> (Borradaile, 1904) (Crustacea: Decapoda: Axioidea: Callianassidae) from subtidal flats in Okinawa, Ryukyu Islands, Japan. <i>Fauna Ryukyuna</i> , (8): 1-7.
"	学術	Komai, T. and R. Minemizu. 2014.3. A new species of the pontoniine shrimp genus <i>Eupontonia</i> (Crustacea: Decapoda: Caridea: Palaemonidae) from the Ryukyu Islands, Japan. <i>Zootaxa</i> , (3784): 171-178.

"	学術	Komai, T. and P. K. L. Ng. 2013.6. A new species of sesarimid crab of the genus <i>Chiromantes</i> (Crustacea: Decapoda: Brachyura) from the Ogasawara Islands, Japan. <i>Zootaxa</i> , (3681): 539-551.
"	学術	Komai, T. and D. L. Rahayu. 2013.7. A new species of the pagurid hermit crab genus <i>Lophopagurus</i> McLaughlin, 1981 (Crustacea: Decapoda: Anomura) from French Polynesia, and additional record of <i>L. indonesiensis</i> McLaughlin, 1997 from the Philippines. <i>Zootaxa</i> , (3691): 240-252.
"	学術	Komai, T. and D. L. Rahayu. 2013.8. Six new species of the hermit crab genus <i>Decaplyllus</i> De Saint Laurent, 1968 (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguridae) from the Bohol Sea, the Philippines, and the Ryukyu Islands, Japan. <i>Raffles Bulletin of Zoology</i> , 61(1): 589-620.
"	学術	Komai, T., R. Reshmi and A. N. Biju Kumar. 2013.9. Rediscovery and range extension of <i>Ciliopagurus liui</i> Forest, 1995 and description of a new species of <i>Pagurus</i> Fabricius, 1775 (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguroidea) from the Kerala State, southwestern India. <i>Zootaxa</i> , (3710): 467-484.
"	学術	Komai, T. and S. Tsuchida. 2014.2. Deep-sea decapod crustaceans (Caridea, Polychelida, Anomura and Brachyura) collected from the Nikko Seamounts, Mariana Arc, using a remote operated vehicle "Hyper-Dolphin". <i>Zootaxa</i> , (3764): 279-316.
"	学術	Rahayu, D. L. and T. Komai. 2013.7. Two new species of <i>Pylopaguropsis</i> Alcock (Crustacea: Decapoda: Anomura: Paguridae) from the Philippines. <i>Raffles Bulletin of Zoology</i> , 61(1): 621-631.
"	学術	Rahayu, D. L. and T. Komai. 2013.1. Two new species of <i>Pseudopagurodes</i> McLaughlin, 1997 (Crustacea, Decapoda, Anomura, Paguridae) from the Philippines. <i>Mémoires du Muséum national d'Histoire naturelle</i> , (204): 423-435.
"	学術	Shih, H.-T., T. Komai and M.-Y. Liu. 2013.12. A new species of fiddler crab from the Ogasawara (Bonin) Islands, Japan, separated from the widely-distributed sister species <i>Uca (Paraleptuca) crassipes</i> (White, 1847) (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Ocypodidae). <i>Zootaxa</i> , (3746): 175-193.
"	学術	東地拓生・山本広美・Peter Castro・駒井智幸. 2013.5. 沖縄近海に設置されたバヤオに付着したハナヤサイサンゴ類に共生するサンゴガニ属 (甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目) の記録. <i>沖縄生物学会誌</i> , (51): 83-91.
"	普及	白山義久・甲斐嘉晃・松井正文・駒井智幸・筒井学・佐々木猛智・月井雄二・和田浩志. 2013. NEO ポケット 水辺の生物. 192 pp.小学館, 東京.
"	普及	駒井智幸. 2014. 千葉県のエビ・カニ. 生物多様性ちばニュースレター, (37): 1-3.
"	普及	駒井智幸. 2014. 図鑑と標本. 中央博物館だより, (71): 8.
落合啓二	学術	高橋啓一・薄井重雄・落合啓二. 2014.3. ニホンジカ冠状縫合の性差と個体成長ーシカ化石の分類のための基礎研究. 千葉県立中央博物館自然誌研究報告, 13(1): 1-27.
大庭照代	普及	大庭照代. 2014. 企画展「音の風景ーうつりゆく自然と環境を未来に伝えるー」. 関東の博物館, (38): 16-18.
由良 浩	報告	由良 浩 (協力). 2013. 5. 特定植物群落の調査. 平成 25 年度東北地方太平洋沿岸地域植生・湿地変化状況等調査. pp.5-1ー5-20. 環境省自然環境局生物多様性センター.
"	普及	原 正利・大野啓一・由良 浩 (協力). 2013. 万博の森で地球を想う. 第 3 回植物をとおして環境を意識する. 独立行政法人日本万博博覧会記念機構, 森発見, (32): 7-8.
林 紀男	学術	尾崎保夫・岡野邦宏・高田 順・林 紀男. 2013. 八郎湖の水質改善を目指した埋土種子等を用いた沈水植物の再生と課題. <i>用水と廃水</i> , 55(6): 61-69.
"	学術	林 紀男. 2013. 手賀沼 (千葉県) 南岸のハス繁茂域の変遷. <i>千葉生物誌</i> , 63(1): 1-5.
"	学術	笠井みつ・園原悦子・林 紀男. 2013. 印旛沼 (千葉県) 産のオニバス発芽. <i>千葉生物誌</i> , 63(1): 10-12.
"	学術	武田文彦・中野和典・相川良雄・西村修・島多義彦・袋昭太・仲沢武志・田中仁志・林紀男・稲森悠平. 2014. 生態系モデルによる沈水植物アレロパシーの微細藻類量・群集構造に及ぼす影響解析. <i>水環境学会誌</i> , 37(2): 15-28.
"	報告	尾崎保夫・館田千春・岡野邦宏・林 紀男・森田弘彦・高田 順. 2013. 八郎湖 (秋田県) 流域における土壌シードバンクの調査と沈水植物の潜在的発芽能. <i>水草研究会誌</i> , (99): 31-37.
"	報告	林 紀男・高松宏行・稲森悠平. 2013. いさはや新池 (長崎県) 流域の水生植物相. <i>水草研究会誌</i> , (99): 23-30.
"	報告	林 紀男. 2013. 印旛沼 (千葉県) における沈水植物の系統維持. <i>水草研究会誌</i> , (100): 72-76.
"	普及	林 紀男. 2014. 「かいぼり」現代の意義 生態系に「調和」取り戻す. <i>東京新聞</i> , 2014.3.23 朝刊.
林 浩二	普及	林 浩二 (項目執筆). 2013. 日本環境教育協会 (編). 環境教育辞典. pp. 37, 44, 124-125, 153-154, 251-252, 291-292. 教育出版, 東京.
"	普及	林 浩二. 2013. 研究室からー「市民参加」を考えるー. ちば中央博メール 2013 年 12 月号.
"	普及	林 浩二. 2014. 来園者が作る生態園の解説板. 中央博物館だより (71): 11.
"	普及	林 浩二. 2014. 持続可能な社会のための教育と博物館. 安房文化遺産フォーラム (編). ヘリテージ (文化遺産) まちづくりのあゆみ. p.46. 安房文化遺産フォーラム, 千葉県館山市.
萩野康則	普及	萩野康則. 2013. 千葉県の外来種. <i>ダンゴムシ</i> . 生物多様性ちばニュースレター, (34): 4.
"	普及	萩野康則. 2013. 土壌動物が出てくる子どもの本情報 (9). 皆越ようせいさんの児童書 2 点と一般書 1 点の紹介. <i>どろのむし通信</i> , (60): 12-17.
"	普及	萩野康則. 2013. 私の図書館児童室利用法ー博物館学芸員の立場からー. <i>こどもの図書館</i> , 60 (8): 1.
"	普及	萩野康則. 2013. <i>ダンゴムシ</i> の科学絵本. <i>こどもの図書館</i> , 60 (9): 6-8.
"	普及	萩野康則. 2013. 土壌動物ー落ち葉の下にひっそりと住む生きものたちー. <i>生物多様性ちばニュースレター</i> , (35): 1-3.
"	普及	萩野康則. 2014. 千葉県の外来種. <i>セアカゴケグモ</i> . <i>生物多様性ちばニュースレター</i> , (36): 4.
"	普及	萩野康則. 2014. 連携大学の研究成果発表会を開催. <i>生物多様性ちばニュースレター</i> , (37): 3-4.
"	普及	萩野康則. 2014. 初心者でも使える最高のクモ図鑑. 中央博物館だより, (71): 4.
斎木健一	報告	天野 誠・斎木健一・御巫由紀・鶴岡 繁. 2014. 平成 25 年度銚子文化財総合調査 (屏風ヶ浦) ー植生調査ー, pp. 1-8. 千葉県銚子市.
御巫由紀	学術	Mikanagi, Y. 2014.2. <i>Sansho-bara</i> , <i>Rosa hirtula</i> (Regel) Nakai, in Japan. ed. Gregg Lowery, Pat Shanley, and Gene Waering. <i>Old Rose Survivor</i> , pp. 1-6. Heritage Rose Foundation, USA.
"	報告	天野 誠・斎木健一・御巫由紀・鶴岡 繁. 2014. 平成 25 年度銚子文化財総合調査 (屏風ヶ浦) ー植生調査ー, pp. 1-8. 千葉県銚子市.
"	普及	御巫由紀. 2013. 野生種のバラとオールドローズのコレクション. <i>マイガーデン</i> , p. 5. マルモ出版, 東京.
"	普及	御巫由紀. 2013. <i>フォエクンディッシマ Foecundissima</i> . <i>オールドローズとつるばらのクラブ会報</i> , (161): 2-3. <i>オールドローズとつるばらのクラブ</i> , 東京.

"	普及	御巫由紀ほか. 2013. 中国バラの旅 (南京・常州・杭州). オールドローズとつるばらのクラブ会報, (161): 12-13, 30. オールドローズとつるばらのクラブ, 東京.
"	普及	御巫由紀ほか. 2013. 第 13 回国際ヘリテージローズ会議 ザンガーハウゼン (ドイツ). オールドローズとつるばらのクラブ会報, (161): 31-34, 51-53. オールドローズとつるばらのクラブ, 東京.
"	普及	御巫由紀. 2014. "Roses" (J M Dent & Sons Ltd.) by Jack Harkness (1978). 英国王立園芸協会, 2014 年 2 月号英国王立園芸協会, 東京.
"	普及	Mikanagi, Y. 2013. Seizo Suzuki's Collection of Old Roses and Species Roses. by any other name, pp. 33-37. World Federation of Rose Society, South Africa.
"	普及	御巫由紀・帯金葉子・野村和子. 2013. 鈴木省三作品種の植栽状況. 御巫由紀・帯金葉子, ばらの夢を未来につないで, pp. 54-69. 鈴木省三生誕 100 年記念祭実行委員会, 佐倉市.
尾崎煙雄	学術	尾崎煙雄・齊藤明子. 2013. 千葉県清澄山で 58 年ぶりにアダチアカサシガメを採集. 月刊むし, (506): 44.
"	学術	齊藤明子・尾崎煙雄・鈴木勝. 2013. 東京大学千葉演習林で採集した甲虫類 (II). 房総の昆虫, (52): 8-10.
"	学術	尾崎煙雄・直井洋司. 2013. 木更津市でアカハネナガウンカを採集. 房総の昆虫, (52): 31.
"	学術	尾崎煙雄. 2013. 清澄山でキスジハネピロウンカを採集. 房総の昆虫, (52): 31.
"	学術	尾崎煙雄・齊藤修. 2013. ハゴロモヤドリガの新寄主. 房総の昆虫, (52): 43-44.
"	学術	尾崎煙雄. 2014. 房総の絶滅危惧ヒメコマツ個体群の現状と保全の試み. Bunrui, 14(1): 9-18.
"	報告	房総のヒメコマツ研究グループ. 2014.3. ヒメコマツ現地調査・保全業務報告書. 28pp. 千葉県.
"	普及	尾崎煙雄. 2013.7. キンランの咲く森. しいむじな, (41): 4.
"	普及	尾崎煙雄. 2013.8. アダチアカサシガメ. 千葉生物誌, 63(1): 表紙裏.
"	普及	尾崎煙雄. 2013.8. 絶滅が心配される房総のヒメコマツを守る. 友の会ニュース, (79): 7.
"	普及	尾崎煙雄. 2013.10. ブックレビュー『ミクロの森』. 日経サイエンス, 43(10): 125.
"	普及	尾崎煙雄. 2013.10. 幻のサンガメ再発見. しいむじな, (42): 1.
"	普及	尾崎煙雄. 2013.10. さよならミヤマクワガタ. しいむじな, (42): 4.
"	普及	尾崎煙雄. 2014.1. 紅葉の東大千葉演習林で出張展示. しいむじな, (43): 4.
"	普及	尾崎煙雄. 2014.2. ホンゴウソウ. 千葉生物誌, 63(2): 表紙裏.
"	普及	尾崎煙雄. 2014.2. 学芸員もうらやむ教室博物館. 館報せいわ, (350): 4.
"	普及	尾崎煙雄. 2014.3. 今年もヤドリギ調査中. しいむじな, (44): 4.
"	普及	尾崎煙雄. 2014.3. 図鑑は絵本. 中央博物館だより, (71): 6.
"	普及	尾崎煙雄. 2014.3. 千葉演習林の昆虫. 千葉演習林 120 周年記念出版実行委員会, わが国最古の「大学の森」東京大学千葉演習林のすべて, p. 213. 東京大学演習林出版局, 東京.
島立理子	学術	西谷大・島立理子・大久保悟. 2014. 共同研究「日本の中山間地域における人と自然の文化誌」. 国立歴史民俗博物館研究報告, (186): 295-306.
"	学術	上田大斗・大久保悟・島立理子・西谷大. 2014. 共同研究「日本の中山間地域における人と自然の文化誌」. 国立歴史民俗博物館研究報告, (186): 311-317.
"	報告	島立理子・大久保悟・西谷大. 2014. 共同研究「日本の中山間地域における人と自然の文化誌」. 国立歴史民俗博物館研究報告, (186): 321-334.
"	報告	島立理子. 2013. 千葉県立中央博物館のおばあちゃんの畑プロジェクト. 日韓比較民俗研究の新視点, pp. 65-70. 国立歴史民俗博物館, 佐倉市.
"	報告	島立理子. 2013. 千葉県立中央博物館におけるフィールド・ミュージアム. 韓日学術交流会報告会 地域と博物館, pp. 256-262. 韓国国立民俗博物館, 大韓民国ソウル特別市.
"	普及	島立理子. 2013. エーナリのこと. 館報せいわ, (348): 4.
"	普及	島立理子. 2013. めざせ! 田んぼのマイスター. しいむじな, (41): 1.
"	普及	島立理子. 2013. 「おばあちゃんの畑」のウエディングケーキ. しいむじな, (41): 4.
"	普及	島立理子. 2013. イネの花. しいむじな, (42): 4.
"	普及	島立理子. 2014. 公民館の講座にて. しいむじな, (43): 4.
"	普及	島立理子. 2014. 二五穴と災害. しいむじな, (44): 2.
"	普及	島立理子. 2014. どんと焼き. しいむじな, (44): 4.
加藤久佳	学術	大島光春・加藤久佳. 2014. 千葉県富津市金谷の海岸に打ち上げられたイノシシ頭骨化石. 千葉中央博自然誌研究報告, 13(1): 57-61.
"	学術	高橋啓一・北川博道・伊左治鎮司・加藤久佳. 2014. 千葉県木更津市管生産ナウマンゾウ化石. 千葉中央博自然誌研究報告, 13(1): 63-69.
"	報告	加藤久佳. 2013. トマチン遺跡出土の十脚甲殻類 (ヤドカリ・カニ類) 遺体. 新里貴之, 徳之島トマチン遺跡の研究, pp. 197-201. 鹿児島大学.
"	普及	加藤久佳. 2013. 秩父地方の化石. 千葉県立中央博物館友の会ニュース, (78): 6-7.
"	普及	加藤久佳. 2014. 山のスタッフ、街でも活動?. しいむじな, (44): 4.
"	普及	加藤久佳. 2014. 化石拾いの名人達. しいむじな, (43): 4.
"	普及	加藤久佳. 2103. フナムシの脱皮. しいむじな, (42): 4.
"	普及	加藤久佳. 2013. 三船山の貝化石層. しいむじな, (41): 4.
"	普及	加藤久佳. 2013. カズウネイタヤガイ. 館報せいわ, (349): 4.
"	普及	加藤久佳. 2013. 蔵玉用水の人工鍾乳洞. しいむじな, (41): 2.
"	普及	加藤久佳. 2014. トウキョウホタテガイ. しいむじな, (42): 1.
大木淳一	普及	大木淳一. 2014. 博物館実習 [3 年] の先生たち. 学芸員への誘いー日本女子大学博物館学芸員課程年報, (12): 5.

〃	普及	大木淳一. 2013. 川沼の自然入門 (その2).平成25年度シニア大学テキスト集, pp. 82-83. NPO 法人 千葉自然学校, 千葉市.
〃	普及	大木淳一. 2013. 館のない博物館から(39)『小笠原で清和を思う』. 君津市清和公民館, 館報せいわ, (347): 4.
〃	普及	大木淳一. 2013. 70 万年前もジャンプ! . しいむじな, (41): 4.
〃	普及	大木淳一. 2013. 一秋の行楽シーズンズズメバチに注意を (写真提供). 千葉日報, (40099): 21. 千葉日報社, 千葉市.
〃	普及	大木淳一. 2013. 変なカラス. しいむじな, (42): 4.
〃	普及	大木淳一. 2013. 三島小でプチ授業. しいむじな, (43): 4.
〃	普及	大木淳一. 2014. ムーブがブーム. 博物館だより, (71): 5.
〃	普及	大木淳一. 2014. 校内学習で岩石授業. 博物館だより, (71): 11.
〃	普及	大木淳一. 2014. 泥だんごが育む地域と博物館. しいむじな, (44): 1.
〃	普及	大木淳一. 2014. イスカ現る! . しいむじな, (44): 4.
桑原和之	学術	土井学・桑原和之. 2013. 千葉市におけるカヤクグリ <i>Prunella rubida</i> の観察記録. 我孫子市鳥博報, 19(3): 1-3.
〃	学術	和仁道大・桑原和之・中込 哲. 2013. 千葉市千城台野鳥観察園におけるトモエガモ <i>Anas formosa</i> ♂の越冬記録. 我孫子市鳥博報, 19(3): 1-4.
〃	学術	池田 雅実・桑原和之. 2013. コクガン <i>Branta bernicla</i> (Linnaeus, 1758) の鹿島灘への漂着記録. 我孫子市鳥博報, 19(5): 1-4.
〃	学術	桑原和之・池田雅実. 2013. 九十九里海岸におけるオオソリハシシギ <i>Limosa lapponica</i> の越冬記録. 我孫子市鳥博報, 19(7): 1-3.
〃	普及	平田豊治・桑原和之. 2013. 野田山ラインセンサス結果 2012 年. 石川野鳥年鑑, (2012): 87-88. 日本野鳥の会石川, 金沢.
〃	普及	桑原和之・糠谷 隆. 2013. 写真展「私の撮った水郷 2013」. 展示品解説書, 8pp. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
〃	普及	桑原和之. 2013. シリーズ渡り鳥【第1回】シギの声を聴いてみよう. 私たちの自然, 54(586): 裏表紙グラビア.
〃	普及	桑原和之. 2013. リストを作ろう Part.3. 減りつつある種の記録収集. ほおじろ, (390): 7,11.
〃	普及	桑原和之・糠谷隆・齊藤敏一・箕輪義隆. 2013. 利根川下流域の野鳥一川のフィールド・ミュージアム「いきもの調査隊」一. 友の会ニュース, (80): 2-3.
〃	普及	桑原和之・糠谷隆・齊藤敏一・箕輪義隆. 2014. 川のフィールド・ミュージアム「いきもの調査隊」2. 千葉県立中央博物館大根分館ニュースレターたかっぽ通信, (6): 3.
〃	普及	桑原和之. 2014. 波崎愛鳥会設立 30 周年記念講演会「利根川に飛来する野鳥たち」. かもめ, 158 別冊: 1-4.
倉西良一	学術	倉西良一・鈴木智也・趙在翼・野崎隆夫・伊藤富子・東城幸治. 2013. クロモンエグリトビケラ長野県からの記録. 生物地理と環境指標性. <i>New Entomologist</i> , (62): 41-43.
〃	学術	梯公平・倉西良一・鎌田直人. 2013. ヒメボタル幼虫の空間分布と活動性に影響を与える環境要因: 高い土壤水分量による活性化. 保全生態学研究, (18): 45-54.
〃	学術	関根一希・岸本亨・倉西良一・東城幸治. 2013. 関東平野にのみ棲息するアカツキシロカゲロウ <i>Ephoron eophilum</i> (カゲロウ目シロイロカゲロウ科) の分布調査: 利根川水系以外の新産地の発見. <i>New Entomologist</i> , (62): 21-27.
〃	学術	倉西良一. 2013. 源流河川のトビケラ目昆虫一スタノ沢で採集されたアミメシマトビケラ科とナガレトビケラ科の形態と遺伝子情報. 神奈川県自然環境保全センター研究報告, (10): 187-193.
〃	報告	倉西良一. 2013. 県立中央博生生態園舟田池で 50 個以上のウチワヤンマの脱皮殻を確認. 房総の昆虫, (52): 23.
〃	報告	倉西良一. 2013. 千葉市中央区におけるヒメクロゴキブリの記録. 月刊むし, (514): 11.
〃	報告	倉西良一. 2013. エグリトビケラの幼虫を市原市で採集. 房総の昆虫, (52): 35-36.
〃	報告	倉西良一. 2013. 中原和郎先生が 1914 年に記録していた千葉県のスジビケラ. 房総の昆虫, (52): 35.
〃	報告	倉西良一. 2013. キボシチビコツブゲンゴロウ、山武郡での記録. 房総の昆虫, (52): 25.
〃	報告	倉西良一・毛木 仁. 2013. 千葉県におけるツノツツトビケラ、3 例目の記録. 房総の昆虫, (52): 33.
〃	報告	石綿進一・守屋博文・倉西良一・清水高男・小林貞・司村宜祥. 2013. 源流河川の底生動物. 神奈川県自然環境保全センター研究報告, (10): 163-175.
〃	普及	倉西良一. 生態園のトンボ. 生態園観察ノート, (19): 1-32.
〃	普及	倉西良一. 2013. アリズカオオロギ、千葉県立中央博物館 (生態園) に産す. 房総の昆虫, (52): 32.
〃	普及	倉西良一. 2013. 千葉市中央区葛城でマツムシの鳴き声を確認. 房総の昆虫, (52): 32.
〃	普及	倉西良一. 2013. ナシアシプトハバチの幼虫、千葉県立中央博物館生態園での記録. 房総の昆虫, (52): 36.
〃	普及	倉西良一・山口陽之介. 2013. 千葉市中央区青葉の森公園でコカブトを採集. 房総の昆虫, (52): 26.
原 正利	学術	原 正利. 2014. 津波影響調査の結果について. 植生情報, (18): 21-40.
〃	普及	原 正利・大野啓一・由良 浩 (協力). 2013. 万博の森で地球を思う. 第3回植物をとおして環境を意識する. 独立行政法人日本万博博覧会記念機構, 森発見, (32): 7-8.
大野啓一	普及	原 正利・大野啓一・由良 浩 (協力). 2013. 万博の森で地球を思う. 第3回植物をとおして環境を意識する. 独立行政法人日本万博博覧会記念機構, 森発見, (32): 7-8.
川瀬裕司	学術	Kawase, H., Okata, Y. and K. Ito. 2013. Role of huge geometric circular structures in the reproduction of a marine pufferfish. <i>Scientific Reports</i> , (3): DOI:10.1038/srep02106.
〃	学術	須之部友基・川瀬裕司・坂井陽一・清水則雄・望岡典隆・田和篤史・竹垣 毅・中村洋平・出羽慎一. 2014. 地球温暖化と南日本各地における魚類相の比較. 千葉県生物多様性センター研究報告, 7: 3-13.
〃	学術	川瀬裕司. 2014. アンケートとお絵かきからみたく子供に人気の展示生物一企画展示「深い海に暮らす生きものたち」の内容と結果の分析. 千葉中央博自然誌研究報告, 13(1): 29-40.
〃	普及	川瀬裕司. 2013. 海博だよりー深い海の下に暮らす生きものたち. 千葉県立中央博物館友の会ニュース, (78): 8.
〃	普及	川瀬裕司. 2013. 発光器の巧みな利用. チーバクんと学ぶ深い海に暮らす生きものたち 5. 千葉日報朝刊, 2013 年 4 月 8 日.
〃	普及	川瀬裕司 (協力). 2013. 海底のミステリーサークル. 日経サイエンス, 2013 年 11 月号: 74-77.

〃	普及	川瀬裕司 (監修). 2013. 海底のミステリーサークル フグが懸命につくった求愛・繁殖の舞台だった. ニュートン, 2013 年 11 月号: 96-101.
菊地則雄	学術	大西舞・菊地則雄・岩崎貴也・河口莉子・寫田智. 2013. 絶滅危惧 I 類に指定されている紅藻アサクサノリの集団遺伝構造. 藻類, (61): 87-96.
菊地則雄	学術	Niwa, K., N. Kikuchi, M.S. Hwang, H.-G. Choi and Y.Aruga. 2014. Cryptic species in the <i>Pyropia yezeensis</i> complex (Bangiales, Rhodophyta): 1 Sympatric 2 occurrence of two cryptic species even on same rocks. Phycological Research, (62): 36-43.
〃	学術	菊地則雄・藤吉栄次・玉城泉也・小林正裕. 2014. 種・品種の判別 2-2. 形態による判別. 藤吉栄次・玉城泉也・小林正裕・有瀧真人, アマノリ養殖品種の特性, pp. 15-23. 独立行政法人水産総合研究センター西海区水産研究所, 長崎市.
〃	学術	菊地則雄. 2014. 関連した知見 5-3. 紅藻ウシケノリ目の属の再編. 藤吉栄次・玉城泉也・小林正裕・有瀧真人, アマノリ養殖品種の特性, pp. 139-145. 独立行政法人水産総合研究センター西海区水産研究所, 長崎市.
〃	普及	菊地則雄. 2013. 紅藻ウシケノリ目の属の再編について. 海苔と海藻, (81): 13-21.
〃	普及	菊地則雄. 2013. 広辞苑を 3 倍楽しむ (第 65 回) あさくさのり. 科学, 83(10): 1095.
〃	普及	菊地則雄. 2013. これでも海藻、あれでも海藻. 千葉県立中央博物館友の会ニュース, (80): 6.
〃	普及	菊地則雄. 2014. 平成 25 年度マリンサイエンスギャラリー 海藻いろいろ—千葉県豊かな海から— 展示解説書. 16 pp. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.
〃	普及	菊地則雄. 2014. 千葉の海藻いろいろ「北の海藻・南の海藻」. 平成 25 年度マリンサイエンスギャラリー 海藻いろいろ—千葉県豊かな海から— 展示解説シート 1, 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.
〃	普及	菊地則雄. 2014. 千葉の海藻いろいろ「レアもの海藻」. 平成 25 年度マリンサイエンスギャラリー 海藻いろいろ—千葉県豊かな海から— 展示解説シート 2, 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.
〃	普及	菊地則雄. 2014. 千葉の海藻いろいろ「海藻の生活史—アサクサノリを例に」. 平成 25 年度マリンサイエンスギャラリー 海藻いろいろ—千葉県豊かな海から— 展示解説シート 3, 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.
〃	普及	菊地則雄. 2014. 海の中での海藻の役割いろいろ「海藻の役割—水の浄化」. 平成 25 年度マリンサイエンスギャラリー 海藻いろいろ—千葉県豊かな海から— 展示解説シート 4, 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.
〃	普及	菊地則雄. 2014. 海の中での海藻の役割いろいろ「磯焼け」. 平成 25 年度マリンサイエンスギャラリー 海藻いろいろ—千葉県豊かな海から— 展示解説シート 5, 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.
〃	普及	菊地則雄. 2014. 暮らしと海藻「千葉県でお正月にお雑煮に入れる海藻」. 平成 25 年度マリンサイエンスギャラリー 海藻いろいろ—千葉県豊かな海から— 展示解説シート 6, 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.
〃	普及	菊地則雄. 2014. 「ちばのかいそう」いろいろクイズ. 平成 25 年度マリンサイエンスギャラリー 海藻いろいろ—千葉県豊かな海から— ワークシート, 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 千葉県勝浦市.
〃	普及	菊地則雄. 2014. 藻じゃ〜ずと学ぶ 海藻いろいろ—千葉県豊かな海から—1 多様な環境で世界的宝庫. 千葉日報県南版, 2014 年 2 月 24 日.
〃	普及	菊地則雄. 2014. 藻じゃ〜ずと学ぶ 海藻いろいろ—千葉県豊かな海から—2 外房沿岸だけで確認. 千葉日報県南版, 2014 年 3 月 10 日.
〃	普及	菊地則雄. 2014. 企画展示「平成 25 年度マリンサイエンスギャラリー 海藻いろいろ—千葉県豊かな海から—」. 藻類, (62): 21.
〃	普及	菊地則雄. 2014. 藻じゃ〜ずと学ぶ 海藻いろいろ—千葉県豊かな海から—3 海の中で重要な役割. 千葉日報県南版, 2014 年 3 月 24 日.
〃	普及	菊地則雄. 2014. 平成 25 年度マリンサイエンスギャラリー 海藻いろいろ—千葉県豊かな海から—. 中央博物館だより, (71): 9.
奥野淳兒	学術	奥野淳兒・成瀬 貫. 2013. 日本初記録のニセツノヒラムシ属 (渦虫綱: 多岐腸目) 5 種. 沖縄生物学会誌, (51): 57-66.
〃	学術	奥野淳兒. 2014. 千葉県産クロスジニセツノヒラムシ属 (新称) <i>Pseudobiceros</i> Faubel (渦虫綱: 多岐腸目) の分類. うみうし通信, (82): 2-4.
〃	普及	奥野淳兒. 2013. 益田一先生の名を持つ甲殻類アヤトリカクレビ. 2013 年度特別展「益田一と日本の魚類学—魚類図鑑に生涯を捧げた Dandy」展示解説書, pp. 34-36. 神奈川県立生命の星地球博物館, 小田原市.
〃	普及	奥野淳兒. 2013. 屋久島から記載された新種のヤドカリ・スミレヒメホンヤドカリ. 鹿児島大学総合研究博物館 newsletter, (33): 11-13.

②研究発表（口頭発表およびポスター発表）

氏名	発表内容
秋山笑子	秋山笑子. 2013.11. 農漁民の提唱. 第17回常民文化研究講座. 神奈川大学, 横浜市.
小田島高之	八木令子・吉村光敏・小田島高之. 2014.1. 屏風ヶ浦海食崖の景観を構成する微地形とその評価. 日本地理学会 2014 春季学術大会. 国士舘大学世田谷キャンパス, 東京都.
高橋直樹	赤司卓也・高橋直樹. 2013.9. 千葉県銚子地域における地質資源の利用－「銚子石」と「銚子瓦」. 日本地質学会第120年学術大会. 東北大学, 仙台市.
"	藤岡換太郎・森 慎一・柴田健一郎・高橋直樹・平田大二・大島光春・満澤巨彦・西川 徹・大橋みさき・KO-OHO-Oの会. 2013.9. 相模湾から発見された新知見とその地質学的重要性－玄武岩, 蛇紋岩, 海底地滑り, 海底谷充填堆積物－. 日本地質学会第120年学術大会. 東北大学, 仙台市.
"	藤岡換太郎・森 慎一・柴田健一郎・高橋直樹・平田大二・大島光春・満澤巨彦・西川 徹・大橋みさき・KO-OHO-Oの会. 2013.9. バイオジオパークとしての相模湾. 日本地質学会第120年学術大会. 東北大学, 仙台市.
"	高橋直樹. 2013.12. 千葉県内における宮城県産井内石石材の使用状況. 千葉県地学教育研究会平成26年度研究発表会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
"	藤岡換太郎・高橋直樹・平田大二・大島光春・森 慎一・柴田健一郎・河尻清和・大橋みさき・西川 徹・井上智尋・光山菜奈子・満澤巨彦・KO-OHO-Oの会. 2014.2. 相模湾から得られた新知見とその解釈－KO-OHO-O 航海の地質学的まとめ－. JAMSTEC ブルーアース 2014. 東京海洋大学, 東京都品川区.
八木令子	八木令子・吉村光敏・小田島高之. 2014.3. 屏風ヶ浦海食崖の景観を構成する微地形とその評価－「微地形と地理学」グループ発表②. 2014 年日本地理学会春季大会. 国士舘大学, 東京都世田谷区.
岡崎浩子	岡崎浩子・郭 栄珠・田村 亨. 2014.3. 地中レーダ (GPR) からみる河川流路州の発達様式. 日本堆積学会 2014 年大会. 山口大学, 山口市.
宮 正樹	Miya, M. and T.J. Near. 2013.6. Phylogenetics and diversification of Percomorpha--An introduction to the symposium. The 9th Indo-Pacific Fish Conference. Okinawa Convention Center, Okinawa.
"	Miya, M., M. Freedman, T.P. Satoh, H. Takeshima, T. Sado, Y. Yamanoue, K. Mabuchi and M. Nishida. 2013.6. Paleogene adaptive radiation of tunas and their pelagic relatives revealed by bioinformatic and mitogenomic analyses. The 9th Indo-Pacific Fish Conference. Okinawa Convention Center, Okinawa.
"	Chen W.-J., S.H. Liu, R. Ruiz-Carus, S. Lavoue, M. Miya, H.-K. Mok and R.L. Mayden. 2013.6. Molecular systematics and historical biogeography of the perch-like fishes (Teleostei: Perciformes). The 9th Indo-Pacific Fish Conference. Okinawa Convention Center, Okinawa.
"	Saitoh K, T. Sado, M. Nishida, R.L. Mayden and M. Miya. 2013.6. Mitochondrial phylogenomics to resolve cypriniform tree of life: Higher-level and detailed relationships inferred from over 500 sequences. The 9th Indo-Pacific Fish Conference. Okinawa Convention Center, Okinawa.
"	Satoh T.P., M. Miya, and M. Nishida. 2013.6. Phylogeny of the lefteye flounders (family Bothidae): a mitogenomic perspective. The 9th Indo-Pacific Fish Conference. Okinawa Convention Center, Okinawa.
"	Poulsen J.Y., M. Miya, A. Kawaguchi, T.P. Satoh, S.W. Knudsen, E. Willassen, I. Byrkjedal and M. Friedman. 2013.6. Dates and rates of major pelagic deep-sea fish radiations. The 9th Indo-Pacific Fish Conference. Okinawa Convention Center, Okinawa.
"	Yamanoue Y., M. Miya, K. Mabuchi and M. Nishida. 2013.6. Mitogenomic phylogeny of acanthuroid fishes (Actinopterygii: Perciformes) and evolutionary origins of distinct larvae. The 9th Indo-Pacific Fish Conference. Okinawa Convention Center, Okinawa.
"	Johnson G.D., H. Ida, J. Sakaue, T. Sado, T. Asahida and M. Miya. 2013.7. A 'living-fossil' eel (Anguilliformes: Protanguillidae, fam. nov.) from an undersea cave in Palau. Symposium on Systematics and Diversity of Fishes. National Museum of Nature and Science, Tokyo.
"	Kon, T., M. Miya, T. Sado, L. Rüber, T.P. Satoh, T. Yoshino and M. Nishida. 2013.7. Evolution of the paedomorphic gobioid fishes revealed by whole mitogenome sequences with supermatrix analysis. Symposium on Systematics and Diversity of Fishes. National Museum of Nature and Science, Tokyo.
"	西田 睦・福永 津嵩・砂子澤 遼太・山田 浩一郎・佐藤 崇・佐土 哲也・宮 正樹・武島 弘彦・馬淵 浩司・前田 泰伸・岩崎 崎. 2013.10. 高性能自動アノテーションパイプラインMitoAnnotatorの実装による魚類ミトコンドリアゲノムデータベース MitoFish の充実. 2013 年度日本魚類学会年会. 宮崎大学, 宮崎市.
"	昆 健志・佐土 哲也・Rüber, L.・佐藤 崇・吉野哲夫・西田 睦・宮 正樹. 2013.10. ハゼ亜目魚類の多様化プロセス: ミトゲノム全長配列と Supermatrix 法による網羅的系統解析. 2013 年度日本魚類学会年会. 宮崎大学, 宮崎市.
"	Iwasaki, W., T. Fukunaga, R. Isagozawa, K. Yamada, Y. Maeda, T.P. Satoh, T. Sado, K. Mabuchi, H. Takeshima, M. Miya and M. Nishida. 2013.10. MitoFish and MitoAnnotator: a mitochondrial genome database of fish with an accurate and automatic annotation pipeline. 日本バイオインフォマティクス学会 2013 年年会. タワーホール船堀, 東京.
黒住耐二	黒住耐二・坂井正人・オラーノ ホルヘ・瀧上 舞. 2013.4. ナスカの地上絵周辺で確認された海産貝類. 日本貝類学会平成25年度大会. 豊橋市自然史博物館, 豊橋市.
"	自然しらべ 2012 貝殻さがし! 調査グループ (黒住耐二・萩原正朗・大野正人・他). 2013.4. 市民参加型調査による日本の海産貝類の現況. 日本貝類学会平成25年度大会. 豊橋市自然史博物館, 豊橋市.
"	山下博由・黒住耐二・岡本正豊・佐藤慎一. 2013.4. 日本産サキグロタマツメタの記録－有明海・瀬戸内海に在来個体群は存在したか?－. 日本貝類学会平成25年度大会. 豊橋市自然史博物館, 豊橋市.
"	新里貴之・牧野浩典・鐘ヶ江賢二・黒住耐二・樋泉岳二・篠田謙一・竹中正巳・米田穰・森田大樹・北野勘重郎・鎌田浩平・中村卓也・鈴木篤・鈴木祥. 2013.5. 南西諸島沖永良部島鳳雛洞遺跡の調査. 一般社団法人日本考古学協会第79回 (2013年度) 総会. 駒澤大学, 東京都世田谷区.
"	黒住耐二. 2013.5. マシジミが近世期の外来種の可能性について. 第22回四国貝類談話会. 徳島県立博物館, 徳島市.
"	黒住耐二. 2013.10. マシジミは近世期の外来種か?. 第19回淡水貝類研究会. 大阪教育大学柏原キャンパス, 柏原市.
"	黒住耐二. 2013.11. 韓国の貝塚調. 第7回房総貝類談話会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
"	牧野浩典・新里貴之・鐘ヶ江賢二・黒住耐二・樋泉岳二・篠田謙一・竹中正巳・米田穰・森田大樹・北野勘重郎・鎌田浩平・中村卓也・鈴木篤・鈴木祥. 2013.11. 沖永良部島鳳雛洞第4洞遺跡の調査報告. 日本洞窟学会第39回大会. 銀座ルノアール新宿区役所横店, 東京都新宿区.
"	黒住耐二・新里貴之・高宮広土. 2013.11. 貝類遺体からみた沖縄のグスク文化成立期. 日本動物考古学会第1回大会. 慶應義塾大学三田キャンパス, 東京都港区.
"	樋泉岳二・菅原広史・黒住耐二・新里貴之・高宮広土. 2013.11. グスク文化成立期の脊椎動物資源利用. 日本動物考古学会第1回大会. 慶應義塾大学三田キャンパス, 東京都港区.
"	黒住耐二. 2014.1. マシジミは、いつから日本にいたか?. 第8回房総貝類談話会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
"	黒住耐二. 2014.2. 貝類遺体からみた沖縄諸島の環境変化と文化変化. 新学術領域研究「環太平洋の環境文明史」第5回国際研究者集会. 慶應義塾大学三田キャンパス, 東京都港区.

高山順子	高山順子. 2013.11. 千葉県で繁殖しているカミツキガメの防除. 第 16 回自然史調査研究機関調査研究・活動事例発表会. 奥能登総合事務所, 輪島市.
古木達郎	古木達郎・太田正文. 2013.8. ツクヌキゴケ <i>Calypogeia antusta</i> Steph. (タイ類ツクヌキゴケ科) のタイプ標本. 日本蘚苔類学会第 42 回岡山大会. 岡山理科大学, 岡山市.
"	富永孝昭・古木達郎. 2013.8. 水田のミドリハタケゴケは <i>Riccia sorocarpa</i> ではない. 日本蘚苔類学会第 42 回岡山大会. 岡山理科大学, 岡山市.
原田 浩	原田浩. 2013.7. 日本産淡水生地衣類 (4) . マルゴケ属 <i>Porina</i> . 日本地衣学会第 12 回大会. 京都大学, 京都市.
"	坂田歩美・原田浩. 2013.7. 日本産リトマスゴケ科地衣類における子器の形態 -レカナラ型裸子器-. 日本地衣学会第 12 回大会. 京都大学, 京都市.
"	綿貫攻・原田浩・小峰正史・原光二郎・山本好和. 2013.7. 日本産樹皮着生広義スミイボゴケ属 (<i>Buellia</i> s. l.) 地衣類の分類学的研究 (その 1) . 日本地衣学会第 12 回大会. 京都大学, 京都市.
"	木下靖浩・原田浩. 2013.7. 千葉県産のレプラゴケ属地衣について-3. 日本地衣学会第 12 回大会. 京都大学, 京都市.
"	吉川裕子・原田浩. 2013.7. 日本産 " <i>Hypotrachyna adducta</i> " (ゴンゲンゴケ属地衣類) の形態と化学成分. 日本地衣学会第 12 回大会. 京都大学, 京都市.
地引尚幸	地引尚幸. 2014.3. 養老川流域の上総掘り〜ハネギの違いに着目して〜. 千葉歴史学会民俗部会. 千葉大学, 千葉市.
斉藤明子	斉藤明子. 2013.12. ソーラー式 LED ライトを使用したライトトラップの成果について (予報) . 千葉県昆虫談話会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
駒井智幸	駒井智幸・土田真二. 2013.12. イバラモエビ属 <i>Lebbeus</i> の分類・分布の概要と. 日本甲殻類学会第 51 回大会. かでる 2・道立道民活動センター, 札幌市.
"	土田真二・駒井智幸・雨宮健太郎・根本卓・北嶋円・三宅裕志・滋野修一・河戸 勝・藤原義弘・藤倉克則. 2013.12. 北海道産 2 未記載種の報告. 日本甲殻類学会第 51 回大会. かでる 2・道立道民活動センター, 札幌市.
"	土田真二・駒井智幸・雨宮健太郎・根本卓・北嶋円・三宅裕志・滋野修一・河戸 勝・藤原義弘・藤倉克則. 2014.2. 大宮ダシにおいて発見された浅海性熱水噴出孔生物群集. ブルーアース 2014. 東京海洋大学, 東京都品川区.
落合啓二	川本芳・川本映江・樋口翔子・白井啓・直井洋司・萩原光・白鳥大祐・小原収・丸橋珠樹・羽山伸一・落合啓二・草刈秀紀・浅田正彦. 2013.9. 千葉県における外来アカゲザルとの交雑地域の拡大. 第 29 回日本霊長類学会・日本哺乳類学会 2013 年度合同大会. 岡山理科大学, 岡山市.
林 紀男	林紀男. 2013.8. 手賀沼 (千葉県) 南岸ハス繁茂域の変遷. 水草研究会. 筑波実験植物園, つくば市.
"	林紀男. 2013.11. 溜池における水生植物再生を通じた水環境保全. 第 16 回自然系研究機関連絡会議 (NORNAC) . 石川県奥能登事務所, 輪島市.
"	林紀男. 2013.11. 手賀沼 (千葉県) 流域における外来水生植物の状況. 第 16 回自然系研究機関連絡会議 (NORNAC) . 石川県奥能登事務所, 輪島市.
"	林紀男・山室真澄. 2013.11. 沈水植物へのアメリカザリガニ食害に及ぼすオオクチバス代謝産物の影響 . 日本水処理生物学会 第 50 回大会. 神戸市水道局たちばな職員研修センター, 神戸市.
"	類家翔・神蔵雄生・櫻井友太郎・稲森隆平・西村浩・林紀男・鈴木理恵・稲森悠平. 2013.11. 有毒藍藻類産生 <i>Microcystin</i> の水稲初期の生育阻害および吸収蓄積特性に及ぼす影響特性解析. 日本水処理生物学会 第 50 回大会. 神戸市水道局たちばな職員研修センター, 神戸市.
"	馮 揚・神蔵雄生・稲森隆平・川越清樹・菅原崇聖・林紀男・稲森悠平. 2013.11. 生物膜処理浄化槽と沈水植物緩衝帯を組み合わせた高度処理技法の開発. 日本水処理生物学会 第 50 回大会. 神戸市水道局たちばな職員研修センター, 神戸市.
"	賀数邦彦・後藤史成・稲森隆平・林紀男・徐開欽・鈴木理恵・稲森悠平. 2013.11. 水圏生態系マイクロゾムによる作用機序の異なる化学物質のリスク影響評価解析 . 日本水処理生物学会 第 50 回大会. 神戸市水道局たちばな職員研修センター, 神戸市.
"	櫻井友太郎・神蔵雄生・類家翔・稲森隆平・西村浩・林紀男・稲森悠平. 2013.11. 食性水耕植物における有毒藍藻類産生 <i>Microcystin</i> の吸収・蓄積能解析および栄養塩類除去能に及ぼす影響評価解析. 日本水処理生物学会 第 50 回大会. 神戸市水道局たちばな職員研修センター, 神戸市.
"	加藤理・高木悠里・林紀男・岡野邦宏・宮田直幸・尾崎保夫. 2013.11. 沈水植物の生育に与える光条件の影響解析. 日本水処理生物学会 第 50 回大会. 神戸市水道局たちばな職員研修センター, 神戸市.
"	武田文彦・小林紀子・袋昭太・中野和典・相川良雄・西村修・田中仁志・林紀男・稲森悠平. 2013.11. 魚類体重と沈水植物摂食嗜好性の評価. 日本水処理生物学会 第 50 回大会. 神戸市水道局たちばな職員研修センター, 神戸市.
"	稲森隆平・小野美咲・徐開欽・陶村貴・鈴木理恵・林紀男・稲森悠平. 2013.11. 水田緑肥化における要注意外来生物種沈水植物オオカナダモの効果解析. 日本水処理生物学会 第 50 回大会. 神戸市水道局たちばな職員研修センター, 神戸市.
"	神蔵雄生・類家翔・櫻井友太郎・稲森隆平・西村浩・林紀男・徐開欽・稲森悠平. 2013.11. 有毒藍藻類産生物質 <i>Microcystin</i> のマメ科植物に対する吸収特性および安全性評価. 日本水処理生物学会 第 50 回大会. 神戸市水道局たちばな職員研修センター, 神戸市.
"	林紀男・竹中真里子・八坂雅子. 2014.2. 手賀沼ハス繁茂域の変遷と繁茂抑制の試み. 千葉県生物学会. 千葉県立中央博物館, 千葉市.
島立理子	島立理子. 2013.12. 千葉県立中央博物館のおばあちゃんの畑プロジェクト. 歴博国際シンポジウム「日韓比較民俗学の新視点」. 新宿明治安田生命ホール, 東京都.
"	島立理子. 2013.10. 千葉県立中央博物館におけるフィールド・ミュージアム. 韓日学術交流会報告会 地域と博物館. 大韓民国国立民俗博物館, 大韓民国ソウル特別市.
加藤久佳	Kato, H. and R. Nakashima. 2013.6. Fossil lyre crab genus <i>Hyas</i> Laech, 1814 (Majoidea: Oregoniidae) from the Pliocene of northeast Japan. 5th Symposium on Mesozoic and Cenozoic Decapod Crustaceans. AGH University of Science and Technology, Kraków, Poland.
"	木村敏之・加藤久佳・石井明夫・伊左治鎮司・高桑祐司・岡崎浩子. 2014.1. 千葉県の更新統下総層群木下層よりヒゲクジラ類化石の産出. 日本古生物学会第 163 回例会. 兵庫県立人と自然の博物館, 三田市.
大木淳一	大木淳一. 2013.9. 伊豆・小笠原諸島の小中学校における石材の地質学的特徴. 日本地質学会. 東北大学, 仙台市.
"	針谷亜希子・大木淳一・伴野修一・松尾知・山口剛・大庭照代・高橋宏之・松本和人. 2013.11. 千葉市内 3 館園連携企画「ちばバードプロジェクト」-ちば生きもの科学クラブを中心に-. サイエンスアゴラ. 日本科学未来館, 東京都.
"	Hirigaya, A., Matsuo, T., Ohki, J. and S. Banno. 2013.12. Case study of Chiba Zoological Science Club. Asian Zoo Editor's Conference. Marine World Umino-Nakamachi, Fukuoka.
桑原和之	箕輪義隆・桑原和之・富谷健三. 2013.9.14. 千葉県および周辺域におけるウ類の分布. 日本鳥学会 2013 年度大会. 名城大学, 名古屋.

"	今井 優・桑原和之・箕輪義隆・米林 伸. 2013.9.14. 草地性鳥類のハビタット評価と保全優先度指数による保護区選定. 日本鳥学会 2013 年度大会. 名城大学, 名古屋市.
"	桑原和之・箕輪義隆・佐藤達夫・長屋ゆみ子・今井 優. 2014.1. 千葉県におけるシロチドリの繁殖状況. 2013 年度 モニタリングサイト 1000 海域・干潟分野シギ・チドリ類個体数モニタリング調査 モニタリングサイト交流会. 三重県教育文化会館, 津市.
"	桑原和之・箕輪義隆. 2014.1. 千葉県におけるオオメダイチドリの飛来状況, 2013 年. 2013 年度 モニタリングサイト 1000 海域・干潟分野シギ・チドリ類個体数モニタリング調査 モニタリングサイト交流会. 三重県教育文化会館, 津市.
倉西良一	倉西良一・勝間信之. 2013.9. 絶滅危惧種ミサキツノトビケラの生息状況. 日本昆虫学会第 73 回大会. 北海道大学, 札幌市.
"	倉西良一. 2013.10. ミサキツノトビケラ - そのタイプ産地と分布 -. 水生昆虫談話会第 377 回例会. 信州大学乗鞍セミナーハウス, 松本市.
"	梯公平・倉西良一・鎌田直人. 2014.3. 房総半島のヒメボタル(<i>Luciola parvula</i>): 生息条件と分布推定. 日本生態学会第 61 回大会. 広島国際会議場, 広島市.
原 正利	大久保達弘・原正利・福沢朋子・望月寛子・Rantai Jawa・Paul Chai P. K. 2013.6. マレーシア・サラワク州グヌン・ムル(Gunung Mulu)のブナ科植物の分布について (予報). 第 23 回日本熱帯生態学会年次大会. 九州大学箱崎キャンパス, 福岡市.
"	原正利. 2013.9. 植生学会としての震災後の植生保全に対する取り組み. 平成 25 年度植生学会シンポジウム「東日本大震災で被災した海岸林復旧のあり方を考えるー植生保全も目指した松川浦での試みー». 相馬商工会議所, 相馬市.
"	原正利・大久保達弘・Rantai Jawa・Paul Chai. 2013.10. マレーシア・サラワク州におけるブナ科植物の垂直分布ー特に低海拔地における種の多様性について-. 植生学会第 18 回大会. 仙台市戦災復興記念館, 仙台市.
"	原正利. 2014.3. 津波影響調査からわかったこと. 第 61 回日本生態学会大会自由集会 W07 広域調査から見えた海岸植生への津波の影響と回復 (群談話会). 広島国際会議場, 広島市.
"	原正利・青木慎哉 (千葉中央博・分館海博)・富田瑞樹 (東京情報大・総合情報)・軽込勉 (東大・千葉演習林). 2014.3. 常緑広葉樹林帯における温帯性樹木の遺存分布ー千葉県清澄山の例ー. 第 61 回日本生態学会大会. 広島国際会議場, 広島市.
川瀬裕司	Hiroshi Kawase, Yoji Okata and Kimiaki Ito. 2013.6. Spawning behavior and paternal egg care in a circular structure constructed by a puffer, <i>Torquigener sp.</i> (Tetraodontidae). 9th Indo-Pacific Fish Conference. The Okinawa Convention Center, Okinawa.
"	川瀬裕司・原崎森. 2013.10. 屋久島におけるオキザヨリ <i>Tylosurus crocodilus crocodilus</i> (ダツ科) の産卵行動と卵の形状ー「魚類繁殖記録プロジェクト」のデータからの報告. 日本魚類学会. 宮崎観光ホテル, 宮崎市.
"	川瀬裕司・大方洋二・伊藤公昭. 2014.2. ミステリー・サークルをつくるフグの繁殖生態. 魚類生態研究会. 九州大学, 福岡市.
"	川瀬裕司・大方洋二・伊藤公昭. 2014.3. ミステリー・サークルをつくるフグの産卵行動とオスによる卵保護. 東日本魚類生態研究会. 東京海洋大学, 館山市.
"	熊谷直喜・山野博哉・杉原薫・河地正伸・寺田竜太・須之部友基・川瀬裕司・尾信太郎・藤井賢彦・山中康裕. 2014.3. 温暖化に伴う藻場・サンゴ群集の対照的な地理分布変化. 日本生態学会. 広島大学, 広島市.
菊地則雄	玉城泉也・藤吉栄次・小林正裕・菊地則雄. 2013.7. ツクシアマノリに関する最近の成果と情報. 平成 25 年度全国ノリ研究会. A.R.K.ビル, 福岡市.
"	河口莉子・菊地則雄・岩崎貴也・島田智. 2013.9. 絶滅危惧 I 類に指定されている紅藻アサクサノリの生育地特定と集団遺伝構造. 日本植物学会第 77 回大会. 北海道大学, 札幌市.
"	河口莉子・菊地則雄・岩崎貴也・島田智. 2014.3. 近縁種アサクサノリとスサビノリの生育地特定と集団遺伝構造解析. 日本藻類学会第 38 回大会. 東邦大学, 船橋市.
"	奥野淳児・Bauer, R. T.・Thiel, M. 2013.6. <i>Rhynchocinetes ikatere</i> Yaldwyn, 1971 (甲殻亜門: 十脚目: コエビ下目) の分類学的位置の再検討とオーストラリアからの初記録. 日本動物分類学会第 49 回大会. 宮城教育大学, 仙台市.
柳 研介	柳研介・藤井琢磨・広瀬慎美子. 2013.6. 原記載以降本邦初記録のイソギンチャク <i>Exocoelactis actinostoloides</i> (Anthozoa: Actiniaria) について. 日本動物分類学会第 49 回大会. 宮城教育大学, 仙台市.
"	柳研介・藤井琢磨・広瀬慎美子. 2013.9. 本邦において原記載以降約 120 年ぶりに再発見されたイソギンチャク <i>Exocoelactis actinostoloides</i> (Anthozoa: Actiniaria) について. 2013 年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会. 東北大学, 仙台市.
"	柳研介・藤井琢磨・広瀬慎美子. 2013.10. <i>Exocoelactis actinostoloides</i> (Anthozoa: Actiniaria) の再発見と系統上の位置について. 第 9 回日本刺胞動物・有櫛動物研究談話会. いおワールドかごしま水族館, 鹿児島市.
"	柳研介. 2013.10. Stimpson によって採集された鹿児島島のイソギンチャク. 公開シンポジウム 「鹿児島島の刺胞動物」(日本刺胞・有櫛動物研究談話会, いおワールドかごしま水族館共催). いおワールドかごしま水族館, 鹿児島市.
"	柳研介・藤井琢磨・広瀬慎美子. 2014.3. タイプ標本の検討から見直される日本産イソギンチャク類の分. 日本動物学会関東支部台 66 回大会. 東京大学, 柏市.
"	本間智寛・永島江美子・塚本秀雄・藤井琢磨・柳研介・永井宏史・塩見一雄. 2014.3. 4 種深海産イソギンチャクの新規ペプト毒の探索. 平成 26 年度日本水産学会春季大会. 北海道大学, 函館市.

2 委員等の受託

客=客員研究員、学=学会委員、講=非常勤講師、空欄=その他

氏名	委嘱(依頼)役職名・肩書き	依頼・主催団体	委嘱・依頼期間	別
中村俊彦	非常勤講師(景相保全生態学)	千葉大学理学研究科	2013.4.1-2014.3.31	講
"	東京湾学会副会長	東京湾学会	2013.7.14-2016.7.31	学
"	日本自然保護協会 理事	(財)日本自然保護協会	2010.5.29-2014.6.7	学
"	関東エコロジカルネットワーク推進協議会委員及びコウノトリ地域振興・経済活性化専門部会委員	国土交通省関東地方整備局	2014.2.13-2015.3.31	
"	ミュージアムパーク茨城県自然博物館資料評価委員会委員	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	2013.5.17-2015.3.31	
"	滋賀県生物多様性地域戦略策定に係わる専門家会議	滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課	2014.2.1-2015.3.31	
"	手賀沼・印旛沼・根木名川圏域流域懇談会委員	千葉県河川整備課	2012.1.25-2014.1.24	
"	都川流域懇談会	千葉県千葉土木事務所	2012.3.14-2014.3.13	
"	千葉県・印旛沼流域水循環健全化会議	千葉県 印旛沼流域水循環健全化会議委員	2011.3.31-2015.3.31	
"	我孫子市 谷津ミュージアム事業推進専門家会議議長	我孫子市	2011.3.31-2013.7.31	
"	千葉市 環境審議会委員	千葉市	2011.7.1-2015.7.1	
"	船橋市 環境審議会委員	船橋市	2011.2.18-2015.2.17	
"	市川市 環境審議会専門委員	市川市	2013.4.1-2014.3.31	
"	成東・東金食虫植物群落保護検討委員会委員・作業部会	山武市	2011.2.1-2015.1.31	
"	緑と水の委員会委員	東京都港区	2012.1.1-2014.9.30	
"	港区 生物多様性推進委員会 副委員長	東京都港区	2012.8.21-2014.7.31	
"	環境政策外部評価委員	環境自治体会議	2012.10.2-2014.10.2	
大野啓一	自然環境保全基礎調査植生調査関東ブロック調査会議委員	環境省自然保護局生物多様性センター	2013.8.13-2014.3.31	
奥田昌明	第四紀研究論文賞選考委員	日本第四紀学会	2013.2.1-2013.5.31	学
奥田昌明	植生史研究編集委員	日本植生史学会	2013.11.1-2014.10.30	学
宮田昌彦	日本応用藻類学会機関誌 Algal Resources 編集委員会幹事	日本応用藻類学会	2010.4.1~	学
"	希少野生動植物種保存推進員	環境省自然環境局野生生物局	2010.4.1-	
"	千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会植物・菌類部会委員(部会長)	千葉県環境生活部自然保護課	2011.10.24-2013.10.23	
"	千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会群集・群落部会委員(会長代理)	千葉県環境生活部自然保護課	2011.10.24-2013.10.23	
"	非常勤講師	千葉大学	2013.4.1-2014.3.31	講
小田島高之	評議員	日本情報地質学会	2013.4.1-2015.3.31	学
"	文化財総合評価委員	銚子市	2013.10.01-2014.3.31	
宮野伸也	希少野生動植物種保存推進員	環境省	2012.7.1-2015.6.30	
岡崎浩子	非常勤講師	東京大学大学院	2013.4.1-2014.8.31	講
"	銚子市文化財総合調査委員	銚子市教育委員会	2013.10.1-2014.3.31	
"	印西市文化財審議委員	印西市教育委員会	2013.4.1-2014.3.31	
"	日本第四紀学会編集幹事/会計幹事	日本第四紀学会	2013.4.1-2014.3.31	学
"	日本地質学会堆積部会論文賞選考委員	日本地質学会	2013.4.1-2014.8.31	学
高橋直樹	スーパーサイエンスハイスクール(千葉県立船橋高等学校)運営指導委員	千葉県教育委員会	2013.4.1-2014.3.31	
八木令子	銚子市文化財総合調査委員	銚子市教育委員会	2013.10.1-2014.3.31	
伊左治鎮司	非常勤講師(博物館実習)	千葉大学	2013.4.1-2014.3.31	講
宮 正樹	客員教授	千葉大学大学院	2013.4.1-2014.3.31	講
黒住耐二	希少野生動植物種保存推進員	環境省	2012.7.1-2015.6.30	
"	評議員	日本貝類学会	2013.4.1-2014.3.31	学
"	千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会動物部会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2013.11.-2017.3.31	
"	千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会群集・群落部会委員(会長)	千葉県環境生活部自然保護課	2013.10-2014.3.31	
"	研究推進員	明治大学特定研究ユニット 日本先史文化研究所	2013.4.1-2013.8.31	客
"	客員研究員	明治大学特定課題研究ユニット 日本先史文化研究所	2013.9.1-2018.8.31	客
"	訪問研究員	東邦大学	2013.4.15-2014.3.31	客
"	鎮座百年記念 第二次明治神宮境内総合調査委員会委員	明治神宮	2013.4.1-2013.12.31	
"	八王子市史編集専門部会 自然部会専門調査員	八王子市総合政策部市史編さん室	2013.4.1-2014.3.31	
"	「東京の環境指標種 100」検討委員会委員	(公財)三菱UFJ環境財団	2013.4.1-2014.3.31	

立川浩之	千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会 分類科会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2013.4.1-2013.10.23	
〃	絶滅の恐れのある海洋生物の選定・評価検討会サンゴ類分 科会検討委員	一般財団法人 自然環境研究センタ ー	2013.10.9-2014.3.29	
古木達郎	平成 25 年度千葉県児童生徒・教職員科学作品展審査会審 査員	千葉県総合教育センター	2013.10.9-2013.10.11	
〃	千葉県希少野生生物及び外来生物に係るリスト作成検討 委員会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2013.4.1-2014.3.31	
〃	成東・東金食虫植物群落保護検討会作業部会委員	山武市教育委員会	2013.4.1-2014.3.31	
〃	希少野生動植物保護推進委員	環境省自然保護局	2013.4.1-2014.3.31	
〃	副編集幹事	日本蘚苔類学会	2013.4.1-2013.12.31	学
〃	会長	日本蘚苔類学会	2014.1.1-2014.3.31	学
〃	絶滅危惧植物・移入植物専門第二委員会委員	日本植物分類学会	2013.4.1-2014.3.31	学
原田 浩	長野県レッドリスト改定委員会植物専門部会協力員	長野県環境部	2013.6.19-2015.3.31	
〃	平成 25 年度学術研究助成選考委員	財団法人藤原ナチュラリストリー 振興財団	2013.6.1-2014.3.31	
斎木健一	自然史学会連合 運営委員	自然史学会連合	2012.4.1-2014.3.31	学
〃	銚子市文化財総合調査委員	銚子市教育委員会	2013.10.1-2014.3.31	
天野 誠	銚子市文化財総合調査委員	銚子市教育委員会	2013.10.1-2014.3.31	
〃	千葉県希少野生生物及び外来生物に係るリスト作成検討 委員会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2013.4.1-2014.3.31	
〃	第 7 回高校生理科研究発表会審査委員	千葉大学教育学部	2013.9.28	
〃	研究事業協力者	東京大学総合研究博物館	2012.4.1-2014.3.31	客
〃	希少野生動植物保護推進員	環境省自然保護局	2013.4.1-2014.3.31	
〃	非常勤講師 (進化・遺伝学)	東邦大学理学部	2013.11.22-2013.12.6	講
田邊由美子	『関東の博物館』第 3 8 号編集委員	関東地区博物館協会	2013.8.27-2014.3.31	
内田龍哉	銚子市文化財総合調査 調査委員	銚子市教育委員会	2013.9.1-2015.3.31	
糠谷 隆	水郷佐原山車会館協議委員	香取市商工観光課	2013.12.1-2014.3.31	
〃	佐原広域交流 PFI 事業「水の郷さわら」有識者フォローア ップ会議委員	国土交通省関東地方整備局利根川下 流河川事務所	2013.4.1-2015.3.31	
斉藤明子	非常勤講師	千葉大学教育学部	2013.5.1-2014.3.26	講
〃	希少野生動植物種保存推進員	環境省	2012-7.1-2015.6.30	
〃	千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会委 員	千葉県環境生活部自然保護課	2011.10.24-2013.10.23	
〃	日本甲虫学会・評議員	日本甲虫学会	2013.1.1-2014.12.31	学
〃	標本セーフティネットワークワーキンググループ委員	独立行政法人国立科学博物館	2013.11.29	
落合啓二	日本哺乳類学会シカ保護管理検討作業部会委員	日本哺乳類学会	1997.10-	学
〃	環境省希少野生動植物種保存推進員	環境省	2009.7.1-2015.6.30	
〃	千葉県特定鳥獣保護管理計画 (ニホンジカ) 策定検討会委 員	千葉県環境生活部自然保護課	2004.7-	
〃	千葉県特定鳥獣保護管理計画 (ニホンジカ) 策定検討会作 業部会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2004.7-	
〃	千葉県特定外来生物 (アカゲザル) 防除実施計画策定検討 会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2006.7-	
〃	千葉県特定外来生物 (アカゲザル) 防除実施計画策定検討 作業部会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2006.7-	
〃	千葉県特定外来生物 (キョン) 防除実施計画策定検討会副 会長	千葉県環境生活部自然保護課	2007.12.-	
〃	千葉県特定外来生物 (キョン) 防除実施計画策定検討会作 業部会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2007.12-	
〃	千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会哺 乳類分科会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2012.4-	
由良 浩	非常勤講師	東京大学	2013.4.1-2013.9.30	講
〃	成東・東金食虫植物群落保護検討委員会作業部会委員	成東・東金食虫植物群落保護検討委 員会	2013.4.1-2014.3.31	
〃	平成 25 年度東北地方太平洋沿岸地域植生・湿地変化状況 等調査業務にかかる特定植物群落調査 (千葉県) 調査員	環境省自然環境局生物多様性センタ ー	2013.9.13-2013.12.31	
林 紀男	客員研究員	独立行政法人国立環境研究所	2013.4.1-2014.3.31	客
〃	非常勤講師	東邦大学理学部	2013.4.1-2014.3.31	講
〃	植生再生ワーキング委員	千葉県県土整備部河川環境課	2013.4.1-2014.3.31	
〃	生態系ワーキング委員	千葉県県土整備部河川環境課	2013.4.1-2014.3.31	
〃	手賀沼水生植物再生事業検討委員	千葉県環境生活部水質保全課	2013.4.1-2014.3.31	
〃	八郎湖研究会 専門家委員	秋田県生活環境部環境管理課八郎湖 環境対策室	2013.5.1-2014.3.31	
〃	環境省皇居外苑濠水環境管理検討会委員	環境省皇居外苑管理事務所	2013.5.1-2014.3.31	
大庭照代	常務理事	日本サウンドスケープ協会	2013.6.1-2014.5.31	学

〃	評議員	日本鳥類保護連盟	2013.6.1-2014.5.31	学
〃	平成 26 年度三番瀬鳥類個体数経年調査受託者選定委員	千葉県環境・生活部自然保護課自然環境企画室	2014.3.27	
白井 豊	幹事	房総石造文化財研究会	2013.4.1-2014.3.31	学
萩野康則	日本土壌動物学会評議員	日本土壌動物学会	2012.5.27-2014.5.24	学
〃	千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2011.10.24-2013.10.23, 2014.1.16-2019.3.31	
〃	希少野生動植物種保存推進員	環境省自然環境局野生生物課	2012.7.1-2015.6.30	
御巫由紀	木更津市文化財保護審議会委員	木更津市教育委員会	2012.11.1-2016.10.30	
〃	緑の調査園門委員	市川市水と緑の計画課	2013.4.1-2014.3.31	
〃	銚子市文化財総合調査委員	銚子市教育委員会	2013.10.1-2014.3.31	
〃	国際香りのバラ新品種コンクール審査員	国営越後丘陵公園	2013.4.1-2014.3.31	
〃	非常勤講師	千葉大学	2013.4.1-2014.3.31	講
尾崎煙雄	編集幹事	千葉県生物学会	2012.1.1-2014.12.31	学
島立理子	野田市史編さん委員会専門員	野田市	2010.4.1-	
〃	木更津市史編集員	木更津市	2013.6-2016.6	
〃	企画展示「厩造と模倣の文化史」展示プロジェクト委員	国立歴史民俗博物館	2013.1-2015.3	
加藤久佳	企画展示「厩造と模倣の文化史」展示プロジェクト委員	国立歴史民俗博物館	2013.1-2015.3	
大木淳一	非常勤講師 (博物館実習)	日本女子大学	2013.8.1-2014.3.31	講
桑原和之	千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会	千葉県環境生活部自然保護課	2013.10-2014.3.31	
〃	千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会群集・群落部会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2013.10-2014.3.31	
〃	環境省請負業務『平成 25 年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業 (シギ・チドリ類調査)』検討委員	特定非営利活動法人 パードリサーチ	2013.7.10-2014.3.31	
〃	国土交通省請負業務『利根川河口部生物環境調査』ヒアリングによる検討委員	株式会社エイト日本技術開発	2013.5-2014.3.31	
〃	千葉市の鳥・コアジサシの保護について	千葉市環境局 環境保全部 環境保全課	2013.4.20-2014.3.31	
倉西良一	シャープゲンゴロウモドキ保全協議会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2013.4.1-2014.3.31	
〃	千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会昆虫分科会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2013.10-2014.3.31	
〃	千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成委員会群集・群落部会委員	千葉県環境生活部自然保護課	2013.10-2014.3.31	
原 正利	非常勤講師 (群集動態論)	千葉大学大学院理学研究科	2013.4.1-2014.3.31	講
〃	客員教授	国立歴史民俗博物館	2013.4.1-2014.3.31	客
〃	印西市文化財審議委員	印西市教育委員会	2013.4.1-2015.3.31	
〃	松戸市立博物館協議会委員	松戸市教育委員会	2011.10.1-2015.9.30	
〃	鶴枝ヒメハルゼミ発生地保護協議会アドバイザー	茂原市教育委員会	2013.4.1-2014.3.31	
〃	仙台湾沿岸海岸防災林生物多様性保全対策検討委員会委員	林野庁東北森林管理局	2013.4.1-2014.3.31	
〃	東日本大震災地における自然および、人と自然の関係を重視した復興の提案に関わる調査委員会委員	公益財団法人日本自然保護協会	2.13.6.1-2.14.3.31	
〃	平成 25 年度保護林モニタリング調査等検討委員会委員	林野庁関東森林管理局	2013.7.20-2.14.3.31	
本吉正宏	文化財審議委員	いすみ市教育委員会	2012.4.1-2014.3.31	
〃	いすみ市郷土資料館運営協議会委員	いすみ市教育委員会	2012.4.1-2014.3.31	
〃	理事	千葉県文化財保護協会	2012.4.1-2014.3.31	
〃	勝浦市史副読本作成委員	勝浦市教育委員会	2013.4.1-2014.3.31	
〃	未来に残そう青い海ポスター選考委員	海上保安庁勝浦海上保安署	2013.9.18	
川瀬裕司	電子情報委員会委員	日本魚類学会	2010.1-	学
〃	男女共同参画委員会委員	日本魚類学会	2013.1-	学
〃	委員 (庶務担当)	第 9 回インド洋・太平洋魚類国際会議実行委員会	2009.10-2014.3	学
菊地則雄	浜勝浦川浄化対策推進協議会委員	勝浦市	2012.8.27-2014.7.31	
奥野淳兒	非常勤講師 (分類学)	千葉科学大学	2013.4.1-2014.9.16	講
柳 研介	非常勤講師 (地域自然誌論)	東京大学大学院	2013.4.1-2013.8.31	講

3 メルマガコラム

①本館「ちば中央博メール」連載コラム『中央博の窓』

回次	記事名	著者	掲載巻次	掲載月
44	春の展示「ナッツ&ベリーー千葉の名産から世界の逸品までー」	天野 誠	80	4
45	「ネーチャー!!サタデーコンサート」	島立理子	81	5
46	ラフィアのふしぎ	寺部あゆみ	82	6
47	大多喜藩の弓術	地引尚幸	83	7
48	千葉県立中央博物館での短期滞在研究	宮 正樹	84	8
49	博物館実習を通して考えたこと	鈴木 綾	85	9
50	御蔵島へ行ってきました	奥田昌明	86	10
51	房総の歴史を共に語る喜び・楽しみ	大木英雄	87	11
52	博物館に魅せられて	富塚朋子	88	12
53	開館25周年を目前にして	堀田弘文	89	1
54	常に気象予報とにらめっこ	橋本智美	90	2
55	ミュージアムショップから	原田みゆき	91	3

②本館「ちば中央博メール」連載コラム『コラム 研究室から...』

回次	記事名	著者	掲載巻次	掲載月
16	君津市蔵玉用水の地質調査	加藤久佳	80	4
17	減ってしまったツルシギ	桑原和之	81	5
18	寺田本家第20代当主「寺田憲」について	糠谷 隆	82	6
19	寒い海のウミウシ	立川浩之	83	7
20	深海からやってきたウナギとマグロ	宮 正樹	84	8
21	江戸時代の弓ー合せ弓の特長ー	地引尚幸	85	9
22	音環境をめぐる研究24年間をふりかえって	大庭照代	86	10
23	企画展「上総の仏教美術Ⅱ ～長生・山武～」余話	村田憲一	87	11
24	「市民参加」を考える	林 浩二	88	12
25	千葉石（ちばせき）、その後	高橋直樹	89	1
26	ペランダの花粉にご注意	奥田昌明	90	2
27	退職を前にーアシナガバチの生活に魅せられて	宮野伸也	91	3

③分館海の博物館「海からのたより」連載コラム『研究員ノート』

記事名	著者	掲載巻次	掲載月
北太平洋で初めてみつかった十文字クラゲ *Lipkea* sp.	柳 研介	98	4
世代を越えて受け継がれる思い	本吉正宏	99	5
千葉県自生のアジサイ科アジサイ属は	青木慎哉	100	6
ウニー食べ物？邪魔者？ー	村田明久	101	7
マルバチシャノキの分布について	原 正利	102	8
もっとも身近な甲殻類？ダンゴムシ	奥野淳兒	103	9
小さなフグが海底に造る大きな「ミステリー・サークル」	川瀬裕司	104	10
海藻おしば	菊地則雄	105	11
デンマーク自然史博物館事情	柳 研介	106	12
富士山に思う	本吉正宏	107	1
磯の海藻を巡る複雑な関係	村田明久	108	2
海藻いろいろー千葉県の豊かな海からー	菊地則雄	109	3

4 デジタルミュージアム公開コンテンツ

館名	コンテンツ名	備考
本館	房総ジオツアー	新規
	昆虫標本のつくり方	新規
	地域の音が出る地図	
	維管束植物標本百選	
	ネパールと東南アジアのガ	
	梵天にみる房総の出羽三山信仰	
	おばあちゃんの畑プロジェクト	
	ききみみコレクション	
	耳をたよりにプロジェクト	
	音の標本箱	
	野草・雑草検索図鑑	
	房総の山のケモノ	
	花の植物画集－カーチス植物学雑誌より－	
	館蔵浮世絵・屏風画紹介	
	房総の植物誌づくりと中央博物館	
	千葉県の毒きのこ	
	下総台地と周辺の貝化石	
	空からみた千葉県 (1987・88年)	
	千葉県の滝－所在と成因	
	故・林辰雄氏撮影写真集－昭和30年代の東京湾岸－	
	生態園植物歳時記	
	哺乳類の疑問解決	削除
	カラス大調査	
	カエル教室	
	浮世絵に見る江戸時代の園芸	
	房総のハチ 世界ハチ	
	百年前の千葉県「日本博覧図」	
環境教育と千葉県		
旅する地球の水		
大利根分館	水郷の原風景	
	むかしの道具	
大多喜城分館	甲冑展	
	武具のデザイン	
	火縄銃	
分館海の博物館	理想郷いきもの図鑑	
	勝浦深訪	
	磯の生きもの図鑑	
	館山の海底	

5 職員の取材対応

①本館

■新聞・雑誌

	取材機関	取材日	取材内容	対応
1	新聞	4月9日	貝類学会で発表予定の「ナスカの地上絵周辺で確認された海産貝類」の内容について	黒住耐二
2	新聞	4月16日	印旛沼・手賀沼における水草復活事業について	林 紀男
3	新聞	4月18日	舟田池における水草再生の取り組みについて	林 紀男
4	新聞	4月29日	ナッツ&ベリー展行事 落花生デスク教育広報部	斎木健一
5	新聞	5月3日	国指定天然記念物「成東・東金食虫植物群落」の絶滅危惧種	古木達郎
6	新聞	5月31日	青葉の公園内に残る「土気住遺(東金街道)」について	立和名明美
7	新聞	6月12日	発電魚の進化について	宮 正樹
8	新聞	6月15日	「県民の日」の当館行事について	大野啓一
9	新聞	6月20日	マルタニシについて	黒住耐二
10	新聞	6月27日	千葉県の縄文貝塚の貝	黒住耐二
11	新聞	7月17日	中央博物館本館常設展示及び館艇について	立和名明美
12	新聞	8月10日	アカウミガメの卵のふ化条件について	立川浩之
13	新聞	8月10日	「世界の音を聴こう!」展について	立和名明美
14	新聞	8月13日	「海の宝石ウミウシ」展及び「世界の音を聴こう!」展について	立川浩之・ 立和名明美
15	新聞	8月15日	夜鳴くセミについて	斎藤明子
16	新聞	10月26日	東京湾から新しく発見された外来種のカニ類について	駒井智幸
17	新聞	9月3日	マグロ・カツオ・サバ類の進化的起源について	宮 正樹
18	新聞	10月1日	日本自然保護協会が実施した「貝がらさがし」の成果報告書について	黒住耐二
19	新聞	10月4日	秋に刺傷事故が増えるスズメバチ類の生態と防護法について	宮野伸也
20	新聞	10月4日	秋に刺傷事故が増えるスズメバチ類の生態と防護法について	宮野伸也
21	新聞	10月4日	企画展「音の風景」内覧会	島立理子
22	新聞	10月18日	史秋長柄横穴群について	高梨俊夫
23	新聞	10月22日	マグロ・カツオ・サバ類の進化的起源について	宮 正樹
24	新聞	10月29日	御宿町でみつかったヘビについて	尾崎煙雄
25	新聞	11月2日	企画展「音の風景」について	大庭照代
26	新聞	11月7日	福島サウンドスケープの展示について	関登志彦・ 立和名明美・大庭照代
27	新聞	11月12日	福島サウンドスケープの展示について	立和名明美
28	新聞	12月7日	東京湾で確認された台湾由来のハマグリについて	黒住耐二
29	その他	12月13日	明治神宮で確認された貝類について	黒住耐二
30	新聞	12月19日	柏市で発見されたクジラ化石について。「ネギ畑からクジラの化石」	地学研究科
31	新聞	12月19日	柏市で発見されたクジラ化石について。「ネギ畑からクジラの化石」	地学研究科
32	新聞	12月19日	柏市で発見されたクジラ化石について。「ネギ畑からクジラの化石」	地学研究科
33	新聞	12月19日	柏市で発見されたクジラ化石について。「ネギ畑からクジラの化石」	地学研究科
34	新聞	12月19日	柏市で発見されたクジラ化石について。「ネギ畑からクジラの化石」	地学研究科
35	新聞	12月19日	柏市で発見されたクジラ化石について。「ネギ畑からクジラの化石」	地学研究科
36	新聞	1月12日	トピックス展「房総ゆかりの富士山」	内田龍哉
37	新聞	1月17日	東京湾のホンビノスガイについて	黒住耐二
38	雑誌	1月19日	とりの声キャッチ名人による観察会	大庭照代
39	新聞	1月24日	青葉の森公園の梅園のウメについて	天野 誠
40	新聞	2月15日	沖縄の旧石器時代のサキタリ洞遺跡で発見された貝類について	黒住耐二
41	新聞	3月7日	春の展示「水辺の記憶-写真家林辰雄のまなざし-」内覧会	小林裕美
42	新聞	3月12日	春の展示「水辺の記憶」について	小林裕美・ 立和名明美

■ テレビ・ラジオ

	取材機関	取材日	取材内容	対応
1	テレビ	4月24日	稲毛海浜公園シジミについて	黒住耐二
2	テレビ	4月25日	ホンビノスガイについて	黒住耐二
3	テレビ	4月27日	千葉県中央博物館 研究紹介コーナー 「世界で千葉県だけ:新種イスマスズカケの発見」	古木達郎
4	テレビ	5月19日	千葉県で増加している外来生物のキョン (シカ科)	落合啓二
5	テレビ	5月31日	イノシシおよびキョン剥製のビデオ撮影	斉藤明子
6	テレビ	6月5日	植物の写真同定について	天野 誠
7	テレビ	7月5日	当館所蔵「房総水産図鑑」の撮影。地引網漁について	立和名明美
8	テレビ	7月15日	夏の展示「写真展ウミウシの世界」について	大野啓一
9	テレビ	7月17日	地域連携展「世界の音を聴こう!」	立和名明美
10	テレビ	7月23日	イワタケ(地衣類)について	宮野伸也
11	テレビ	7月30日	NHK FM 千葉「週末はミュージアム」出演(電話出演) 地域連携展「世界の音を聴こう!」について	大庭照代
12	テレビ	7月30日	「夏休み自由研究相談会」について	高橋直樹・立和名明美
13	テレビ	8月7日	「海の宝石ウミウシ」展及び「世界の音を聴こう!」展について	立和名明美
14	テレビ	8月19日	「世界の音を聴こう!」展について	立和名明美
15	ラジオ	8月23日	「世界の音を聴こう!」展について	大庭照代・立和名明美
16	テレビ	8月25日	「夏休み自由研究相談会」の様子の取材	宮野伸也
17	テレビ	8月29日	「海の宝石 ウミウシの世界」展について	立和名明美
18	テレビ	9月13日	フィッシングカフェ 当館で行われたウナギ・マグロなどの研究内容について	宮 正樹
19	テレビ	9月13日	中央博物館常設展及び企画展「音の風景」について	立和名明美
20	テレビ	9月25日	企画展「音の風景」について	立和名明美
21	ラジオ	9月27日	企画展「音の風景」について	大庭照代・御巫由紀
22	ラジオ	9月27日	企画展「音の風景」～音もふるさとの財産	大庭照代
23	テレビ	9月30日	身近にある毒キノコ	林 浩二・吹春俊光
24	テレビ	10月2日	企画展「音の風景」について	大庭照代・御巫由紀
25	ラジオ	10月11日	企画展「音の風景」について	立和名明美
26	テレビ	10月4日	企画展「音の風景」内覧会	島立理子
27	ラジオ	11月5日	企画展「音の風景」について	島立理子
28	テレビ	11月6日	マグロ・カツオ・サバ類の進化的起源ほかについて	宮 正樹
29	テレビ	11月8日	企画展「音の風景」について	大庭照代・御巫由紀
30	ラジオ	11月16日	企画展「音の風景」について	立和名明美
31	テレビ	12月19日	柏市で発見されたクジラ化石について。「ネギ畑からクジラの化石」	地学研究科
32	テレビ	1月5日	トピックス展「房総ゆかりの富士山」	内田龍哉・立和名明美
33	テレビ	1月15日	トピックス展「房総ゆかりの富士山」、トピックス展「北川隆司鉱物コレクション展」	内田龍哉・高橋直樹
34	テレビ	1月23日	番組「新日本風土記」房総半島の植物について	古木達郎・天野誠
35	テレビ	1月23日	番組「もういちど日本」房総南部の植物について	古木達郎・天野 誠
36	テレビ	1月24日	トピックス展「房総ゆかりの富士山」	内田龍哉
37	テレビ	2月20日	生態園観察会 「早春の植物」	林 浩二
38	テレビ	3月11日	宗谷海岸で撮影されたハイネズの仲間について	大野啓一
39	テレビ	3月13日	春の展示「水辺の記憶」について	小林裕美・立和名明美
40	テレビ	3月13日	春の展示「水辺の記憶」について	小林裕美・立和名明美

②大利根分館

	メディア	取材日	取材内容	対応
1	新聞	5月6日	研究論文に関する取材	佐藤 誠
2	新聞	5月8日	企画展「水郷と文学」	佐藤 誠
3	新聞・	6月1日	企画「利根川と文学ー寺田憲とその周辺ー」	糠谷 隆
4	新聞	6月6日	企画展「利根川と文学」に関する取材	佐藤 誠
1	テレビ	4月11日	BSプレミアム番組「暴れ川から人育む川へ」制作に伴う利根川の取材	糠谷 隆
2	テレビ	5月29日	企画展「水郷を旅する人々Ⅱ」	糠谷 隆
3	テレビ	6月3日	NHK FM ラジオひるどき情報千葉 週末はミュージアムに企画展「利根川と文学ー寺田憲とその周辺ー」について	糠谷 隆
4	テレビ	6月6日	企画展「利根川と文学」に関する映像取材	佐藤 誠
5	テレビ	6月12日	千葉県七夕馬について（「おでかけスピリチュアル」七夕特集にて）	糠谷 隆

③大多喜城分館

	メディア	取材日	取材内容	対応
1	新聞	4月18日	大多喜城分館の建物について	村田憲一
2	新	4月29日	体験教室「甲冑・小袖・袴の試着」の紹介のための写真(データ)提供	地引尚幸
3	雑誌	8月23日	『文藝春秋』連載「綴をめぐる物語」へ掲載するため、特別公開「江戸風俗図屏風(複製)」について取材	地引尚幸
4	新聞	8月27日	「家康公の時間」特別公開について「お知らせ」の記事を掲載	地引尚幸
5	新聞	9月3日	「家康公の時計」特別公開について	福原宣之
6	新聞	9月10日	久能山東照宮「家康公の時計」特別公開について	村田憲一
7	新聞	10月25日	企画展「上総の仏教美術Ⅱ～長生・山武～」について	村田憲一
8	新聞	11月8日	企画展「上総の仏教美術Ⅱ～長生・山武～」について	村田憲一
9	新聞	11月8日	企画展「上総の仏教美術Ⅱ～長生・山武～」について	村田憲一
10	新聞	12月14日	館蔵の馬具及び後三年合戦絵巻について	村田憲一
1	テレビ	8月9日	大多喜城分館の外観風景の撮影について	村田憲一
2	テレビ	9月13日	大多喜城分館の外観風景の撮影について	福原宣之
3	テレビ	9月27日	大多喜城文館の外観風景の撮影について	村田憲一
4	テレビ	10月3日	大多喜城分館の外観風景の撮影について	村田憲一
5	テレビ	10月25日	企画展「上総の仏教美術Ⅱ～長生・山武～」について	村田憲一
6	テレビ	1月17日	番組『団塊スタイル』で大多喜の紹介	村田憲一
7	テレビ	2月6日	大多喜城分館の外観風景及び館内展示風景等の撮影について	村田憲一
8	テレビ	3月15日	大多喜城分館の外観風景の撮影について	村田憲一
1	PR ビデオ	2月5日	大多喜城分館の外観風景及び模型等の撮影について	村田憲一

④分館海の博物館

	メディア	取材日	取材内容	対応
1	雑誌	4月16日	ヤドカリとイソギンチャクの共生について	奥野淳児
2	新聞	8月18日	小さいフグが海底に造る巨大な「ミステリー・サークル」について	川瀬裕司
3	新聞	10月22日	小さなフグが海底に造る巨大な「ミステリー・サークル」について	川瀬裕司
4	新聞	12月20日	うみはくトビックス「お絵かき展 私のお気に入りの生き物」	川瀬裕司
5	新聞	1月24日	マリンサイエンスギャラリー「海藻いろいろ-千葉県の豊かな海から」について	菊池則雄
6	新聞	2月15日	マリンサイエンスギャラリー関連特別講座「海からの贈り物ー海藻おしぼを作ろう」について	菊池則雄
7	新聞	6月27日	勝浦港に水揚げされたピンク色のカツオについて	柳 研介
8	新聞	8月7日	磯・いそ探検隊の現地取材	柳 研介
1	テレビ	8月18日	小さいフグが海底に造る巨大な「ミステリー・サークル」について	川瀬裕司
2	テレビ	7月7日	「ウィークリー千葉県」夏休みの行事紹介	村田明久
3	テレビ	8月15日	サンゴイソギンチャクの毒とアカホシカクレエビの体色について	柳 研介
4	テレビ	8月20日	「ウニと愉快ななかまたち」の取材	村田明久
5	テレビ	1月10日	「ミステリーサークル」をつくるフグについて	川瀬裕司
6	テレビ	3月5日	テレビ番組「ジップ」やどかりの紹介	奥野淳児

6 メディア掲載 (新聞雑誌掲載記事)

①本館

発行日	新聞名・雑誌名	記事名
4月1日	さとのかぜ	いすみ市で新種の植物発見!
4月13日	読売新聞	なるほど鑑賞室 展示「ナッツ&ベリー」5月12日まで、千葉県立中央博物館 実も花も標本も実に楽しい
4月21日	朝日新聞 東京川の手版	井の頭池よみがえれ 外来魚駆除・水草の植栽「かいぼり」を実施へ
5月9日	千葉日報	絶滅した水草復活へ: 房総の「たからもの」希少動植物種の今6: 埋もれた種子掘り起こし 印旛沼の水生植物
5月17日	ちいき新聞 稲毛版	名産品の秘密を探る落花生の不思議 千葉県立中央博物館
6月1日	地方史研究	平成 24 年度千葉県美術館・博物館等職員研究会兼公開シンポジウム「博物館資料はなぜ救済されなければならないのか? - 東日本大震災の教訓 -」に参加して
6月5日	徳島新聞 web	母川の群生、全国級 希少野生種・ツクシイバラ
6月15日	森発見	万博の森で地球を想う: 第1回 森で環境を意識する
6月16日	朝日新聞	本物の縄文土器触れて「きれい」: 県立中央博物館
6月16日	毎日新聞	今年も「夢チャレンジ体験スクール」: 科学/先端技術/就業-3 本柱: サイエンススクール
6月20日	千葉日報	キョン推計法見直しへ: 有効対策目指し県
7月1日	千葉日報	吉兆? 黄金のヘビ 市原
7月6日	読売新聞	街道を行く 大綱街道 1: 青葉の森公園: 往時の姿で残る遊歩道
7月27日	千葉日報	昆虫 3700 点、一堂に: 八千代郷土博で企画展: 市域の標本から世界の珍種まで: 近年の生態系変容も解説
7月31日	日本経済新聞	畑にキョン住民警戒: 外来シカ 房総半島で繁殖: 「食害心配」とビリビリ
6月4日	ちば民報	ボランティアが活躍 千葉県立中央博物館
8月4日	朝日新聞	加曽利再考: 新しい貝塚の姿 5: 川や干潟の構造カギ
8月7日	千葉日報	学校など館外活動に力: 県立美術館・博物館 学びの場へ役割模索
8月19日	千葉日報	海の宝石」写真で紹介 中央博物館でウミウシ展 音の企画展も開催
8月25日	TBS ラジオ	Web サイト: 安住紳一郎の日曜天国: おでかけリサーチ 2013 年 8 月 25 日 世界の音を聴こう! http://www.tbs.co.jp/radio/nichiten/odekake/index-j.html
8月27日	JCN 千葉 (地デジ 11 チャンネル)	デイリー千葉 (20 分番組) 夏休み自由研究相談会 放送日時: 8 月 27 日 (火) 18:00~ (初回放送)、再放送: 19:30~、20:40~、21:30~、23:40~、8 月 28 日 (水) 8:10~
8月27日	朝日新聞	世界 24 地域の音自由に聴けます: 県立中央博物館で展示会
8月27日	朝日新聞	東京湾新たな外来種のカニ: 船に付き侵入? 定着の可能性
9月5日	日経新聞	マグロやサバ元をたどると: 共通の深海魚: 232 種類が分岐
9月6日	しんぶん赤旗	恐竜絶滅しマグロ祖先誕生
9月15日	森発見	万博の森で地球を想う: 第2回 池で環境を意識する (協力: 原正利/林紀男) 7-8
9月22日	読売新聞	散歩道の植物: 長い葉 熨斗に見立て: ノシラン
10月14日	千葉日報	秋の行楽シーズン: ブズメバチに注意を: 巣の防衛で警戒高まる
10月22日	千葉日報	耳から風景呼び起こす: 中央博物館 「音」テーマに企画展
10月30日	朝日新聞	ミスターローズ輝く功績: 新品種 130 以上生み、世界的に著名
11月2日	千葉日報	幻のヘビ御宿に: 夜行性のシロマダラ発見
11月4日	朝日新聞	マグロ先祖は深海魚: 6500 万年前、巨大隕石落下で進化説
11月16日	ふれあい毎日	なかむら先生の里山海からの通信 78 「音の風景」の虫の音
11月6日	読売新聞	ベニガイ生息 回復傾向: 自然しらべ 2012 「汚染物質規制で」
11月9日	読売新聞	「風景」感じますか 音テーマの企画展
11月18日	東京新聞	こちら特捜部 福島大の除染作業の音展示 説明文変更で対立
12月2日	朝日新聞	きのこをたどって: 夢かうつつかキンコンキン
12月7日	朝日小学生新聞	おしえてさなかクン サバやマグロのギョ祖先さまは?: タチウオのように細長いお魚
12月15日	森発見	万博の森で地球を想う: 第3回 植物をとおして環境を意識する
12月20日	千葉日報	ネギ畑からクジラの化石: 柏 10 万年超前にサメが襲う?
12月22日	毎日新聞	畑にクジラ化石 12 万~13 万年前、サメのかみ痕も 柏 県立中央博物館で速報展
12月22日	読売新聞	ネギ畑からクジラの化石 柏
12月25日	朝日新聞	柏のネギ畑にクジラの化石: 推定 12 万~13 万年前: 中央博で 27 日まで一部展示
1月1日	Science Window	達人に聞く!! 自然観察法のイロハ 探し出せば好きになる! 土の虫ウオッチング
1月13日	千葉日報	富士山と千葉の関わり発掘: 地域の魅力高めるきっかけに
1月13日	朝日新聞	海岸 530 キロ調べ 県内の貝図鑑: 300 種紹介、見分け方解説: 長生の元教諭・毛木さん [館の専門家に鑑別]
1月13日	読売新聞	房総からの富士展
1月17日	三番瀬署名ニュース	千葉県フィールドミュージアム事業・地域の市民による実践活動 3 年目を迎えて 公開振り返りシンポジウム「自然と分化を守り育むまちづくりを考える」(2013.12.14)

2月15日	毎日新聞（福岡本部）	沖縄・旧石器時代の貝器：「海の資源上手に活用」：南島ならではの 研究者ら驚き
2月16日	沖縄タイムス	旧石器貝器、本土例なし サキタリに独自性
3月1日	地方自治職員研修	原発事故後の福島の世界が私たちに問いかけてくること：福島サウンドスケープをめぐって（永幡幸司）p.28-30
3月8日	千葉日報	よみがえる昭和の暮らし：中央博で「水辺の記憶」写真展
3月10日	日本サウンドスケープ協会	協会の活動：20周年展の総括（報告）
3月15日	森発見	万博の森で地球を想う：最終回 私たちの生きていく場所：環境を意識する（協力：原正利/林浩二）p.7-8
3月20日	こあじさし	一日記者体験@千葉県立中央博物館
3月31日	ひたちなか埋文だより	平磯海岸で貝を観察する

②大利根分館

発行日	新聞名・雑誌名	記事名
6月5日	千葉日報	香取の大利根分館で企画展：伊藤左千夫や長塚節と親交：「寺田本家」当主にスポット

③大多喜城分館

発行日	新聞名・雑誌名	記事名
9月3日	千葉日報	国内最古：スペイン国王が贈呈：家康愛用の洋時計：きょうから県内初公開
9月5日	千葉日報	「今でも動く？」興味津々：中央博物館大多喜城分館 家康の時計、県内初公開
9月13日	毎日新聞	県立中央博物館大多喜城分館：家康への西洋時計特別展示
9月18日	朝日新聞	家康公の西洋時計 ゆかりの地で公開：船員救助の礼 スペイン国王贈呈
9月30日	千葉日報	大多喜、ロマン再現：「本多忠勝」隊が参上
9月30日	毎日新聞	大多喜お城まつり 華やかに歴史絵巻
10月30日	千葉日報	長生、山武の秘仏一堂に 大多喜城分館で仏教美術展：目玉は阿弥陀如来坐像
11月10日	読売新聞	長生や山武の仏像 結集：寺や自治体所有 大多喜で企画展
1月8日	千葉日報	午年発見おらがまちの馬馬馬：県立中央博物館大多喜城分館（大多喜町）：絵巻や貴重馬具を収蔵

④分館海の博物館

発行日	新聞名・雑誌名	記事名
6月27日	朝日新聞	「白いカツオ」勝浦で水揚げ：県立海の博物館へ
6月29日	千葉日報	色素異常のカツオ：勝浦、海の博物館が保存へ
7月1日	トランヴェール	南房総、海辺の観察会へようこそ
7月24日	千葉日報	多彩さ、不思議さ、紹介：ウニ主役に収蔵資料展/勝浦・海の博物館
8月9日	朝日新聞	フグは芸術家だった：奄美の海底 求愛の文様
8月9日	読売新聞	海底アート フグが作者：奄美に産卵用の巣
8月17日	The Japan News	Pufferfish behind mystery undersea circular art
9月15日	読売新聞	模様の描き方 謎が解けた：「フグのミステリーサークル」：外から内へ放射状に掘る
11月1日	日経サイエンス	海底のミステリーサークル p.74-77
11月7日	ニュートン	海底のミステリーサークル p.96-101
12月25日	SankeiBiz	謎の“ミステリーサークル” 奄美の海底、緻密な模様
12月25日	東京新聞 TOKYO Web	奄美海底 フグの巣でした
12月26日	千葉日報	謎のサークルはフグの巣：奄美の海底緻密な模様：県立中央博物館研究員らが確認
1月4日	千葉日報	深海の生きもの描く：児童の絵画作品と標本展示：勝浦・海の博物館
2月22日	千葉日報	勝浦・海の博物館で「海藻いろいろ」展：地味だけど魅力的：「藻場」再現、超レアものも

⑤複数館

発行日	新聞名・雑誌名	記事名
7月31日	千葉教育	千葉県教育委員会からのお知らせ：「授業に役立つ県立博物館」プロジェクト：授業で使える「学習キット」について

⑥職員執筆の新聞連載

館名	新聞名	連載名	発行日	記事名	執筆者	
本館 ほか	朝日新聞	チーバくんのQ 中央博を訪ねる	4月23日	ナッツとベリー 生態と歴史は: 高い栄養分、縄文人も食べた	天野 誠	
			5月30日	利根川の歴史や魅力を教えて: 関東の大動脈、文学とも縁が深い	糠谷 隆	
			6月25日	ホタルの季節、でもどんな虫?: 甲虫の仲間、成虫が光るのは一部	倉西良一	
			7月30日	房総の海にもいるウミウシって何: 巻き貝の一種「海の宝石」	立川浩之	
			10月1日	千葉で開ける秋の「音の風景」って	大庭照代	
			10月29日	分館のある大多喜城の歴史は?	村田憲一	
			11月26日	バックヤードのお宝はどんなもの	斉藤明子	
			12月17日	千葉県の地形、どうして平らなの	八木令子	
			1月28日	千葉県は世界一海藻が生えているの?: 500種類以上生息、レアものも	菊地則雄	
			2月18日	水の恵み生かした暮らし どう変遷?: 開発で魚介類減 漁師も少なく	小林裕美	
			3月25日	ミツバチの生態 とても興味深いよ	宮野伸也	
	しんぶん 赤旗	貝がらさがし	5月3日	1: 調査で見えてきたこと: 全国の自然を一斉に	黒住耐二	
			5月10日	2: 調査で見えてきたこと: すむ環境が少し違う	〃	
			5月17日	3: 調査で見えてきたこと: 地球温暖化の影響は	〃	
			5月24日	4: 調査で見えてきたこと: 年ごとの変化を記録	〃	
			5月31日	5: 調査で見えてきたこと: 子どもの笑顔とともに	〃	
	海の 博物館	千葉日報	藻じゃーずと学ぶ 海藻いろいろ	2月24日	1: 千葉県の豊かな海から: 海藻、千葉には500種以上	菊地則雄
				3月10日	2: 千葉県の豊かな海から: 横綱級「レアもの」が生育: 外房沿岸だけで確認	〃
				3月24日	3: 千葉県の豊かな海から: 環境整え生きもの育む	〃
千葉日報		チーバくんと学ぶ 深い海に暮らす生きものたち	4月8日	5: 発光器の巧みな利用: 深海の中層で暮らす魚	川瀬裕司	

7 団体入館状況（種類・地域内訳）

20名以上のグループを団体とした。

①本館（生態園を含む）

郡	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
	千葉市	1	2	1	31	6		14	20	11	3	4	16	109
葛南	市川市													0
	船橋市				2				1				5	8
	習志野市				1			2						3
	八千代市				1									1
	浦安市										2		1	3
東葛飾	松戸市			1	1									2
	野田市												1	1
	柏市				3								2	5
	流山市									1				1
	我孫子市													0
	鎌ヶ谷市				1								2	3
	銚子市												2	2
北総	成田市			1	3								2	6
	佐倉市				3							1		4
	旭市				1									1
	四街道市				2	2				2				6
	八街市													0
	印西市													0
	白井市													0
	富里市													0
	匝瑺市			1	1									2
	香取市				2									2
	栄町													0
	酒々井町											4		4
	神崎町													0
	多古町													0
	東庄町													0
東上総	茂原市												1	1
	東金市				1									1
	勝浦市				1									1
	山武市								1				2	3
	いすみ市				1								3	4
	横芝光町													0
	芝山町													0
	九十九里町													0
	大網白里町												1	1
	白子町													0
	長柄町												1	1
	長南町													0
	睦沢町													0
	一宮町													0
	御宿町													0
大多喜町								2					2	
長生村													0	
南房総	館山市				1									1
	木更津市												2	2
	市原市				1	1			1	1	1			5
	鴨川市												2	2
	君津市		2		3									5
	富津市									1				1
	袖ヶ浦市													0
	南房総市				1									1
鋸南町													0	
県外	2	2		1	2						2		4	
海外														
合計	7	3	4	6	62	9	0	18	23	16	8	9	47	

県名	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
東京都	1		2	2								1	6
神奈川県	1										1		2

②大利根分館

郡	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援 学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども 団体	身障者 施設	老人介護 施設	一般団体	合計
	千葉市			2	2								1	5
葛南	市川市				6									6
	船橋市				1									1
	習志野市													0
	八千代市				12								1	13
	浦安市													0
東葛飾	松戸市													0
	野田市													0
	柏市				1								1	2
	流山市												2	2
	我孫子市				2									2
	鎌ヶ谷市				2									2
北総	銚子市				1								2	3
	成田市													0
	佐倉市													0
	旭市				2									2
	四街道市												1	1
	八街市													0
	印西市													0
	白井市													0
	富里市													0
	匝瑳市				1									1
	香取市				2									2
	栄町													0
	酒々井町													0
	神崎町				1									1
	多古町				1									1
	東庄町				2									2
	東上総	茂原市												
東金市										1				1
勝浦市														0
山武市					1									1
いすみ市														0
横芝光町														0
芝山町														0
九十九里町														0
大網白里町					2									2
白子町														0
長柄町														0
長南町														0
睦沢町														0
一宮町														0
御宿町														0
大多喜町													0	
長生村													0	
南房総	館山市													0
	木更津市													0
	市原市				1									1
	鴨川市													0
	君津市													0
	富津市													0
	袖ヶ浦市													0
	南房総市													0
鋸南町													0	
県外				4									1	5
海外														0
合計		0	0	2	44	0	0	0	0	1	0	0	9	56

③大多喜城分館

郡	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども団体	身障者施設	老人介護施設	一般団体	合計
	千葉市		1						1				8	10
葛南	市川市			4									2	6
	船橋市												6	6
	習志野市												3	3
	八千代市												2	2
	浦安市													0
東葛飾	松戸市												3	3
	野田市												1	1
	柏市												2	2
	流山市												1	1
	我孫子市												2	2
	鎌ヶ谷市												1	1
北総	銚子市													0
	成田市													0
	佐倉市												1	1
	旭市												2	2
	四街道市												2	2
	八街市													0
	印西市													0
	白井市												1	1
	富里市													0
	匝瑳市												1	1
	香取市													0
	栄町												1	1
	酒々井町												1	1
	神崎町													0
	多古町													0
東庄町													0	
東上総	茂原市												2	2
	東金市	1												1
	勝浦市				1									1
	山武市													0
	いすみ市			1	3								2	6
	横芝光町													0
	芝山町													0
	九十九里町													0
	大網白里町													0
	白子町													0
	長柄町													0
	長南町				2									2
	睦沢町													0
	一宮町													0
	御宿町							1						1
大多喜町		1		1								1	3	
長生村												1	1	
南房総	館山市												5	5
	木更津市												1	1
	市原市					1							1	2
	鴨川市													0
	君津市				1									1
	富津市												1	1
	袖ヶ浦市												1	1
	南房総市													0
鋸南町													0	
県外		1		1	6						2		90	100
海外														0
合計		2	2	6	14	1	0	1	1	0	2	0	145	174

④分館海の博物館

郡	市町村	大学	高校	中学校	小学校	特別支援 学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども 団体	身障者 施設	老人介護 施設	一般団体	合計
	千葉市	1		2									2	5
葛南	市川市								1					1
	船橋市												1	1
	習志野市													0
	八千代市													0
	浦安市													0
東葛飾	松戸市		1										2	3
	野田市													0
	柏市												1	1
	流山市													0
	我孫子市												1	1
	鎌ヶ谷市													0
	銚子市													0
北総	成田市													0
	佐倉市												1	1
	旭市													0
	四街道市													0
	八街市													0
	印西市													0
	白井市													0
	富里市													0
	匝瑳市													0
	香取市													0
	栄町													0
	酒々井町													0
	神崎町													0
	多古町													0
	東庄町													0
	東上総	茂原市				1					1			1
東金市											1			1
勝浦市					1					2			1	4
山武市										1				1
いすみ市					1	1				1			4	7
横芝光町														0
芝山町														0
九十九里町														0
大網白里町														0
白子町														0
長柄町					1									1
長南町														0
睦沢町														0
一宮町														0
御宿町													0	
大多喜町				2									2	
長生村						1							1	
南房総	館山市				1									1
	木更津市												1	1
	市原市												2	2
	鴨川市				1					1				2
	君津市												1	1
	富津市													0
	袖ヶ浦市			1										1
	南房総市													0
鋸南町													0	
県外	3	6	3	22					2	2		22	60	
海外													0	
合計	4	7	6	30	2	0	0	0	1	8	3	0	40	101

県名	大学	高校	中学校	小学校	特別支援 学校	各種学校	保育園	幼稚園	子ども 団体	身障者 施設	老人介護 施設	一般団体	合計
福島県												1	1
茨城県												3	3
栃木県												2	2
埼玉県		2		1								5	8
東京都	3	3	2	21					1	2		8	40
神奈川県		1	1						1			1	4
山梨県												1	1
大阪府												1	1

■開館日・休館日

◇開館時間

午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

◇休館日

毎週月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は翌平日に休館）

年末年始（12月28日～1月4日）

大利根分館 10月～3月季節休館。学校等団体のみ観覧予約受付

◇臨時開館日・臨時休館日

	臨時開館日	臨時休館日
本館・生態園	7月22日、29日 8月5日、12日、19日、26日 （以上、生態園は休園）	本館：2月9日（積雪） 生態園10月16日（荒天）、2月9日、11日（積雪）
大利根分館	なし	なし
大多喜城分館	4月30日 1月2日、3日	7月9日、10日 10月22日、23日、24日 12月10日、11日、1月4日、 2月20日、21日、3月11日
分館海の博物館	4月30日 8月5日、12日、19日、26日 1月2日～4日	5月8日、9月3日、 12月17日、18日、1月15日、16日

■入場料

	本館						分館			
	通常期間		（特別展期間）		企画展期間		通常期間		企画展期間	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体
一般	300	240	800	640	500	400	200	160	300	240
高校・大学生	150	120	400	320	250	200	100	80	150	120

※ 20人以上は団体料金を適用

※ 小中学生以下、65歳以上は無料

※ 身体障害者および介助者は無料

※ 本年度は、特別展開催せず。

施設無料開放日：6月15日（県民の日）、11月3日（文化の日）

◇生態園 無料

◇年間パスポート料金

	本館		分館	
	料金	企画展追加料金	料金	企画展追加料金
一般	1,500	200	1,000	100
高校・大学生	750	100	500	50

所在地

千葉県立中央博物館（本館・生態園、房総の山のフィールド・ミュージアム連絡先）
〒260-8682 千葉市中央区青葉町 955-2
TEL 043-265-3111 FAX 043-266-2481

千葉県立中央博物館大利根分館
〒287-0816 香取市佐原ハ 4500
TEL 0478-56-0101 FAX 0478-56-1456

千葉県立中央博物館大多喜城分館
〒298-0216 夷隅郡大多喜町大多喜 481
TEL 0470-82-3007 FAX 0470-82-4959

千葉県立中央博物館分館海の博物館
〒299-5242 勝浦市吉尾 123
TEL 0470-76-1133 FAX 0470-76-18

千葉県立中央博物館年報 26 平成 25 年度

編集・発行 千葉県立中央博物館

〒260-8682 千葉市中央区青葉町 955-2

TEL 043-265-3111 FAX 043-266-2481

<http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

発行日 平成 27 年 3 月 31 日